LP-M5300シリーズ

操作ガイド

普通紙やハガキなどの特殊紙への印刷手順、コピー手順、ファクスの送受信手順、スキャン手順、ソフトウェアの機能・操作方法、本製品のメンテナンス方法など、本製品を使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。

目的に応じて必要な箇所をお読みください。

NPD4639-00

2012 年 2 月発行

マークの意味

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

!重要　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品本体が損傷したり、製品本体、プリンタードライバーやユーティリティーが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

補足説明や参考情報を記載しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 7 の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.6.x の画面を使用しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system 日本語版
Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版

本書では、各オペレーティングシステムをそれぞれ Windows XP、Windows Server 2003、Windows Server 2008（R2 含む）、Windows Vista、Windows 7 と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

Mac OS の表記

本書では、Mac OS X、OS X の総称として、Mac OS X と表記しています。

商標

モデル名の表記とイラスト

- 本書では、本製品の製品名を下記のように表記しています。
  LP-M5300：標準モデル
  LP-M5300A：ADF モデル
  LP-M5300F：ファクスモデル
- 本書では、LP-M5300A のイラストを使用して各種手順を説明しています。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 本書において、説明のために例として掲載されている会社名は、実在の会社・組織を示すものではありません。

PDF マニュアルの見方

Adobe Reader® で PDF マニュアルを見る際の基本的な操作を Adobe Reader 9 で表示したときを例に説明します。

❶	PDF マニュアルを印刷するときにクリックします。
❷	前ページ / 次ページを表示します。
❸	表示中の文字が小さくて見えにくいときは ⊕ をクリックすると拡大します。⊖ をクリックすると縮小します。イラストや画面図など拡大する部分を指定するには、以下のように行います。 **Windows の場合** PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューでマーキーズームを選択します。ポインターが虫眼鏡に変わりますので拡大したい箇所を範囲指定します。 **Mac OS X の場合** Command キーを押したままスペースキーを押すとポインターが虫眼鏡に変わります。そのまま虫眼鏡のポインターで拡大したい箇所を範囲指定します。
❹	参照先が青字で記載されているときは、青字の部分をクリックすると該当のページが表示されます。 元のページに戻るときは、以下のように行います。 **Windows の場合** Alt キーを押したまま←キーを押します。 **Mac OS X の場合** 表示メニュー - 移動 - 前の画面の順でクリックします。
❺	確認したい項目名などキーワードを入力して検索ができます。
❻	クリックするたびに、しおりを閉じたり表示したりします。
❼	タイトルをクリックすると該当のページが表示されます。

もくじ

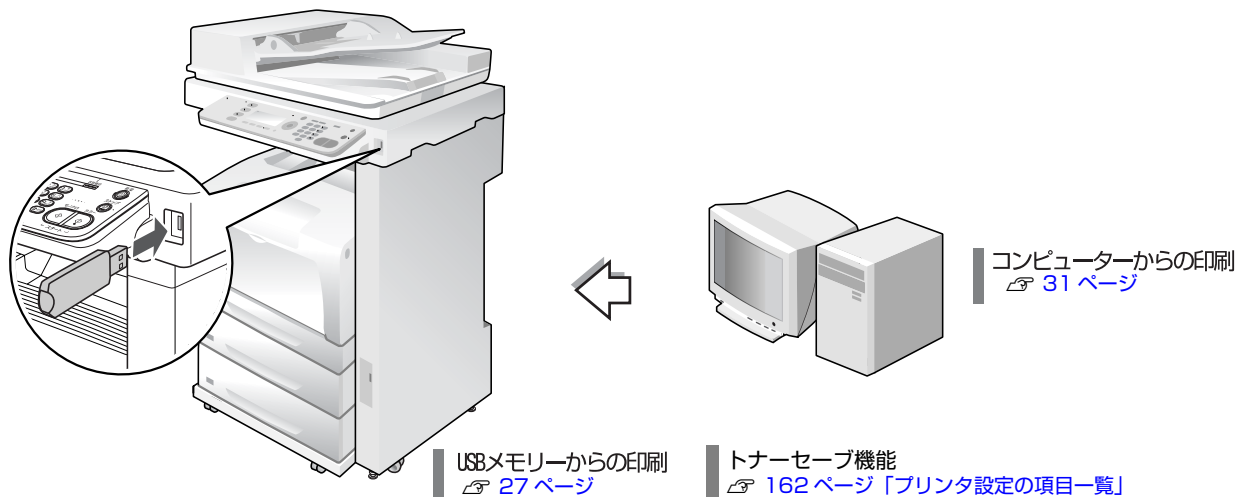
メンテナンス 184

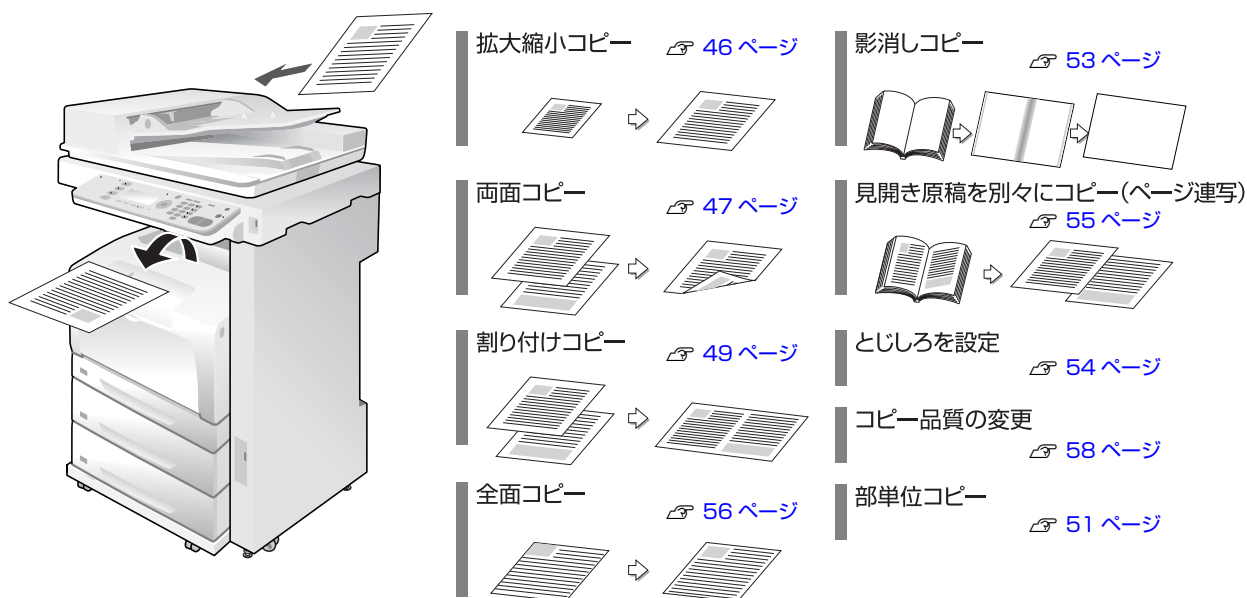
困ったときは 202

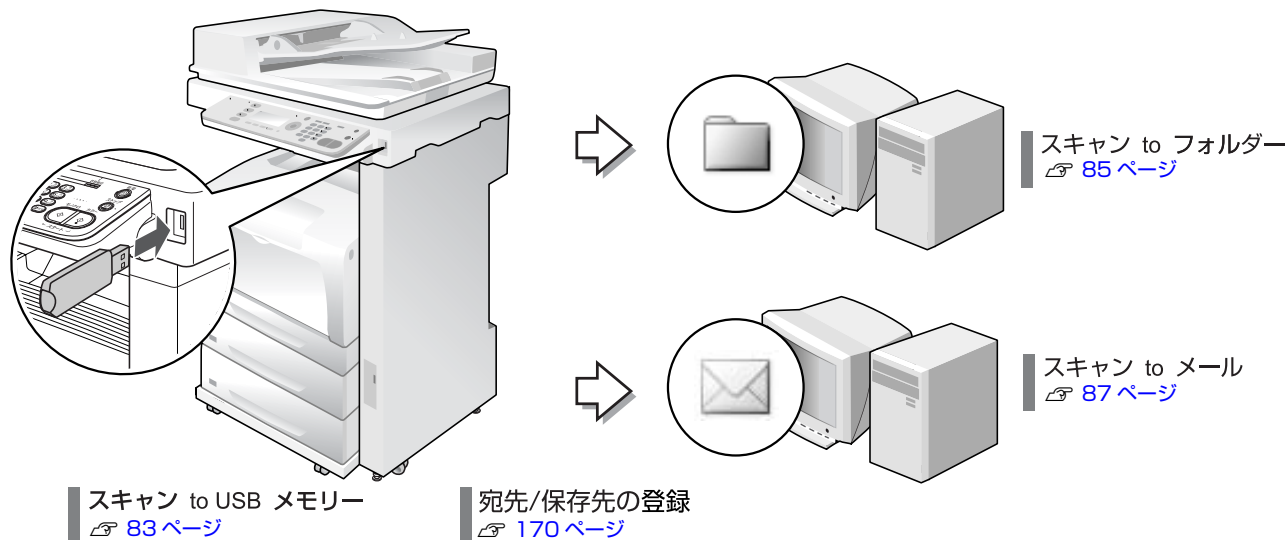
付録..256

こんなことができます

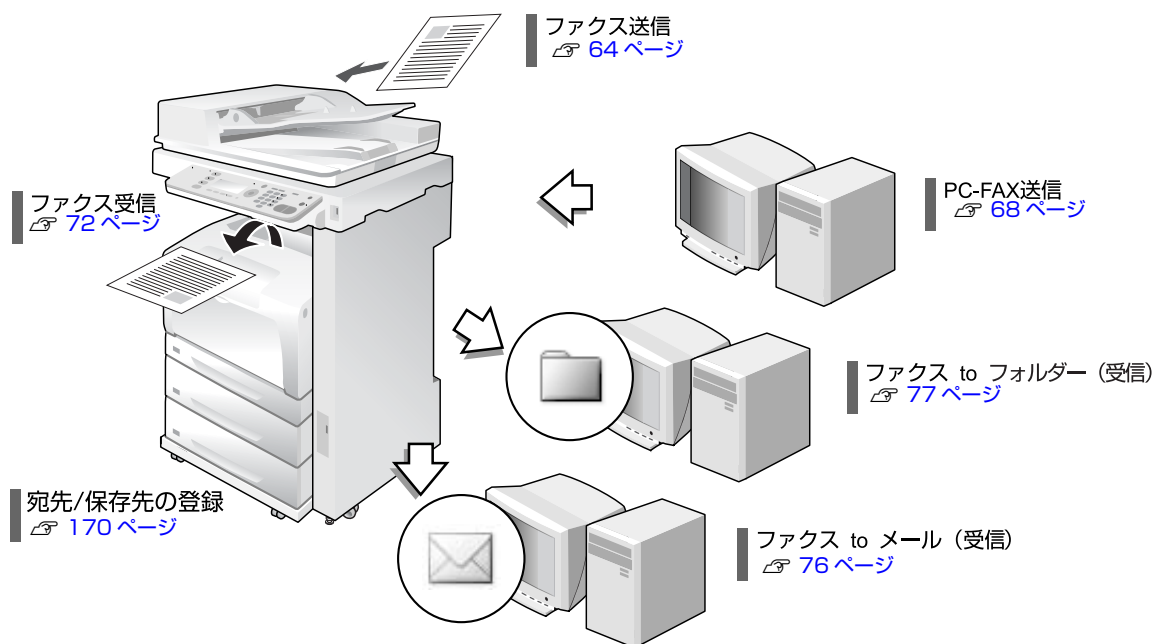
プリント機能

コンピューターからの印刷だけでなく、USB メモリーに保存した画像ファイルも印刷できます。
また、トナーの消費量を抑える「トナーセーブ」機能を搭載しています。

コピー機能

最大 A3 サイズの用紙にコピーできるほか、拡大・縮小、両面などの便利な応用機能もあります。

スキャン機能

コンピューターからスキャンを実行して、データを保存するだけでなく、スキャンデータを USB メモリーに保存したり、操作パネルから原稿をスキャンして電子データ化し、サーバーの共有フォルダーに保存したり、メールで指定したコンピューターに送信できます。

WSD スキャンにも対応しています。

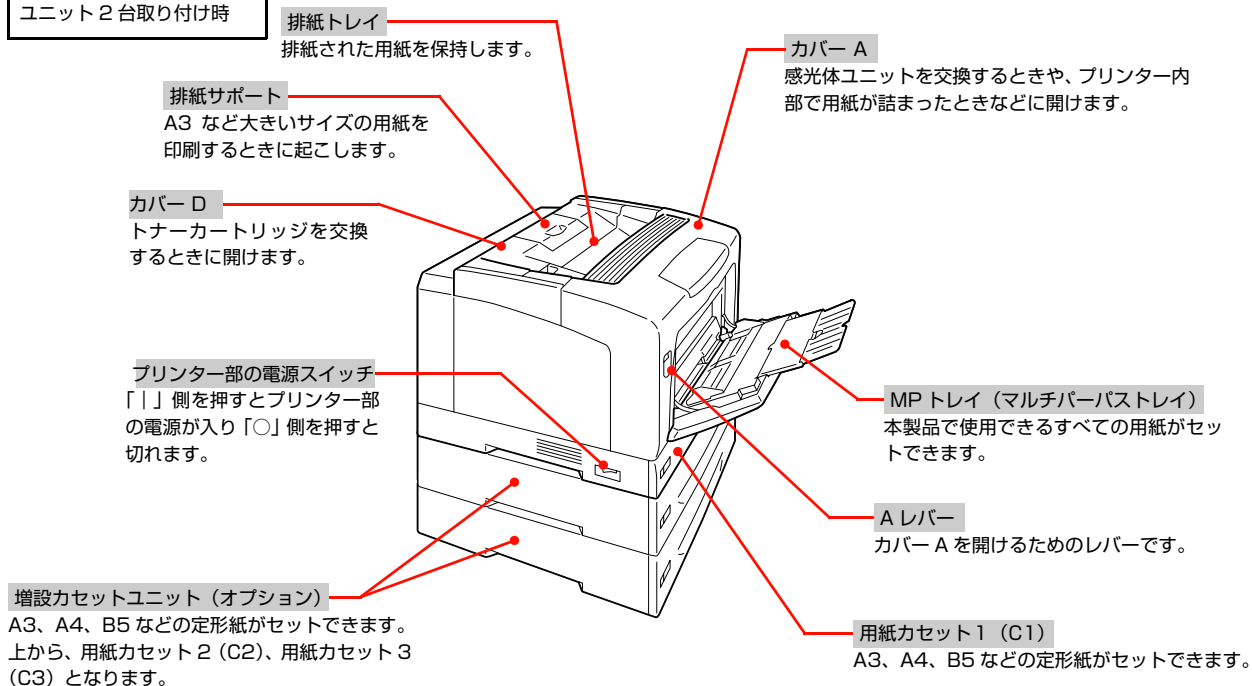
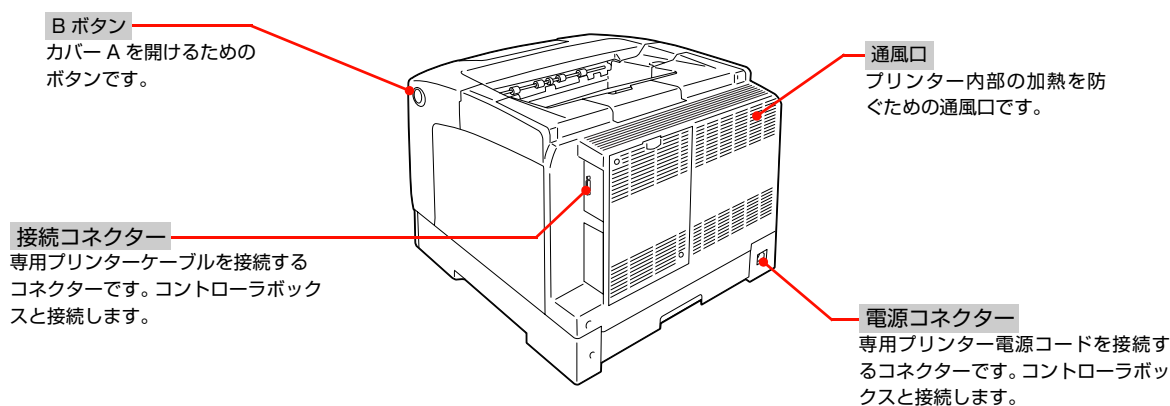
ファクス機能(ファクスモデルのみ)

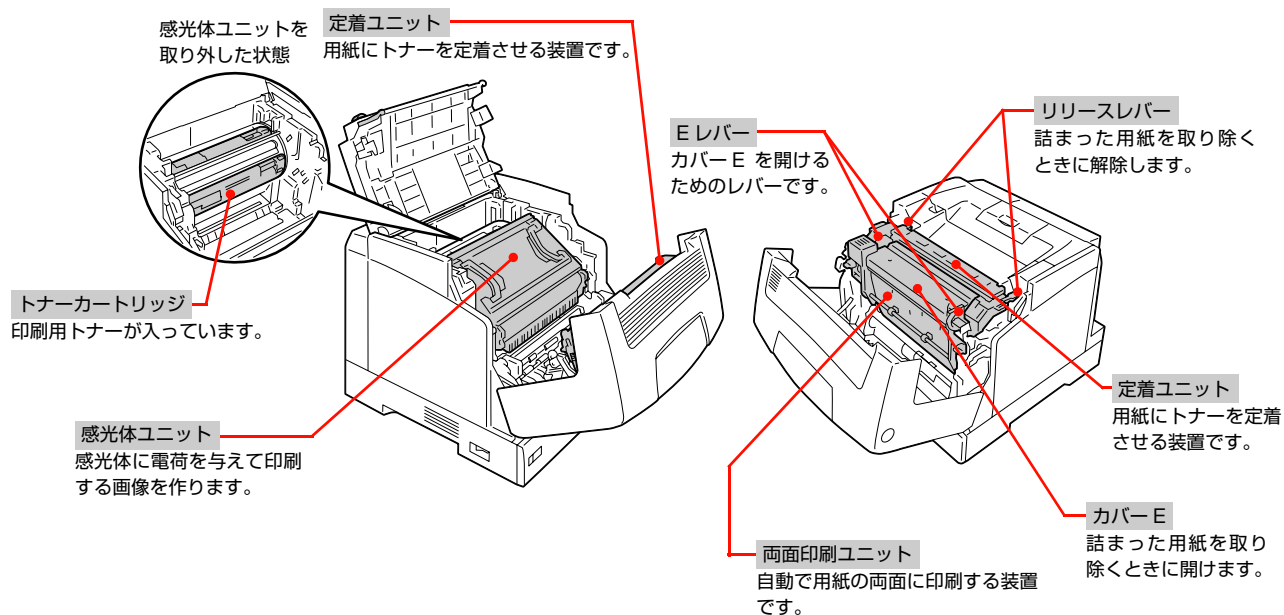
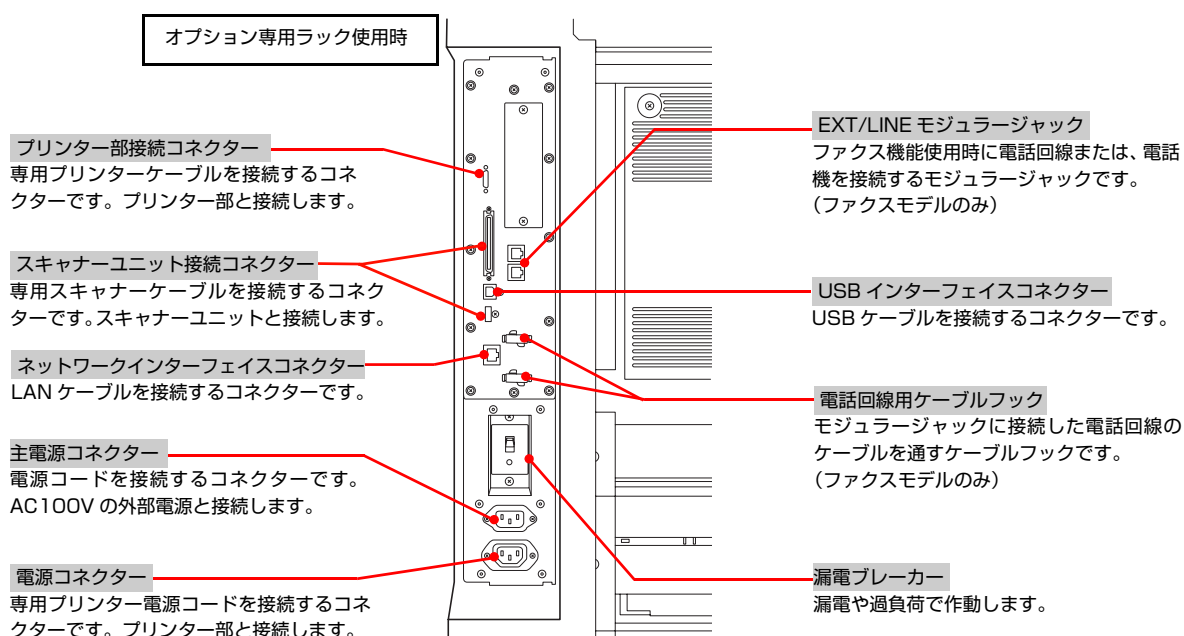
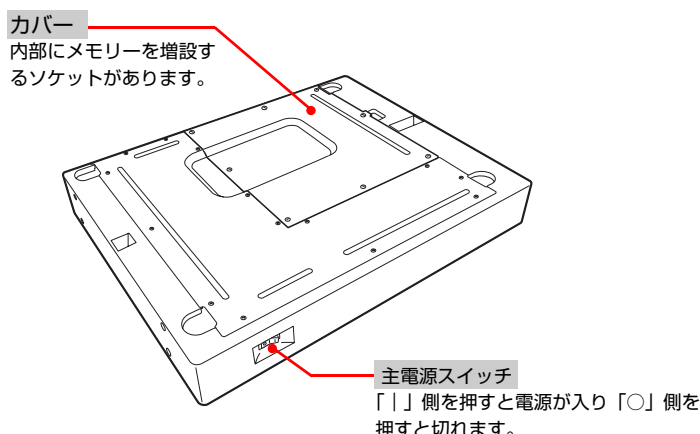
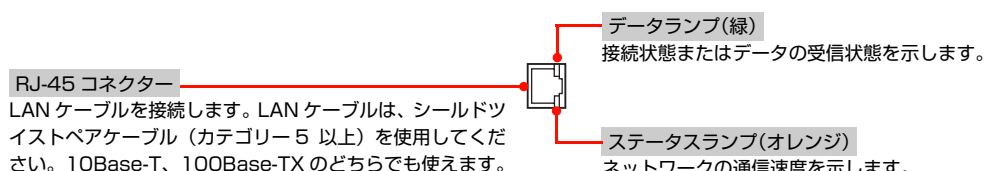
カラー原稿、モノクロ原稿をファクス送信、または受信できます。また、接続しているコンピューターからの操作で送付することや、受信したファクスデータをサーバーの共有フォルダーに保存したり、メールの添付ファイルとして受信できます。

節電機能

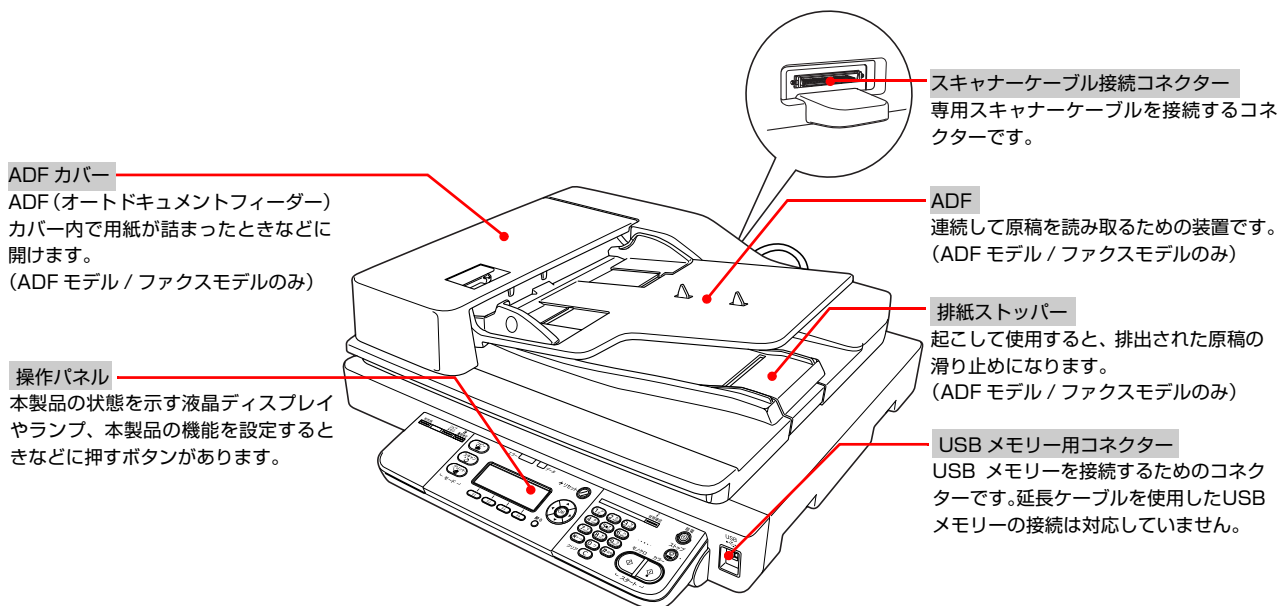
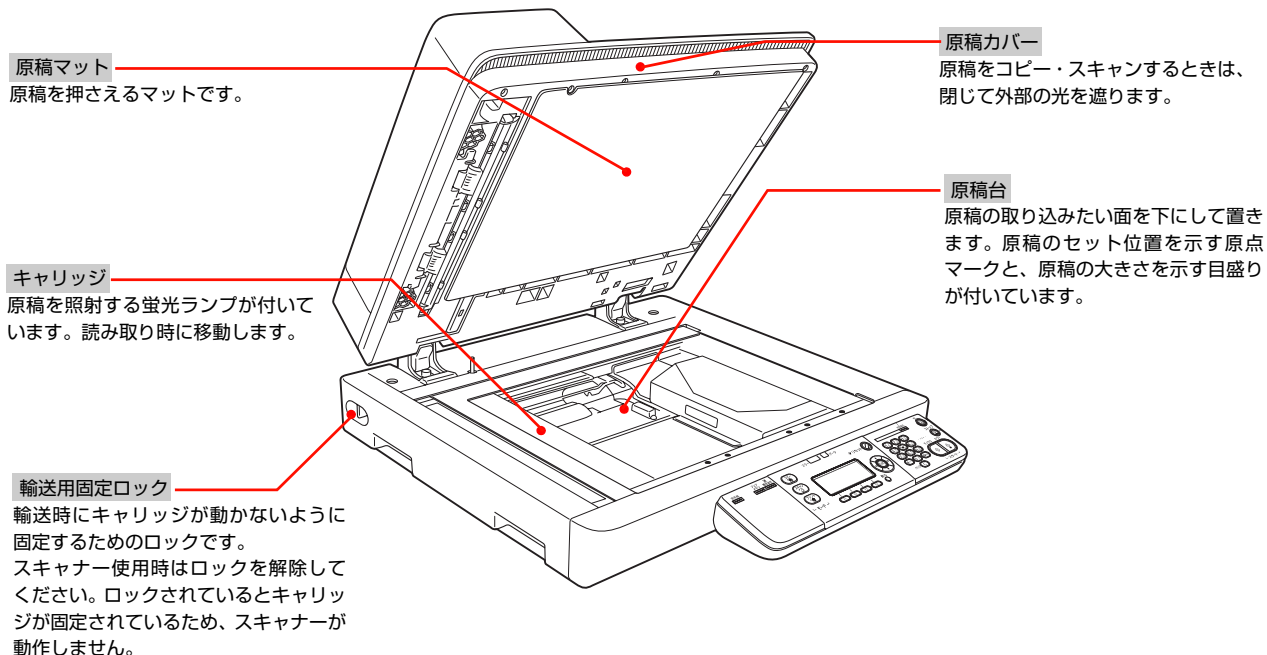
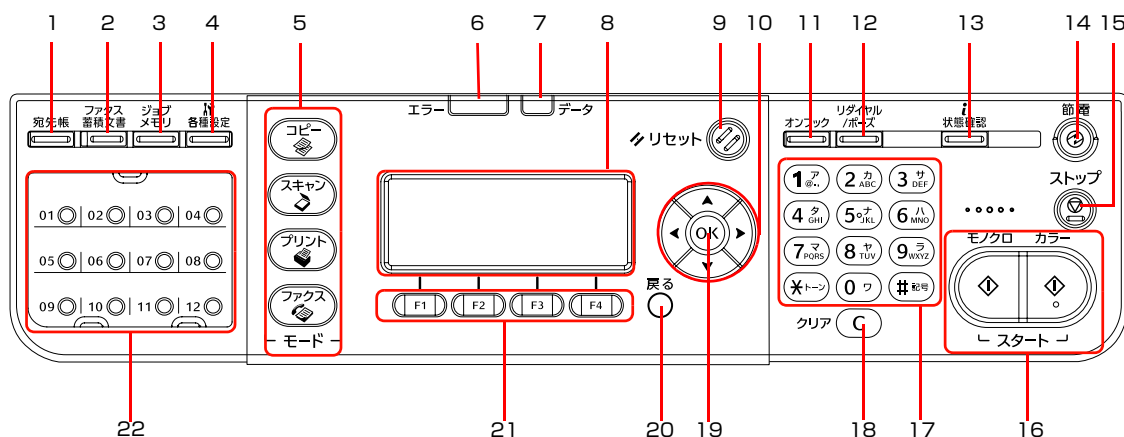
待機時の消費電力を節約する、節電機能があります。【節電】ボタンを押すことで節電に移行 / 復帰します。また、印刷待機時に一定時間が経過すると節電状態になる機能も搭載しています。節電へ移行する時間は「節電移行時間」で設定できます。節電時に本製品のボタンを押すなどの操作をすると節電から復帰します。

☞ 183 ページ「省電力設定」
☞ 14 ページ「操作パネル」
☞ 158 ページ「共通設定の項目一覧」

各部の名称と役割

プリンター部 / 前面・左側面

プリンター部 / 背面・右側面

プリンター部 / 内部

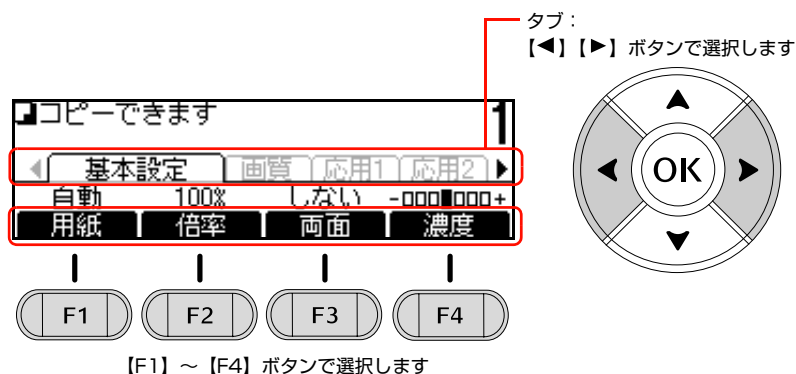
A レバーでカバー A を開け、
排紙トレイを開けた状態
感光体ユニットを
取り外した状態
定着ユニット
用紙にトナーを定着させる装置です。
トナーカートリッジ
印刷用トナーが入っています。
感光体ユニット
感光体に電荷を与えて印刷
する画像を作ります。
B ボタンでカバーA を
開けた状態
E レバー
カバー E を開ける
ためのレバーです。
リリースレバー
詰まった用紙を取り除く
ときに解除します。
定着ユニット
用紙にトナーを定着
させる装置です。
カバー E
詰まった用紙を取り
除くときに開けます。
両面印刷ユニット
自動で用紙の両面に印刷する装置
です。

コントローラボックス

ネットワークインターフェイス

データランプ（緑）	ステータスランプ（オレンジ）	状態
点灯	点灯	100Base-TX で接続されている状態
点滅	点灯	100Base-TX でデータ受信中
点灯	消灯	10Base-T で接続されている状態
点滅	消灯	10Base-T でデータ受信中

スキャナーユニット / 前面・背面

スキャナーユニット / 内部・左側面

操作パネル

1	【宛先帳】ボタン あらかじめ登録されている宛先を呼び出します。	12	【リダイヤル / ポーズ】ボタン * 最後の送付先の番号を呼び出します。 ダイヤル番号入力中は、" − "（ハイフン）を入れます。
2	【ファクス蓄積文書】ボタン / ランプ * 蓄積文書一覧画面を表示させ、現在のファクス送受信の状態を確認します。	13	【状態確認】ボタン 消耗品の使用状況やワーニング表示の状態を確認します。
3	【ジョブメモリ】ボタン コピー、スキャン設定の登録と呼び出しをします。	14	【節電】ボタン / ランプ 節電モードと通常の状態を切り替えます。節電モードにより液晶ディスプレイが消灯しているときにランプが点灯します。
4	【各種設定】ボタン 本製品の設定を変更します。	15	【ストップ】ボタン 実行中の動作を中止します。
5	【モード】ボタン / ランプ コピー / スキャン / プリント / ファクス * モードを切り替えます。選択されているモードのランプが点灯します。	16	【スタート】ボタン カラー：カラーでコピーなど各動作を開始します。 モノクロ：モノクロでコピーなど各動作を開始します。
6	エラーランプ エラーが発生したときに点滅または点灯します。	17	テンキー（ダイヤルボタン） ファクスの送付先番号や、コピー枚数、メールアドレスなどを入力します。
7	データランプ 印刷データが残っているときや処理中に点灯または点滅します。	18	【クリア】ボタン テンキーからの入力をクリアし、標準値に戻します。 宛先指定のときは、宛先をクリアします。
8	液晶ディスプレイ 本製品の状態や、機能の設定値を表示します。	19	【OK】ボタン 設定項目や設定値を確定します。
9	【リセット】ボタン 設定した項目を標準値に戻します。	20	【戻る】ボタン 設定画面の表示を 1 つ前の階層に戻します。
10	【▲】【▼】【◄】【►】ボタン 設定項目や設定値を選択します。	21	【F1】～【F4】ボタン ボタンの位置に対応して表示される機能を選択します。
11	【オンフック】ボタン * 電話回線のオンフックとオフフックを切り替えます。オンフックでは、手動でファクスを送信します。	22	クイックダイヤル * あらかじめ登録したファクス送付先の番号を呼び出します。

* ファクスモデルのみ

液晶ディスプレイの表示

液晶ディスプレイの表示内容は、選択した機能や操作によって異なります。
表示されている機能は、【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンや、【F1】～【F4】ボタンで選択します。

例）コピー機能の基本画面

【F1】～【F4】ボタンに割り当てられる機能は、選択しているモードやタブによって異なります。

モード	タブ	【F1】	【F2】	【F3】	【F4】
コピー	基本設定	用紙	倍率	両面	濃度
	画質設定	カラー原稿	モノクロ原稿	コントラスト	その他
	応用設定 1	割り付け	影消し	とじしろ	ページ連写
	応用設定 2	原稿サイズ	全面コピー	原稿混載 *1	ソート *1
スキャン	（機能選択）	USB メモリ	PC フォルダ	メール	
	基本設定	保存先/メール設定*2	保存形式	解像度	ADF 両面 *1
	ファイル設定	ファイルヘッダ	圧縮率		
	読取設定	原稿画質	濃度	原稿サイズ	
	機能	レポート印刷			
プリント *3	（機能選択）	USB メモリ	パスワード		
ファクス *4	基本設定	原稿サイズ	画質	ADF 両面	濃度
	応用設定	海外送信			
	機能設定	レポート印刷	メモリ使用率	メモリ受信 *5	

*1 標準モデルでは非表示になります。
*2 選択した機能により表示が異なります。なお［USB メモリ］選択時は非表示になります。
*3 選択した機能により表示される設定項目が異なります。
*4 ファクスモデルのみ表示されます。
*5 ［各種設定］－［ファクス設定］－［受信設定］－［メモリ受信］が「する」の場合に表示されます。

ソフトウェアのご案内

ソフトウェアディスク収録のソフトウェア

ソフトウェア名称	説明
EPSON Scan	本製品のスキャナーを使用して、コンピューターに画像を取り込むためのソフトウェアです。
プリンタードライバー	コンピューターから本製品に印刷するために必要なソフトウェアです。
Offirio PC-FAX for MFP （ファクスモデルのみ、かつ Windows のみ）	コンピューターからファクスを送付するPC-FAX機能や、共有フォルダーのファクス受信を通知するソフトウェアです。
操作ガイド（電子マニュアル）（本書） ネットワークガイド（電子マニュアル） EpsonNet Print の使い方（電子マニュアル）	本製品をお使いいただくための情報を説明した、全 3 種類の PDF 形式のマニュアルです。
EPSON ステータスモニタ	コンピューターから本製品の状態を確認できるソフトウェアです。
Epson バーコードフォント Epson TrueType フォント（8 書体） OCR-B TrueType フォント （Windows のみ）	ビジネス文書の作成などに役立つフォントです。
ユーザー登録「MyEPSON」 アシスタント	インターネットを通じてユーザー登録していただくためのソフトウェアです。
EpsonNet Print （Windows のみ）	ネットワークに接続したエプソン製プリンターに Windows から TCP/IP 直接印刷をするためのソフトウェアです。
EpsonNet Config	ネットワークインターフェイスの各種アドレス、プロトコルの詳細設定や、ファクス送信用の短縮ダイヤル、グループ登録を編集するためのソフトウェアです。

印刷できる用紙

本製品で印刷できる用紙と、用紙に関する注意事項などを説明します。用紙サイズ、用紙容量などの詳細は以下を参照してください。
268 ページ「用紙一覧と設定早見表」
特殊紙に関する詳細な情報は以下を参照してください。
27 ページ「印刷方法」

印刷できる用紙の種類

本製品で印刷できる用紙の種類は以下の通りです。これ以外の用紙を使用すると、紙詰まりや故障の原因となります。

エプソン製の用紙

用紙種類 型番（サイズ）	説明
上質普通紙 LPCPPA3（A3） LPCPPA4（A4） LPCPPB4（B4）	普通紙への印刷において、最良の印刷品質を得ることができる用紙です。両面に印刷するときは、用紙の梱包紙の開封面側（包装紙の合わせ目のある側）を先に印刷面として印刷してください。
専用コート紙 LPCCTA3（A3） LPCCTA4（A4）	エプソン専用のコート紙です。光沢のある美しい仕上がりの印刷が可能です。

一般の用紙

用紙種類	説明
上質紙	用紙厚が 81 ～ 105g/m^2 の用紙。
普通紙 / 再生紙	用紙厚が 60 ～ 80g/m^2 の用紙。再生紙は、一般の室温環境下（温度 15 ～ 25 ℃、湿度 40 ～ 60% の環境）以外でご使用になると、印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。また、再生紙は品質のばらつきが大きいため、必ず試し印刷をしてからお使いください。給紙不良や紙詰まりが発生しやすいときは、用紙を裏返したり、給紙ローラーを清掃したりすると症状が改善されることがあります。
郵便ハガキ	用紙厚が 190g/m^2 の郵便ハガキ、往復ハガキ、4 面連刷ハガキ。 往復ハガキは、中央に折り跡のないものをお使いください。
封筒	用紙厚が85g/m^{2}のものをお勧めします。サイズは洋形 0 号、洋形 4 号、洋形 6 号、長形 3 号、角形 2 号。
厚紙	用紙厚が 106 ～ 163g/m^2 の用紙（ケント紙を含む）。
特厚紙	用紙厚が 164～216g/m^2 の用紙。

用紙種類	説明
コート紙	用紙厚が 105 ～ 216g/m^2 のコート紙。
ラベル紙	ページプリンター用またはコピー機用の A4 サイズのラベル紙。台紙全体がラベルで覆われているもの。
OHP シート	ページプリンター用 OHP シート
定形紙以外の用紙	用紙幅 75 ～ 297mm、 用紙長 98.0 ～ 431.8mm。

大量に印刷および用紙を購入するときは、事前に試し印刷をして思い通りの印刷結果になることを確認してください。

印刷できない用紙

以下の用紙には印刷しないでください。

プリンターの故障の原因となる用紙

- インクジェットプリンター用特殊紙（スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、インクジェット用郵便ハガキなど）
- アイロンプリント紙
- 他のモノクロページプリンター、カラーページプリンター、熱転写プリンター、インクジェットプリンターなどのプリンターや、複写機で印刷したプレプリント紙
- 他のプリンターで一度印刷した後の裏紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、酸性紙、和紙
- のり、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- バインダー用の穴が開いている用紙
- 貼り合わせた用紙
- 普通紙や再生紙で紙粉が発生しやすい用紙

給紙不良、紙詰まりを起こしやすい用紙

- 薄すぎる用紙（59g/m^2 以下）、厚すぎる用紙（217g/m^2 以上）
- 濡れている（湿っている）用紙

- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙
- 表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- 折り跡、カール、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- ミシン目のある用紙
- 吸湿して波打ちしている用紙
- 紙粉が発生しやすい用紙

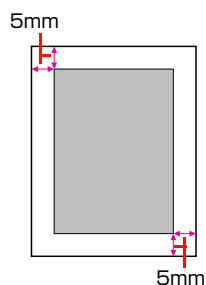
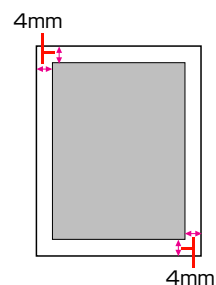
約 198 ℃で変質、変色する用紙

- 表面に特殊コート（またはプレプリント）が施された用紙

印刷できる領域

本製品は機能ごとに印刷保証領域が異なります。

プリンター機能時は用紙の各辺の端から 5mm を除く領域、コピー / ファクス機能時は用紙の各辺の端から 4mm を除く領域です。

またコピー時は、原稿の各端面から 4mm の範囲はコピーされません。ただし、［全面コピー］機能を使用すると、原稿サイズ全体が保証領域内に納まるように、自動的に縮小してコピーします。

アプリケーションソフトによっては印刷領域が上記より小さくなることがあります。

用紙の保管

用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 直射日光を避けて保管してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- ホコリが付かないよう、包装紙などに包んで保管してください。

用紙のセットと排紙

用紙のセット方法と排紙方法を説明します。

用紙のセット方法は以下を参照してください。

☞ 19 ページ「用紙カセット 1 ～ 3 へのセット方法」
☞ 21 ページ「MP トレイへのセット方法」

⚠注意　印刷用紙の端を手でこすらないでください。
用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

!重要
- 印刷中は、用紙カセットを引き出さないでください。
- 用紙カセットを勢いよく押し込まないでください。用紙がずれて、斜め送りや紙詰まりになるおそれがあります。

用紙カセット 1 ～ 3 へのセット方法

用紙カセット 1（標準）、用紙カセット 2 ～ 3（オプション）への用紙のセット方法を説明します。

ここでは、用紙カセット 1 を例に説明します。カセット 2 ～ 3 も同様の手順でセットできます。

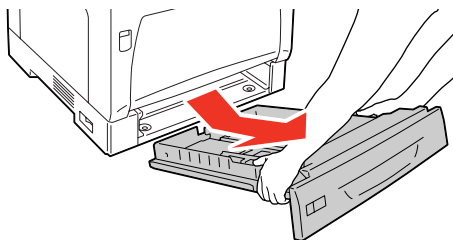
セットできる用紙の詳細は以下を参照してください。

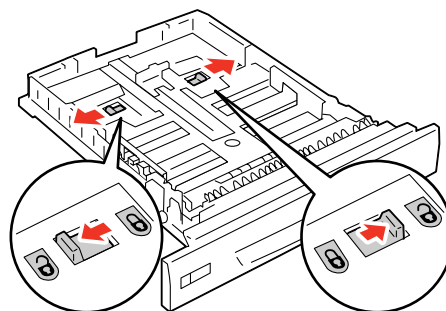
☞ 17 ページ「印刷できる用紙」
☞ 268 ページ「用紙一覧と設定早見表」

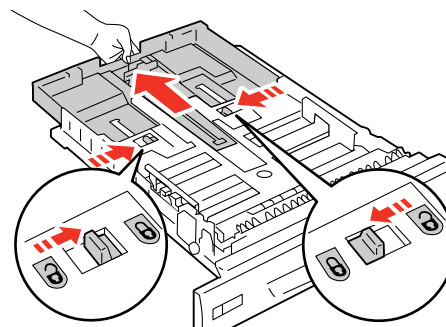
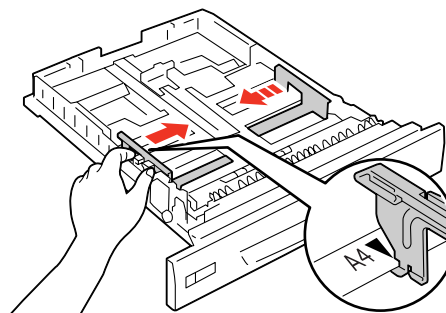
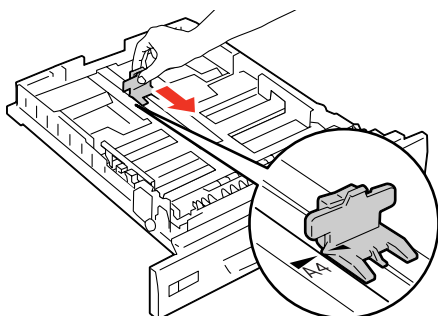
参考
プリンタードライバーには［用紙カセット *］、操作パネルには［カセット *］と表示されます。
* は 1 ～ 3 を表示します。

1 用紙を用意し、セット方向（縦置きまたは横置き）と容量（セット可能枚数）を確認します。

☞ 268 ページ「用紙一覧と設定早見表」

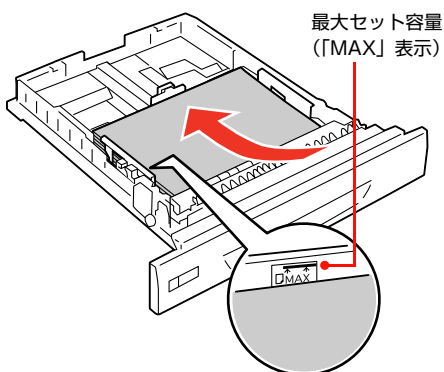
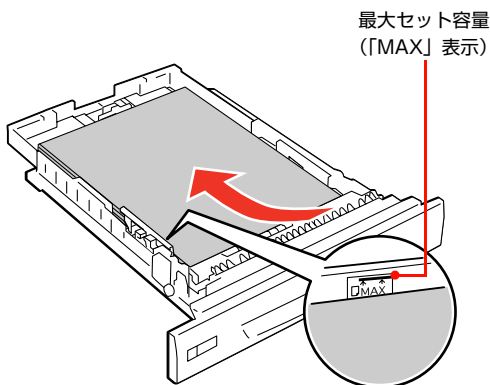
2 用紙カセットを引き抜きます。

A3、B4、Ledger（B）、Lega l （LGL）をセットする場合は 3 に進みます。
上記以外の用紙をセットする場合は 5 に進みます。

3 左右の突起を外側にずらしてロックを解除します。

4 カチッと音がするまで、用紙カセットを引き伸ばします。

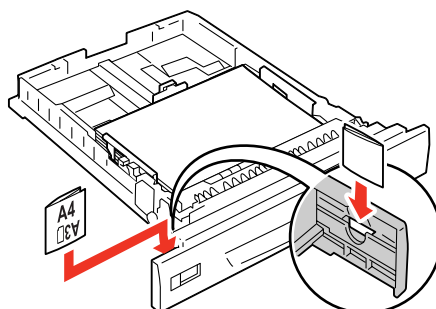
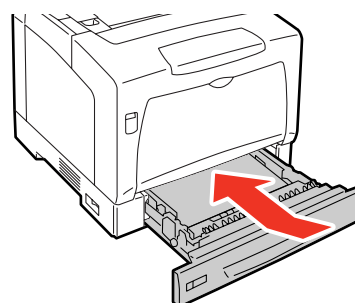
自動的にロックが掛かります。

5 用紙ガイド（左右）のツマミをつまんで、セットする用紙のサイズに合わせます。

6 用紙ガイド（後）のツマミをつまんで、セットする用紙のサイズに合わせます。

！重要

- 用紙ガイドは、セットする用紙のサイズに合わせてください。用紙サイズに合っていないと、給紙不良や紙詰まり、エラーの原因となります。
- 用紙カセットの用紙サイズは、表示だけで、操作パネル上で設定の変更はできません。用紙カセットの用紙ガイドを用紙サイズに合わせてセットしてください。

7 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にしてセットします。

横置きの例（A4、B5 など）

縦置きの例（A3、B4 など）

！重要

最大セット容量を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できないことがあります。

8 セットした用紙のサイズに合わせて、用紙サイズラベルをセットします。

9 用紙カセットをプリンターにセットします。

10 操作パネルの［各種設定］－［プリンタ設定］－［給紙装置設定］で、［カセット＊タイプ］を設定します。

＊は 1 ～ 3 を表示します。

操作パネルの使い方の概要は以下を参照してください。

156 ページ「操作パネルによる設定 / 確認」

！重要

用紙タイプが正しく設定されていないと、印刷不良の原因となります。

Windows で、プリンタードライバーの［用紙種類］－［トレイ・カセット用紙タイプ］を選択して印刷するときは、操作パネルでカセットタイプの設定が必要です。

以上で終了です。

MP トレイへのセット方法

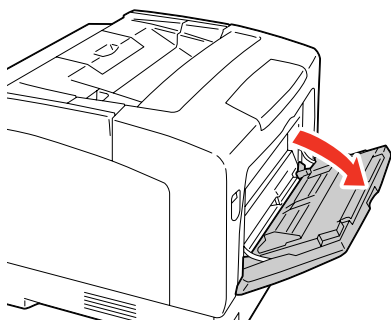
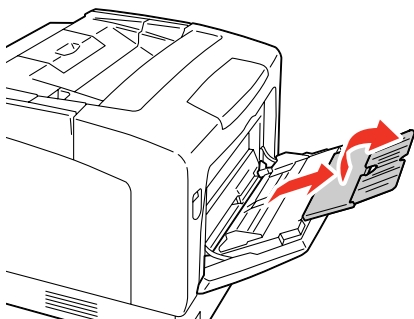
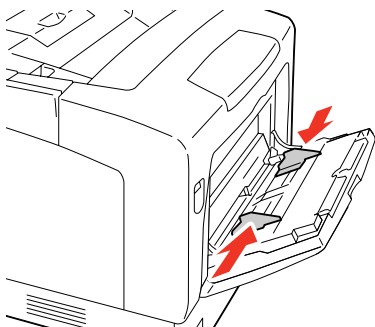
MP トレイ（マルチパーパストレイ）への用紙のセット方法を説明します。MP トレイには、本製品で印刷可能なすべての用紙がセットできます。

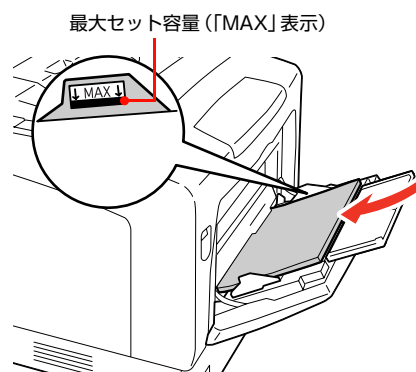
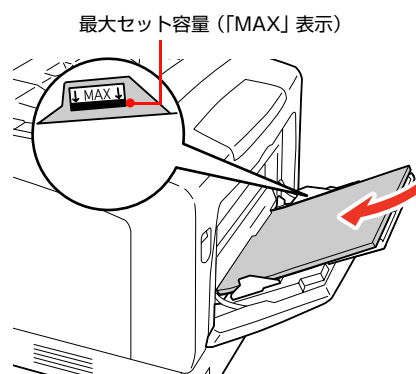
セットできる用紙の詳細は以下を参照してください。

☞ 17 ページ「印刷できる用紙」
☞ 268 ページ「用紙一覧と設定早見表」

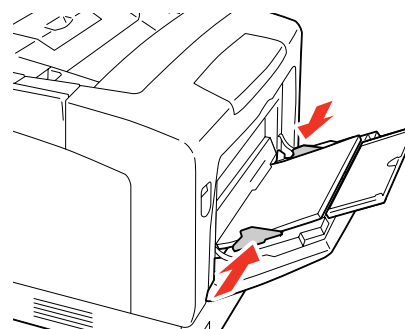
1 用紙を用意し、セット方向（縦置きまたは横置き）と容量（セット可能枚数）を確認します。

☞ 268 ページ「用紙一覧と設定早見表」

2 MP トレイを開けます。

長い用紙をセットするときは、延長トレイを引き出します。

3 用紙ガイドを、セットする用紙のサイズに合わせます。

4 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下にしてセットします。

横置きの例（A4、B5 など）

縦置きの例（A3、B4 など）

！重要

- 用紙ガイド内側の最大セット容量表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できないことがあります。
- コート紙は 1 枚ずつセットして印刷してください。

5 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。

！重要

用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、給紙不良や紙詰まり、エラーの原因となります。

6 **操作パネルの［各種設定］－［プリンタ設定］－［給紙装置設定］で、［MP トレイサイズ］と［MP トレイタイプ］を設定します。**

操作パネルの使い方の概要は以下を参照してください。

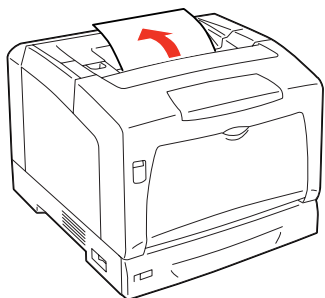
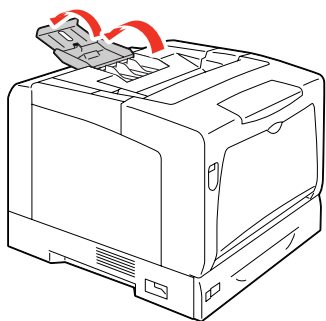
☞ 156 ページ「操作パネルによる設定 / 確認」

> **！重要**
>
> 用紙タイプが正しく設定されていないと、印刷不良の原因となります。

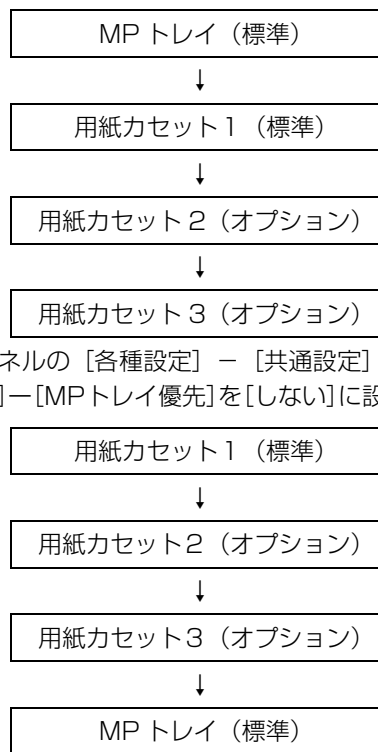
> **参考**
>
> Windows で、プリンタードライバーの［用紙種類］－［トレイ・カセット用紙タイプ］を選択して印刷するときは、操作パネルでカセットタイプの設定が必要です。

以上で終了です。

排紙

印刷された用紙は、印刷面を裏（フェイスダウン）にして排紙トレイに排出されます。A4 サイズの普通紙（用紙厚 64g/m^2）で 250 枚まで排紙（保持）できます。

A3 など大きいサイズの用紙を印刷するときは、図のように排紙サポートを起こしてください。

給紙装置の優先順位

プリンタードライバーで［給紙装置］を［自動選択］に設定すると、［用紙サイズ］で設定した用紙がセットされている給紙装置が自動選択されます。同じサイズの用紙が複数の給紙装置にセットされているときは、以下の優先順位に従って給紙されます。

- 操作パネルの［各種設定］－［共通設定］－［デバイス設定］－［MP トレイ優先］を［する］（初期値）に設定したとき

- 操作パネルの［各種設定］－［共通設定］－［デバイス設定］－［MP トレイ優先］を［しない］に設定したとき

操作パネルの使い方の概要は以下を参照してください。

☞ 156 ページ「操作パネルによる設定 / 確認」

> **参考**
>
> 初めの給紙装置の用紙がなくなると、次の給紙装置に自動的に切り替わります。例えば A4 の普通紙（用紙厚 64g/m^2）を、オプションを含むすべての給紙装置にセットすると、最大 1835 枚の連続印刷が可能です。

セットできる原稿

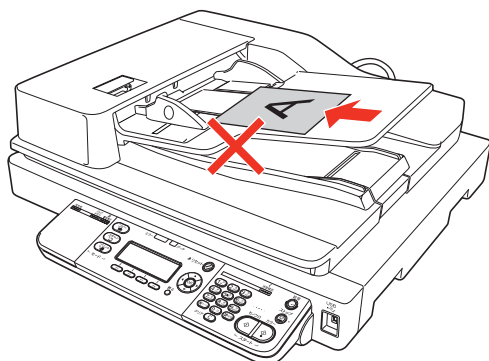
本製品でコピー / スキャンやファクス送信できる原稿の詳細と、原稿に関する注意事項などを説明します。

セットできる原稿サイズ

原稿台にセットできる原稿サイズは最大で 297mm × 432mm です。

原稿台にセットして自動検知可能なサイズやADFにセット可能なサイズは、機能ごと以下のようになります。

機能		セット（自動検知）できる原稿
コピー		A3、B4、A4 横、A4 縦、B5 横、B5 縦、A5 横 *1、A5 縦
ファクス	カラー送信	A3、B4、A4 横 *2、B5 横 *2、A5 縦、A5 横 *1
	モノクロ送信	A3、B4、A4 横、A4 縦、B5 横、B5 縦、A5 横 *1、A5 縦
スキャン		A3、B4、A4 横、A4 縦、B5 横、B5 縦、A5 横 *1、A5 縦

*1 ADF の給紙口側に短辺が差し込まれるようにセットできません。

*2 原稿台または ADF に A4 縦、B5 縦（長辺が差し込まれる向き）でセットして送信するとエラーになります。

次の用紙は、原稿サイズが正しく自動検知されない場合があります。

- 折り目、反り（カール）、しわ、破れのある用紙（原稿が反っている場合は、反りを直してセットしてください）
- ルーズリーフの多穴原稿
- 透明紙（OHP シートなど）、半透明紙、光沢紙

参考

原稿サイズが自動検出されない場合は、操作パネルで原稿サイズを設定できます。

☞ 57 ページ「原稿サイズの設定」（コピー）
☞ 64 ページ「基本的な送信（自動送信）」（ファクス）
☞ 83 ページ「操作パネルでスキャン」（スキャン）

ADF にセットできる原稿種類

ADF にセットできる用紙は次の通りです。

紙質	普通紙、上質紙、リサイクル紙、ページプリンター専用紙、インクジェットプリンター専用紙
セット可能枚数	100 枚（A4：80g/m^2） （用紙ガイドの目盛りを超えてセットしないこと）
紙厚（坪量）	52 ～ 105g/m^2

次の用紙は、ADF では使用しないでください。給紙不良または ADF の故障などの原因になります。

- 折り目、反り（カール）、しわ、破れのある用紙（原稿が反っている場合は、反りを直してセットしてください）
- のり、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- 貼り合わせ、ラベル紙（裏面のり付）
- ルーズリーフの多穴原稿
- とじのある用紙（製本物）
- 裏カーボンのある用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 透明紙（OHP シートなど）、半透明紙、光沢紙
- シールなどが貼ってある原稿
- 劣化した原稿

セットする原稿の向き

天 / 地

原稿を左向きでセットするとき、原稿の「天 / 地」は以下の表を参照してください。

	説明	原稿をセットする向き
原稿台 / ADF	左側に「天」がくるように原稿台に原稿をセットしてください。	天 A 地

A4 以上の原稿で「天 / 地」を合わせられない場合は、一旦、TIFFもしくはJPEG形式でスキャンしてからアプリケーションソフトで回転させてください。

上向き / 左向き

コピー機能の両面 / 割り付け / とじしろ設定時、スキャン機能の両面設定時は、セットした原稿の天地を［原稿方向］で設定します。

設定	説明	原稿の向き
上向き	原稿の天地が縦置きになるようにセットした場合。	A
左向き	原稿の天地が横置きになるようにセットした場合。	A

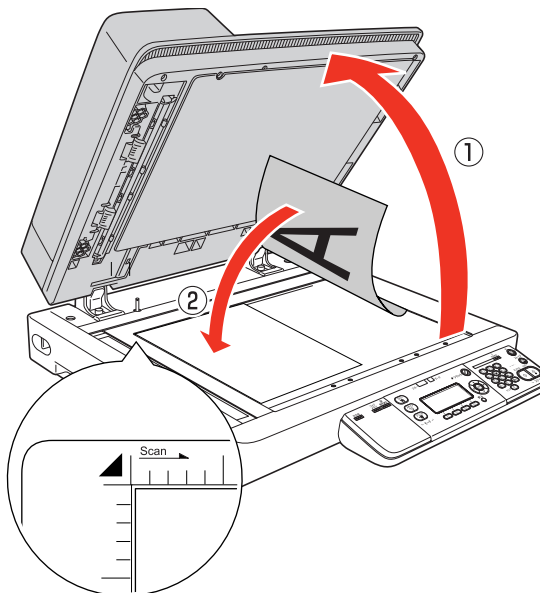
原稿のセット

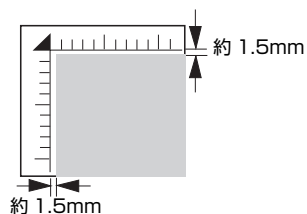
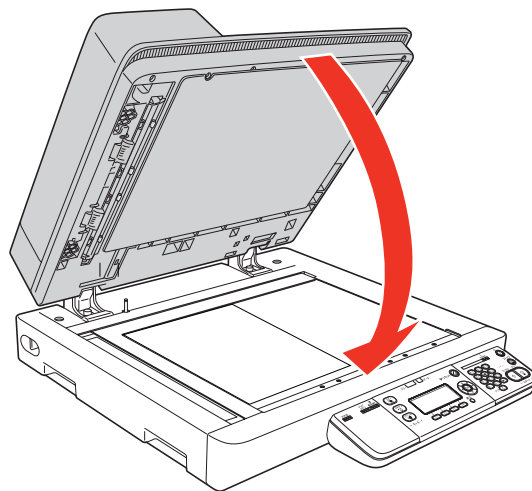
原稿台へのセット

原稿台には、最大 A3 サイズまでの原稿がセットできます。

!重要

- 写真などの原稿を原稿台の上にセットしたまま、長時間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。
- 取り込み面が平らな原稿を使用してください。取り込み面がゆがんでいると、取り込んだイメージもゆがみます。

1 **原稿カバーを開け、原稿の取り込む面を下に向け、原稿台にセットします。**
A4、B5、A5、ハガキサイズは縦、横どちらでもセットできます。

参考

- 原稿カバーは上図のように、しっかりと開けてください。
- 用紙をセットする前に、ADF に原稿がないことを確認してください。原稿台に原稿をセットしても、ADF に原稿がセットされていると、ADF の原稿を読み取ります。
- 原稿台の上端から最大 1.5mm、左端から 1.5mm の範囲はスキャンできません。

2 **原稿カバーを閉じます。**
原稿カバーに指を挟まないよう注意しながら、原稿が動かないように、ゆっくり閉じてください。

!重要

- 原稿カバーは、途中で止まるようにできています。ただし、原稿カバーの角度が浅いと止まりません。また、勢いよく閉じると止まらないことがあるのでご注意ください。
- 原稿台や原稿カバーに強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。
- 原稿を強く押さえ付けないでください。強く押さえ付けると、スキャンした画像にシミやムラ、斑点が出ることがあります。

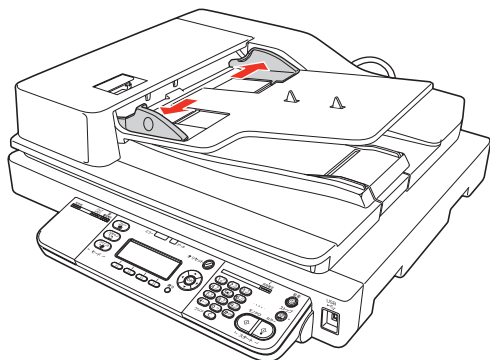
以上で終了です。

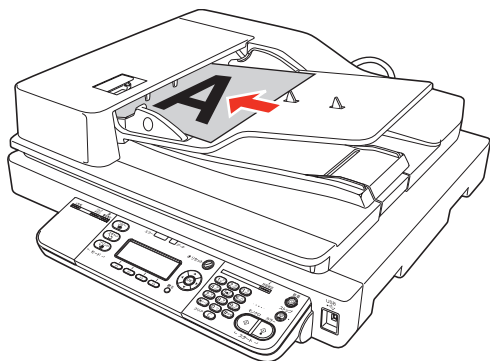
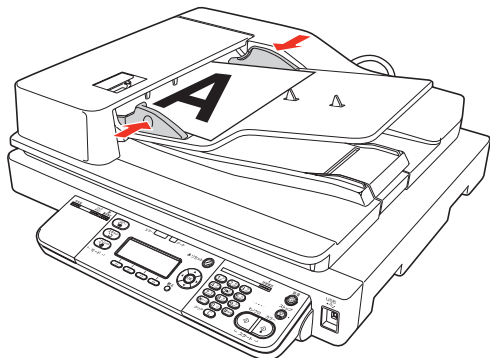
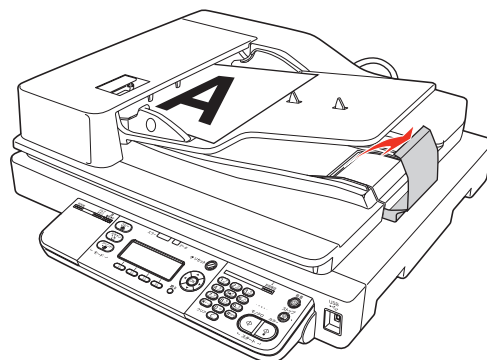
ADFへのセット

最大A3サイズまでの定形紙の原稿がセットできます。

写真原稿など特に貴重な原稿は、カールなどで原稿を傷めるおそれがありますのでセットしないでください。

用紙をセットする前に、原稿台に原稿がないことを確認してください。

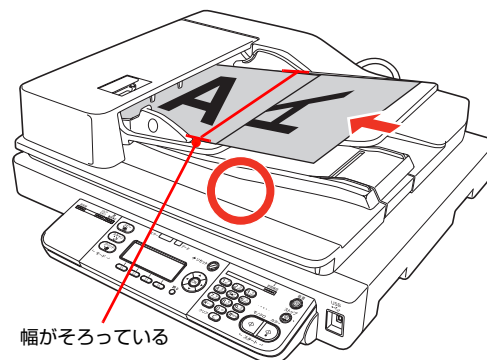
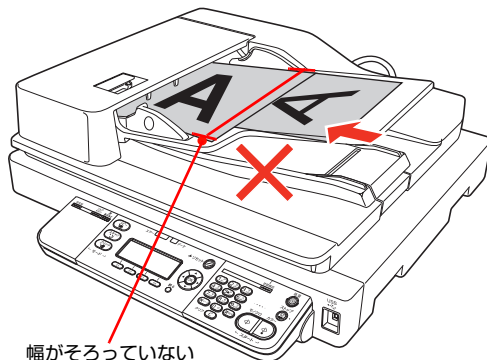
1　用紙ガイドをセットする原稿サイズの目盛りの位置まで広げます。

2　原稿をセットします。

原稿のスキャンする面を上にして、奥に突き当たるまで差し込みます。
A5サイズは縦方向にセットします。
A4、B5 サイズは、縦、横どちらでもセットできます（ファクスでカラー送信する場合は横方向のみになります）。
複数枚の原稿をセットしたときは、上から給紙されます。

3　用紙ガイドを原稿の側面に合わせます。

4　排紙ストッパーを開きます。

原稿を継ぎ足してセットしないでください。継ぎ足してセットすると紙詰まりの原因になります。

参考
スキャンされた原稿は、ADF 下段の排紙トレイに排出されます。

以上で終了です。

異なるサイズの原稿セット方法

原稿の幅がそろうようにセットしてください。A4サイズとB5サイズなど、原稿の幅がそろっていないと、原稿が傾いたり、サイズを正しく認識できません。

印刷方法

コンピューターを使わずに USB メモリーから直接印刷する方法や、プリンタードライバーの便利な機能について説明します。

USB メモリーからの直接印刷

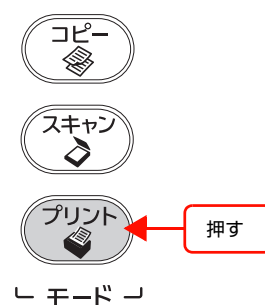
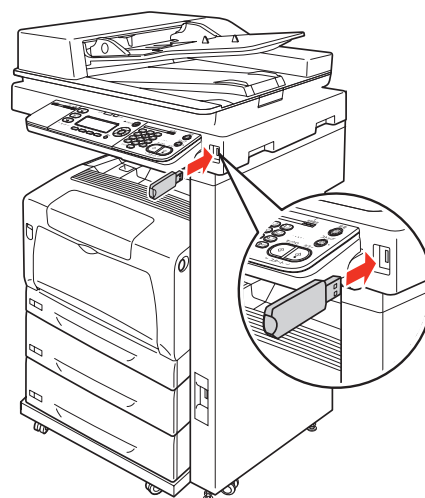
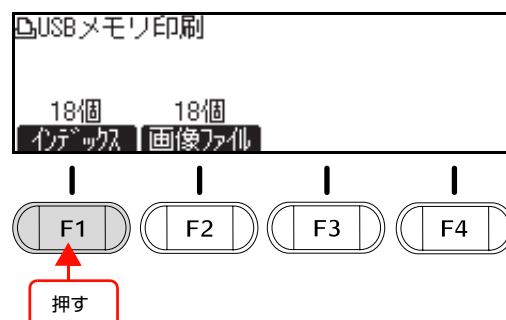
本製品に USB メモリー（USB フラッシュメモリーなどのデバイス）を接続すると、コンピューターを介さずに本製品から直接印刷できます。

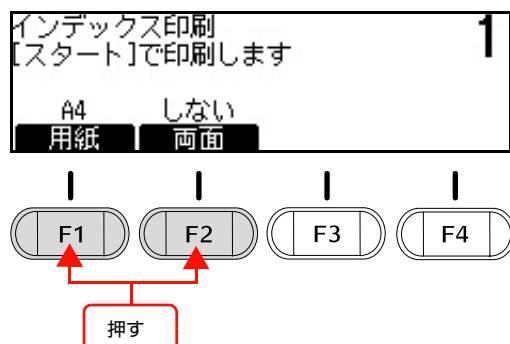
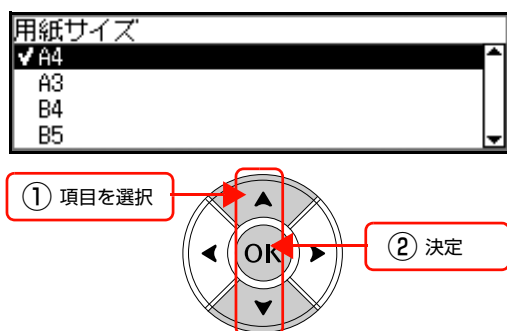
USB メモリーに保存されているファイルが多いと、読み込みに時間がかかることがあります。

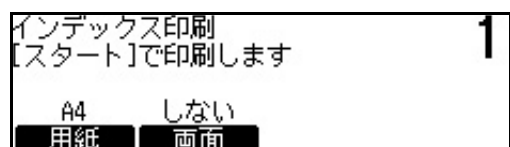
- インデックス印刷
  USB メモリーに保存されている JPEG/TIFF 形式のファイルの一覧を印刷します。
  ☞ 次項「インデックス印刷」

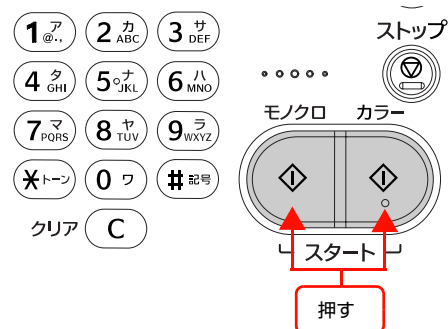
- 画像ファイル印刷
  USB メモリーに保存されている JPEG、TIFF 形式の画像を印刷します。
  ☞ 29 ページ「画像ファイル印刷」

インデックス印刷

1 **【プリント】ボタンを押します。**
プリントランプが点灯して、プリントモードになります。

2 **画像ファイル（JPEG/TIFF 形式）を保存した USB メモリーを、本製品の USB メモリー用コネクターに取り付けます。**

3 **［インデックス］に対応する【F1】ボタンを押します。**

4 **必要に応じて印刷設定（用紙サイズ、両面印刷）を変更します。**

①【F1】（用紙サイズ）または【F2】（両面印刷）ボタンを押して設定項目を選択します。
設定項目が有効になり、設定値の階層へ進みます。

②【▲】または【▼】ボタンを押して設定値を選択して、【OK】ボタンを押して決定します。
【OK】ボタンを押すと①の画面に戻ります。

設定項目	設定値
用紙	印刷時の用紙サイズを設定します。 A4（初期設定）、A3、B4、B5
両面	• しない（片面印刷）（初期設定）： 片面印刷します。 • 両面長辺とじ： 長辺をとじるように両面印刷します。 • 両面短辺とじ： 短辺をとじるように両面印刷します。

5 **必要に応じてテンキーで印刷部数を設定します。**

6 **【カラー】または【モノクロ】ボタンを押して、印刷を開始します。**

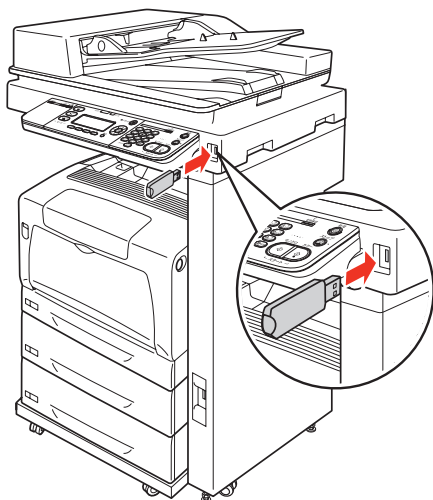
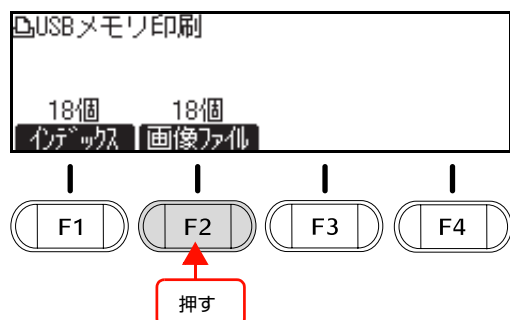
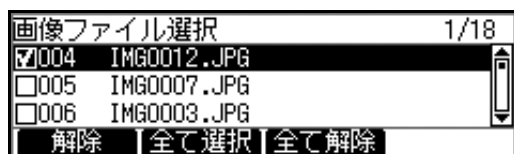
【カラー】ボタンを押すとカラーで印刷、【モノクロ】ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

7 **印刷が終了したら、USB メモリーを本製品から取り外します。**

> **！重要**
> 印刷が終了したことを確認してからUSBメモリーを取り外してください。印刷終了前に取り外すと、正しく印刷されないことがあります。

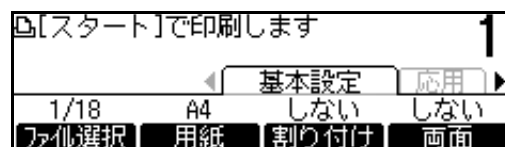
以上で終了です。

画像ファイル印刷

1 **【プリント】ボタンを押します。**
プリントランプが点灯して、プリントモードになります。

2 **画像ファイル（JPEG または TIFF 形式）を保存した USB メモリーを、本製品の USB メモリー用コネクターに取り付けます。**

3 **［画像ファイル］に対応する【F2】ボタンを押します。**

4 **印刷するファイルを選択します。**
① 【▲】または【▼】ボタンを押して印刷したいファイル名を選択して、【F1】ボタンで決定します。

② 印刷するファイルが複数ある場合は、①の操作を繰り返します。
③ 印刷するファイルを選択し終えたら、【OK】ボタンを押して確定します。

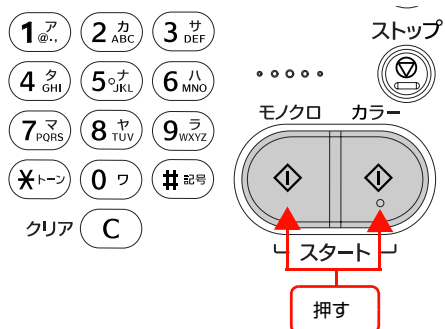
参考
- 選択したファイルを解除するには、【F1】ボタンを再度押します。
- ［全て選択］に対応する【F2】ボタンを押すと、USB メモリー内のすべての画像データを選択します。
- ［全て解除］に対応する【F3】ボタンを押すと、選択したファイルをすべて解除します。

5 **必要に応じて印刷設定（用紙サイズ、割り付け、両面印刷、ファイル名）を変更します。**
① 【◀】または【▶】ボタンを押して設定項目のタブを選択します。
タブは［基本設定］と［応用設定］が選択できます。
② 【F1】～【F4】ボタンを押して設定項目を選択します。
ファイル選択：［基本設定］タブの【F1】
用紙サイズ：［基本設定］タブの【F2】
割り付け：［基本設定］タブの【F3】
両面印刷：［基本設定］タブの【F4】
ファイル名：［応用設定］タブの【F1】
設定項目が有効になり、設定値の階層へ進みます。

③ 【▲】または【▼】ボタンを押して設定値を選択して、【OK】ボタンを押して決定します。
【OK】ボタンを押すと②の画面に戻ります。

設定項目	設定値
用紙	印刷時の用紙サイズを設定します。 A4（初期設定）、A3、B4、B5
割り付け	• しない（初期設定）： 割り付け印刷しません。 • 2 面： 1 ページに 2 面割り付け印刷します。 • 4 面： 1 ページに 4 面割り付け印刷します。 • 8 面： 1 ページに 8 面割り付け印刷します。
両面	• しない（片面印刷）（初期設定）： 片面印刷します。 • 両面長辺とじ： 長辺をとじるように両面印刷します。 • 両面短辺とじ： 短辺をとじるように両面印刷します。
ファイル名	• つける（初期設定）： ファイル名を印刷します。 • つけない： ファイル名を印刷しません。

6 **必要に応じてテンキーで印刷部数を設定します。**

7 **【カラー】または【モノクロ】ボタンを押して、印刷を開始します。**

【カラー】ボタンを押すとカラーで印刷、【モノクロ】ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

8 **印刷が終了したら、USB メモリーを本製品から取り外します。**

> **！重要**
> 印刷が終了したことを確認してからUSB メモリーを取り外してください。印刷終了前に取り外すと、正しく印刷されないことがあります。

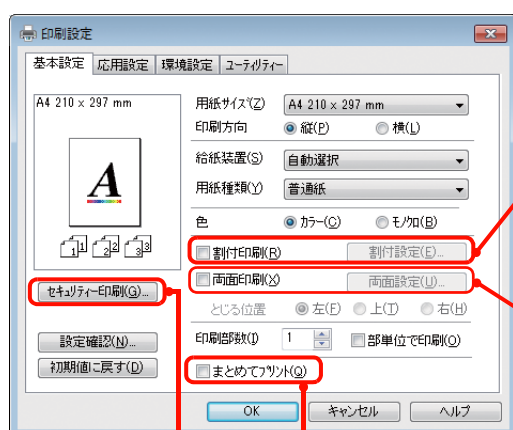
以上で終了です。

プリンタードライバーの便利な印刷機能

プリンタードライバーで、さまざまな便利な設定ができます（画面は Windows の例）。

設定手順の詳細は以下を参照してください。

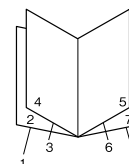
☞ Windows：92 ページ「プリンタードライバーの使い方」
☞ Mac OS X：117 ページ「プリンタードライバーの使い方」

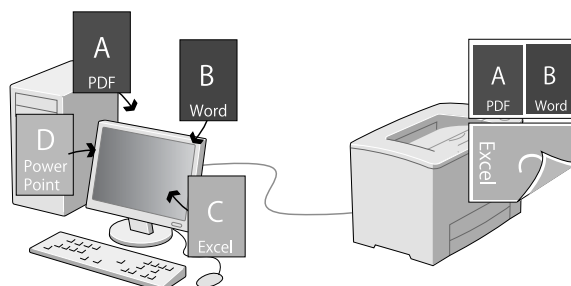
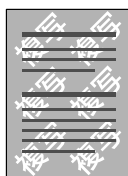
[基本設定]画面

割付印刷

２ページまたは４ページを１ページに割り付けます。

割付印刷 ＋ 両面印刷

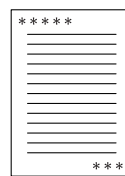
両面印刷

製本印刷

異なるデータを 1 つにまとめて印刷

異なるアプリケーションで作成した複数のドキュメントを 1 回にまとめて印刷できます。

透かし印刷

不正コピーの抑制などに役立ちます。

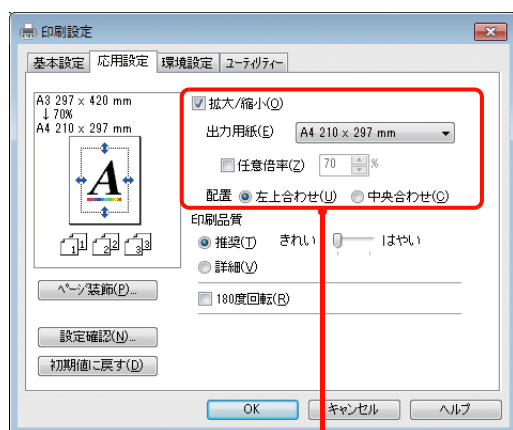
スタンプマーク

テキストやビットマップのオリジナルのマークも登録できます。

ヘッダー / フッター

ユーザー名、日付、時刻、部番号などが設定できます。

パスワード印刷

プリンタードライバーでパスワードを設定し、プリンターの操作パネルで設定したパスワードを入力すると印刷されます。

[応用設定]画面

さまざまな用紙に対応

以下のような用紙に対応しています。

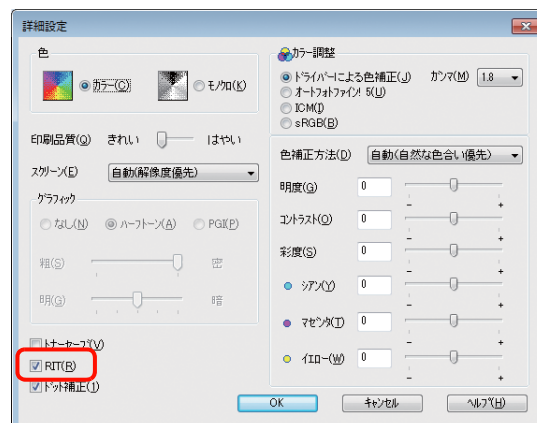
☞ 17 ページ「印刷できる用紙」

- ハガキから A3 までの定形紙のほか、最大幅 297mm、長さ 431.8mm までの用紙に対応
- 封筒やラベル紙などの特殊な用紙にも対応

省資源機能

- トナーの消費量を抑える「トナーセーブ」機能を搭載しています。印刷品質は低下しますが、用途に合わせて経済的にお使いいただけます。
  ☞ プリンタードライバーヘルプ
- 印刷待機時に一定時間が経過すると節電状態になる節電モードを搭載しています。
  ☞ 158 ページ「共通設定の項目一覧」
- 両面印刷機能、割付印刷機能、縮小印刷機能、まとめて印刷機能の使用により、印刷用紙の使用枚数や用紙コストを削減できます。
  ☞ 31 ページ「プリンタードライバーの便利な印刷機能」

エプソン独自の高画質技術

エプソン独自の技術により、高画質印刷を実現します。画面の表示方法は、プリンタードライバーヘルプをご覧ください。

RIT(Resolution Improvement Technology)

文字の輪郭や曲線などがギザギザにならず、なめらかに印刷できます。

基本的な印刷手順

用紙を用意します。
本製品で印刷できる用紙は以下を参照してください。
☞ 27 ページ「印刷方法」
☞ 268 ページ「用紙一覧と設定早見表」①②③

用紙をセットします。
各用紙のセット方向の一覧は以下を参照してください。
☞ 268 ページ「用紙一覧と設定早見表」④⑤
用紙のセット方法の詳細は以下を参照してください。
☞ 19 ページ「用紙のセットと排紙」

操作パネルで必要な設定をします。
用紙によって必要な設定項目が異なります。設定の要否と設定値は以下を参照してください。
☞ 268 ページ「用紙一覧と設定早見表」⑥
操作パネルの使い方の概要は以下を参照してください。
☞ 156 ページ「操作パネルによる設定 / 確認」

プリンタードライバーで必要な設定をして、印刷を実行します。
設定項目の一覧は以下を参照してください。
☞ 268 ページ「用紙一覧と設定早見表」⑦
設定方法は以下を参照してください。
☞ Windows：92 ページ「Windows での使い方」
☞ Mac OS X：117 ページ「Mac OS X での使い方」

以上で終了です。

ハガキや厚紙などの特殊な用紙への印刷方法を説明します。
☞ 33 ページ「ハガキへの印刷」
☞ 34 ページ「封筒への印刷」
☞ 35 ページ「コート紙への印刷」
☞ 36 ページ「厚紙への印刷」
☞ 36 ページ「ラベル紙への印刷」
☞ 37 ページ「OHP シートへの印刷」
☞ 37 ページ「定形紙以外の用紙への印刷」

印刷できる用紙の詳細は以下を参照してください。
☞ 27 ページ「印刷方法」

- 特殊紙への印刷速度は、普通紙への印刷に比べて遅くなります。これは、特殊紙への良好な印刷を行うために、プリンター内部で印刷速度を調整しているためです。
- 大量に印刷および用紙を購入するときは、事前に試し印刷をして思い通りの印刷結果になることを確認してください。

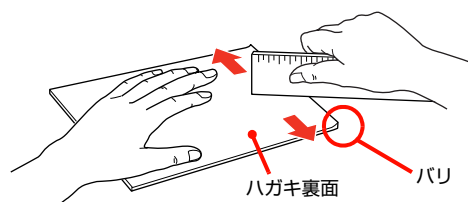
ハガキへの印刷

ハガキに印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

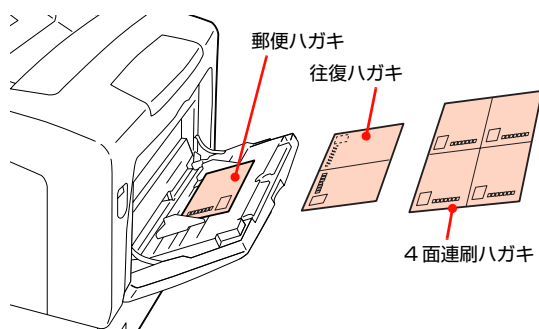
ハガキに関するご注意

- 以下のハガキには印刷しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。
  - ・インクジェットプリンター用の専用ハガキ
  - ・表面に特殊コート、のり付けが施されたハガキ、圧着ハガキ
  - ・ほかのプリンターやコピー機で一度印刷したハガキ
  - ・私製ハガキ、絵ハガキ
  - ・箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ
  - ・中央に折り跡のある往復ハガキ
- 大きく反っているハガキは、反りを修正してからお使いください。
- 絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラーに付着して給紙できなくなることがあります。

給紙 / 印刷のポイント

- 両面に印刷するときは、良好な印刷結果を得るために、きれいに印刷したい面を先に印刷してください。
- 設定した位置に印刷されなかったり、用紙が二重送りされてしまうときは、用紙を 1 枚ずつセットして印刷してください。
- ハガキの先端を MP トレイの奥までしっかりセットしても給紙されないときは、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- ハガキの断面に、裁断時にできた「バリ」があるときは、除去してください。ハガキを水平な場所に置き、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に 1 ～ 2 回こすると除去できます。また、バリを除去した後は、紙粉をよく払ってから給紙してください。紙粉は給紙不良の原因となります。

印刷手順

1 **MP トレイにハガキをセットします。**
セット方法は、下表と図を参照してください。

セット枚数	75 枚または総厚 17.5mm まで（MP トレイのみ）
印刷面	印刷する面を下にしてセット

2 **操作パネルで、印刷するハガキのサイズを設定します。**
［各種設定］－［プリンタ設定］－［給紙装置設定］－［MP トレイサイズ］で、［はがき］、［往復はがき］、［4 面連刷はがき］のいずれかを選択してください。
 156 ページ「操作パネルによる設定 / 確認」

3 **下表を参照してプリンタードライバーの設定をし、印刷を実行します。**

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	ハガキ 100 × 148mm 往復ハガキ 148 × 200mm 4 連ハガキ 200 × 296mm
		給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	ハガキ（1 面目） ハガキ（2 面目）*
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	ハガキ 往復ハガキ 4 連ハガキ
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	ハガキ（1 面目） ハガキ（2 面目）*

* 片面印刷後さらにもう一方の面に印刷するときは、［用紙種類］を［ハガキ（2 面目）］に設定してください。

Windows：92 ページ「プリンタードライバーの使い方」
Mac OS X：117ページ「プリンタードライバーの使い方」

以上で終了です。

封筒への印刷

封筒に印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

封筒に関するご注意

- 以下の封筒には印刷しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。
  - ・封の部分にのり付け加工が施されている封筒
  - ・箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒
  - ・リボン、フックなどが付いている封筒
  - ・ほかのプリンターやコピー機で一度印刷した封筒
  - ・二重封筒
  - ・窓付きの封筒
- 封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つことがありますので、事前に試し印刷することをお勧めします。

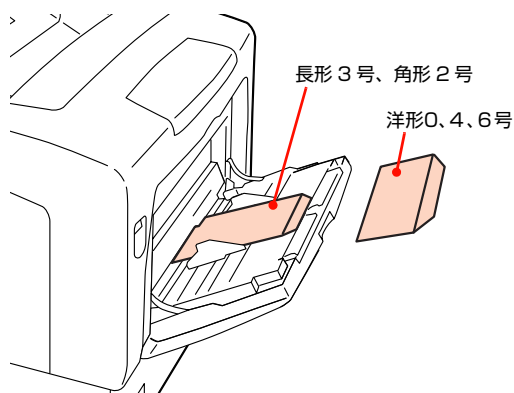
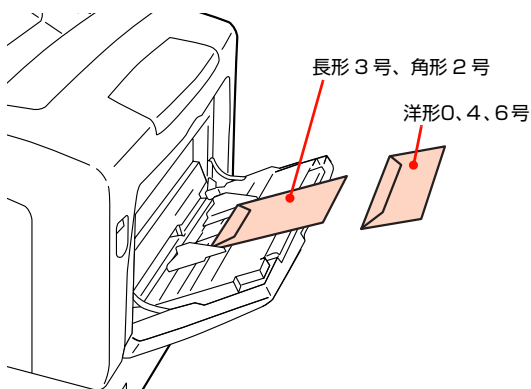
給紙 / 排紙のポイント

封筒の先端を MP トレイの奥までしっかりセットしても給紙されないときは、封筒の先端が下向きに反っていないか確認してください。反っているときは、反りを直してからセットしてください。

印刷手順

1 **MP トレイに封筒をセットします。**

セット枚数	20 枚または総厚 17.5mm まで（MP トレイのみ）
印刷面	印刷する面を下にしてセット

フラップを開いた場合
プリンターに向かって、フラップ部が手前側になるようにセットします。このセット方法を推奨します。

フラップを閉じた場合
プリンターに向かってフラップ部が奥側になるようにセットします。

2 **操作パネルで、印刷する封筒のサイズを設定します。**

[各種設定] ー [プリンタ設定] ー [給紙装置設定] ー [MP トレイサイズ] で、印刷する封筒のサイズを選択してください。

☞ 156 ページ「操作パネルによる設定 / 確認」

3 **下表を参照してプリンタードライバーの設定をし、印刷を実行します。**

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	洋形０号 120 × 235mm 洋形４号 105 × 235mm 洋形６号 98 × 190mm 長形３号 120 × 235mm 角形２号 240 × 332mm
		給紙装置	MP トレイ
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	洋形０号、洋形４号、洋形６号、長形３号、角形２号
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ

☞ Windows：92 ページ「プリンタードライバーの使い方」
☞ Mac OS X：117ページ「プリンタードライバーの使い方」

思い通りの方向に印刷できないときは、[180 度回転]（Windows）または [レイアウト] ー [ページの方向を反転]（Mac OS X）を設定してください。

以上で終了です。

コート紙への印刷

コート紙に印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

コート紙に関するご注意

- 本製品専用のコート紙以外は使用しないでください。
- 用紙は密閉可能な袋もしくは容器に入れ、湿気の多い場所、乾燥しすぎた場所での保管は避けてください。
- 両面に印刷するときは、梱包紙の開封面側（梱包紙の合わせ目のある側）を印刷面として先に印刷してください。
- コート紙は 1 枚ずつセットしてください。複数枚セットして使用すると、用紙が湿気を含んで複数枚が重なって機械に入り、故障の原因になります。

1 **MP トレイにコート紙をセットします。**

セット方法は「MP トレイへのセット方法」と下表を参照してください。

☞ 21 ページ「MP トレイへのセット方法」

セット枚数	1 枚
セット方向	横置きまたは縦置き （用紙サイズにより異なる） ☞ 268 ページ「用紙一覧と設定早見表」

2 **操作パネルで、印刷するコート紙のサイズを設定します。**

[各種設定] ー [プリンタ設定] ー [給紙装置設定] ー [MP トレイサイズ] で、用紙サイズを選択してください。

☞ 156 ページ「操作パネルによる設定 / 確認」

3 **下表を参照してプリンタードライバーの設定をし、印刷を実行します。**

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	コート紙、コート紙（裏面）*
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	コート紙、コート紙（裏面）*

* 片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷するときは、[用紙種類] を [コート紙（裏面）] に設定してください。

☞ Windows：92 ページ「プリンタードライバーの使い方」
☞ Mac OS X：117ページ「プリンタードライバーの使い方」

以上で終了です。

厚紙への印刷

厚紙・特厚紙に印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

厚紙に関するご注意

- 大きく反っている厚紙は、反りを修正してからお使いください。
- 自動両面印刷には対応していません。

印刷手順

1 **MP トレイに厚紙をセットします。**

セット方法は「MP トレイへのセット方法」と下表を参照してください。

☞ 21 ページ「MP トレイへのセット方法」

セット枚数	総厚 17.5mm まで
セット方向	横置きまたは縦置き （用紙サイズにより異なる） ☞ 268 ページ「用紙一覧と設定早見表」

2 **操作パネルで、印刷する厚紙のサイズを設定します。**

［各種設定］－［プリンタ設定］－［給紙装置設定］－［MP トレイサイズ］で、用紙サイズを選択してください。

☞ 156 ページ「操作パネルによる設定 / 確認」

3 **下表を参照してプリンタードライバーの設定をし、印刷を実行します。**

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	106 ～ 163g/m² の用紙： 厚紙、厚紙（裏面）＊ 164 ～ 216g/m² の用紙： 特厚紙、特厚紙（裏面）＊
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	106 ～ 163g/m² の用紙： 厚紙、厚紙（裏面）＊ 164 ～ 216g/m² の用紙： 特厚紙、特厚紙（裏面）＊

＊ 片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷するときは、［用紙種類］を［厚紙（裏面）］または［特厚紙（裏面）］に設定してください。

☞ Windows：92 ページ「プリンタードライバーの使い方」
☞ Mac OS X：117ページ「プリンタードライバーの使い方」

以上で終了です。

ラベル紙への印刷

ラベル紙に印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

ラベル紙に関するご注意

以下のラベル紙は使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。

- ページプリンター用またはコピー機用以外のラベル紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 一部がはがれているラベル紙
- のりがはみ出しているラベル紙
- 台紙全体がラベルで覆われていないラベル紙
- インクジェットプリンター用のラベル紙

印刷手順

1 **MP トレイにラベル紙（A4）をセットします。**

セット方法は「MP トレイへのセット方法」と下表を参照してください。

☞ 21 ページ「MP トレイへのセット方法」

セット枚数	総厚 17.5mm まで
セット方向	横置き

2 **操作パネルで、印刷するラベル紙のサイズとタイプを設定します。**

- ［各種設定］－［プリンタ設定］－［給紙装置設定］－［MP トレイサイズ］で、［A4］を選択してください。
- ［各種設定］－［プリンタ設定］－［給紙装置設定］－［MP トレイタイプ］で、［ラベル］を選択してください。

☞ 156 ページ「操作パネルによる設定 / 確認」

3 **下表を参照してプリンタードライバーの設定をし、印刷を実行します。**

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	A4 210 × 297mm
		給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	ラベル
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	A4
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	ラベル

☞ Windows：92 ページ「プリンタードライバーの使い方」
☞ Mac OS X：117ページ「プリンタードライバーの使い方」

以上で終了です。

OHP シートへの印刷

OHP シートに印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

OHP シートに関するご注意

- OHP シートは、手の脂が付かないように、手袋をはめるなどしてお取り扱いください。OHP シートに手の脂が付着すると、印刷不良の原因になることがあります。
- 印刷直後の OHP シートは熱くなっていますのでご注意ください。

印刷手順

1 **MP トレイに OHP シートをセットします。**

セット方法は「MP トレイへのセット方法」と下表を参照してください。

☞ 21 ページ「MP トレイへのセット方法」

セット枚数	75 枚
セット方向	横置き

2 **操作パネルで、印刷する OHP シートのサイズとタイプを設定します。**

- ［各種設定］－［プリンタ設定］－［給紙装置設定］－［MP トレイサイズ］で、［A4］を選択してください。
- ［各種設定］－［プリンタ設定］－［給紙装置設定］－［MP トレイタイプ］で、［OHP シート］を選択してください。

☞ 156 ページ「操作パネルによる設定 / 確認」

3 **下表を参照してプリンタードライバーの設定をし、印刷を実行します。**

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	A4 210 × 297mm
		給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	OHP シート
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	A4
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	OHP シート

☞ Windows：92 ページ「プリンタードライバーの使い方」
☞ Mac OS X：117ページ「プリンタードライバーの使い方」

以上で終了です。

定形紙以外の用紙への印刷

定形紙以外の用紙に印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

定形紙以外の用紙に関するご注意

定形紙以外の用紙に印刷するときは、必ずプリンタードライバーの［ユーザー定義サイズ］（Windows）/［カスタム用紙（サイズ）］（Mac OS X）で用紙サイズを指定してください。サイズの異なる用紙を選択し続けると、プリンター内部の定着器が損傷することがあります。

用紙サイズの登録

定形紙以外の用紙に印刷するときは、任意の用紙サイズをあらかじめ登録しておきます。

登録できる用紙サイズの詳細は以下を参照してください。

☞ 268 ページ「用紙一覧と設定早見表」

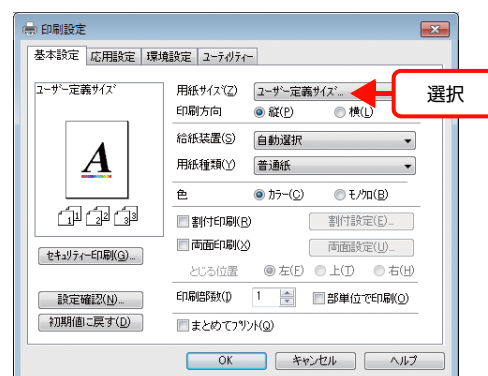
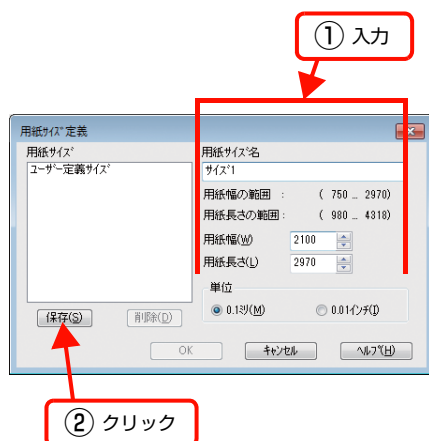
登録した用紙サイズは、本製品のプリンタードライバーを再インストールしても保持されます。

Windows の場合

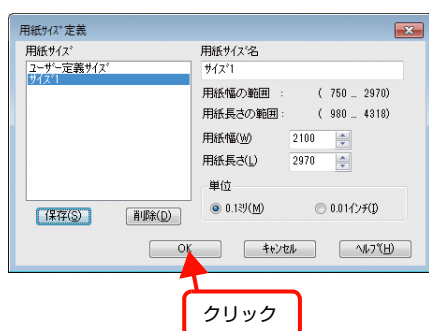
［用紙サイズ］に用意されていない用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］として 20 件まで登録できます。

1 **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**

☞ 92 ページ「設定画面の開き方」

2 **プリンタードライバーの［基本設定］画面の［用紙サイズ］リストから［ユーザー定義サイズ］を選択します。**

3 [用紙サイズ名]、[用紙幅]、[用紙長さ] を入力してから、[保存] をクリックします。

- 登録されている用紙サイズを変更する場合は、[用紙サイズ] リストから変更したい用紙サイズをクリックして選択し、保存し直します。
- 登録されている用紙サイズを削除する場合は、[用紙サイズ] リストから削除したい用紙サイズをクリックして選択し、[削除] をクリックします。

4 [OK] をクリックします。

ここで登録した用紙サイズが [用紙サイズ] リストから選択できるようになります。

以上で終了です。

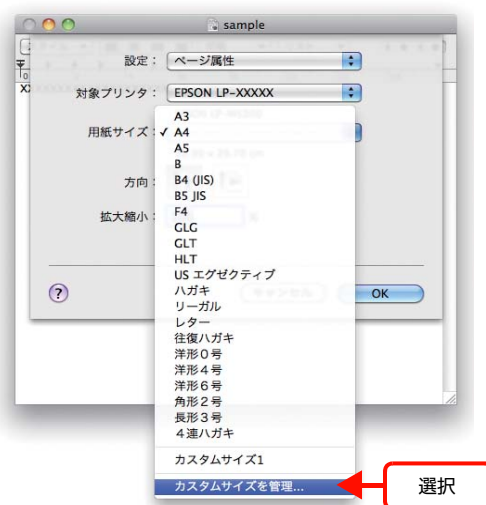
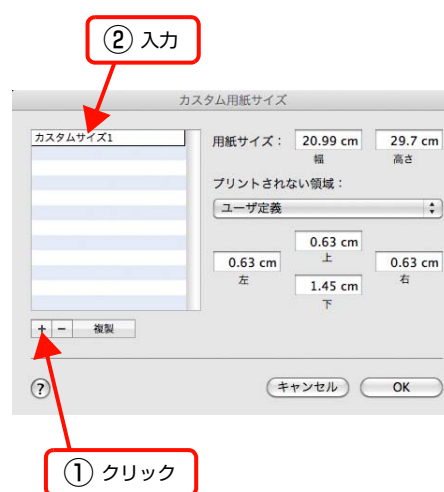
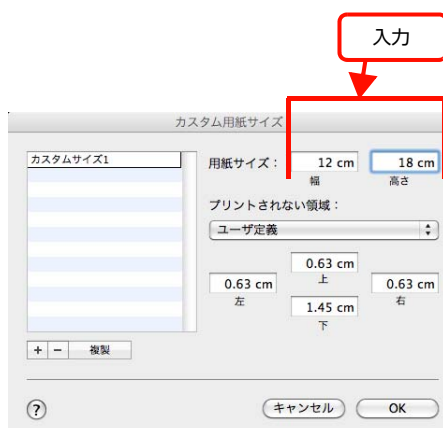
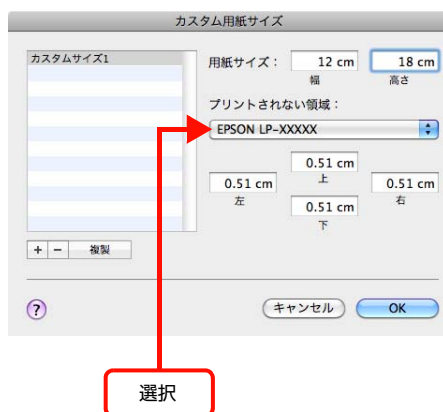
Mac OS X の場合

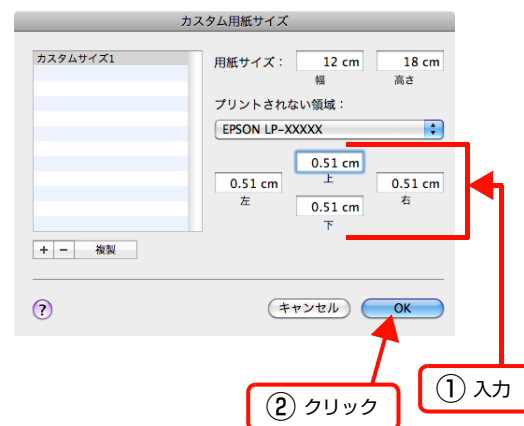
[用紙サイズ]リストに用意されていない用紙サイズを[カスタムサイズ] として登録できます。

カスタムサイズの登録は Mac OS X の機能ですので、特定のプリンタードライバーに依存することなく、すべてのプリンタードライバーで利用できます。

1 プリンタードライバーの [ページ設定] 画面を開きます。

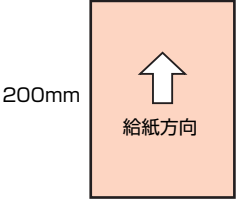
☞ 117 ページ「Mac OS X での使い方」

2 [用紙サイズ] から [カスタムサイズを管理 ...] を選択します。

3 [+] をクリックしてリストに表示された [名称未設定] をダブルクリックし、カスタム用紙名を登録します。

4 ［ページサイズ］に用紙サイズを入力します。

5 ［プリントされない領域］のプルダウンメニューから、プリンター名を選択します。

6 ［プリントされない領域］に数値を入力し、［OK］をクリックして登録します。

ここで登録した用紙サイズが［ページ設定］画面の［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。

- 登録されている用紙サイズを複製するときは、リストから複製したいサイズ名をクリックして選択し、［複製］をクリックします。必要に応じて設定を変更してから［OK］をクリックします。
- 登録されている用紙サイズを削除するときは、リストから削除したいサイズ名をクリックして選択し、［−］をクリックします。
- 登録している用紙サイズを変更するときは、リストから変更したい用紙サイズ名を選択し、設定を変更して［OK］をクリックします。

7 ［OK］をクリックして［ページ設定］画面を閉じます。

以上で終了です。

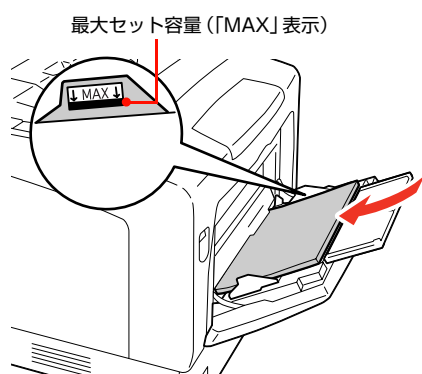
印刷手順

1 印刷する用紙のサイズを［ユーザー定義サイズ］/［カスタム用紙サイズ］としてあらかじめプリンタードライバーの［用紙サイズ］に登録します。

☞ 37 ページ「用紙サイズの登録」

2 MP トレイに不定形紙をセットします。

セット方法は、下表と図を参照してください。操作パネルで、用紙サイズの設定をする必要はありません。

セット枚数	総厚 17.5mm まで
印刷面	印刷する面を上にしてセット
セット方向	登録した用紙の向き (例) 「用紙幅148mm×用紙長200mm」の場合 148mm 200mm 給紙方向 (例) 「用紙幅200mm×用紙長148mm」の場合 200mm 148mm 給紙方向

最大セット容量(「MAX」表示)

3 下表を参照して、プリンタードライバーの設定をし、印刷を実行します。

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	1 で登録した用紙
		給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	セットした用紙の種類 *
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	1 で登録した用紙
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	セットした用紙の種類 *

* [厚紙]に設定して片面印刷した後にさらにもう一方の面に印刷するときは、[用紙種類]を[厚紙(裏面)]に設定してください。

Windows:92 ページ「プリンタードライバーの使い方」
Mac OS X:117ページ「プリンタードライバーの使い方」

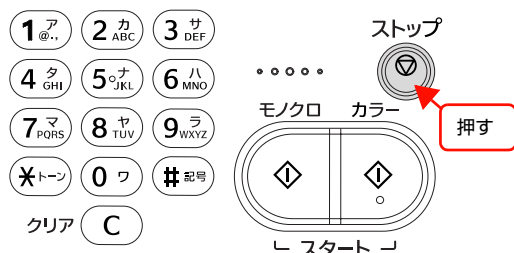
以上で終了です。

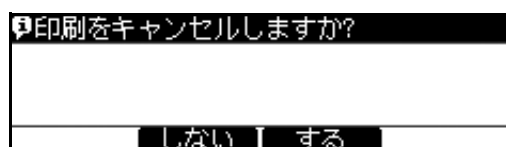
印刷の中止

印刷処理を中止するときは、次のいずれかの方法でコンピューター上の印刷データ、または本製品上の印刷データを削除します。

操作パネルで中止

1 印刷中のデータを削除するには【ストップ】ボタンを押します。

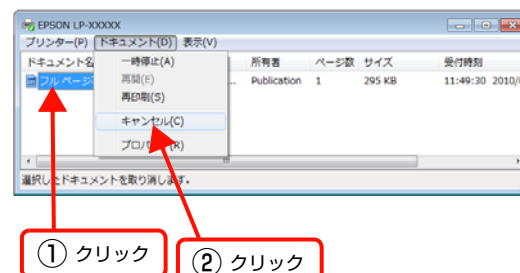
本製品が受信したすべての印刷データを削除するには【ストップ】ボタンを約 3 秒間押し続けます。

2 ［する］に対応する【F3】ボタンを押します。

継続するときは、［しない］に対応する【F2】ボタンを押して印刷を続けます。

コンピューターで中止

Windows の場合

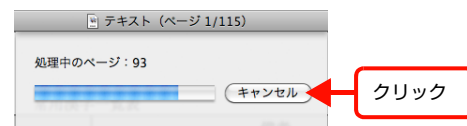
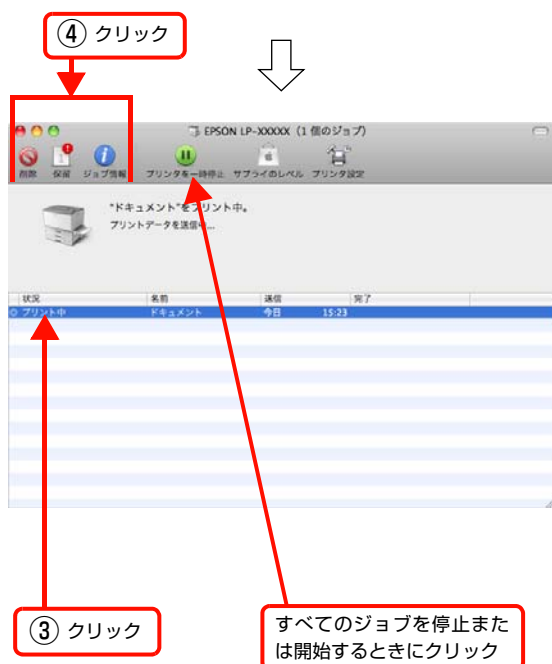
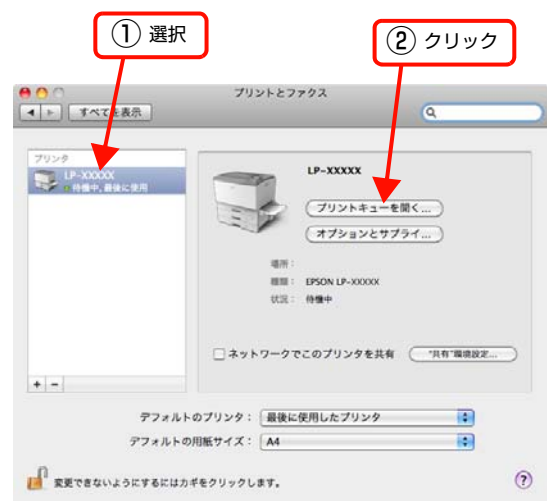
1 画面右下のタスクバー上のプリンターアイコンをダブルクリックします。

2 中止したい印刷データをクリックして選択し、［ドキュメント］の［印刷中止］または［キャンセル］をクリックします。

処理済みのデータが印刷されてから表示が消え、印刷が中止されます。

以上で終了です。

Mac OS X の場合

コンピューター上の処理が続いているときは、以下のいずれかの方法で削除します。

アプリケーションソフトによっては、印刷中であることを知らせる画面が表示されることがあります。表示されているときは、印刷を中止するボタン（［キャンセル］など）をクリックして印刷を強制的に終了します。

［システム環境設定］－［プリントとファクス］（または［プリントとスキャン］）－［プリントキューを開く］を開き、印刷中のジョブを選択して削除（または保留 / 再開）できます。

印刷中の最後のページが排紙されると、プリンターの印刷可ランプが点灯します。

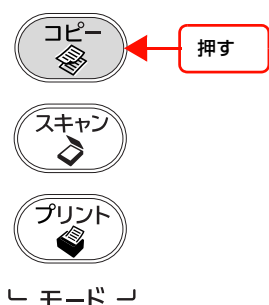
基本コピー（カラー/モノクロ）

コピーの基本操作を説明します。

参考

MP トレイからコピーする時は、［給紙装置設定］－［MP トレイタイプ］を［普通紙］に設定してください。
☞ 156 ページ「操作パネルによる設定 / 確認」

1 【コピー】ボタンを押します。

コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 原稿をセットします。

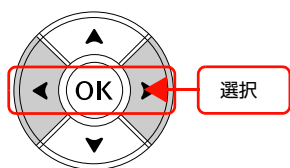
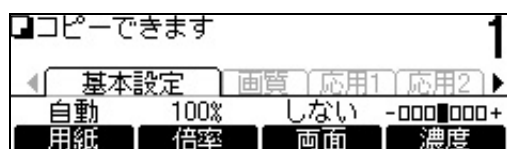
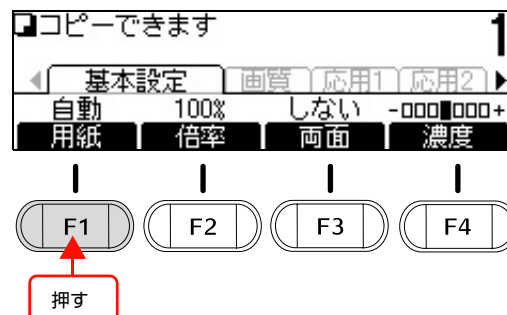
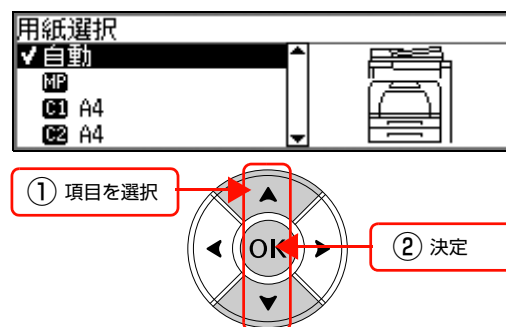
原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  ☞ 25 ページ「原稿台へのセット」
- ADF に原稿をセットする場合
  ☞ 26 ページ「ADF へのセット」

3 テンキー（ダイヤルボタン）でコピー枚数を設定します。

設定できるコピー枚数は 1 ～ 999 です。

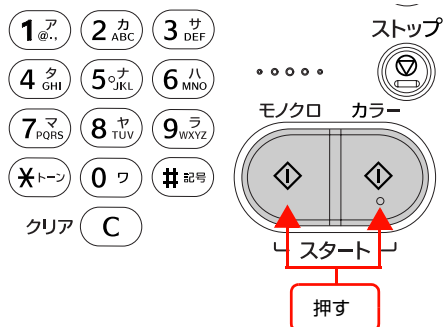
4 給紙装置を選択します。

①【◀】または【▶】ボタンを押して、［基本設定］タブを選択します。

② 用紙選択に対応する【F1】ボタンを押します。

③【▲】または【▼】ボタンを押して給紙装置を選択して、【OK】ボタンで決定します。

設定	説明
［自動］	読み取った原稿サイズと同じサイズの用紙がセットされている給紙装置から給紙します。 セットした原稿が自動検知できるサイズの場合に有効です。 ☞ 23 ページ「セットできる原稿サイズ」
［MP］	MP トレイから給紙します。MP トレイにセットしている用紙に合わせて用紙サイズと紙種を選択してください。
［CX XX］	選択した用紙カセットから給紙します。

［用紙選択］で MP トレイを選択した場合は、続いて用紙サイズと紙種を選択します。

！重要

用紙カセットにコピーできないサイズの用紙がセットされていたり、用紙カセットの用紙ガイドが用紙サイズに合っていないと、操作パネルの［用紙］に［CX - - ］が表示されることがあります。［CX - - ］を選択してコピーをすると、エラーが発生してコピーできません。A3/B4/A4/B5/A5/ ハガキサイズの用紙をセットして、用紙ガイドを用紙のサイズに合わせてください。
☞ 19 ページ「用紙カセット 1 ～ 3 へのセット方法」

5 **【カラー】または【モノクロ】ボタンを押して、コピーを実行します。**

【カラー】ボタンを押すとカラーで印刷、【モノクロ】ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

参考

コピーを中断したいときは、【ストップ】ボタンを押します。確認画面が表示されますので、［する］に対応する【F3】ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかることがあります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

コピー機能

コピーするときに、操作パネルで各種機能を設定できます。

設定項目	説明	タブ名
用紙	目的のサイズの用紙がセットされた給紙装置を選択します。 ☞ 43 ページ「基本コピー（カラー / モノクロ）」	基本設定
倍率	拡大・縮小コピーをします。 ☞ 46ページ「拡大･縮小コピー」	
両面	両面コピーをします。 ☞ 47 ページ「両面コピー」	
濃度	濃度を設定します。 ☞ 52 ページ「濃度の設定」	
カラー原稿	カラー原稿のコピー画質を設定します。 ☞ 58 ページ「コピー品質の変更」	画質設定
モノクロ原稿	モノクロ原稿のコピー画質を設定します。 ☞ 58 ページ「コピー品質の変更」	
コントラスト	コントラストを設定します。 ☞ 58 ページ「コピー品質の変更」	
その他	「背景除去」、「モアレ除去」、「カラーバランス」を設定します。 ☞ 58 ページ「コピー品質の変更」	
割り付け	2ページの原稿を 1 枚の用紙に割り付けます。 ☞ 49 ページ「割り付けコピー」	応用設定 1
影消し	本などをコピーするときにできる影を除去します。 ☞ 53 ページ「影消し（取り込まない範囲を指定して）コピー」	
とじしろ	とじしろ領域を設けてコピーします。 ☞ 54 ページ「とじしろ設定したコピー」	
ページ連写	見開きの原稿を2ページに分けてコピーします。 ☞ 55 ページ「見開き原稿を左右別々にコピー」	

設定項目	説明	タブ名
原稿サイズ	原稿サイズを設定します。 ☞ 57ページ「原稿サイズの設定」	応用設定 2
全面コピー	原稿に余白がない場合なども、印刷領域に収まるよう、倍率を自動調整してコピーします。 ☞ 56 ページ「全面コピー」	
原稿混載	サイズの異なる原稿を混在してコピーします。 ☞ 57 ページ「異なるサイズの原稿のコピー」	
ソート	複数部数をコピーするときにページ順に部単位で出力します。 ☞ 51 ページ「部単位でコピー（ソート）」	

拡大・縮小コピー

拡大・縮小コピーには、原稿サイズと印刷用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小する［定形倍率］と、任意に倍率を設定できる［任意倍率］、原稿と出力する用紙のサイズに合わせて自動で拡大 / 縮小する［自動倍率］があります。

参考
- 印刷保証領域は、原稿の各端面から 4mm 内側に設定されます。
- ［用紙選択］で［自動］を選択しているときに［自動倍率］を設定すると、操作パネルに「倍率を自動倍率にしたため用紙の設定を変更しました」と表示され、［用紙選択］が［自動］以外に設定されます。
- ［全面コピー］機能を使用すると、原稿の全面を印刷用紙サイズの印刷保証領域に収めることができます。
☞ 56 ページ「全面コピー」

設定項目	設定値	拡大 / 縮小率
定形倍率	A4 → A3/B5 → B4	141%
	A4 サイズの原稿を A3 サイズに、B5 サイズの原稿をB4サイズに収まるように拡大コピーします。	
	A4 → B4	122%
	A4 サイズの原稿を B4 サイズに収まるように拡大コピーします。	
	B4 → A3/B5 → A4	115%
	B4 サイズの原稿を A3 サイズに、B5 サイズの原稿をA4サイズに収まるように拡大コピーします。	
	等倍	100%
	等倍でコピーします。	
	A3 → B4/A4 → B5	86%
	A3 サイズの原稿を B4 サイズに、A4 サイズの原稿をB5サイズに収まるように縮小コピーします。	
	B4 → A4	81%
	B4 サイズの原稿を A4 サイズに収まるように縮小コピーします。	
	A3 → A4/B4 → B5	70%
	A3 サイズの原稿を A4 サイズに、B4 サイズの原稿をB5サイズに収まるように縮小コピーします。	
任意倍率		25 ～ 400%
	コピー倍率を任意で設定できます。1%単位で設定します。	
自動倍率		−
	出力する用紙に合わせて自動で設定されます。	

1 【コピー】ボタンを押します。

コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 原稿をセットします。

- 原稿台に原稿をセットする場合
☞ 25 ページ「原稿台へのセット」
- ADF に原稿をセットする場合
☞ 26 ページ「ADF へのセット」

3 テンキーでコピー枚数を設定します。

設定できるコピー枚数は 1 ～ 999 です。

4 【◄】または【►】ボタンを押して、［基本設定］タブを選択します。

5 ［倍率］に対応する【F2】ボタンを押します。

6 倍率を設定します。

① 【F1】ボタンを押して［定形倍率］と［任意倍率］を切り替えます。

② 【▲】または【▼】ボタンを押して設定値を選択して、【OK】ボタンで決定します。

参考
- ［自動倍率］に対応する【F2】ボタンを押すと、自動倍率に設定できます。
- ［任意倍率］の数値はテンキーでも設定できます。

7 【カラー】または【モノクロ】ボタンを押して、コピーを実行します。

【カラー】ボタンを押すとカラーで印刷、【モノクロ】ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

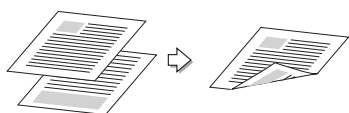
参考
- 「紙をセットしてください」と表示されたときは、選択したサイズの用紙が本製品にセットされていません。指定したサイズの用紙をセットしてください。
- コピーを中断したいときは、【ストップ】ボタンを押します。確認画面が表示されますので、［する］に対応する【F3】ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

両面コピー

2 ページの原稿を 1 枚の用紙の両面にコピーしたり、両面に印刷された 1 枚の原稿の裏表を 2 枚の用紙の片面にコピーできます。

両面コピーの種類と説明は、手順 6 を参照してください。

1 【コピー】ボタンを押します。

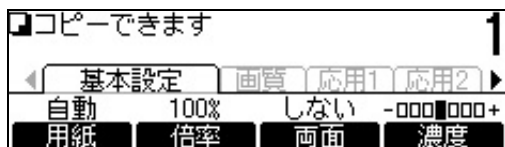
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 原稿をセットします。

- 原稿台を使用する場合は、1 枚目の原稿をセットします。
☞ 25 ページ「原稿台へのセット」
- ADF を使用する場合は、コピーするすべて（最大 100 枚）の原稿をセットします。
☞ 26 ページ「ADF へのセット」

3 テンキーでコピー枚数を設定します。

設定できるコピー枚数は 1 ～ 999 です。

4 【◀】または【▶】ボタンを押して、［基本設定］タブを選択します。

5 ［両面］に対応する【F3】ボタンを押します。

6 両面コピーの種類を選択します。

【▲】または【▼】ボタンを押して両面印刷の種類を選択して、【OK】ボタンで決定します。

両面コピーの種類	説明	仕上がりイメージ
両面コピーしない（片面↓片面）	通常のコピー方法です。原稿の片面を用紙の片面にコピーします。	
片面↓両面	2 ページの原稿の片面を、1 枚の用紙の表と裏にコピーします。	
両面↓両面	両面印刷された原稿の表と裏を、用紙の両面にコピーします。	
両面↓片面	両面印刷された原稿の表と裏を、用紙の片面にコピーします。	

7 必要に応じて原稿と出力に関する項目を設定します。

① ［原稿状態］、［出力状態］、［原稿方向］の設定状況を確認します。
② 各項目に対応した【F1】～【F3】ボタンを押します。
③ 【▲】または【▼】ボタンを押して設定値を選択して、【OK】ボタンで決定します。

設定項目	説明	設定値
原稿状態	原稿の開き方向を設定します。	片面 左右開き 上下開き
出力状態	コピー出力の開き方向を設定します。	片面 左右開き 上下開き
原稿方向	原稿のセット方向を設定します。 ☞ 24 ページ「セットする原稿の向き」	上向き（読める向き） 左向き

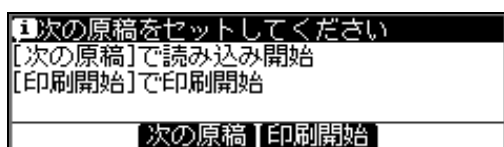
8 【OK】ボタンを押します。

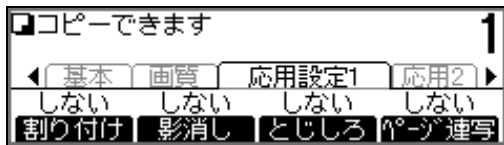
9 **【カラー】または【モノクロ】ボタンを押して、コピーを実行します。**

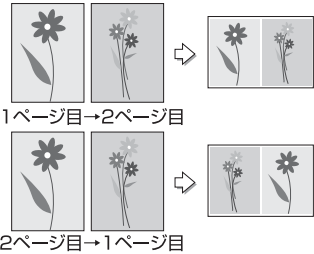
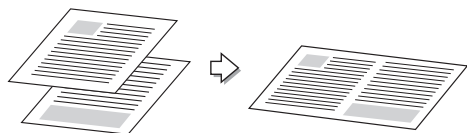
【カラー】ボタンを押すとカラーで印刷、【モノクロ】ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

コピーを中断したいときは、【ストップ】ボタンを押します。確認画面が表示されますので、［する］に対応する【F3】ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

10 **原稿台を使用した場合は、次のメッセージが表示されたら、原稿台に 2 枚目の原稿をセットし、［次の原稿］に対応する【F2】ボタンを押します。**

次の原稿をセットしてください
[次の原稿]で読み込み開始
[印刷開始]で印刷開始
次の原稿 印刷開始

ADF を使用する場合、片面原稿、両面原稿とも自動的に原稿が取り込まれ、連続して読み取りと印刷が行われます。

コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

割り付けコピー

2 ページの原稿を、1 枚の用紙に割り付けてコピーします。以下の原稿サイズと印刷用紙サイズの組み合わせができます。

原稿サイズ	印刷用紙サイズ			
	A4	B5	A3	B4
A4 横 / 縦	○	○	○	○
B5 横 / 縦	○	○	○	○
A3	○	○	○	○
B4	○	○	○	○

1 **【コピー】ボタンを押します。**
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 **原稿をセットします。**
- 原稿台を使用する場合は、1 枚目の原稿をセットします。
☞ 25 ページ「原稿台へのセット」
- ADF を使用する場合は、コピーするすべて（最大 100 枚）の原稿をセットします。
☞ 26 ページ「ADF へのセット」

3 **テンキーでコピー枚数を設定します。**
設定できるコピー枚数は 1 ～ 999 です。

4 **【◄】または【►】ボタンを押して、［応用設定 1］タブを選択します。**

5 **［割り付け］に対応する【F1】ボタンを押します。**

6 **割り付けコピーを設定します。**
【▲】または【▼】ボタンを押して［する］を選択して、【OK】ボタンで決定します。

7 **必要に応じてその他の項目を設定します。**
① ［原稿サイズ］、［用紙］、［順序］、［原稿方向］の設定状況を確認します。
② 各項目に対応した【F1】～【F4】ボタンを押します。
③ 【▲】または【▼】ボタンを押して設定値を選択して、【OK】ボタンで決定します。

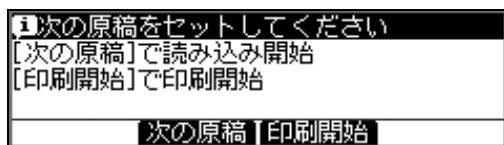
設定項目	説明
原稿サイズ	セットした原稿のサイズと向きを選びます。（A3、B4、A4 縦、A4 横、B5 縦、B5 横）
用紙	給紙装置を選びます。（MP トレイ、カセット 1 ～ 3）
順序	原稿の 1 枚目（奇数ページ）と 2 枚目（偶数ページ）を、1 枚の用紙に割り付ける順番を指定できます。 1ページ目→2ページ目 2ページ目→1ページ目
原稿方向	原稿のセット方向を設定します。（上向き（読める向き）、左向き） ☞ 24 ページ「セットする原稿の向き」

8 **【OK】ボタンを押します。**

9 **【カラー】または【モノクロ】ボタンを押して、コピーを実行します。**
【カラー】ボタンを押すとカラーで印刷、【モノクロ】ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

コピーを中断したいときは、【ストップ】ボタンを押します。確認画面が表示されますので、［する］に対応する【F3】ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかることがあります。

10 **原稿台を使用した場合は、次のメッセージが表示されたら、原稿台に 2 枚目の原稿をセットし、[次の原稿] に対応する【F2】ボタンを押します。**

次の原稿をセットしてください
[次の原稿]で読み込み開始
[印刷開始]で印刷開始
次の原稿 印刷開始

ADF を使用する場合

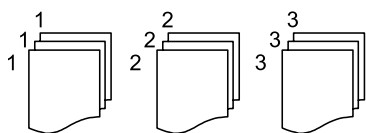
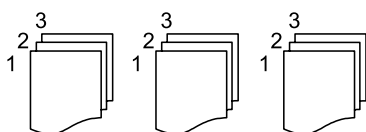
- 片面原稿、両面原稿とも自動的に原稿が取り込まれ、連続して読み取りと印刷が行われます。
- セットされた原稿が奇数枚の場合は、最終ページを白ページとしてコピーします。

コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

部単位でコピー(ソート)

1 部ずつ、ページ順にそろえてコピーします。

ソート:しない

ソート:する

1 【コピー】ボタンを押します。

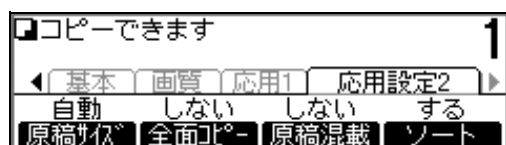
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 ADF に原稿をセットします。

☞ 26 ページ「ADF へのセット」

3 テンキーでコピー枚数を設定します。

設定できるコピー枚数は 1 ～ 999 です。

4 【◄】または【►】ボタンを押して、[応用設定2] タブを選択します。

5 [ソート] に対応する【F4】ボタンを押します。

6 ソートを設定します。

【▲】または【▼】ボタンを押して [する] を選択して、【OK】ボタンで決定します。

7 【カラー】または【モノクロ】ボタンを押して、コピーを実行します。

【カラー】ボタンを押すとカラーで印刷、【モノクロ】ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

コピーを中断したいときは、【ストップ】ボタンを押します。確認画面が表示されますので、[する] に対応する【F3】ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

その他のコピー

「影消し」や「ページ連写」など、原稿に応じたコピーができる便利な機能があります。

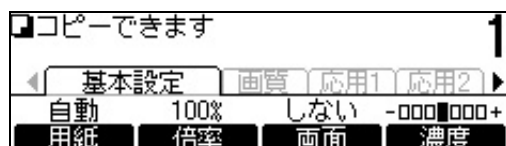
濃度の設定

コピー結果が薄いまたは濃いときに、濃度を変更します。

1 **【コピー】ボタンを押します。**
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 **原稿をセットします。**
- 原稿台に原稿をセットする場合
25 ページ「原稿台へのセット」
- ADF に原稿をセットする場合
26 ページ「ADF へのセット」

3 **テンキーでコピー枚数を設定します。**
設定できるコピー枚数は 1 ～ 999 です。

4 **【◄】または【►】ボタンを押して、[基本設定] タブを選択します。**

5 **[濃度] に対応する【F4】ボタンを押します。**

6 **濃度を設定します。**
【◄】または【►】ボタンを押して設定値を選択して、【OK】ボタンで決定します。

設定値	説明
-3 ～ 0 ～ +3	• 数値が小さくなる(マイナス)ほど、全体的に薄い画像になります。 • 数値が大きくなる(プラス)ほど、全体的に濃い画像になります。

7 **【カラー】または【モノクロ】ボタンを押して、コピーを実行します。**
【カラー】ボタンを押すとカラーで印刷、【モノクロ】ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

> **参考**
> コピーを中断したいときは、【ストップ】ボタンを押します。確認画面が表示されますので、[する] に対応する【F3】ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

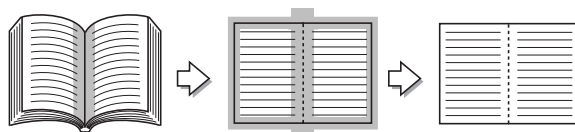
以上で終了です。

影消し(取り込まない範囲を指定して)コピー

原稿の中央や周囲に取り込まない範囲を設定してコピーする機能です。

厚い本などを見開き状態でコピーすると、ページの中央や左右に影が生じたり、ページの周囲に他のページが枠のようにコピーされる場合があります。このような影・枠が生じないように、範囲を設定してコピーします。

対応している原稿サイズは以下の通りです。

対応原稿サイズ	A3/B4/A4/B5/A5/ ハガキ

参考

用紙の中央や周囲に生じる影や枠は、原稿とする本の厚さや開くページで異なります。
影消しコピーは、原稿の中央と周囲をコピーしないようにする機能のため、設定値を大きくするとコピーされない箇所が生じることがあります。
設定値を少しずつ変更しながらコピーすることをお勧めします。

1 【コピー】ボタンを押します。
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 原稿台に原稿（本など）をセットします。
原稿サイズを自動検知する場合は、原稿カバーをしっかり閉じてください。
☞ 25 ページ「原稿台へのセット」

参考

［原稿サイズ選択］で［自動］を選択していると、原稿サイズを自動検知しますが、原稿カバーをしっかり閉じないと、原稿サイズを自動検知できません。厚みのある本などで、自動検知されない場合は、原稿サイズを指定してください。
☞ 57 ページ「原稿サイズの設定」

3 テンキーでコピー枚数を設定します。
設定できるコピー枚数は 1 ～ 999 です。

4 印刷したいサイズの用紙がセットされた給紙装置を選択します。
① 【◄】または【►】ボタンを押して、［基本設定］タブを選択します。
② ［用紙選択］に対応する【F1】ボタンを押します。
③ 【▲】または【▼】ボタンを押して給紙装置を選択して、【OK】ボタンで決定します。
［用紙選択］で MP トレイを選択した場合は、続いて用紙サイズと紙種を選択します。

5 【◄】または【►】ボタンを押して、［応用設定1］タブを選択します。

6 ［影消し］に対応する【F2】ボタンを押します。

7 影消しコピーを設定します。
【▲】または【▼】ボタンを押して［する］を選択して、【OK】ボタンで決定します。

8 中央幅と周囲枠の影消し幅の設定値を選択します。
① ［中央幅］、［枠幅］の設定状況を確認します。
② 各項目に対応した【F1】～【F2】ボタンを押します。
③ 【▲】または【▼】ボタンを押して設定値を選択して、【OK】ボタンで決定します。
- 影消し中央幅の設定値は 0 ～ 40mm です。
- 影消し周囲枠幅の設定値は 0 ～ 40mm です。

9 【OK】ボタンを押します。

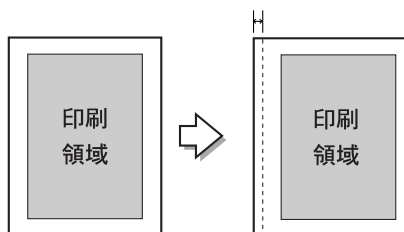
10 【カラー】または【モノクロ】ボタンを押して、コピーを実行します。
【カラー】ボタンを押すとカラーで印刷、【モノクロ】ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

コピーを中断したいときは、【ストップ】ボタンを押します。確認画面が表示されますので、［する］に対応する【F3】ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

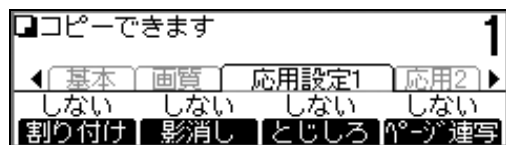
以上で終了です。

とじしろ設定したコピー

用紙の端の上・下・左・右にとじしろ領域を設けてコピーします。

1 **【コピー】ボタンを押します。**
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 **原稿をセットします。**
- 原稿台に原稿をセットする場合
  25 ページ「原稿台へのセット」
- ADF に原稿をセットする場合
  26 ページ「ADF へのセット」

3 **テンキーでコピー枚数を設定します。**
設定できるコピー枚数は 1 ～ 999 です。

4 **【◄】または【►】ボタンを押して、［応用設定1］タブを選択します。**

5 **［とじしろ］に対応する【F3】ボタンを押します。**

6 **とじしろを設定します。**
【▲】または【▼】ボタンを押して［する］を選択して、【OK】ボタンで決定します。

7 **必要に応じてとじしろの位置と幅を設定します。**
① ［とじ位置］、［とじ幅］の設定状況を確認します。
② 各項目に対応した【F1】～【F3】ボタンを押します。
③ 【▲】または【▼】ボタンを押して設定値を選択して、【OK】ボタンで決定します。

設定項目	説明
とじ位置	原稿の上、下、左、右のいずれかにとじしろ領域を設けます。
とじ幅	とじしろ幅の設定値は、0 ～ 30mm です。
原稿方向	原稿のセット方向を設定します。（上向き（読める向き）、左向き） 24 ページ「セットする原稿の向き」

本製品の仕様により、用紙の端から 4mm 以内にコピーすることはできません。このため、とじしろを 4mm 以下に設定しても、実際には 4mm の余白が生じます。

8 **【OK】ボタンを押します。**

9 **【カラー】または【モノクロ】ボタンを押して、コピーを実行します。**
【カラー】ボタンを押すとカラーで印刷、【モノクロ】ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

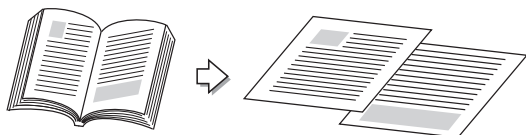
コピーを中断したいときは、【ストップ】ボタンを押します。確認画面が表示されますので、［する］に対応する【F3】ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

見開き原稿を左右別々にコピー

見開きの本や1枚の原稿を左右または上下に分けて、別々の用紙にコピーする機能です。

右開き/左開きのどちらの本でもページ順にコピーができます。

原稿サイズと出力用紙のサイズは、次の組み合わせのみ可能です。

原稿サイズ（見開き）	出力用紙サイズ	コピー倍率
A3	A4	A4 → A4
	B5	A4 → B5
B4	A4	B5 → A4
	B5	B5 → B5
A4	A4	A5 → A4
	B5	A5 → B5
B5	A4	B6 → A4
	B5	B6 → B5

1 【コピー】ボタンを押します。

コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

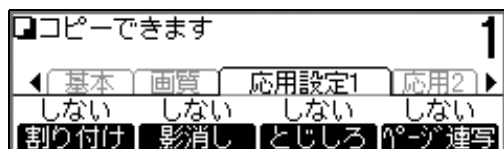
2 原稿台に原稿（本など）をセットします。

原稿台を使用するときは、原稿カバーをしっかり閉じてください。

☞ 25 ページ「原稿台へのセット」

3 テンキーでコピー枚数を設定します。

設定できるコピー枚数は 1 ～ 999 です。

4 【◀】または【▶】ボタンを押して、［応用設定1］タブを選択します。

5 ［ページ連写］に対応する【F4】ボタンを押します。

6 ページ連写コピーを設定します。

【▲】または【▼】ボタンを押して［する］を選択して、【OK】ボタンで決定します。

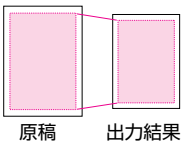
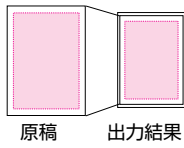
7 必要に応じて読み取り順序などの項目を設定します。

① ［原稿サイズ］、［用紙］、［順序］の設定状況を確認します。
② 各項目に対応した【F1】～【F3】ボタンを押します。
③ 【▲】または【▼】ボタンを押して設定値を選択して、【OK】ボタンで決定します。

設定項目	説明
原稿サイズ	セットした原稿（見開き状態）のサイズと向きを選びます。（A3、B4、A4、B5）
用紙	給紙装置を選びます。（MP トレイ、カセット 1 ～ 3）
順序	原稿の右ページと左ページのどちらを 1 枚目に印刷するか指定できます。

8 【OK】ボタンを押します。

9 【カラー】または【モノクロ】ボタンを押して、コピーを実行します。

【カラー】ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

コピーを中断したいときは、【ストップ】ボタンを押します。確認画面が表示されますので、［する］に対応する【F3】ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

全面コピー

全面コピー	しない	する
仕上がりイメージ	原稿　出力結果	原稿　出力結果
	［全面コピー］機能を［しない］にすると、印刷保証領域を考慮せずコピーしますので、原稿の各端面から 4mm の範囲はコピーされません。	［全面コピー］機能を［する］にすると、原稿サイズ全体が保証領域内に収まるように、自動的に縮小してコピーします。

［倍率］で［任意倍率］を選択していると［全面コピー］機能は使用できません。コピーは実行できますが、［全面コピー］機能なしとして処理されます。

1 **【コピー】ボタンを押します。**
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 **原稿をセットします。**

- 原稿台に原稿をセットする場合
☞ 25 ページ「原稿台へのセット」
- ADF に原稿をセットする場合
☞ 26 ページ「ADF へのセット」

3 **テンキーでコピー枚数を設定します。**
設定できるコピー枚数は 1 ～ 999 です。

4 **【◀】または【▶】ボタンを押して、［応用設定2］タブを選択します。**

5 **［全面コピー］に対応する【F2】ボタンを押します**

6 **［全面コピー］を設定します。**
【▲】または【▼】ボタンを押して［する］を選択して、【OK】ボタンで決定します。

7 **【カラー】または【モノクロ】ボタンを押して、コピーを実行します。**
【カラー】ボタンを押すとカラーで印刷、【モノクロ】ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

コピーを中断したいときは【ストップ】ボタンを押します。確認画面が表示されますので、［する］に対応する【F3】ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかることがあります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください

以上で終了です。

原稿サイズの設定

定形紙以外の原稿をコピーするときなど、原稿サイズが自動検出されない場合は、原稿サイズを指定します。

1 【コピー】ボタンを押します。
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 原稿をセットします。
- 原稿台に原稿をセットする場合
☞ 25 ページ「原稿台へのセット」
- ADF に原稿をセットする場合
☞ 26 ページ「ADF へのセット」

3 テンキーでコピー枚数を設定します。
設定できるコピー枚数は 1 ～ 999 です。

4 【◄】または【►】ボタンを押して、［応用設定2］タブを選択します。

5 ［原稿サイズ］に対応する【F1】ボタンを押します。

6 原稿サイズを設定します。
【▲】または【▼】ボタンを押して原稿サイズを選択して、【OK】ボタンで決定します。

7 【カラー】または【モノクロ】ボタンを押して、コピーを実行します。
【カラー】ボタンを押すとカラーで印刷、【モノクロ】ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

> **参考**
> コピーを中断したいときは、【ストップ】ボタンを押します。確認画面が表示されますので、［する］に対応する【F3】ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

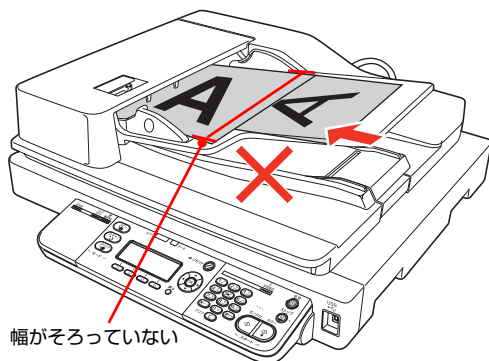
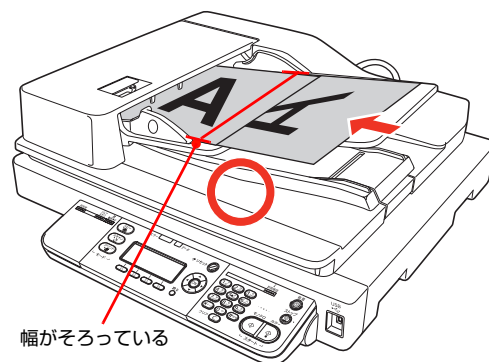
コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

異なるサイズの原稿のコピー

ADF で、異なるサイズの原稿をコピーするときは、［原稿混載］を設定します。

1 【コピー】ボタンを押します。
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 原稿をセットします。
原稿の幅がそろうようにセットしてください。原稿の幅がそろっていないと、原稿が傾いたり、サイズを正しく認識できません。

3 テンキーでコピー枚数を設定します。
設定できるコピー枚数は 1 ～ 999 です。

4 【◄】または【►】ボタンを押して、［応用設定2］タブを選択します。

5 ［原稿混載］に対応する【F3】ボタンを押します。

6 原稿混載を設定します。
【▲】または【▼】ボタンを押して［する］を選択して、【OK】ボタンで決定します。

7 **【カラー】または【モノクロ】ボタンを押して、コピーを実行します。**

【カラー】ボタンを押すとカラーで印刷、【モノクロ】ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

参考
- コピーを中断したいときは、【ストップ】ボタンを押します。確認画面が表示されますので、[する]に対応する【F3】ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。
- [原稿サイズ]と[用紙選択]の両方が[自動]で、[倍率]が[100%]のときは、原稿サイズを自動検知して同じ用紙サイズにコピーします。

コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

コピー品質の変更

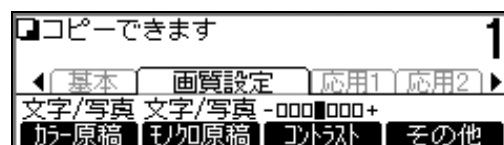
よりきれいにコピーをするために、原稿のタイプに合わせてコピー品質を設定します。

1 **【コピー】ボタンを押します。**

コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 **原稿をセットします。**

- 原稿台に原稿をセットする場合
  ☞ 25 ページ「原稿台へのセット」
- ADF に原稿をセットする場合
  ☞ 26 ページ「ADF へのセット」

3 **【◄】または【►】ボタンを押して、[画質設定]タブを選択します。**

4 **[カラー原稿]または、[モノクロ原稿]を選択して、原稿タイプを選択します。**

① 各項目に対応した【F1】～【F2】ボタンを押します。
② 【▲】または【▼】ボタンを押して設定値を選択して、【OK】ボタンで決定します。

- [カラー原稿]：フルカラーでコピーするときに設定します。
- [モノクロ原稿]：モノクロでコピーするときに設定します。

原稿タイプ	
文字 / 写真	モアレ（網目状の陰影）除去、輪郭の強調を有効にしてコピーします。雑誌やカタログなどで、モアレ除去をし、背景を白くしたいときなどに適しています。
文字	文字原稿に適しています。黒い文字をくっきりとコピーできます。背景（原稿の色）を除去したいときにも有効です。
写真	銀塩写真（現像写真）をコピーするときに適しています。薄い色から濃い色まで忠実に再現し、同時にモアレ除去もします。
高精細	小さい文字や図面、細線などが含まれる原稿に適しています。モアレ除去と背景除去を同時に行います。コピー速度は遅くなりますが、より細密なコピーができます。

5 ［コントラスト］の調整をします。

①［コントラスト］に対応する【F3】ボタンを押します。

②【◄】または【►】ボタンを押して設定値を選択して、【OK】ボタンで決定します。

設定値	説明
-3～0～+3	• 数値が小さくなる（マイナス）ほど明暗の差がなくなり、全体的に暗い印象の画像になります。 • 数値が大きくなる（プラス）ほど明暗の差がはっきりして、全体的に明るい印象の画像になります。

6 その他の項目を選択します。

［その他］に対応する【F4】ボタンを押します。

［背景除去］の調整

①【▲】または【▼】ボタンを押して［背景除去］を選択して、【OK】ボタンを押します。

②【◄】または【►】ボタンを押して設定値を選択して、【OK】ボタンで決定します。

背景除去機能の強弱を 5 段階で調整します。

設定値	説明
-2～0～+2	コピー濃度を上げたことにより原稿自体の色までコピーされる（背景が白にならない）ときや、裏写りのある原稿をコピーするときに背景除去のレベルを選択します。

［モアレ除去］の調整

①【▲】または【▼】ボタンを押して［モアレ除去］を選択して、【OK】ボタンを押します。

②【◄】または【►】ボタンを押して設定値を選択して、【OK】ボタンで決定します。

モアレ除去機能の強弱を 5 段階で調整します。

設定値	説明
-2～0～+2	モアレ（網目状の陰影）が出るときにモアレ除去レベルを選択します。

［カラーバランス］の調整

①【▲】または【▼】ボタンを押して［カラーバランス］を選択して、【OK】ボタンを押します。

②［R（赤）］、［G（緑）］、［B（青）］に対応した【F1】～【F3】ボタンを押します。

③【◄】または【►】ボタンを押して設定値を選択して、【OK】ボタンで決定します。

④【OK】ボタンを押します。

［その他画質設定］を終了します。

設定項目	設定値	説明
［R（赤）］	-3～0～+3	R（赤）の強弱を調整します。数値が小さくなるほど、赤が弱まり、青が強調されます。
［G（緑）］	-3～0～+3	G（緑）の強弱を調整します。数値が小さくなるほど、緑が弱まり、赤紫が強調されます。
［B（青）］	-3～0～+3	B（青）の強弱を調整します。数値が小さくなるほど、青が弱まり、黄色が強調されます。

7 【カラー】または【モノクロ】ボタンを押して、コピーを実行します。

【カラー】ボタンを押すとカラーで印刷、【モノクロ】ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

参考

コピーを中断したいときは、【ストップ】ボタンを押します。確認画面が表示されますので、［する］に対応する【F3】ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

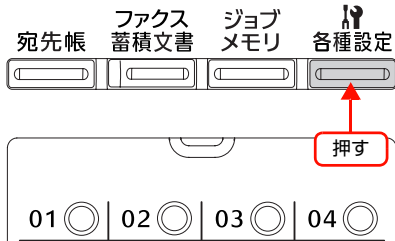
コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

ファクスを使う前に

ファクス設定の確認

ファクスを送受信する前に必要となる項目が正しく設定されているか確認してください。

設定の内容は、操作パネルの【各種設定】ボタンで表示するメニューから［ファクス設定］で確認します。

参考

発信元情報の印字について

- 発信元情報（送信したファクスに日付、時刻、発信者名、自局番号が印字される機能）は、原稿に対して上書きされるため、発信元情報が原稿に重なって印字される場合があります。このようなときは、原稿の上端に 3mm 以上（モノクロファクスで画質がドラフトの場合は、6mm 以上）の余白を設定してください。
- 発信元情報の印字をしたくない場合は、［発信元記録］を［しない］に設定してください。
  ☞ 166 ページ「ファクス設定の項目一覧（ファクスモデルのみ）」

メール･ファイル機能を使用するために

メール・ファイル機能では、受信したファクスデータをメールに添付して登録されているアドレスに送信したり（メール機能）、ネットワーク上のコンピューターに設定した共有フォルダーに保存する（ファイル機能）ことができます。

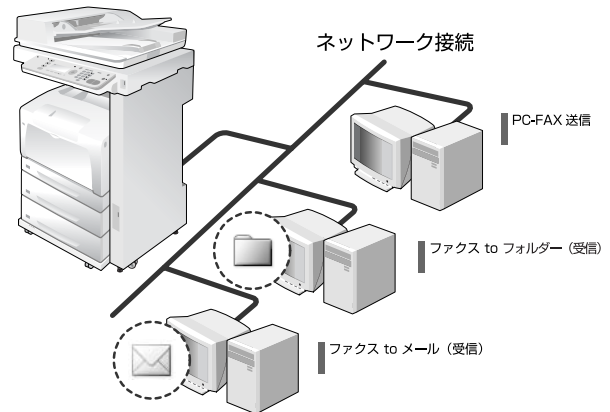
メール・ファイル機能を使用するには、次の設定が必要です。

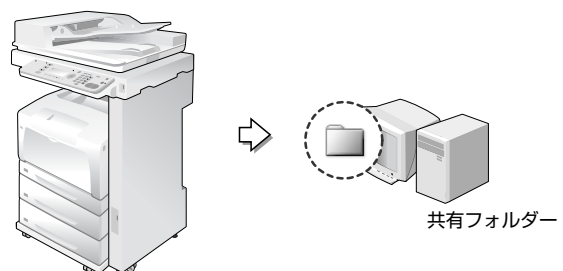
参考

- ファクスモードの［機能設定］タブで［メモリ受信］が［する］のときは、メール･ファイル機能が一時停止します。
- 用紙なしや紙詰まりなどで受信したファクスが印刷できないときは、受信ファクスのメール・ファイル機能も一時停止します。印刷完了後はメール・ファイル機能も再開します。

接続設定の確認

ネットワーク接続

本製品を使用する環境のネットワークに接続します。

サーバーに共有フォルダーを設定（ファイル機能を使用する場合）

ネットワーク上のサーバーにファイル機能でファクスデータを保存する共有フォルダーを用意します。

基本情報の設定

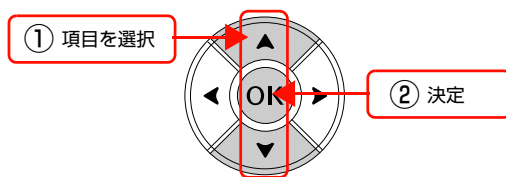
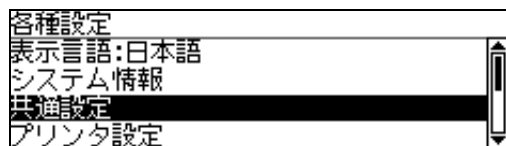
操作パネルまたはソフトウェア EpsonNet Config で以下の情報を設定します。

- メールサーバーの設定（メール機能を使用する場合）
- 受信ファクス出力先の設定
- PC 保存先の設定（ファイル機能を使用する場合）
- メール設定（メール機能を使用する場合）

ここでは操作パネルからの設定方法を説明します。
EpsonNet Config については、EpsonNet Config のヘルプおよび以下を参照してください。
☞ 176 ページ「EpsonNet Config から登録する」

メールサーバーの設定

1 **【各種設定】ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **【▲】または【▼】ボタンを押して［共通設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

3 **【▲】または【▼】ボタンを押して［メールサーバ設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

4 **必要に応じて設定を変更します。**

①【▲】または【▼】ボタンを押して設定項目を選択し、【OK】ボタンを押します。
② 設定値を選択する項目は【▲】または【▼】ボタンを押して設定値を選択します
文字を入力する項目は、テンキー（ダイヤルボタン）で入力します。
③【OK】ボタンを押して決定します。

項目は以下の通りです。

設定項目	説明
認証方式	メールサーバーに接続するための認証方式を選択します。
認証用アカウント	メールサーバーに接続するためのユーザー名を入力します（半角 30 文字まで）。
認証用パスワード	メールサーバーに接続するためのパスワードを入力します（半角 20 文字まで、＊は使用できません）。
送信元アドレス	メールが送信されるときの差出人のメールアドレスを入力します（半角64文字まで）。
SMTP サーバアドレス	SMTP サーバーアドレスをIPアドレスまたはホスト名で入力します（半角 50 文字まで）。
SMTP サーバポート番号	SMTP サーバーポート番号を設定します。
POP3 サーバアドレス	POP3 サーバーアドレスをIPアドレスまたはホスト名で入力します（半角 50 文字まで）。
POP3 サーバポート番号	POP3 サーバーポート番号を設定します。
接続テスト	設定内容で接続テストを実行します。各項目設定後、必要に応じて実施してください。

参考

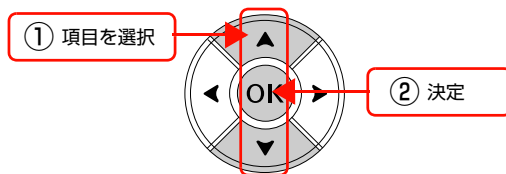
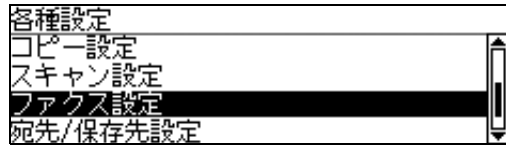
- テンキーの数字とアルファベットは、［a → 1］または［1 → a］に対応した【F4】キーを押して切り替えます。
- アルファベット入力モードのときに、繰り返しテンキーを押すと、小文字→大文字の順でアルファベットが表示されます。
- 入力した文字を削除するには、【◀】または【▶】ボタンで消したい文字を選択して、［C］キーを押します。
- 文字を挿入するには、【◀】または【▶】ボタンでカーソルを移動して入力します。
- 「POP3 サーバアドレス」、「POP3 サーバポート番号」は、「認証方式」を「POP before SMTP」に設定したときのみ表示されます。

5 **モードの初期画面になるまで【戻る】ボタンを押します。**

設定モードが終了します。

受信ファクス出力先の設定

1 【各種設定】ボタンを押して、メニューを表示します。

2 【▲】または【▼】ボタンを押して［ファクス設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 【▲】または【▼】ボタンを押して［受信設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。

4 【▲】または【▼】ボタンを押して［受信ファクス出力先］を選択し、【OK】ボタンを押します。

5 受信ファクス出力先を選択します。
【▲】または【▼】ボタンを押して「PC 保存」または「メール」を選択し、【OK】ボタンで決定します。
「PC 保存」を選択した場合は、続いて「PC 保存先設定」を設定します。
「メール」を選択した場合は、続いて「メール設定」を設定します。

PC 保存先の設定

1 【▲】または【▼】ボタンを押して［PC 保存先設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。

2 【▲】または【▼】ボタンを押して設定を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 必要に応じて設定を変更します。
① 【▲】または【▼】ボタンを押して設定項目を選択し、【OK】ボタンを押します。
② 設定値を選択する項目は【▲】または【▼】ボタンを押して設定値を選択します。
文字を入力する項目は、テンキー（ダイヤルボタン）で入力します。
③ 【OK】ボタンを押して決定します。

項目は以下の通りです。

設定項目	説明
保存先指定	保存先フォルダーのパスを直接入力します（107 文字以内）。 フォルダーパスは保存先コンピューターの IP アドレス、またはドメイン名、デバイス名との組み合わせで入力します。 入力例） フォルダー「share\pc001」、IP アドレス「192.168.1.10」の場合、パスは「\\192.168.1.10\share\pc001」になります。
保存先ユーザー名	保存先サーバーの認証ユーザー名を入力します（半角 30 文字以内）。 ユーザー名はドメイン名を付加して指定できます。ドメイン名は15文字以下にしてください。 入力例） ドメイン名「epson」、ユーザー名「user01」の場合、ユーザー名は「epson\user01」になります。
保存先パスワード	認証ユーザーのパスワードを入力します（半角 20 文字まで、＊は使用できません）。
接続テスト	設定内容で接続テストを実行します。各項目設定後、必要に応じて実施してください。

参考

- 保存先コンピューターが Windows Vista の場合は、保存先コンピューター上に登録されているユーザー名とパスワードを上記項目で設定する必要があります。
- 保存先指定のフォルダーパスは、ドメイン名でも指定できます。ドメイン名で指定する場合はお使いの環境にDNSサーバーが設定されている必要があります。
  入力例）
  ドメイン名「epson.net」、デバイス名「xyz9876」の場合
  「\\xyz9876.epson.net\share\pc001」
- テンキーの数字とアルファベットは、［a → 1］または［1 → a］に対応した【F4】キーを押して切り替えます。
- アルファベット入力モードのときに、繰り返しテンキーを押すと、小文字→大文字の順でアルファベットが表示されます。
- 「\」（バックスラッシュ）や「.」（ドット）などの記号は、アルファベット入力モードで［#］を何回か押すと入力できます。
- 入力した文字を削除するには、【◀】または【▶】ボタンで消したい文字を選択して、［C］キーを押します。
- 文字を挿入するには、【◀】または【▶】ボタンでカーソルを移動して入力します。

4 モードの初期画面になるまで【戻る】ボタンを押します。
設定モードが終了します。

以上で終了です。

メール設定

メールアドレスは 10 件まで登録できます。複数のアドレスを登録した場合、すべてのアドレスにメールが送られます。

参考
- ここで登録するメールアドレスは、スキャンのメール機能で利用するメールアドレスとは別の設定です。
- メールサーバーがエラーを返した場合には、紙に強制出力されます。

1 【▲】または【▼】ボタンを押して［メール設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。

2 【▲】または【▼】ボタンを押して設定を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 必要に応じて設定を変更します。
① 【▲】または【▼】ボタンを押して設定項目を選択し、【OK】ボタンを押します。
② 設定値を選択する項目は【▲】または【▼】ボタンを押して設定値を選択します。
文字を入力する項目は、テンキー（ダイヤルボタン）で入力します。
③ 【OK】ボタンを押して決定します。

項目は以下の通りです。

設定項目	説明
メールアドレス	送信先のメールアドレスを入力します(半角64文字まで)。
添付ファイル最大サイズ	メールに添付するファクスデータの最大サイズを200KB/500KB/1MB/2MB/4MBから選択します。
件名	送信するメールの件名を入力します（半角 64 文字まで)。
接続テスト	設定内容で接続テストを実行します。各項目設定後、必要に応じて実施してください。

参考
- テンキーの数字とアルファベットは、［a → 1］または［1 → a］に対応した【F4】キーを押して切り替えます。
- アルファベット入力モードのときに、繰り返しテンキーを押すと、小文字→大文字の順でアルファベットが表示されます。
- 入力した文字を削除するには、【◀】または【▶】ボタンで消したい文字を選択して、［C］キーを押します。
- 文字を挿入するには、【◀】または【▶】ボタンでカーソルを移動して入力します。

4 モードの初期画面になるまで【戻る】ボタンを押します。
設定モードが終了します。

以上で終了です。

ソフトウェアのインストール

同梱の Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアは、コンピューターからファクスを送付する PC-FAX 機能や、受信したファクスデータが共有フォルダーに保存されたときに通知するアプリケーションです。

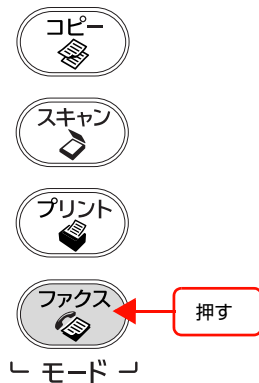
Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアは、プリンタードライバーなど他のソフトウェアと一緒にインストールされます。インストール方法は、以下を参照してください。

☞『セットアップガイド』（冊子）－「コンピューターの接続と設定」

ファクス送信

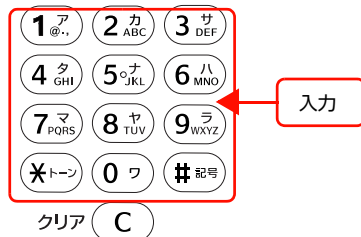
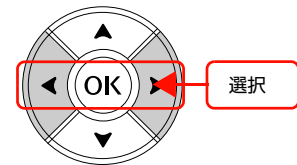
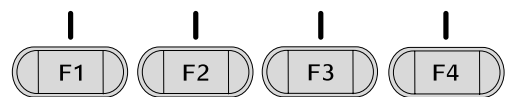
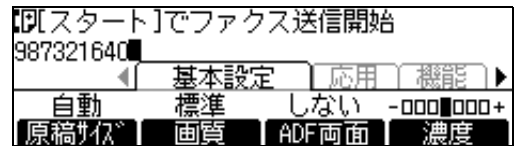
基本的な送信(自動送信)

操作パネル上のテンキー（ダイヤルボタン）で送付先の番号を入力してファクスを送信する方法を説明します。

1 **【ファクス】ボタンを押します。**
ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

> **参考**
> ファクス送信後、しばらく何も操作しないと本製品のモードが自動的に切り替わることがあります。ファクスモードになっていることを確認してから操作してください。

2 **原稿をセットします。**
原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  ☞ 25 ページ「原稿台へのセット」
- ADF に原稿をセットする場合
  ☞ 26 ページ「ADF へのセット」

3 **送付先のファクス番号を入力します。**
テンキー（ダイヤルボタン）を使って、番号を入力します。
入力する番号を間違えた場合は、【C】ボタンで消去して戻ります。【リセット】ボタンを押すと、入力した番号がすべて消去されます。

4 **必要に応じて送信条件を設定します。**
① 【◀】または【▶】ボタンを押して、［基本設定］タブまたは［応用設定］タブを選択します。

② 各機能に対応する【F1】～【F4】ボタンを押します。

③ 【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで設定値を選択して、【OK】ボタンで決定します。
画面は［原稿サイズ］の場合です。

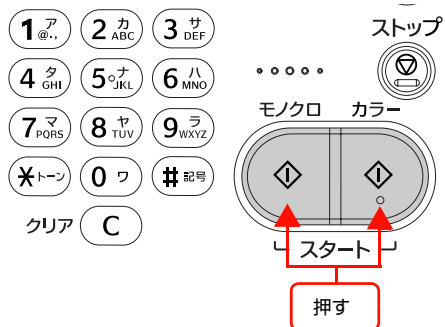
設定項目	説明 / 設定値
原稿サイズ *1	送信する原稿サイズを指定します。
	自動、A3、B4、A4、A4、B5、B5
画質 *2	モノクロ原稿を送信する際の画質を指定します。
	ドラフト、標準、高精細、写真
ADF 両面	オートドキュメントフィーダー（ADF）を使用して送信する場合に、原稿の読み取り面を指定します。
	しない（片面原稿）、する（両面原稿）
濃度	ファクスのスキャン濃度を 7 段階で指定します。 文字などが薄い原稿は、設定値を大きくしてください。
	-3 ～ 0 ～ +3
海外送信	海外に送信する際［する］にします。海外にデータを送付するのに必要な通信回線の確立時間を確保するため、送信開始を通常より遅くします。
	しない、する

*1カラーで送信する場合、A4 縦と B5 縦の原稿は送信できません。

*2カラーで送信する場合、設定を変更しても画質は［標準］で送信されます。

> **参考**
> カラー送受信の場合、A4 を超える定型サイズは、A4 に縮小されたイメージでやり取りされます。

5 【カラー】または【モノクロ】ボタンを押して、原稿を送信します。

【カラー】ボタンを押すとカラーで、【モノクロ】ボタンを押すとモノクロでファクス送信されます。
送付先の機器に合わせて選択してください。

ファクスが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

手動送信

送付先へ回線がつながったことを確認してからファクス送信を始める手動送信の方法を説明します。

送信方法は、外付け電話で行う方法とオンフックで行う方法があり、外付け電話を利用した場合はファクス送信前に通話できます。

送付先番号の入力は、本製品の操作パネルのテンキーまたは、外付け電話機のどちらかで行います。

> **！重要**
> - 回線がつながった状態で送信するため、送付先は 1 箇所のみです。
> - 手動で送信を開始するため、通信エラーなどで送信できなかった場合でも、自動的に再送信しません。

1 【ファクス】ボタンを押します。

ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

2 原稿をセットします。

原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  ☞ 25 ページ「原稿台へのセット」
- ADF に原稿をセットする場合
  ☞ 26 ページ「ADF へのセット」

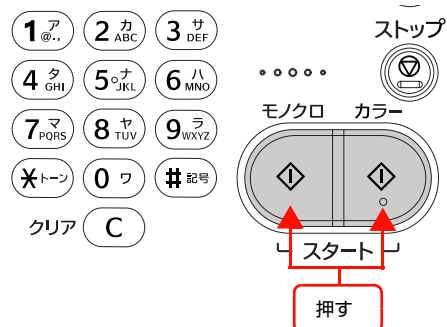
3 必要に応じて送信条件を設定します。

① 【◀】または【▶】ボタンを押して、［基本設定］タブまたは［応用設定］タブを選択します。
② 各機能に対応する【F1】～【F4】ボタンを押します。
③ 【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで設定値を選択して、【OK】ボタンで決定します。

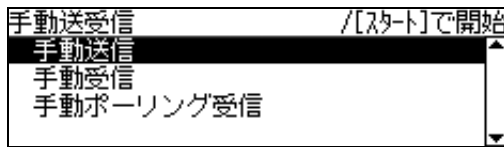
各設定の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 64 ページ「基本的な送信（自動送信）」

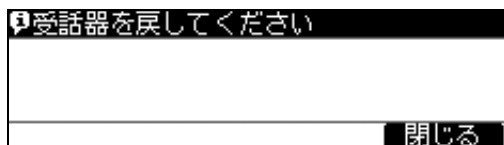
4 【オンフック】ボタンを押し、テンキー（ダイヤルボタン）を使って、送付先の番号を入力します。

外付け電話機の場合は、電話機の受話器を上げて電話機で番号を入力します。

5 回線がつながったことを確認後、【カラー】または【モノクロ】ボタンのどちらかを押します。

6 **次の画面が表示されたら［手動送信］を選択して【カラー】または【モノクロ】ボタンを押します。**

【カラー】ボタンを押すとカラーで、【モノクロ】ボタンを押すとモノクロでファクス送信されます。
送付先の機器に合わせて選択してください。

手動送受信　　　　　/[ｽﾀｰﾄ]で開始
手動送信
手動受信
手動ポーリング受信

7 **外付け電話機の場合は、次の画面が表示されたら、受話器を元に戻します。**

受話器を戻してください
閉じる

ファクスが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

短縮ダイヤルで送信

ここでは、「短縮ダイヤル」（最大 200 件）または「クイックダイヤル」（最大 12 件）に登録されている宛先に送付する方法を説明します。

「短縮ダイヤル」、「クイックダイヤル」は事前に登録が必要です。登録方法は、以下のページを参照してください。

- 操作パネルから登録する
  ☞ 170 ページ「操作パネルから宛先 / 保存先登録」
- 添付のアプリケーションソフト「EpsonNet Config」から登録する
  ☞ 176 ページ「EpsonNet Config から登録する」

登録できるダイヤル機能には、「短縮ダイヤル」に登録されている複数の宛先に、同報送信する「グループダイヤル」もあります。「グループダイヤル」は、ソフトウェア EpsonNet Config から登録します。

短縮ダイヤル

1 **【ファクス】ボタンを押します。**

ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

2 **原稿をセットします。**

原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  ☞ 25 ページ「原稿台へのセット」
- ADF に原稿をセットする場合
  ☞ 26 ページ「ADF へのセット」

3 **短縮ダイヤルを入力します。**

① 【宛先帳】ボタンを押します。
② 【F3】【F4】【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで登録されている短縮ダイヤルを選択します。
③ 【F1】ボタンを押して送信する短縮ダイヤルを決定します。
④ 【OK】ボタンを押して短縮ダイヤル指定を終了します。

参考

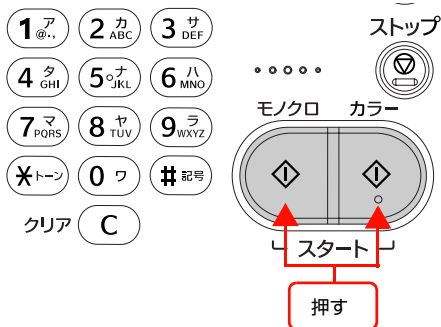
- 複数の短縮ダイヤルにファクス送信をしたいときは、短縮ダイヤルを選択して【F1】ボタンを押す作業を繰り返してから【OK】ボタンを押します。
- グループダイヤルは、［グループ］タブで選択できます。

4 **必要に応じて送信条件を設定します。**

①【◀】または【▶】ボタンを押して、［基本設定］タブまたは［応用設定］タブを選択します。
②各機能に対応する【F1】～【F4】ボタンを押します。
③【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで設定値を選択して、【OK】ボタンで決定します。

各設定の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 64 ページ「基本的な送信（自動送信）」

5 **【カラー】または【モノクロ】ボタンを押して、原稿を送信します。**

【カラー】ボタンを押すとカラーで、【モノクロ】ボタンを押すとモノクロでファクス送信されます。
送付先の機器に合わせて選択してください。

ファクスが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

> **重要**
> 複数の送信先を選択したときは、カラー送信できません。

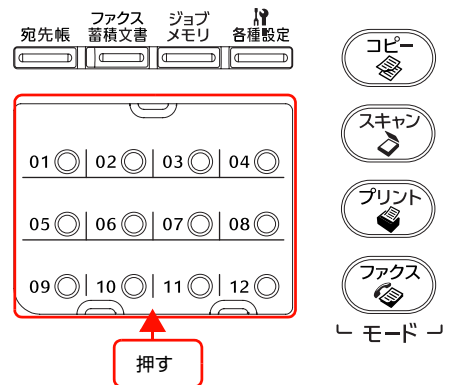
以上で終了です。

クイックダイヤル

1 **原稿をセットします。**

原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  ☞ 25 ページ「原稿台へのセット」
- ADF に原稿をセットする場合
  ☞ 26 ページ「ADF へのセット」

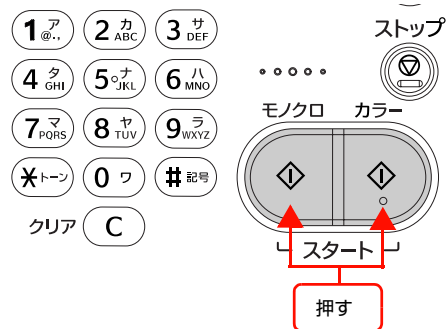
2 **【クイックダイヤル】ボタンを押します。**

> **参考**
> コピー中やスキャン中に、【クイックダイヤル】ボタンを押しても設定が有効になりません。

3 **登録した宛先が操作パネルに表示されていることを確認し、必要に応じて送信条件を設定します。**

①【◀】または【▶】ボタンを押して、［基本設定］タブまたは［応用設定］タブを選択します。
②各機能に対応する【F1】～【F4】ボタンを押します。
③【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで設定値を選択して、【OK】ボタンで決定します。

各設定の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 64 ページ「基本的な送信（自動送信）」

4 **【カラー】または【モノクロ】ボタンを押して原稿を送信します。**

【カラー】ボタンを押すとカラーで、【モノクロ】ボタンを押すとモノクロでファクス送信されます。送付先の機器に合わせて選択してください。

ファクスが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

リダイヤル(再送信)

最後に送信した宛先に、もう一度送信する方法（リダイヤル）を説明します。

参考

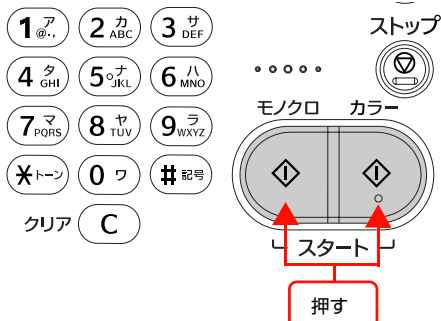
- ファクス送信後に【モード】ボタンを押してモードの切り替えを行うと、リダイヤルのデータが消去されるため、リダイヤル送信は利用できません。
- ファクス送信後、しばらく何も操作しないと本製品のモードが自動的に切り替わることがあります。この場合、リダイヤルのデータが消去されるため、リダイヤル送信は利用できません。

1 **原稿をセットします。**
原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
25 ページ「原稿台へのセット」
- ADF に原稿をセットする場合
26 ページ「ADF へのセット」

2 **【リダイヤル / ポーズ】ボタンを押します。**
前回ファクスを送付した宛先が表示されます。

3 **登録した宛先が操作パネルに表示されていることを確認し、必要に応じて送信条件を設定します。**
① 【◀】または【▶】ボタンを押して、［基本設定］タブまたは［応用設定］タブを選択します。
② 各機能に対応する【F1】～【F4】ボタンを押します。
③ 【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで設定値を選択して、【OK】ボタンで決定します。
各設定の詳細は、以下のページを参照してください。
64 ページ「基本的な送信（自動送信）」

4 **【カラー】または【モノクロ】ボタンを押して、原稿を送信します。**
【カラー】ボタンを押すとカラーで、【モノクロ】ボタンを押すとモノクロでファクス送信されます。
送付先の機器に合わせて選択してください。

ファクスが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

コンピューターから送信

Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアを利用することで、コンピューターから、印刷する操作と同様にファクスを送信できます。コンピューターからファクスを送信する PC-FAX 機能を使用するには、次の設定が必要です。

本製品の設定

ネットワーク接続

本製品を使用する環境のネットワークに接続します。

PC-FAX 送信機能の設定

【各種設定】ボタンで表示するメニューから［ファクス設定］－［送信設定］－［PC-FAX 送信機能］を［使用する］に設定します。

使用するコンピューターの設定

ソフトウェアのインストール

同梱の Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアと本製品に対応した PC-FAX ドライバーをインストールします。

Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアは、プリンタードライバーなど他のソフトウェアと一緒にインストールされます。インストール方法は、以下を参照してください。
『セットアップガイド』（冊子）－「コンピューターの接続と設定」

参考

PC-FAX 送信機能を利用するには、PC-FAX ドライバーに IP アドレスを設定する必要があります。
EPSON LP-M5300F（FAX）ドライバーのプロパティから［環境設定］タブを開き、本製品の IP アドレスをネットワークアドレス欄に入力してください。詳細は、Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアのヘルプから、「FAX 送信方法」-「IP アドレスの変更方法」を参照してください。

送信

アプリケーションソフトからのファクス送信はアプリケーションソフトの印刷機能を利用します。

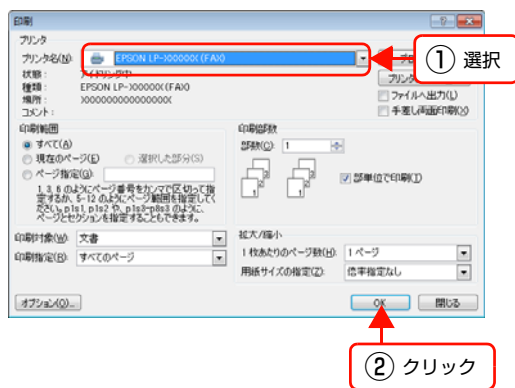
1 **アプリケーションソフトで送信する文書を作成します。**

2 **メニューから［ファイル］－［印刷］などを選択し、印刷画面を表示します。**

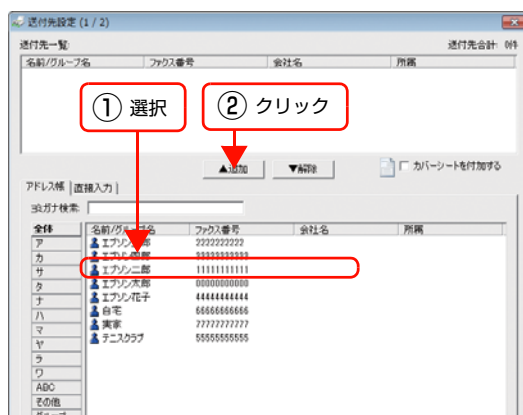
3 **［プリンター名］から［お使いのプリンター名(FAX)］を選択し、［OK］や［印刷］などをクリックします。**

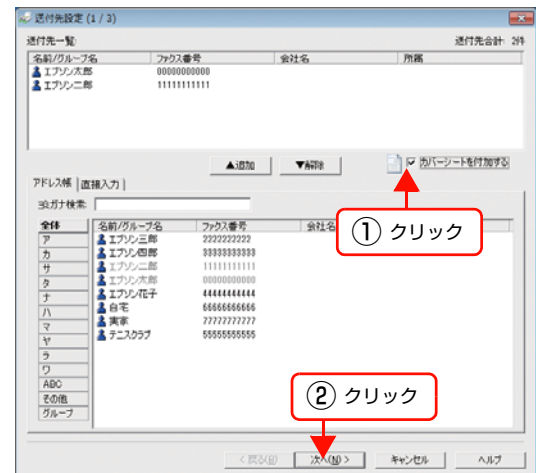
送信ウィザード画面が表示されます。

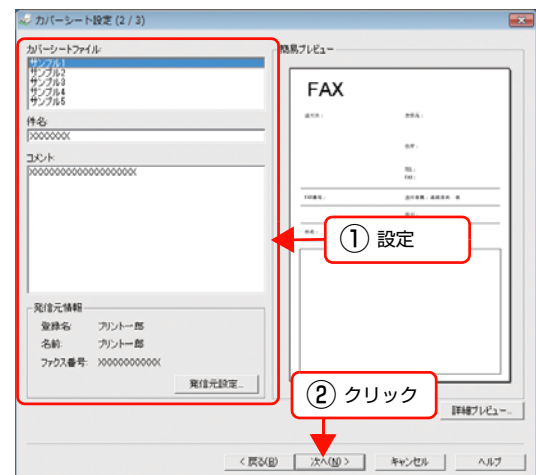
［プロパティ］をクリックすると、送信するファクスの用紙サイズや方向、画質や文字の濃さが設定できます。各設定項目の説明は、Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアのヘルプを参照してください。

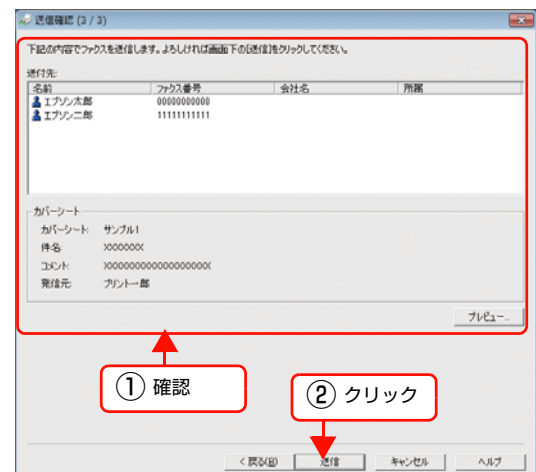
> **! 重要**
>
> 印刷部数設定は「1」にしてください。「2」以上を入力すると、エラーや正しいページ構成で送信できないことがあります。

4 **［送付先設定］画面が表示されたら、アドレス帳から送付先を指定し、［追加］をクリックします。**

送付先はアドレス帳から選択、または直接入力します。各手順は、Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアのヘルプを参照してください。

初めて Offirio PC-FAX for MFP を起動すると［通信設定］画面、［発信元情報の追加］画面送信するファクスの用紙サイズが表示されることがあります。必要な情報を設定して［OK］をクリックします。

5 **送付先を設定したら、［カバーシートを付加する］をチェックして、［次へ］をクリックします。**

カバーシートを付加しない場合は、手順 7 に進みます。

6 **［カバーシート設定］画面の各項目を設定し、［次へ］をクリックします。**

カバーシートの種類を選択し、件名、コメントを入力します。

7 **設定内容を確認し、［送信］をクリックします。**

［プレビュー］をクリックすると送信内容を確認できます。

以上で終了です。

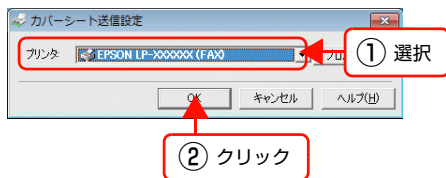
カバーシートのみを送信

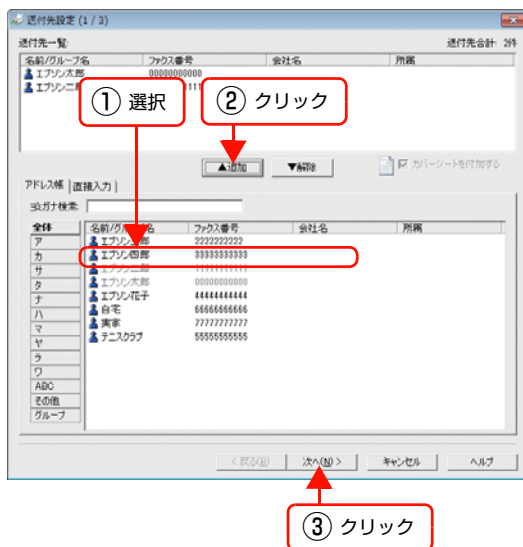
本文データを付けずにカバーシートのみの送信ができます。

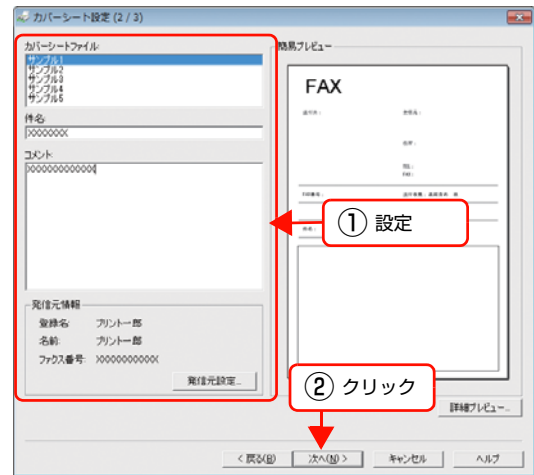
1 **Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアの［カバーシート送信］を起動します。**

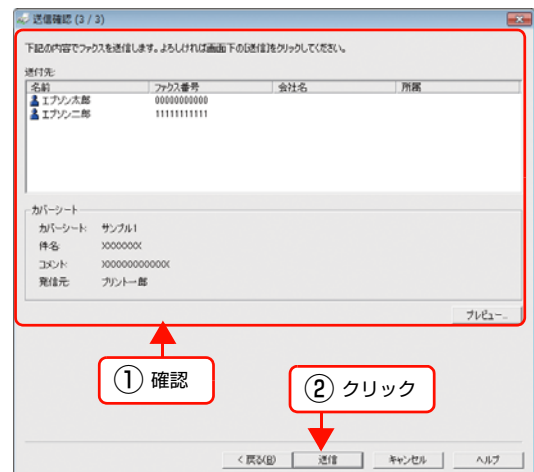
［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［Epson］－［Offirio PC-FAX for MFP］－［カバーシート送信］をクリックします。

2 **［プリンター名］から［お使いのプリンター名（FAX）］を選択し［OK］をクリックします。**

送信ウィザード画面が表示されます。
［プロパティ］をクリックすると、送信するファクスの用紙サイズや方向、画質や文字の濃さが設定できます。各設定項目の説明は、Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアのヘルプを参照してください。

3 **［送付先設定］画面が表示されたら、アドレス帳から送付先を指定し、［追加］をクリックします。送付先を設定したら、［次へ］をクリックします。**

送付先はアドレス帳から選択、または直接入力します。各手順は、Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアのヘルプを参照してください。

4 **［カバーシート設定］画面の各項目を設定し、［次へ］をクリックします。**

カバーシートの種類を選択し、件名、コメントを入力します。

5 **設定内容を確認し、［送信］をクリックします。**

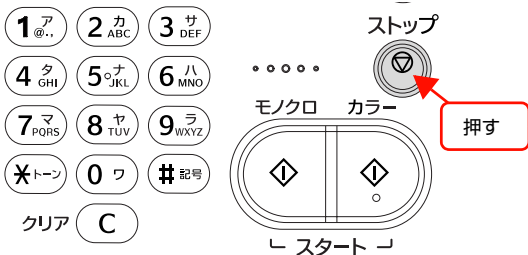
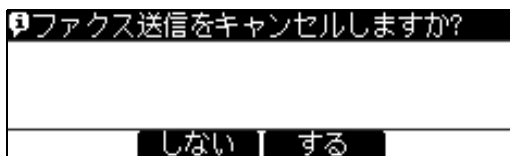
［プレビュー］をクリックすると送信内容を確認できます。

以上で終了です。

送信のキャンセル

読み取りをキャンセルする方法と、本製品に蓄積されている送信ジョブをキャンセルする方法について説明します。

読み取り中のキャンセル

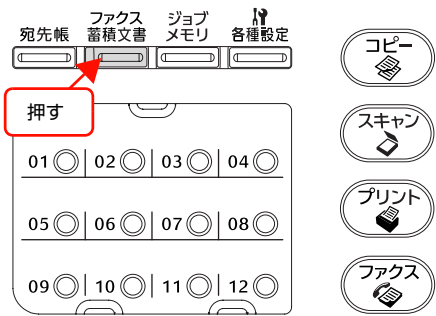
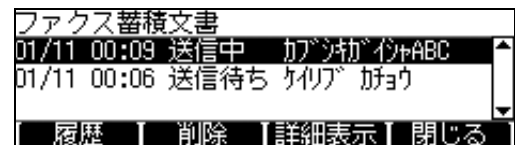
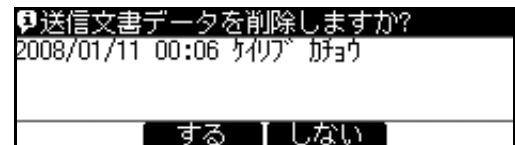
原稿の読み取り中には、【ストップ】ボタンを押してキャンセルします。

1 【ストップ】ボタンを押します。

2 表示されるメッセージを確認して、［する］に対応する【F3】ボタンを押します。

以上で送信がキャンセルされました。

送信待ち / 送信中のジョブ削除

本製品に蓄積されている送信待ち/送信中のジョブを確認してから、削除します。

送信待ちのジョブがあるときは、ファクス蓄積文書ランプが点灯します。

1 【ファクス蓄積文書】ボタンを押します。

2 【▲】または【▼】ボタンを押して一覧の中から削除する項目を選択し、［削除］に対応する【F2】ボタンを押します。

3 ［する］に対応する【F2】ボタンを押します。

以上で終了です。

ファクス受信

ここでは、ファクス受信の方法を説明します。

受信モードについて

本製品には、ファクスを受信する際の受信モードが 4 種類用意されています。受信モードは、【各種設定】ボタン－［ファクス設定］－［受信設定］－［受信モード］で変更できます。

☞ 166 ページ「ファクス設定の項目一覧（ファクスモデルのみ）」

受信モード	説明
自動切替 （初期設定）	受信すると、外付け電話機の呼び出し音を指定秒数鳴らした後、本製品が応答して送付されてきたファクスデータを受信します。 * 通信（着信）内容が、電話か FAX かを自動的に判別する機能ではありません。 着信 ⇒ 外付け電話機 指定回数呼び出し ⇒ 受話器を取る ⇒ 音声 <通話開始> ⇒ そのまま通話を続けてください 受話器を取る ⇒ ファクス受信 <”ポー”発信音> ⇒ 受話器を持ったまま ファクスモードで［スタート］ボタンを押して 手動受信メニューで受信方法を 選択して［スタート］ボタンを押す <ファクス受信開始> 受話器を取らない ⇒ 自動受信 <ファクス受信開始>
ファクス専用	本製品が自動的に応答して、送付されてきたファクスデータを受信します。 外付け電話機が接続されている場合は、1 ～ 2 回鳴った後にファクス受信を開始します。 着信 ⇒ 自動受信 <ファクス受信開始>
電話専用	受信すると、外付け電話機の呼び出し音を鳴らします。 着信 ⇒ 外付け電話機 呼び出し ⇒ 受話器を取る ⇒ 音声 <通話開始> ⇒ そのまま通話を続けてください 受話器を取る ⇒ ファクス受信 <”ポー”発信音> ⇒ 受話器を持ったまま ファクスモードで［スタート］ボタンを押して 手動受信メニューで受信方法を 選択して［スタート］ボタンを押す <ファクス受信開始> 外付け電話機 呼び出し ⇒ 受話器を取らない ⇒ 外付け電話機 <呼び出し続ける>
TAM	留守番電話の応答中にファクス信号を検出した場合、ファクス受信に切り替わる機能です。 着信 ⇒ 外付け電話機 呼び出し ⇒ 受話器を取る ⇒ 音声 <通話開始> ⇒ そのまま通話を続けてください ⇒ 受話器を取る ⇒ ファクス受信 ⇒ 数回の”ポー”発信音が鳴り、自動的に ファクス受信に切り替わります ⇒ 留守番電話 自動対応 ⇒ 音声 <通話開始> ⇒ 留守番電話に音声メッセージが 録音されます ⇒ 留守番電話 自動対応 ⇒ ファクス受信 ⇒ 数回の”ポー”発信音が録音され、 自動的にファクス受信に切り替わります ⇒ 受話器をとらない、または 留守番電話自動対応しない ⇒ 外付け電話機 <呼び出し続ける>

基本的な受信(自動受信)

ファクスデータを受信するとファクスユニットの内蔵メモリーにデータが蓄積され、受信が終わると自動的に印刷されます（[受信設定] －［受信ファクス出力先］が［印刷］のとき）。

給紙用紙は、[ファクス設定] －［受信設定］－［給紙口］の設定が自動のとき、以下の優先順位で選択されます。

1）用紙がある給紙装置から選択します。

2）受信データに応じて最適な用紙サイズが選択されます。

3）用紙カセット 1 ～ 3、MP トレイの順で検索します。

!重要

- ファクスのスキャン中は受信できません。
- PC-FAX 機能で、コンピューターから本製品にデータを送信している間は受信できません。
- 本製品の主電源とプリンター部の電源が入っていないときは、ファクス受信できません。

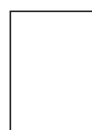
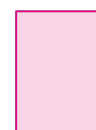
受信できる原稿サイズ

ファクス受信データのサイズが、本製品にセットしている用紙と異なる場合、自動的に分割・縮小して印刷されます。

受信データの分割・縮小は、以下の表を参照してください。

受信データの原稿サイズと向き / 印刷用紙サイズ	受信データの原稿サイズ				
	A3	B4	A4	A4	B5
A3					
B4	※縮小			※縮小	
A4	※縮小	※縮小			
B5	※縮小・分割	※分割	※分割	※縮小	

※分割：2 ページに分割して印刷する

※縮小：印刷用紙サイズに合わせて縮小して印刷する

（白枠）は印刷用紙サイズです。（ピンク枠）は受信データの原稿サイズです。

手動受信

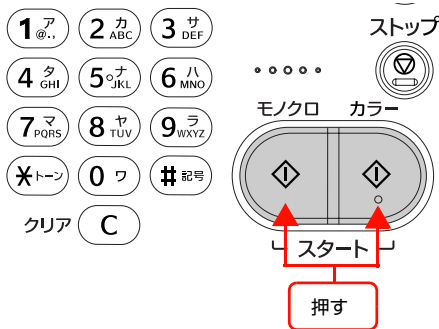
回線がつながったことを確認してからファクス受信を始める手動受信の方法を説明します。

外付け電話機を利用していて、通話後にファクスを受信するときなどは手動受信になります。

1 **受信したときに【オンフック】ボタンを押します。**

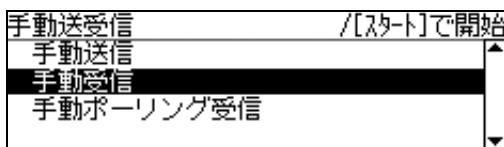
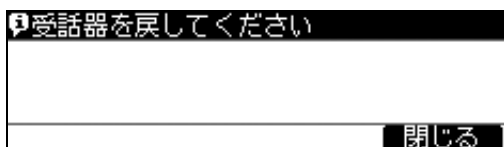
外付け電話機の場合は、電話機の受話器を上げます。

> **参考**
> メール・ファイル機能の設定は手動受信でも有効です。［受信ファクス出力先］の設定が「メール」または「PC 保存」になっている場合は、受信したファクスが出力されず、メール送信またはフォルダーに保存されます。
> ☞ 60 ページ「メール・ファイル機能を使用するために」

2 **通信を確認後、【カラー】または【モノクロ】ボタンのどちらかを押します。**

3 **次の画面が表示されたら［手動受信］を選択して【カラー】または【モノクロ】ボタンを押します。**

手動送受信 /[ｽﾀｰﾄ]で開始
手動送信
手動受信
手動ポーリング受信

4 **外付け電話機の場合は、次の画面が表示されたら、受話器を元に戻します。**

受話器を戻してください
閉じる

以上で終了です。

メモリー受信

［各種設定］－［ファクス設定］－［受信設定］－［メモリ受信］を「する」に設定すると、受信したファクスを出力せずにメモリーに蓄積するように設定できます。

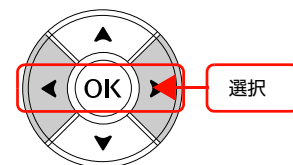
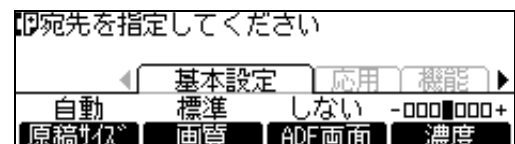
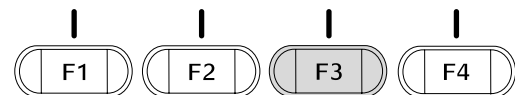
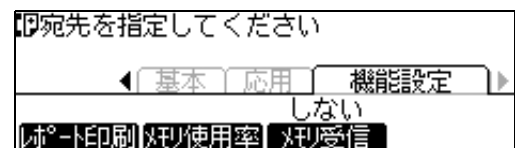
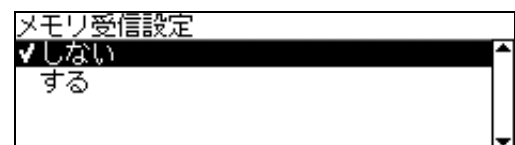
［メモリ受信］では、メモリー受信の開始時間と終了時間を設定できるため、夜間に受信したファクスを翌朝に印刷することができます。

☞ 166 ページ「ファクス設定の項目一覧（ファクスモデルのみ）」

［各種設定］－［ファクス設定］－［受信設定］－［メモリ受信］を［する］に設定したときはファクスモードの［機能設定］タブで［メモリ受信］の現在の状態を確認し、変更することができます。

1 **【ファクス】ボタンを押します。**

ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

2 **【◀】または【▶】ボタンを押して、［機能設定］タブを選択します。**

3 **［メモリ受信］に対応する【F3】ボタンを押します。**

4 **【▲】または【▼】ボタンで設定値を選択して、【OK】ボタンで決定します。**

> **参考**
> 決定した設定は、開始時間で設定した時刻になると［する］になり、終了時間で設定した時刻になると［しない］になります。

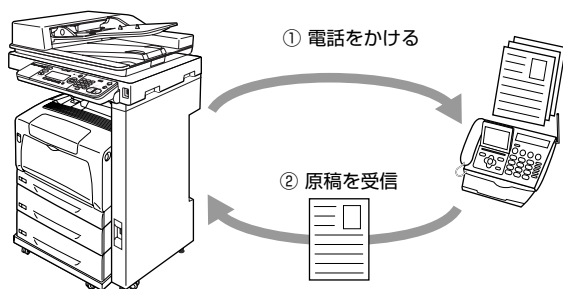
以上で終了です。

ファクス情報サービスの受信

ここでは、ファクス情報サービスを利用してファクスを受信する方法を説明します。ファクス情報サービスとは、相手側のファクスにあらかじめ蓄積された原稿を、受信側のファクスの操作によって取り出すサービスです。

ファクス情報サービスを利用してファクス受信する方法は、手動受信とポーリング受信の 2 通りの方法があります。

ファクス情報サービスの種類に応じて、手動受信またはポーリング受信でファクス受信を行ってください。

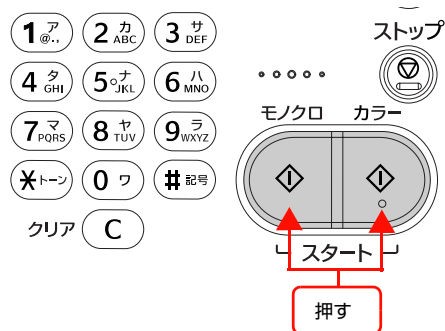
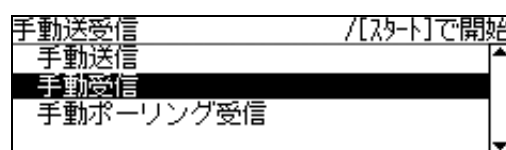
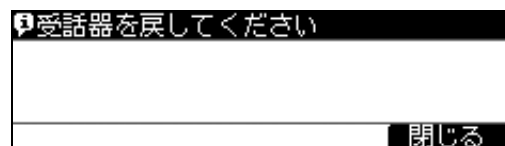
相手先番号の入力は、本製品の操作パネルのテンキーまたは、外付け電話機のどちらでも行えます。

参考

- ファクス情報サービスを利用してファクスを受信する場合、通信料金は本製品側の負担となります。
- メール・ファイル機能の設定は手動受信または、ポーリング受信でも有効です。［受信ファクス出力先］の設定が「メール」または「PC 保存」になっている場合は、受信したファクスが出力されず、メール送信またはフォルダーに保存されます。
☞ 60 ページ「メール・ファイル機能を使用するために」

手動受信

1. **【ファクス】ボタンを押します。**
   ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

2. **【オンフック】ボタンを押し、テンキー（ダイヤルボタン）を使って、相手先の番号を入力します。外付け電話機の場合は、電話機の受話器を上げて電話機で番号を入力します。**

3. **ファクス通信を確認後、【カラー】または【モノクロ】ボタンのどちらかを押し、次の画面が表示されたら［手動受信］を選択して【カラー】または【モノクロ】ボタンを押します。**

4. **外付け電話機の場合は、次の画面が表示されたら、外付け電話機の受話器を元に戻します。**

以上で終了です。

ポーリング受信

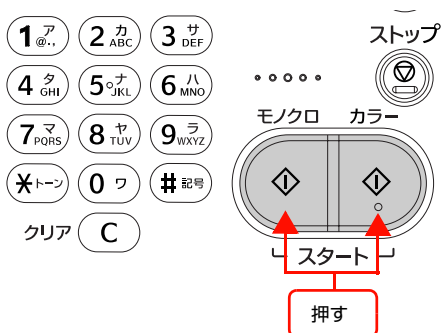
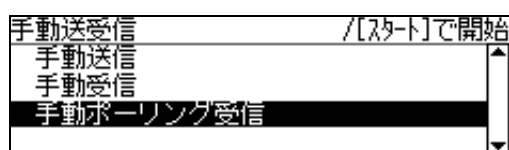
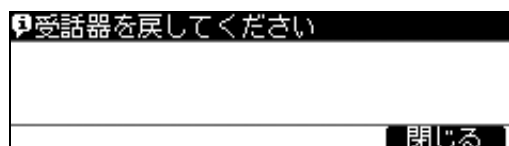
1 **【ファクス】ボタンを押します。**

ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

2 **【オンフック】ボタンを押し、テンキー（ダイヤルボタン）を使って、相手先の番号を入力します。外付け電話機の場合は、電話機の受話器を上げて電話機で番号を入力します。**

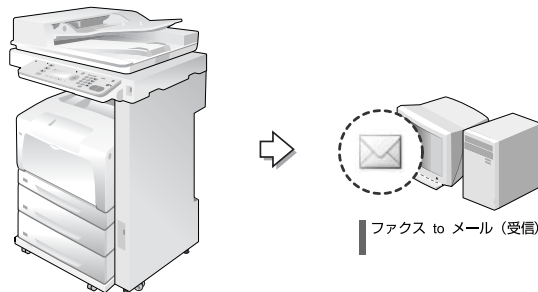
3 **ファクス通信を確認後、【カラー】または【モノクロ】ボタンのどちらかを押し、次の画面が表示されたら［手動ポーリング受信］を選択して【カラー】または【モノクロ】ボタンを押します。**

4 **外付け電話機の場合は、次の画面が表示されたら、外付け電話機の受話器を元に戻します。**

受話器を戻してください
閉じる

> **参考**
>
> ポーリング受信がうまく動作しない場合は、手順 3 で［手動受信］を選択してみてください。

以上で終了です。

受信データをメール送信(ファクス to メール)

「ファクス to メール」は、受信したファクスデータを、PDF ファイル化し、メールで送信する機能です。

操作パネルの【各種設定】ボタンで表示するメニューから［ファクス設定］－［受信設定］－［受信ファクス出力先］を「メール」に設定します。

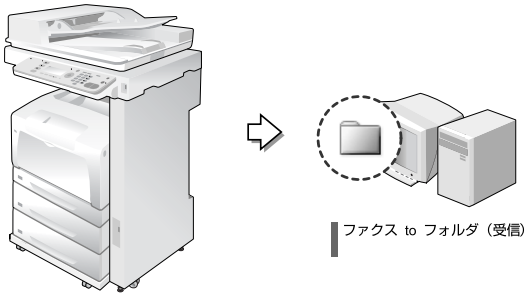
［受信ファクス出力先］の詳細な手順は、以下のページを参照してください。

☞ 61 ページ「基本情報の設定」

ファクスを受信すると、［ファクス設定］－［受信設定］－［メール設定］で登録されているユーザーにメール送信します。

> **参考**
>
> - 「ファクス to メール」機能を利用するには、本製品のネットワーク設定およびメール設定が必要です。詳しくは、以下を参照してください。
>   ☞ 61 ページ「基本情報の設定」
> - メール送信でエラーが発生した場合は、受信ファクス文書を強制印刷します。
> - 受信ファクス文書内の 1 ページが「添付ファイル最大サイズ」を超えた場合は、受信ファクス文書を強制印刷し、「強制印刷が行われた」内容のメールを送信します。

受信データをコンピューターに保存

「ファクス to フォルダー」は、受信したファクスデータを、設定されている共有フォルダーに PDF ファイルとして保存する機能です。受信したファクスデータは、共有フォルダーにアクセス許可されているネットワーク上のコンピューターから閲覧できます。

操作パネルの【各種設定】ボタンで表示するメニューから［ファクス設定］－［受信設定］－［受信ファクス出力先］を「PC 保存」に設定します。

［受信ファクス出力先］の詳細な手順は、以下を参照してください。

☞ 61 ページ「基本情報の設定」

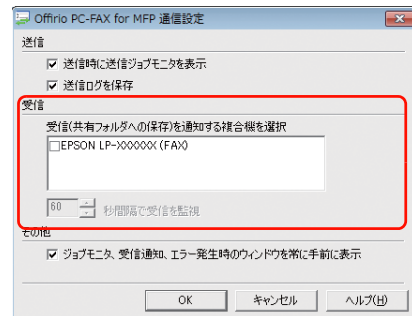
ファクスを受信すると、［ファクス設定］－［受信設定］－［PC 保存先設定］で登録されているフォルダーにデータを保存します。

参考

- 「ファクス to フォルダー」機能を利用するには、本製品のネットワーク設定および共有フォルダーの登録が必要です。詳しくは、以下を参照してください。
  ☞ 61 ページ「基本情報の設定」
- 共有フォルダーへの書き込みでエラーが発生した場合は、受信ファクス文書を強制印刷します。

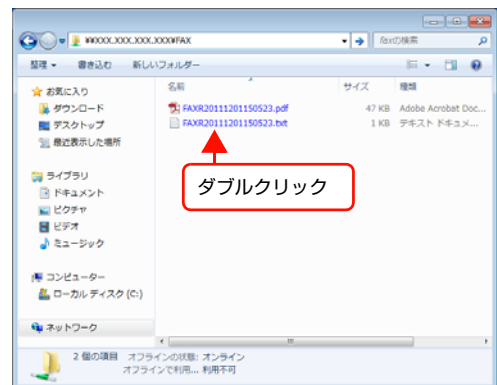
保存データの閲覧

Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアは登録しているファクス保存用の共有フォルダーを監視し、ファクスを受信すると画面上に通知します。

Offirio PC-FAX for MFPの設定方法は、Offirio PC-FAX for MFP のヘルプを参照してください。

ファクスデータの閲覧は次のように操作します。

1 **ファクスの受信通知画面で［はい］をクリックします。**

2 **受信ファクス一覧から目的のジョブをダブルクリックします。**

ファクスのデータを開きます。

共有フォルダーの受信ファクスは、PDF 形式のデータになっています。閲覧するには、コンピューターに PDF 形式のファイルを表示するアプリケーションソフトが必要です。

以上で終了です。

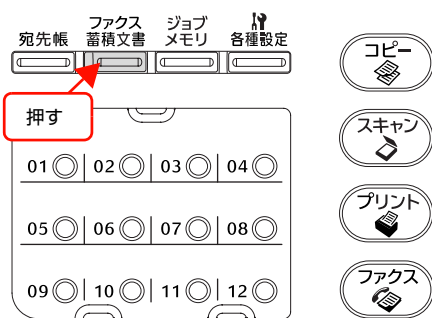
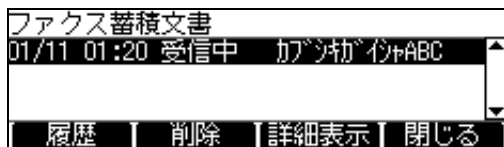
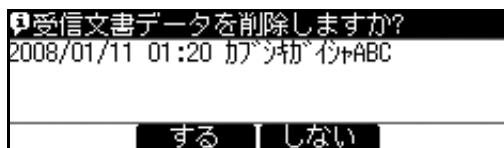
受信のキャンセル

受信をキャンセルしたり、本製品に蓄積されている受信ジョブをキャンセルする方法を説明します。

受信ジョブがあるときは、ファクス蓄積文書ランプが点滅します。

受信ジョブの削除

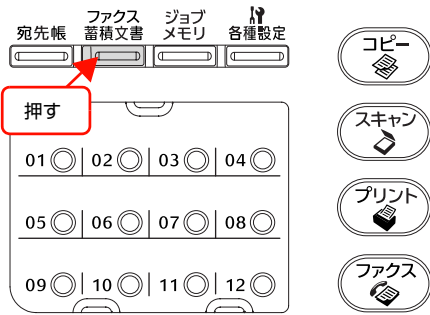
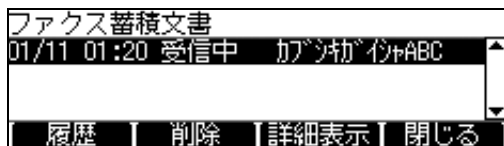
本製品に蓄積されている受信ジョブ（印刷待ちジョブ）を確認してから、削除します。

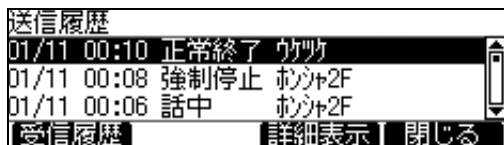
1 **【ファクス蓄積文書】ボタンを押します。**

2 **【▲】または【▼】ボタンを押して一覧の中から削除する項目を選択し、［削除］に対応する【F2】ボタンを押します。**

3 **［する］に対応する【F2】ボタンを押します。**

以上で終了です。

その他の機能

送受信履歴の表示

ファクスの送受信履歴を確認できます。

1 【ファクス蓄積文書】ボタンを押します。

2 ［履歴］に対応する【F1】ボタンを押します。

3 ［受信履歴］／［送信履歴］に対応する【F1】ボタンを押し、それぞれの履歴を確認します。

履歴は【▲】または【▼】ボタンで選択します。

4 モードの初期画面になるまで、［閉じる］に対応する【F4】ボタンを押します。

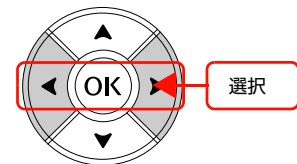
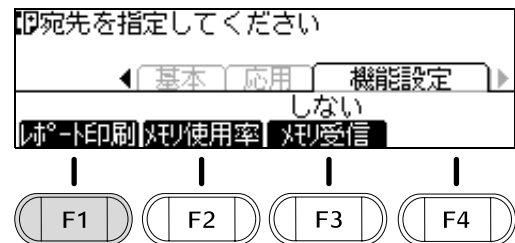
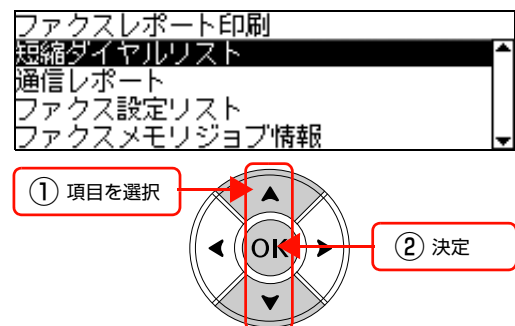
以上で終了です。

ファクスレポート印刷

短縮ダイヤルリスト／通信レポート／ファクス設定リスト／ファクスメモリージョブ情報のレポートを印刷します。

1 【ファクス】ボタンを押します。

ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

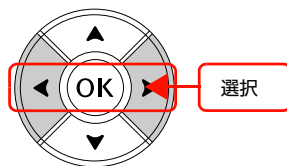
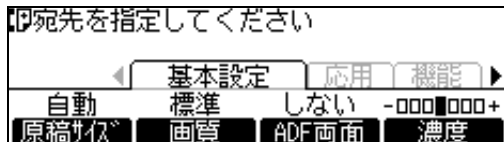
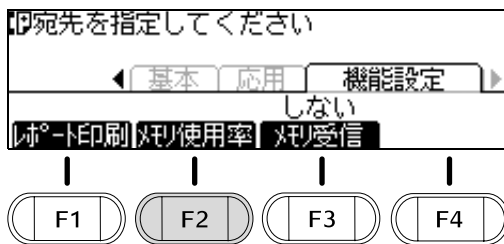
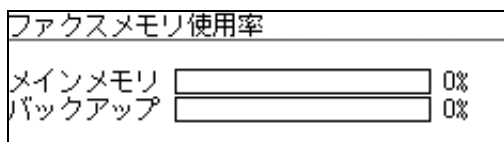
2 【◄】または【►】ボタンを押して、［機能設定］タブを選択します。

3 ［レポート印刷］に対応する【F1】ボタンを押します。

4 【▲】または【▼】ボタンで印刷するレポートを選択して、【OK】ボタンを押します。

5 モードの初期画面になるまで【戻る】ボタンを押します。

以上で終了です。

ファクスメモリー使用率の表示

ファクスメモリー使用率を確認します。

1 **【ファクス】ボタンを押します。**
ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

2 **【◄】または【►】ボタンを押して、［機能設定］タブを選択します。**

3 **［メモリ使用率］に対応する【F2】ボタンを押します。**

4 **メモリーの使用率を確認します。**

5 **モードの初期画面になるまで【戻る】ボタンを押します。**

以上で終了です。

スキャンする前に

スキャン機能について説明します。

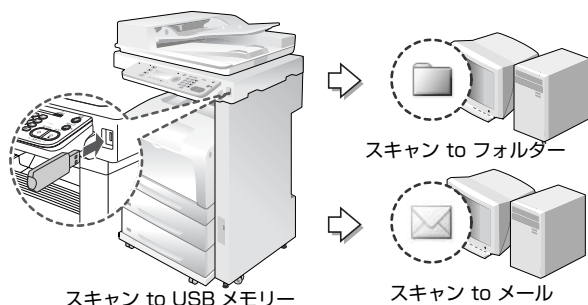
スキャン方法は、操作パネルの操作でスキャンする方法と、コンピューター上のEPSON Scan（TWAIN規格のスキャナードライバー）からスキャンする2通りの方法があります。それぞれの方法で必要な作業を以下の表にまとめます。

方法	保存先	使用するために必要な作業
操作パネルから	USBメモリー	なし
	メール	操作パネルまたはEpsonNet Config（ソフトウェア）を使用した基本情報の登録
	共有フォルダー	
コンピューターから	-	EPSON Scanのインストールと設定

EPSON Scanのインストールと設定は、『セットアップガイド』（冊子）－「コンピューターの接続と設定」を参照してください。

スキャンデータ保存先の設定

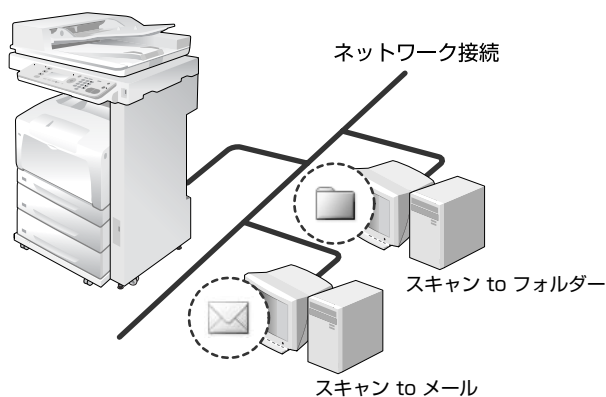
操作パネルでスキャンするとき、スキャンデータの保存先として次の3つから選択できます。

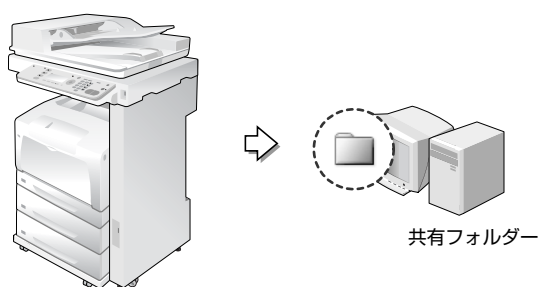
保存先	説明
USBメモリー	本製品に接続したUSBメモリーに保存します。
共有フォルダー（ファイル機能）	ネットワーク上のコンピューターに設定した共有フォルダーに保存します。
メール	メールに添付して宛先のユーザーに送信します。

メール・ファイル機能の設定

スキャンデータをメールに添付したり、ネットワーク上のコンピューターに設定した共有フォルダーに保存するメール・ファイル機能を使用するには、次の設定が必要です。

接続設定の確認

ネットワーク接続

本製品を使用する環境のネットワークに接続します。

サーバーに共有フォルダーを設定（ファイル機能を使用する場合）

ネットワーク上のサーバーにファイル機能でスキャンデータを保存する共有フォルダーを用意します。

基本情報の設定

操作パネルまたはソフトウェア EpsonNet Config で以下の設定をします。

- メールサーバーの設定（メール機能を使用する場合）
- メールの送信先の宛先登録（メール機能を使用する場合）
- 保存先フォルダーの設定（ファイル機能を使用する場合）

ここでは操作パネルからの設定方法を説明します。EpsonNet Config については、EpsonNet Config のヘルプおよび以下を参照してください。

☞ 176 ページ「EpsonNet Config から登録する」

メールサーバーの設定

操作パネルの【各種設定】ボタンで表示するメニューから［共通設定］－［メールサーバ設定］で設定します。操作方法や設定項目は、以下のページを参照してください。

☞ 158 ページ「共通設定の項目一覧」

メールの送信先の宛先登録

操作パネルの【各種設定】ボタンで表示するメニューから［宛先 / 保存先設定］－［メールアドレス］でメールの宛先を設定します。登録方法は、以下のページを参照してください。

☞ 170 ページ「送信先メールアドレスの登録 / 編集」

保存先フォルダーの設定

操作パネルの【各種設定】ボタンで表示するメニューから［宛先 / 保存先設定］－［保存先フォルダ］で保存する共有フォルダーを設定します。登録方法は、以下のページを参照してください。

☞ 171 ページ「送信先フォルダーの登録 / 編集」

スキャン設定の［機能］タブ－［レポート印刷］からメールアドレスリストと PC フォルダーリストが印刷できます。

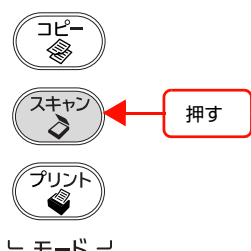
☞ 271 ページ「スキャンモードの設定項目」

操作パネルでスキャン

操作パネルでスキャンする方法を説明します。

USB メモリーに保存

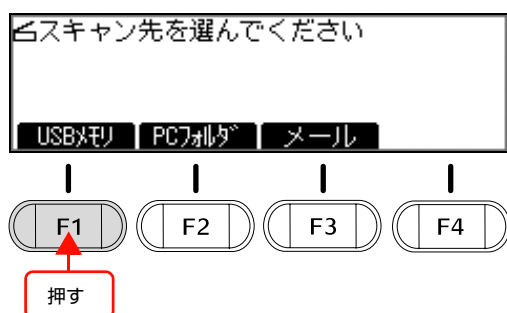
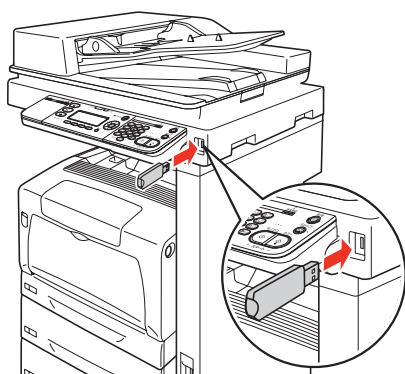
USB メモリー用コネクターに接続した USB メモリーに、スキャンしたデータを保存する手順を説明します。

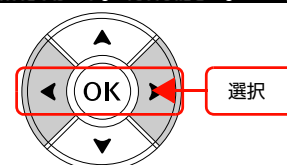
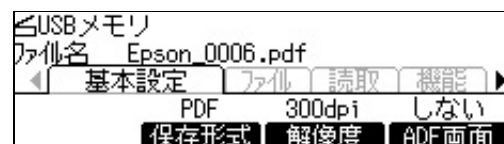
1 【スキャン】ボタンを押します。

スキャンランプが点灯して、スキャンモードになります。

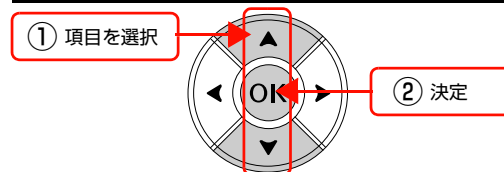
2 原稿をセットします。

原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  ☞ 25 ページ「原稿台へのセット」
- ADF に原稿をセットする場合
  ☞ 26 ページ「ADF へのセット」

3 ［USB メモリ］に対応する【F1】ボタンを押します。

4 USBメモリーを、本製品のUSBメモリー用コネクターに取り付けます。

5 必要に応じて、設定を変更します。

①【◀】または【▶】ボタンを押して設定項目のタブを選択します。
タブは［基本設定］と［ファイル設定］、［読取設定］、［機能］が選択できます。

②【F1】～【F4】ボタンを押して設定項目を選択します。画面は［基本設定］の場合です。

③ 設定値を設定して、【OK】ボタンを押して決定します。【OK】ボタンを押すと②の画面に戻ります。
画面は、［保存形式］の場合です。

項目は以下の通りです。

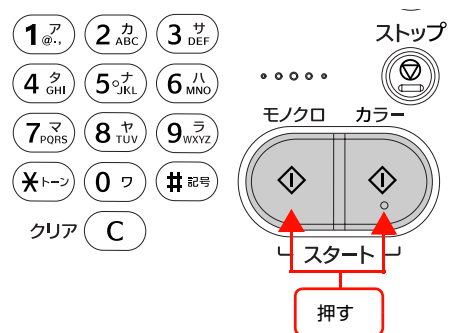
項目	選択 / 設定値	説明
保存形式	PDF*	PDF 形式：文書原稿などに適しています。 [ADF 両面] の [原稿状態] と [原稿方向] の設定に応じて、文字が読める向きに自動的に回転します。
	TIFF*	TIFF 形式：高画質の取り込みに適しています。
	JPEG	JPEG 形式：取り込みデータのサイズを小さくしたい場合に適しています。
解像度	96dpi 200dpi 300dpi 400dpi 600dpi	解像度が高いほど精細なスキャン結果が得られますが、読み取りに時間がかかったり、ファイルサイズが大きくなります。
ADF 両面	しない（片面原稿） する（両面原稿）	ADF が装着され、保存形式に PDF を選択したときのみ設定できます。 [する] を設定して、両面原稿をスキャンすると、[原稿状態] と [原稿方向] の設定に応じて、原稿の方向を文字が読める向きに自動的に回転します。
原稿状態	左右開き 上下開き	原稿の開き方向を設定します。
原稿方向	上向き（読める向き） 左向き	原稿のセット方向を設定します。 24 ページ「セットする原稿の向き」
ファイルヘッダ	ー	ファイルの最初に付加する文字を入力します（半角 8 文字以内）。
圧縮率	高い 標準 低い	ファイルの圧縮率を設定します。圧縮率が低いほど高品質ですが、ファイルサイズが大きくなります。
原稿画質	文字 / 写真	オフィスなどで通常使用される画像や文字が混在する書類を原稿にする場合に選択します。
	文字	黒文字を多く含む書類を原稿にする場合に選択します。
	写真	写真（カラー写真、銀塩写真、印刷物写真）を原稿にする場合に選択します。
濃度	-3 ～ 0 ～ + 3	• 数値が小さくなる（マイナス）ほど全体的に薄い画像になります。 • 数値が大きくなる（プラス）ほど全体的に濃い画像になります。

項目	選択 / 設定値	説明
原稿サイズ	自動 A3 B4 A4 A4 B5 B5 A5 A5	原稿のサイズを選択します。

* 複数ページを 1 つのファイルにするときは [マルチページ] を選択してください。1 ページごと 1 ファイルにするときは [シングルページ] を選択してください。

6 **【カラー】または【モノクロ】ボタンを押して、原稿をスキャンします。**

- 【カラー】ボタンはカラー、【モノクロ】ボタンはモノクロでスキャンします。
- 取り込まれた原稿は、USB　メモリー内の以下のフォルダーに保存されます。
  LP-M5300_xxxxxxxxxx
  （xxxxxxxxxxx は本製品のシリアル番号）
- ファイル名は、取り込んだ順にファイルヘッダ+xxxx. 拡張子で保存されます（xxxx は 0001 からの連番）。
  ［シングルページ］でスキャンしたときは、1 ページごとファイルヘッダ+ xxxx ＋ y. 拡張子で保存されます（y は 1 からの連番）。

> **参考**
> 【モノクロ】ボタンを押した場合、通常はグレー（8bit）でスキャンしますが、［ファイル形式］が［TIFF］または［PDF］で［原稿画質］が［文字］の場合は、モノクロ（白黒 2 値）でスキャンします。

スキャンが終了したら、セットした原稿と USB メモリーを本製品から取り除いてください。

> **参考**
> 原稿台を使用した場合は、1 枚ごとに原稿をセットする必要があります。2 枚目以降は、原稿をセットして、［次の原稿］に対応する【F2】ボタンを押して原稿を読み取ります。すべての原稿を読み取った後、［終了］に対応する【F3】ボタンを押します。

以上で終了です。

共有フォルダーに保存

保存先を指定しスキャンすると、スキャンしたデータを、共有フォルダーに保存します。

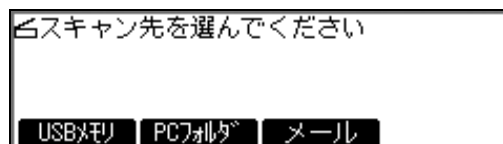
1 **【スキャン】ボタンを押します。**

スキャンランプが点灯して、スキャンモードになります。

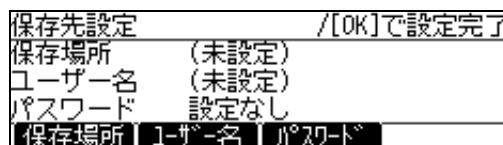
2 **原稿をセットします。**

原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  ☞ 25 ページ「原稿台へのセット」
- ADF に原稿をセットする場合
  ☞ 26 ページ「ADF へのセット」

3 **［PC フォルダ］に対応する【F2】ボタンを押します。**

4 **保存先を設定して、【OK】ボタンを押して決定します。**

① ［基本設定］タブで［保存先］に対応する【F1】ボタンを押します。
② 【F1】～【F3】ボタンを押して設定項目を選択します。

保存先設定	/［OK］で設定完了
保存場所	（未設定）
ユーザー名	（未設定）
パスワード	設定なし
保存場所　ユーザー名　パスワード	

③ 各項目を設定して、【OK】ボタンを押して決定します。
【OK】ボタンを押すと②の画面に戻ります。
項目は、次ページの通りです。

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="2">保存場所</td><td>ー</td><td>保存先フォルダーのパスを直接入力します（107 文字以内）。
フォルダーパスは保存先コンピューターの IP アドレス、または ドメイン名、デバイス名との組み合わせで入力します。
入力例）
フォルダー「share\pc001」、IP アドレス「192.168.1.10」の場合
「\\192.168.1.10\share\pc001」</td></tr>
<tr><td>宛先帳</td><td>宛先帳から保存先を選択します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ユーザー名</td><td>ユーザー名を入力します（半角 30 文字以内）。
［ユーザー名］はドメイン名を付加して指定できます。ドメイン名は 15 文字以下にしてください。
入力例）
ドメイン名「epson」、ユーザー名「user01」の場合、ユーザー名は「epson\user01」になります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">パスワード</td><td>ユーザーのパスワードを入力します（半角 20 文字まで、＊は使用できません）。</td></tr>
</table>

参考

- 保存先コンピューターが Windows Vista の場合は、保存先コンピューター上に登録されているユーザー名とパスワードを上記項目で設定する必要があります。
- 保存先フォルダーのパスは、ドメイン名でも指定できます。ドメイン名で指定する場合はお使いの環境に DNS サーバーが設定されている必要があります。
  入力例）
  ドメイン名「epson.net」、デバイス名「xyz9876」の場合
  「\\xyz9876.epson.net\share\pc001」
- テンキーの数字と半角カナ、アルファベットは、［a → 1］、［1 →ｱ］、［ｱ→ a］に対応した【F4】キーを押して切り替えます。
- アルファベット入力モードのときに、繰り返しテンキーを押すと、小文字→大文字の順でアルファベットが表示されます。
- 「\」（バックスラッシュ）や「.」（ドット）などの記号は、アルファベット入力モードで［#］を何回か押すと入力できます。
- 入力した文字を削除するには、【◀】または【▶】ボタンで消したい文字を選択して、［C］キーを押します。
- 文字を挿入するには、【◀】または【▶】ボタンでカーソルを移動して入力します。

5 必要に応じて、スキャン設定を変更します。

① 【◀】または【▶】ボタンを押して設定項目のタブを選択します。
タブは［基本設定］と［ファイル設定］、［読取設定］、［機能］が選択できます。
② 【F1】～【F4】ボタンを押して設定項目を選択します。
③ 設定値を選択して、【OK】ボタンを押して決定します。

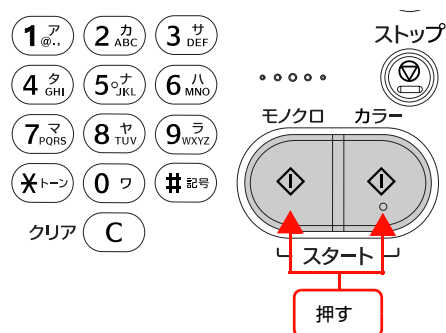
【OK】ボタンを押すと②の画面に戻ります。
設定項目の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 83 ページ「USB メモリーに保存」の手順 5

6 【カラー】または【モノクロ】ボタンを押して、原稿をスキャンします。

- 【カラー】ボタンはカラー、【モノクロ】ボタンはモノクロでスキャンします。
- ファイル名は、取り込んだ順に
  ファイルヘッダ＋ xxxx. 拡張子で保存されます（xxxx は 0001 からの連番）。
  ［シングルページ］でスキャンしたときは、1 ページごとファイルヘッダ＋ xxxx ＋ y. 拡張子で保存されます（y は 1 からの連番）。

スキャンが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

参考

原稿台を使用した場合は、1 枚ごとに原稿をセットする必要があります。2 枚目以降は、原稿をセットして、［次の原稿］に対応する【F2】ボタンを押して原稿を読み取ります。すべての原稿を読み取った後、［終了］に対応する【F3】ボタンを押します。

以上で終了です。

メールで送信

宛先を指定してからスキャンを実行すると、スキャンしたデータを指定した形式にファイル化し、メールで送信します。

1 【スキャン】ボタンを押します。

スキャンランプが点灯して、スキャンモードになります。

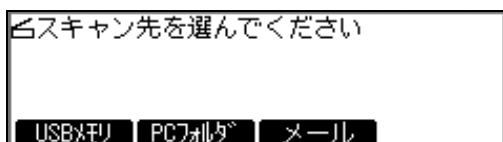
2 原稿をセットします。

原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  ☞ 25 ページ「原稿台へのセット」
- ADF に原稿をセットする場合
  ☞ 26 ページ「ADF へのセット」

3 ［メール］に対応する【F3】ボタンを押します。

```
スキャン先を選んでください

 USBﾒﾓﾘ | PCﾌｫﾙﾀﾞ | メール
```

4 宛先を設定して、【OK】ボタンを押して決定します。

① ［基本設定］タブで［メール設定］に対応する【F1】ボタンを押します。

② 【F1】～【F2】ボタンを押して設定項目を選択します。

```
メール作成            /[OK]で設定完了
宛先      (未設定)
件名      E-mail from EPSON Printer LP…
 宛先 | 件名
```

③ 各項目を設定して、【OK】ボタンを押して決定します。
【OK】ボタンを押すと②の画面に戻ります。
項目は、以下の通りです。

項目		説明
宛先	宛先帳	宛先帳から送信先を選択します。
	直接入力	宛先のメールアドレスを入力します（半角 64 文字以内）。
	削除	選択している宛先を削除します。
件名		メールの件名を入力します（半角 50 文字以内）。

参考

- テンキーの数字とアルファベットは、［a → 1］または［1 → a］に対応した【F4】キーを押して切り替えます。
- アルファベット入力モードのときに、繰り返しテンキーを押すと、小文字→大文字の順でアルファベットが表示されます。
- 入力した文字を削除するには、【◀】または【▶】ボタンで消したい文字を選択して、［C］キーを押します。
- 文字を挿入するには、【◀】または【▶】ボタンでカーソルを移動して入力します。

5 必要に応じて、スキャン設定を変更します。

① 【◀】または【▶】ボタンを押して設定項目のタブを選択します。
タブは［基本設定］と［ファイル設定］、［読取設定］、［機能］が選択できます。

② 【F1】～【F4】ボタンを押して設定項目を選択します。

③ 設定値を選択して、【OK】ボタンを押して決定します。
【OK】ボタンを押すと②の画面に戻ります。

設定項目の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 83 ページ「USB メモリーに保存」の手順 5

6 【カラー】または【モノクロ】ボタンを押して、原稿をスキャンします。

【カラー】ボタンはカラー、【モノクロ】ボタンはモノクロでスキャンします。

スキャンが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

参考

原稿台を使用した場合は、1 枚ごとに原稿をセットする必要があります。2 枚目以降は、原稿をセットして、［次の原稿］に対応する【F2】ボタンを押して原稿を読み取ります。すべての原稿を読み取った後、［終了］に対応する【F3】ボタンを押します。

以上で終了です。

メール送信時にメールサーバーからエラー応答があったときは、メール送信エラーレポートが印刷されます。

コンピューターでスキャン

本製品に付属のスキャナードライバー「EPSON Scan」を例にして、スキャンの基本手順を説明します。

基本的なスキャン手順

原稿をセットします。

本製品でスキャンできる原稿は以下を参照してください。
☞ 23 ページ「セットできる原稿」
原稿のセット方法の詳細は以下を参照してください。
☞ 25 ページ「原稿のセット」

EPSON Scan を起動します。

起動方法は以下を参照してください。
☞ Windows：99 ページ「起動方法」
☞ Mac OS X：123 ページ「起動方法」

モードを選択します。

EPSON Scan は、用途に合わせて 3 つのモードを選択できます。画面右上の［モード］で切り替えます。

- オフィスモード
  オフィスモードでは、文書などを速く大量にスキャンできます。原稿をオートドキュメントフィーダーにセットしたときは、オフィスモードでのご使用をお勧めします。
- ホームモード
  ホームモードでは、簡単な設定でスキャンできます。
- プロフェッショナルモード
  プロフェッショナルモードでは、詳細に画質や色調の調整をしてスキャンできます。

各モードで必要な設定をして、スキャンを実行します。

設定手順の詳細は、EPSON Scan のヘルプを参照してください。
☞ Windows：100 ページ「ヘルプの案内」
☞ Mac OS X：123 ページ「ヘルプの案内」

写真をスキャン

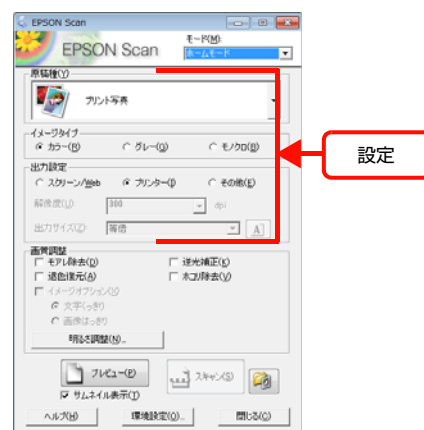
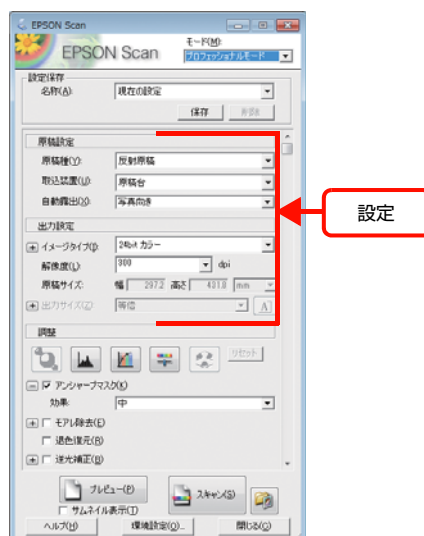
写真をスキャンする際のポイントを説明します。

スキャンのポイント

適切な設定

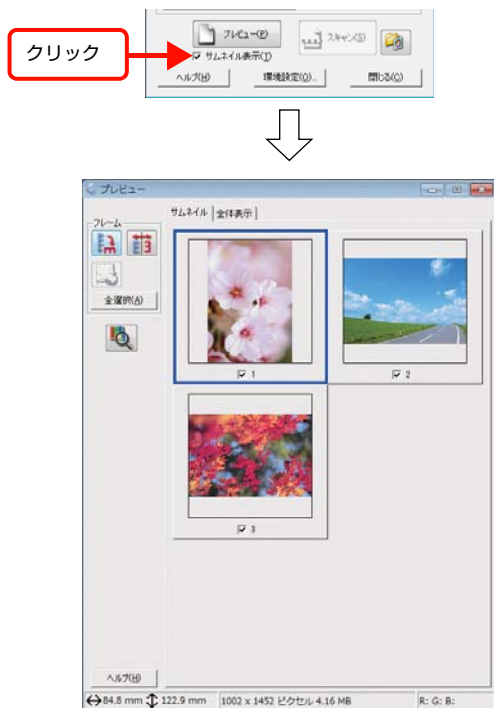
写真をきれいにスキャンしたいときは、EPSON Scan のホームモードまたはプロフェッショナルモードでスキャンすることをお勧めします。

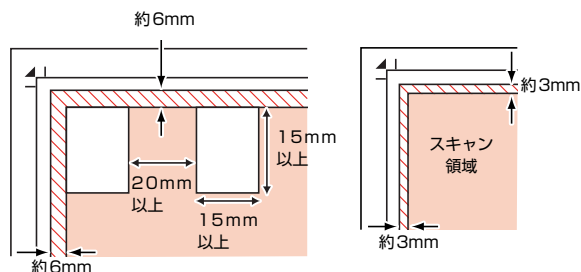
スキャンする原稿とスキャンした画像の用途に合わせて、EPSON Scan の［原稿種］（ホームモード）/［原稿設定］（プロフェッショナルモード）と［出力設定］を適切に設定してください。

ホームモード：

プロフェッショナルモード：

自動認識とまとめてスキャン

EPSON Scan のサムネイル表示機能を使用すると、スキャン範囲/向き/傾きを自動で認識してスキャンできます。プレビューするときに、［サムネイル表示］をチェックしてください。

また、サムネイル表示機能を使用すると、原稿台に複数の写真をセットしてスキャンすることもできます。

ただし、ADF モデル / ファクスモデルのオートドキュメントフィーダー使用時はこの機能は使用できません。

参考

- サムネイル表示機能は、ホームモードとプロフェッショナルモードで対応しています。
- 複数の写真を並べてスキャンするときは、写真と写真の間隔を 20mm 以上空けてセットしてください。また、原稿台の端にはスキャンされない範囲があります。下図を確認してスキャン領域内に原稿をセットしてください。

- スキャンする写真や条件によって、適切にスキャンできないことがあります。適切にスキャンできないときは、［サムネイル表示］をチェックしないでください。

文書 / 雑誌をスキャン

文書や雑誌をスキャンする際のポイントを説明します。

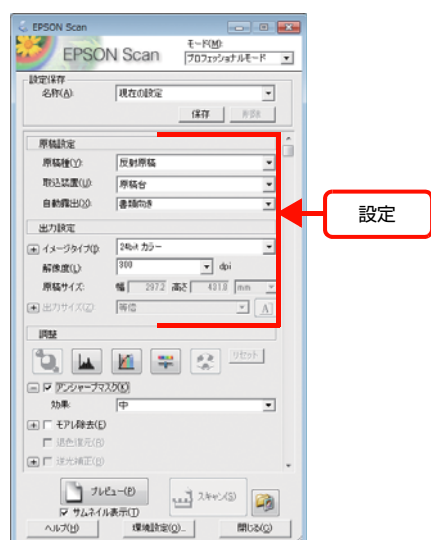
スキャンのポイント

適切な設定

スキャンする原稿とスキャンした画像の用途に合わせて、［イメージタイプ］（オフィスモード）/［原稿種］（ホームモード）/［原稿設定］（プロフェッショナルモード）と［出力設定］を適切に設定してください。

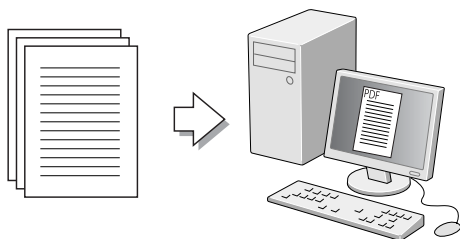
オフィスモード：

ホームモード：

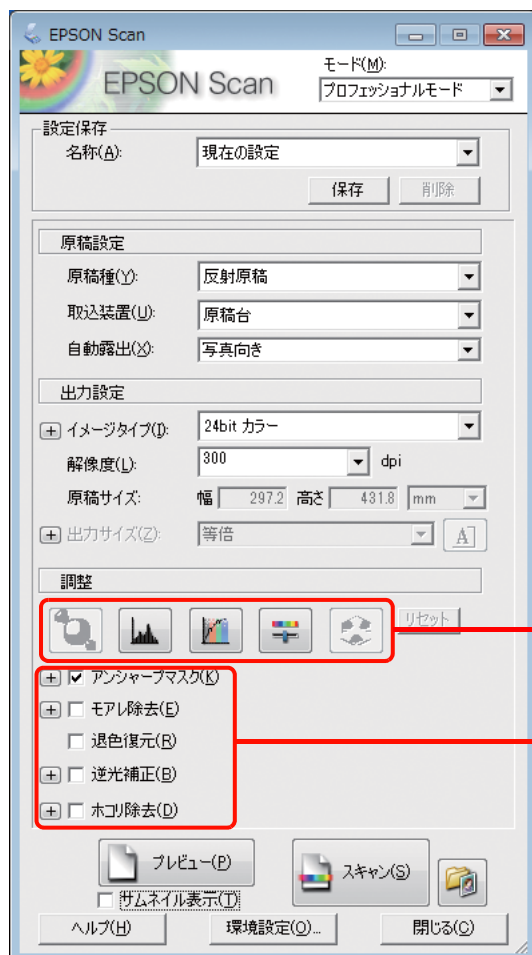
プロフェッショナルモード：

PDF ファイルにまとめてスキャン

文書など複数枚の原稿を PDF 形式（1 ファイル）にまとめてスキャンできます。

PDF にまとめてスキャンする方法は、以下を参照してください。

☞ 155 ページ「PDF ファイルにまとめてスキャン」

EPSON Scan の便利なスキャン機能

EPSON Scan で、さまざまな便利な設定ができます（画面はプロフェッショナルモードの例）。
詳細は以下を参照してください。

☞ 152 ページ「便利なスキャン機能」

色調・明るさ・コントラストなどを調整

画像取り込み枠内の露出（明暗）、画像の明暗、グレーバランス、画像全体の濃度、コントラスト、彩度、カラーバランス、色合いなどを調整できます。

アンシャープマスク

アンシャープマスクの度合いを調整して輪郭部分を強調することで、画像をシャープに補正できます。

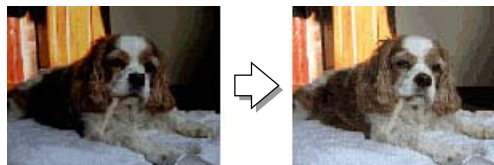
モアレを除去

印刷物（雑誌、カタログなど）のスキャンで発生するモアレパターンの発生を防止できます。

色あせた写真の色を復元

色あせてしまった写真を、元の色に近づくように補正できます。

逆光で撮影された写真を補正

逆光で撮影されたプリント写真を、明度や彩度、カラーバランスを考慮してより自然な色調に補正できます。

ホコリを除去

画像上のホコリを取り除くことができます。

Windows での使い方

付属のソフトウェアディスクには、プリンタードライバーなど本製品を使用するのに必要なソフトウェアが収録されています。ここでは、主なソフトウェアの使い方を説明します。

プリンタードライバーの使い方

コンピューターのアプリケーションソフトで作成または表示した文書や画像を印刷するには、プリンタードライバーが必要です。プリンタードライバーでは、出力する用紙のサイズや向き、印刷品質などに関するさまざまな設定ができます。

プリンタードライバーは、『セットアップガイド』（冊子）の手順に従ってセットアップを行うとインストールされます。

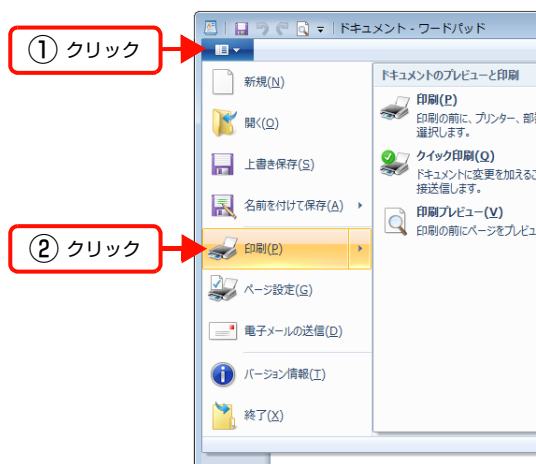
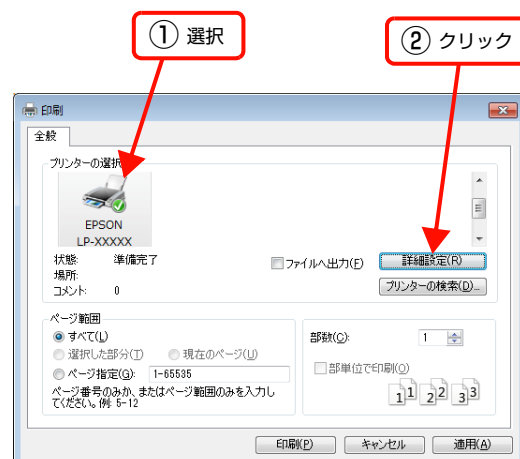
設定画面の開き方

印刷に関する各種の設定は、プリンタードライバーのプロパティーを開いて変更します。プロパティーの開き方は、大きく分けて 2 通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点は、各設定項目の説明を参照してください。

アプリケーションソフトから開く

通常の印刷時は、アプリケーションソフトからプリンタードライバーのプロパティーを開いて設定します。アプリケーションソフトからプリンタードライバーのプロパティーを開く方法は、ソフトウェアによって異なります。各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

ここでは、Windows 7 に添付の「ワードパッド」の例を説明します。

1 左上のワードパッドボタンから［印刷］をクリックして［印刷］画面を表示させます。

2 ［プリンターの選択］で本製品を選択して［詳細設定］（または［プロパティ］）をクリックします。

以上で終了です。

［スタート］メニューから開く

Windows の［スタート］メニューからプリンタードライバーのプロパティーを開きます。ここでの設定は、アプリケーションソフトから開いた設定画面の初期値になりますので、よく使う値を設定しておくと便利です。

ここでは、代表的な方法を説明します。

1 Windows の［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］の順にクリックします。

Windows Vista/Windows Server 2008:
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003:
［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。

2 本製品のアイコンを右クリックして、表示されたメニューで［プリンターのプロパティー］（または［プロパティ］、［印刷設定］）をクリックします。

［プリンターのプロパティー］（または［プロパティ］、［印刷設定］）で設定できる機能が異なります。異なる点は、各設定項目の説明を参照してください。

参考

- ［プロパティ］の設定を行うには、標準ユーザー以上の権限が必要です。
- Windows XP/Windows Vista で［詳細設定］－［標準の設定］を変更するには、管理者権限が必要です。

以上で終了です。

設定項目の概要

設定画面の概要を説明します。

設定画面の開き方は以下を参照してください。

☞ 92 ページ「設定画面の開き方」

各設定項目の詳細はプリンタードライバーヘルプを参照してください。

☞ 94 ページ「ヘルプの見方」

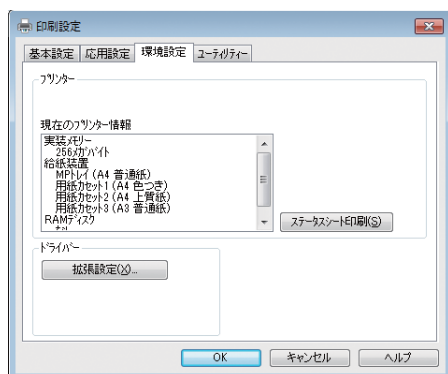
[基本設定]画面

印刷の基本的な設定をします。

[応用設定]画面

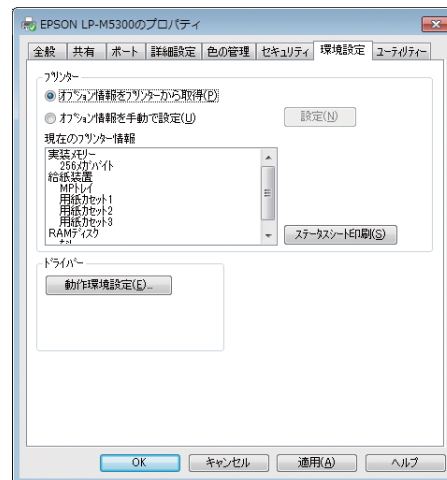
拡大／縮小印刷、印刷品質などを必要に応じて設定します。

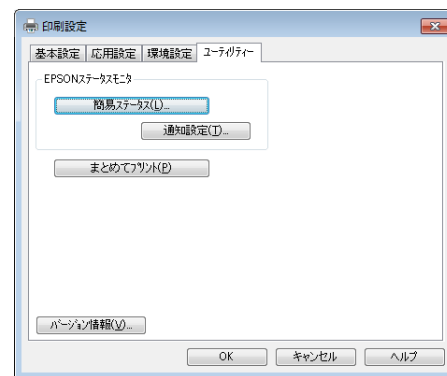
[環境設定]画面（印刷設定）

取り付けたオプションの確認ができるほか、プリンタードライバーの動作環境に関する設定をします。

[環境設定]画面（プリンターのプロパティー）

取り付けたオプションの設定や確認、プリンタードライバーの動作環境に関する設定をします。

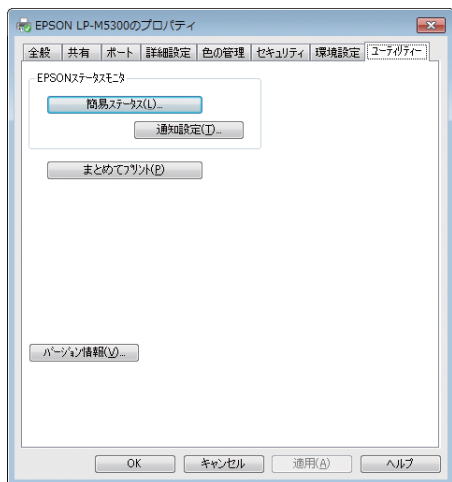
設定画面は、［スタート］メニューからのみ開けます。

☞ 92 ページ「［スタート］メニューから開く」

[ユーティリティー]画面（印刷設定）

まとめてプリントの起動とEPSONステータスモニタ（プリンター監視ユーティリティー）の動作に関する設定をします。EPSON ステータスモニタはソフトウェアディスクの［ソフトウェア一覧］でインストールすると、すべての項目が表示されます。

[ユーティリティー]画面(プリンターのプロパティー)

画面の内容は、「[ユーティリティー] 画面（印刷設定）」と同様です。

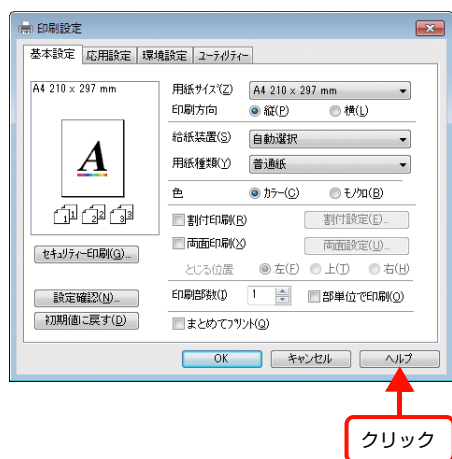
設定画面は、[スタート] メニューからのみ開けます。

☞ 92 ページ「[スタート] メニューから開く」

ヘルプの見方

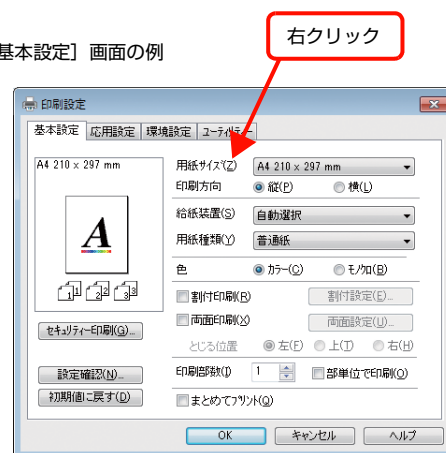
プリンタードライバーの各設定項目の詳細は、プリンタードライバーヘルプに掲載されています。ヘルプ画面は以下の3つの方法で開けます。

方法1

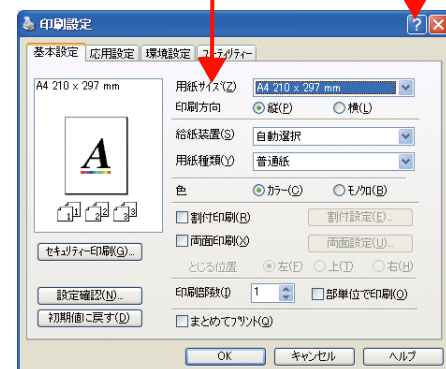
調べたい項目がある画面の［ヘルプ］をクリックします。

[基本設定] 画面の例

方法2

調べたい項目の文字の上で右クリックして、表示されたヘルプをクリックします。

[基本設定] 画面の例

方法3

？をクリックしてから、調べたい項目の文字の上でクリックします（Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7 は除く）。

[基本設定] 画面の例

プリンターの監視

プリンターのエラーや消耗品の残量、印刷の進行状況などがコンピューター上で確認できます。これは、EPSON ステータスモニタ（プリンター監視ユーティリティー）の機能です。

インストール方法は以下を参照してください。

☞ 114 ページ「ソフトウェアを選択してインストール」

使用条件

EPSON ステータスモニタでは、以下の環境で使用しているプリンターの監視ができます。

ローカル接続

コンピューターのインターフェイスが双方向通信に対応していること。

Windows XP/Windows Vista のリモートデスクトップ機能*を利用している状態で、移動先のコンピューターから、そのコンピューターに直接接続されたプリンターへ印刷すると、EPSON ステータスモニタがインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

* 移動先のモバイルコンピューターなどからオフィスネットワーク内のコンピューター上にあるアプリケーションソフトやファイルへアクセスし、操作することができる機能。

TCP/IP 直接接続

EpsonNet Print または Standard TCP/IP 接続であること。

Windows 共有プリンター

共有プリンターを提供しているコンピューター（プリントサーバー）上に、対応するプリンターのドライバーがインストールされ、かつ、そのプリンターの共有設定がされていて、タスクトレイの［通知設定］画面で［共有プリンターを監視させる］にチェックが付いていること。

☞ 98 ページ「監視・通知の設定」

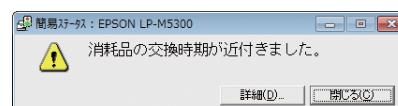
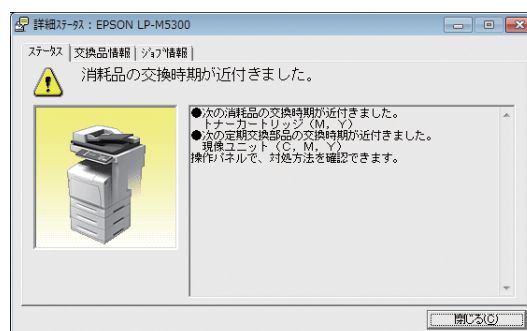
参考

- NetBEUI を使用した直接印刷と IPP 印刷では、ネットワークプリンターの監視はできません。
- 共有プリンターを提供しているコンピューター（プリントサーバー上）で、［共有プリンターを監視させる］をチェックした後でプリンターの接続先を変える場合は、一旦このチェックを外して［OK］をクリックしてから、再度チェックしてください。
- Windows 7/Windows Vista の［通知設定］画面で［共有プリンターを監視させる］にチェックすると、Windows 7/Windows Vista のユーザーアカウント制御により、プログラムの実行を許可する確認画面が表示されます。確認画面では、［続行］をクリックしてください。

エラーの表示

コンピューターからの印刷中にエラーが発生すると、［簡易ステータス］画面が表示され、エラーの内容をお知らせします。［詳細］をクリックすると［詳細ステータス］画面が表示されます。

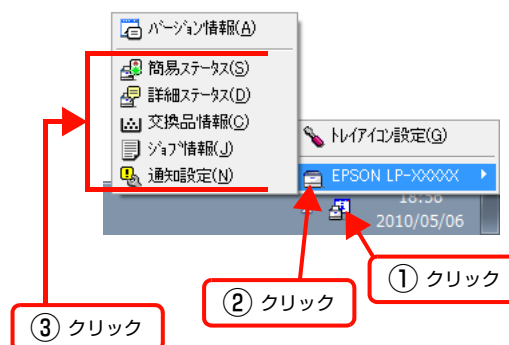
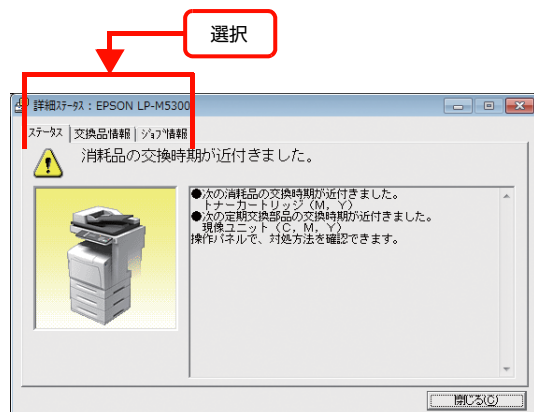
エラーが解消されると、画面は自動的に閉じます。

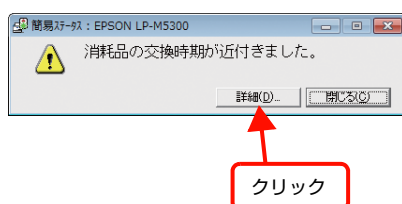
［簡易ステータス］画面

［詳細ステータス］画面

プリンターの状態の確認

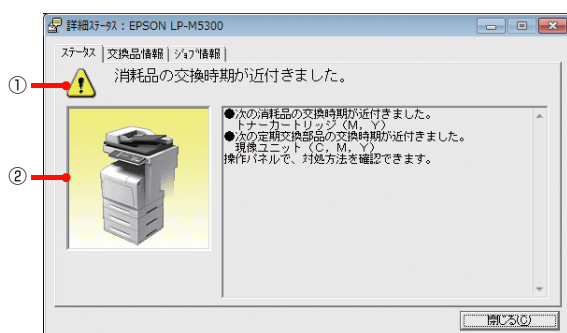
［簡易ステータス］、［詳細ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］の各画面を開くとプリンターの状態が確認できます。

画面の開き方は以下の通りです。

タスクトレイから本製品を選択し、［簡易ステータス］、［詳細ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］を選択します。

［詳細ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］は、タブをクリックして切り替えることもできます。

各画面の概要

［簡易ステータス］画面

プリンターの状態を示すメッセージが表示されます。［詳細］をクリックすると［詳細ステータス］画面が表示されます。

［詳細ステータス］画面

プリンターの状態を示すメッセージや、エラーの対処方法などが表示されます。

①アイコン / メッセージ

プリンターの状態を示すメッセージとアイコンが表示されます。

②イラスト / メッセージ

プリンターの状態を示すメッセージと、該当箇所を示すイラストが表示されます。エラーが発生すると、対処方法が表示されます。

［交換品情報］画面

交換品の寿命（残量）などが表示されます。画面右上の表示切り替えボタン［ ◀ ］/［ ▶ ］をクリックすると、画面が切り替わります。

①用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、用紙残量の目安を表示します。

②トナー

トナーの残量の目安を表示します。トナーに関するエラーやワーニングが発生すると、該当する色のアイコンが点滅します。

③感光体ユニット

感光体ユニットの寿命の目安を表示します。感光体ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

④現像ユニット

現像ユニットの寿命の目安を表示します。現像ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、該当する色のアイコンが点滅します。

⑤二次転写ユニット

転写ユニットの寿命の目安を表示します。転写ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

⑥定着ユニット
定着ユニットの寿命の目安を表示します。定着ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

⑦メンテナンスユニット
メンテナンスユニットの寿命の目安を表示します。メンテナンスユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

⑧給紙ローラー
給紙ローラーの寿命の目安を表示します。給紙ローラーに関するエラーやワーニングが発生すると、該当する給紙装置のアイコンが点滅します。

⑨ADF メンテナンスユニット
ADF メンテナンスユニットの寿命の目安を表示します。ADF メンテナンスユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

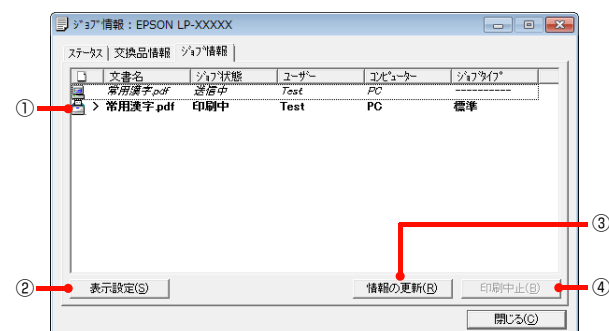
[ジョブ情報]画面
ネットワーク環境で印刷中またはプリンターで処理中のジョブの状態が表示されます。

TCP/IP 接続のネットワーク環境で、かつ以下の条件を満たすときに使用できます。

- プリントサーバーを介した共有設定

プリントサーバーの OS	Windows Server 2003/ Windows Vista/ Windows Server 2008 Windows 7
クライアントの OS	Windows XP/ Windows Vista Windows 7
プリンターとプリントサーバーの接続方法	EpsonNet Print Standard TCP/IP

- プリントサーバーを介さないネットワーク接続

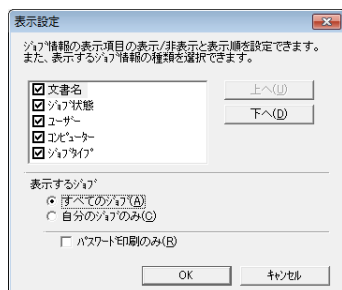
クライアントの OS	Windows XP/ Windows Vista Windows 7
プリンターとクライアントの接続方法	EpsonNet Print Standard TCP/IP

①ジョブリスト
コンピューターでスプール中またはプリンターで処理中のジョブの文書名、状態、ユーザー名、コンピューター名、ジョブタイプを表示します。リスト一番左のアイコンは、印刷の状態に応じて変化します。

ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブでは、以下の情報は表示されません。

- 送信中ジョブ
- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

② [表示設定] ボタン

ジョブリストの表示内容を設定します。

表示する項目名にチェックを付けると表示され、チェックを外すと表示されません。また、項目を選択してから［上へ］/［下へ］をクリックすると、ジョブリスト内での表示順序が変更できます。

③ [情報の更新] ボタン

最新のジョブ情報を表示します。

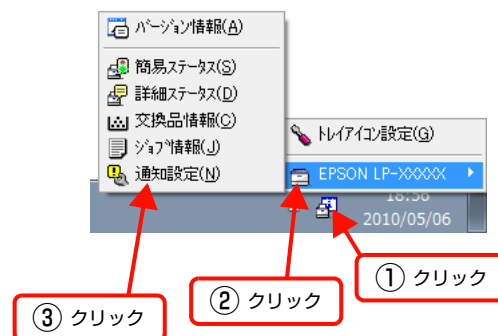
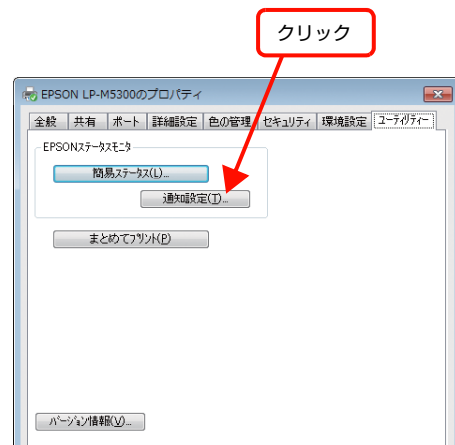
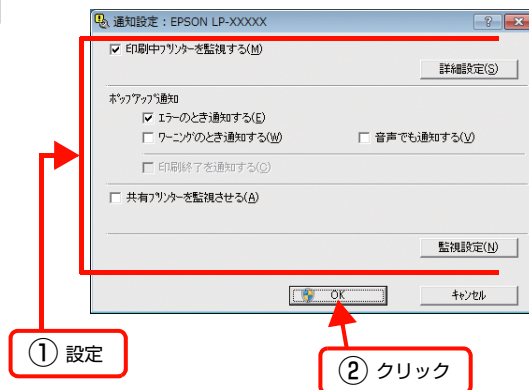
④ [印刷中止] ボタン

ジョブリストに表示されている印刷中、送信中、待機中、保持のジョブを選択し、［印刷中止］をクリックすると、そのジョブの印刷を中止することができます。
ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブは中止できません。

監視・通知の設定

EPSON ステータスモニタで、どのような状態を画面表示するか、音声通知するか、共有プリンターを監視するかなどを設定します。
設定方法は以下の通りです。

1 **タスクトレイまたはプリンタードライバーの［ユーティリティー］画面から［通知設定］画面を開きます。**

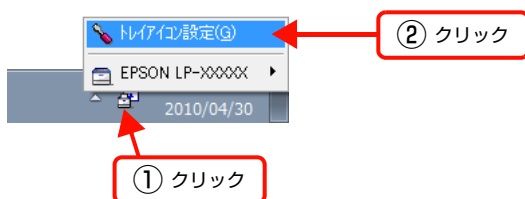
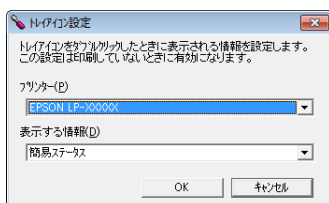
タスクトレイから開く場合

プリンタードライバーから開く場合

2 **必要な項目を設定します。**

設定項目の詳細は、画面のヘルプを参照してください。
☞ 94 ページ「ヘルプの見方」

以上で終了です。

トレイアイコンの設定

タスクトレイにある EPSON ステータスモニタのアイコンを、印刷していない状態でダブルクリックしたとき、どのプリンターの何を表示するか設定します。印刷しているときは、印刷中のプリンターの簡易ステータスが表示されます。

設定方法は以下の通りです。

1 **タスクトレイの EPSON ステータスモニタのアイコンをクリックし、［トレイアイコン設定］をクリックします。**

2 **［トレイアイコン設定］画面で、［プリンター］と［表示する情報］を選択します。**

以上で終了です。

EPSON Scan の使い方

スキャナードライバー「EPSON Scan」（エプソン スキャン）は、スキャナーを制御するソフトウェアです。

EPSON Scan では、サイズや品質、画質の調整などの詳細なスキャン設定ができます。

EPSON Scan は、『セットアップガイド』（冊子）の手順に従ってセットアップを行うとインストールされます。

> **参考**
>
> EPSON Scan は TWAIN 規格（スキャナーを制御するソフトウェアからアプリケーションソフトに画像を受け渡すためのやり取りを定義した標準規格）に対応しています。

起動方法

デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックします。

デスクトップ上にアイコンがないときは、［スタート］－［すべてのプログラム］または［プログラム］－［EPSON］－［EPSON Scan］－［EPSON Scan］の順にクリックします。

> **参考**
>
> - 本ソフトウェアをインストールしていないときは、付属のソフトウェアディスクからインストールしてください。
>   ☞『セットアップガイド』－「9. コンピューターの接続と設定」
> - Microsoft Office Word、Excel、Adobe Photoshop、Acrobat や Paint Shop Pro など、一般の TWAIN 対応アプリケーションソフトからも EPSON Scan を起動できます。［ファイル］メニューの［読み込み］や［インポート］でスキャナー名を選択するか、［TWAIN 対応機器の選択］でスキャナー名を選択後、［TWAIN 対応機器からの入力］を選択してください。
>   なお、［WIA（お使いのスキャナー名）］（スキャナー名に WIA が付いているもの）は選択しないでください。
> - TWAIN 対応アプリケーションソフトでスキャンするときは、EPSON Scan の［保存ファイルの設定］は使用できません。アプリケーションソフトでファイルを保存してください。
> - ご使用のアプリケーションソフトの TWAIN 対応状況や使用方法は、各アプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

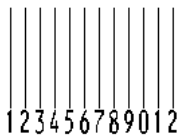
ヘルプの案内

使い方について詳しくは、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

EPSON Scan 画面の［ヘルプ］をクリックすると、ヘルプが表示されます。

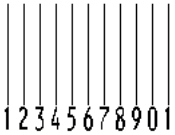
バーコードフォントの使い方

付属のソフトウェアディスクには、Epson バーコードフォントが収録されています。Epson バーコードフォントは、データキャラクター（バーコードに登録する文字列）を入力するだけで、簡単にバーコードシンボルを作成できるフォントです。通常必要な、データキャラクター以外のコードやマージン、OCR-B フォント（バーコード下部の文字）などの入力が不要です。

インストール方法は以下を参照してください。

☞ 114 ページ「ソフトウェアを選択してインストール」

バーコードフォントの種類

Epson バーコードフォントの種類は以下の通りです。

各バーコードの仕様や規格の詳細は、仕様書や市販の解説書などを参照してください。

JAN(標準バージョン)

フォント名		EPSON JAN-13	EPSON JAN-13 Short
OCR-B		あり	
チェックデジット		あり	
キャラクター種類		数字（0 ～ 9）	
桁数		12	
入力可能サイズ		60 ～ 96pt	36 ～ 90pt
読み取り保証サイズ		60pt、75pt（標準）	36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt
自動設定される情報（入力不要）		• レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • センターバー	
例	入力	123456789012	
	画面表示	123456789012	123456789012
	印刷	1 234567 890128	1 234567 890128
備考		JIS X 0501	• JAN-13 のバーの高さを低くしたもの • 日本国内でのみ使用可能

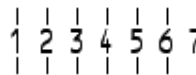
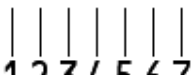
JAN(短縮バージョン)

<table>
<tr><td colspan="2">フォント名</td><td>EPSON JAN-8</td><td>EPSON JAN-8 Short</td></tr>
<tr><td colspan="2">OCR-B</td><td colspan="2">あり</td></tr>
<tr><td colspan="2">チェックデジット</td><td colspan="2">あり</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクター種類</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">桁数</td><td colspan="2">7</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能サイズ</td><td>52 ～ 96pt</td><td>36 ～ 90pt</td></tr>
<tr><td colspan="2">読み取り保証サイズ</td><td>52pt、65pt（標準）</td><td>36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt</td></tr>
<tr><td colspan="2">自動設定される情報
（入力不要）</td><td colspan="2">• レフト / ライトマージン
• レフト / ライトガードバー
• チェックデジット
• OCR-B
• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="3">例</td><td>入力</td><td colspan="2">1234567</td></tr>
<tr><td>画面表示</td><td>1234567</td><td>1234567</td></tr>
<tr><td>印刷</td><td>1234 5670</td><td>1234 5670</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考</td><td>－</td><td>• JAN-8 のバー高さを低くしたもの
• 日本国内でのみ使用可能</td></tr>
</table>

UPC

フォント名		EPSON UPC-A	EPSON UPC-E
OCR-B		あり	
チェックデジット		あり	
キャラクター種類		数字（0 ～ 9）	
桁数		11	6
入力可能サイズ		60 ～ 96pt	
読み取り保証サイズ		60pt、75pt（標準）	
自動設定される情報（入力不要）		• レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • センターバー	• レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • ナンバーシステムの「0」
例	入力	12345678901	123456
	画面表示	12345678901	123456
	印刷	1 23456 78901 2	0 123456 5
備考		Regular タイプ。補足コードはサポートしていません。	Zero Suppression タイプ（余分な 0 を削除）

Code39

フォント名		EPSON Code39	EPSON Code39 CD	EPSON Code39 Num	EPSON Code39 CD Num
OCR-B		なし		あり	
チェックデジット		なし	あり	なし	あり
キャラクター種類		英数字（A～Z、0～9）、記号（－　.　スペース　$　/　+　%）			
桁数		制限なし			
入力可能サイズ		26～96pt		36～96pt	
読み取り保証サイズ		26pt、52pt、78pt		36pt、72pt	
自動設定される情報（入力不要）		• 左／　右クワイエットゾーン • スタート／　ストップキャラクター • チェックデジット			
例	入力	1234567			
	画面表示	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1234567	1234567
	印刷			1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7 5
備考		• JIS X 0503 • スペースを表すバーコードを入力したいときは、「＿」（アンダーライン）を入力してください。			

Code128

フォント名		EPSON Code128
OCR-B		なし
チェックデジット		あり
キャラクター種類		すべての ASCII 文字（95 文字）
桁数		制限なし
入力可能サイズ		26 ～ 96pt
読み取り保証サイズ		26pt、52pt、78pt
自動設定される情報（入力不要）		• 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクター • コードセットの変更キャラクター • チェックデジット
例	入力	1234567
	画面表示	
	印刷	
備考		• JIS X 0504 • コードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクターのコードセットが途中で変わったときに、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。

Interleaved 2 of 5

フォント名	EPSON ITF	EPSON ITF CD	EPSON ITF Num	EPSON ITF CD Num
OCR-B	なし		あり	
チェックデジット	なし	あり	なし	あり
キャラクター種類	数字（0 ～ 9）			
桁数	制限なし			
入力可能サイズ	26 ～ 96pt		36 ～ 96pt	
読み取り保証サイズ	26pt、52pt、78pt		36pt、72pt	
自動設定される情報（入力不要）	• 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクター • チェックデジット • 文字列先頭の「0」（合計文字数が偶数でない場合のみ）			
例　入力	1234567			
画面表示	1234567	1234567	1234567	1234567
印刷			01234567	12345670
備考	キャラクターを2個 1 組で扱います。キャラクターの合計数が奇数個の場合、Epson バーコードフォントは自動的にキャラクターの先頭に 0 を追加して偶数個になるようにします。			

NW-7

<table>
<tr><td colspan="2">フォント名</td><td>EPSON NW-7</td><td>EPSON NW-7 CD</td><td>EPSON NW-7 Num</td><td>EPSON NW-7 CD Num</td></tr>
<tr><td colspan="2">OCR-B</td><td colspan="2">なし</td><td colspan="2">あり</td></tr>
<tr><td colspan="2">チェックデジット</td><td>なし</td><td>あり</td><td>なし</td><td>あり</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクター種類</td><td colspan="4">数字（0～9）、記号（－　＄　：　／　．　＋）</td></tr>
<tr><td colspan="2">桁数</td><td colspan="4">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能サイズ</td><td colspan="2">26～96pt</td><td colspan="2">36～96pt</td></tr>
<tr><td colspan="2">読み取り保証サイズ</td><td colspan="2">26pt、52pt、78pt</td><td colspan="2">36pt、72pt</td></tr>
<tr><td colspan="2">自動設定される情報（入力不要）</td><td colspan="4">• 左／右クワイエットゾーン
• スタート／ストップキャラクター（入力しない場合）
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="3">例</td><td>入力</td><td colspan="4">1234567</td></tr>
<tr><td>画面表示</td><td>1234567</td><td>1234567</td><td>1234567</td><td>1234567</td></tr>
<tr><td>印刷</td><td></td><td></td><td>A1234567A</td><td>A12345674A</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考</td><td colspan="4">• JIS X 0503
• スタート／ストップキャラクターのどちらかを入力すると、もう一方も同じになるように自動的挿入されます。スタート／ストップキャラクターを入力しない場合は、両方に自動的に「A」が自動挿入されます。</td></tr>
</table>

郵便番号（カスタマーバーコード）

フォントト名		EPSON J-Postal Code
OCR-B		なし
チェックデジット		あり
キャラクター種類		数字（0 ～ 9）、英文字（A ～ Z）、記号（－）
桁数		制限なし
入力可能サイズ		8 ～ 11.5pt
読み取り保証サイズ		8pt、9pt、10pt、11.5pt
自動設定される情報（入力不要）		• バーコードの上下左右 2mm の空白 • 入力時の－（ハイフン）の削除 • スタート / ストップコード • 住所表示番号の 13 桁調整 • チェックデジット
例	入力	123-4567
	画面表示	1 2 3 – 4 5 6 7
	印刷	
備考		• 郵便番号（3桁）－郵便番号（4桁）－住所表示番号（バーコードに変換後 13 桁まで）を入力します。住所表示番号は入力時の桁数の制限はありませんが、バーコードに変換後 13 桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が 13 桁に満たないときは、13 桁になるように末尾にコードが挿入されます。 • 印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。

GS1-128(EAN-128)

<table>
<tr><td colspan="2">フォント名</td><td>EPSON EAN128</td></tr>
<tr><td colspan="2">OCR-B</td><td>あり</td></tr>
<tr><td colspan="2">チェックデジット</td><td>あり</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクター種類</td><td>数字（0 ～ 9)、英文字（A ～ Z）
括弧（　）は、アプリケーション識別子（AI）を識別するためのみ使用します。英文字は大文字のみサポートしますが、入力は小文字で行います。</td></tr>
<tr><td colspan="2">桁数</td><td>アプリケーション識別子（AI）により桁数が異なります。
01：GTIN（グローバルトレードアイテムナンバー）
　4桁「(01)」＋ 13 桁（数字）
17：バッチ / ロットナンバー
　4桁「(17)」＋6桁（数字）
10：保証期限日
　4桁「(10)」＋最大 20 桁（英数字）
30：数量
　4桁「(30)」＋最大8桁（数字）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能サイズ</td><td>36pt 以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">読み取り保証サイズ</td><td>36pt、72pt</td></tr>
<tr><td colspan="2">自動設定される情報（入力不要）</td><td>• 左／右クワイエットゾーン
• スタート／ストップキャラクター
• FNC1 キャラクター
（Code128 との識別、および可変長アプリケーション識別子用データの区切りのため）
• コードセットの変更キャラクター
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="3">例</td><td>入力</td><td>(01)1491234567890(17)990101(30)12(10)abc</td></tr>
<tr><td>画面表示</td><td>(01)1491234567890(17)990101(30)12(10)ABC</td></tr>
<tr><td>印刷</td><td>(01)14912345678901(17)990101(30)12(10)ABC</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考</td><td>コードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクターのコードセットが途中で変わったときは、自動的にコードセットの変換コードが挿入されます。</td></tr>
</table>

標準料金代理収納

<table>
<tr><td colspan="2">フォント名</td><td>EPSON EAN128_AI91</td></tr>
<tr><td colspan="2">OCR-B</td><td>あり</td></tr>
<tr><td colspan="2">チェックデジット</td><td>あり</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクター種類</td><td>数字（0 ～ 9)、記号（－）
括弧（　）は、アプリケーション識別子（AI）を識別するためのみ使用します。
ハイフンは、入力する数字間のセパレーターとして使用します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">桁数</td><td>４桁「(91)」＋ 46 桁（数字間の「-」を含む）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能サイズ</td><td>48pt 以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">読み取り保証サイズ</td><td>48pt</td></tr>
<tr><td colspan="2">自動設定される情報（入力不要）</td><td>• 左 / 右クワイエットゾーン
• スタート / ストップキャラクター
• FNC1 キャラクター（Code128 との識別のために挿入します。）
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="3">例</td><td>入力</td><td>(91)912345-012345678901234567890-1-010331-0-123000</td></tr>
<tr><td>画面表示</td><td>(91)912345-012345678901234567890-1-010331-0-123000</td></tr>
<tr><td>印刷</td><td>(91)912345-0123456789012345678901
010331-0-123000-3</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考</td><td>コンビニエンスストアなどで扱う請求書用シンボル</td></tr>
</table>

データ作成時のご注意

- 文字の装飾（ボールド / イタリック / アンダーラインなど）、網掛けはしないでください。
- 背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- 文字の回転は、90 度、180 度、270 度以外は指定しないでください。
- 文字間隔は変更しないでください。
- 文字の縦あるいは横方向のみを拡大 / 縮小しないでください。
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。

  例）文字間隔の自動調整
  　　行末に存在するスペース削除
  　　連続する複数個のスペースをタブなどに変換
  　　記号の変換
- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクターを自動的に追加するため、バーコードの長さが入力時よりも長くなることがあります。バーコードと周囲の文字が重ならないように注意してください。
- 1 行に 2 つ以上のバーコードを入力するときは、バーコード間をタブで区切ってください。スペースで区切るときは、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。バーコードフォントでスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となってしまいます。
- 入力したキャラクターの桁数が大きい場合、バーコードの高さを、全長の 15%以上になるように自動的に調整します。バーコードの周囲に文字が入っているときは、バーコードと重ならないように間隔を空けてください。（Code39/Code128/Interleaved 2 of 5/NW-7/GS1-128、標準料金代理収納）
- アプリケーションソフトで、改行を示すマークの表示 / 非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定にしておくことをお勧めします。

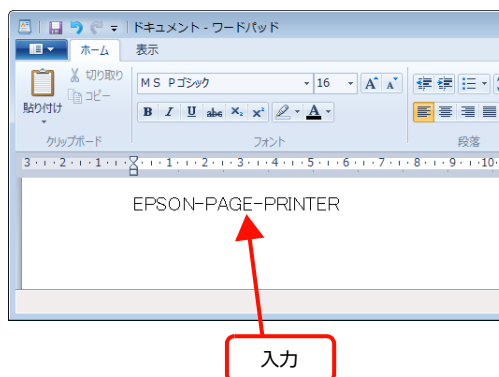
印刷時のご注意

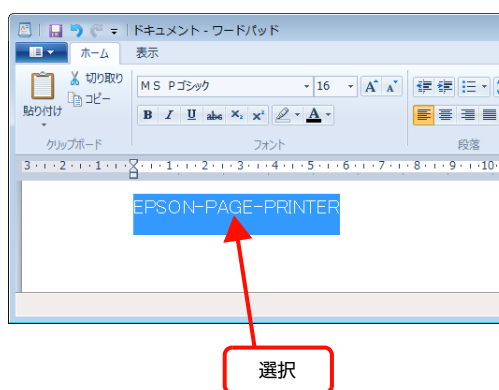
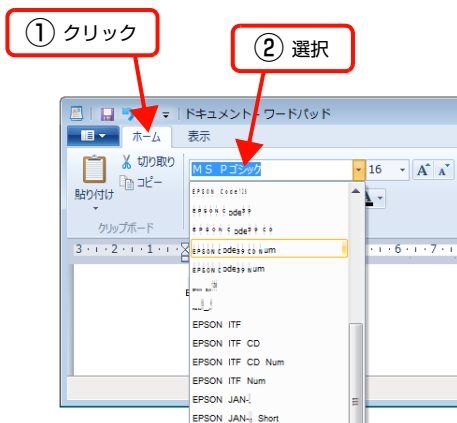
- トナーの濃度や紙質あるいは、お使いのアプリケーションソフトによっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れないことがあります。お使いの読み取り機で認識テストをしてからご利用いただくことをお勧めします。
- Epson バーコードフォントは、本製品に付属しているプリンタードライバーでのみ印刷可能です。
- プリンタードライバーで、以下の通り設定してください。

画面	項目	設定値
基本設定	割付印刷	チェックなし（OFF）
応用設定	拡大 / 縮小	チェックなし（OFF）
応用設定（応用設定－詳細設定）	印刷品質	きれい（600dpi）
応用設定－詳細設定	トナーセーブ	チェックなし（OFF）

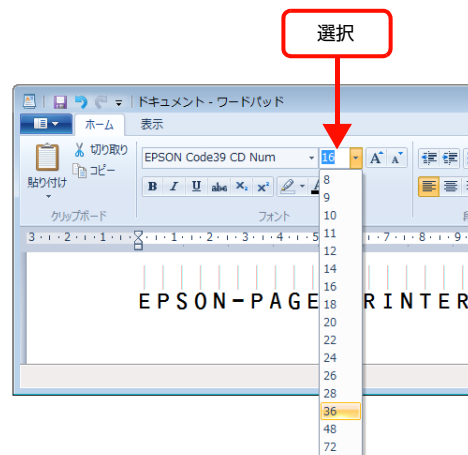
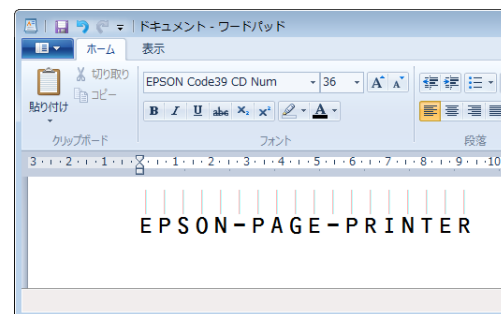
バーコード作成 / 印刷の手順

ここではWindows 7のワードパッドを例に、Epsonバーコードフォントの作成と印刷の手順を説明します。

1 **ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字をすべて半角（1 Byte）で入力します。**

2 **入力した文字を選択します。**

選択した範囲が反転表示になります。

3 **［ホーム］タブの［フォント］グループで、印刷したい Epson バーコードフォントを選択します。**

4 **フォントサイズを変更します。**

推奨または使用可能なフォント（キャラクター）サイズは、バーコードフォントの種類と OS のバージョンによって異なります。

☞ 101 ページ「バーコードフォントの種類」

5 **入力した文字が、図のように表示されます。**

6 **印刷を実行します。**

入力したデータがバーコードとして印刷されます。

入力したデータが不適当な場合などプリンタードライバーがエラーと判断すると、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

以上で終了です。

TrueType フォントの使い方

付属のソフトウェアディスクには、Epson TrueType フォントと OCR-B* TrueType フォントが収録されています。インストールすると、アプリケーションソフトで使用できる書体が追加され、より表現豊かな文書を作成することができます。

*　光学的文字認識に用いる目的で開発され、JISX9001 に規定された書体の名称。

インストール方法は以下を参照してください。

☞ 114 ページ「ソフトウェアを選択してインストール」

ソフトウェアディスクに収録されているフォントは以下の通りです。

Epson TrueType フォント

フォント名	印刷例
EPSON 行書体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 教科書体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 正楷書体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 丸ゴシック体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 太角ゴシック体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 太明朝体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 太行書体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 太丸ゴシック体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント

OCR-B TrueType フォント

フォント名	印刷例
OCR-B	1234567890

ソフトウェアディスクに収録されている OCR-B フォントセットには、OCR-B の規格外の文字も含まれています。

読み取り用に使用するときは、事前に読み取り機で読み取れることを確認してください。トナー状況や用紙の種類によって読み取れないことがあります。OCR-B フォントの保証サイズは 12 ポイントです。

ソフトウェアを選択してインストール

セットアップ時にインストールしなかったソフトウェアを追加でインストールしたいときや、再インストールが必要なときは、必要なソフトウェアだけを選択してインストールすることができます。

ソフトウェアの不具合などにより、すでにインストールされているソフトウェアをインストールし直したいときは、対象のソフトウェアを一旦削除し、コンピューターを再起動してからインストールしてください。

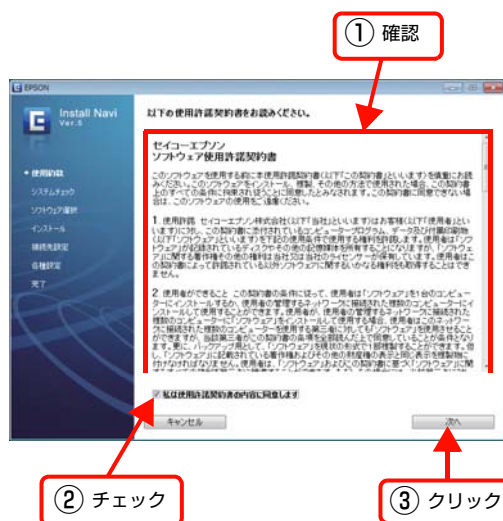
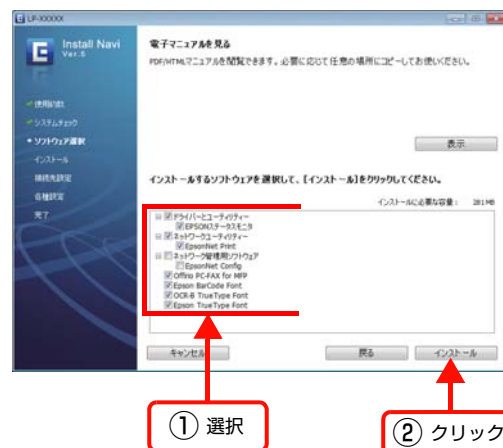
☞ 115 ページ「ソフトウェアの削除」

1 **Windows を起動してソフトウェアディスクをセットします。**

① [自動再生] 画面で発行元が SEIKO EPSON であることを確認してからクリックします。

② [ユーザーアカウント制御] 画面で [続行] または [はい] をクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
2 に進みます。

2 **使用許諾契約書を確認し、[私は使用許諾契約書の内容に同意します] にチェックを付けて [次へ] をクリックします。**

3 **インストールするソフトウェアを選択して [インストール] をクリックします。**

4 **画面の指示に従って作業を進めます。**

以上で終了です。

ソフトウェアの削除

インストールしたソフトウェアを削除する方法を説明します。再インストールやバージョンアップをするときは、対象のソフトウェアを削除してから行います。

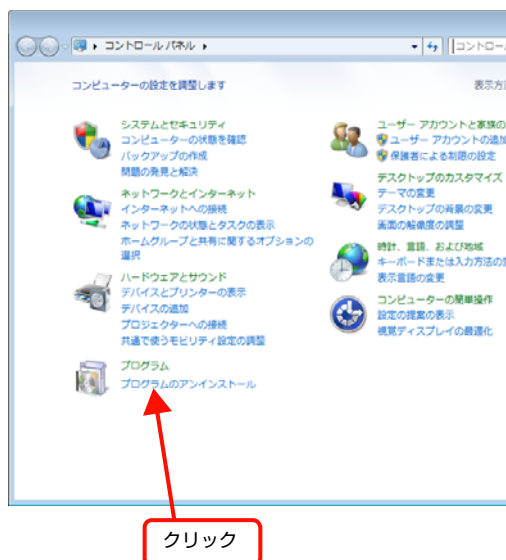
ここではプリンタードライバーの削除を例に説明します。

!重要

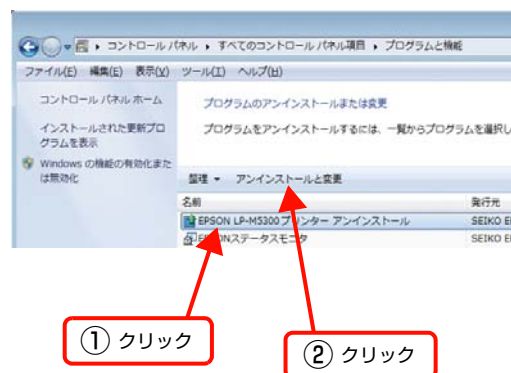
- 管理者権限のあるユーザーでログオンし、ソフトウェアを削除してください。
- 削除したソフトウェアを再インストールする場合は、コンピューターを再起動してください。

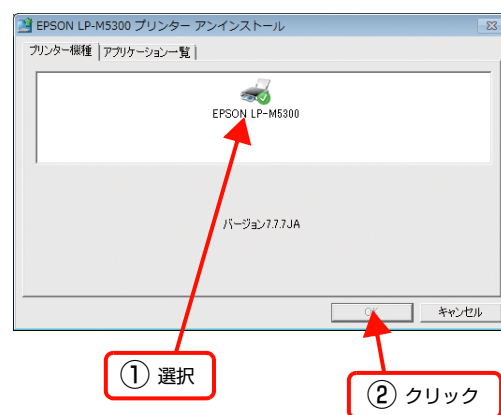
1 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2 **Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。**

3 **［プログラムのアンインストール］をクリックします。**

Windows XP/Windows Server 2003：
［プログラムの追加と削除］をクリックします。

4 **削除するソフトウェアを選択して［アンインストールと変更］をクリックします。**

削除したい機種名のプリンタードライバーを選択すると、EPSON ステータスモニタも一緒に削除します。EPSON ステータスモニタだけを削除したいときは、「EPSON ステータスモニタ」を選択してください。

Windows XP/Windows Server 2003：
［プログラムの変更と削除］をクリックしてから削除するソフトウェアを選択し［変更と削除］をクリックします。

5 **本製品のアイコンを選択して［OK］をクリックします。**

6 **画面の指示に従って作業を進めます。**

7 **終了のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。**

削除したソフトウェアを再インストールする場合は、コンピューターを再起動させてください。

以上で終了です。

ソフトウェアのバージョンアップ

ソフトウェアディスクに収録されているプリンタードライバーなどのソフトウェアは、バージョンアップを行うことがあります。必要に応じて新しいソフトウェアをお使いください。

入手方法

最新のソフトウェアは、弊社のホームページからダウンロードできます。最新バージョンの情報は、ホームページでご確認ください。バージョンは、数字が大きいほど新しいものです。

アドレス　http://www.epson.jp/

バージョンアップの手順

ソフトウェアのバージョンアップの手順は以下の通りです。

旧バージョンのソフトウェアを削除
☞115 ページ「ソフトウェアの削除」

↓

新バージョンのソフトウェアを入手

↓

ファイルを解凍してインストール

Mac OS X での使い方

付属のソフトウェアディスクには、プリンタードライバーなど本製品を使用するのに必要なソフトウェアが収録されています。ここでは、主なソフトウェアの使い方を説明します。

プリンタードライバーの使い方

コンピューターのアプリケーションソフトで作成または表示した文書や画像を印刷するには、プリンタードライバーが必要です。プリンタードライバーでは、出力する用紙のサイズや向き、印刷品質などに関するさまざまな設定ができます。

プリンタードライバーは、『セットアップガイド』（冊子）の手順に従ってセットアップを行うとインストールされます。用紙や印刷の設定をする前に、［システム環境設定］－［プリントとファクス］（または［プリントとスキャン］）で本製品を選択してください。セットアップ時に選択してから変更していなければ、再選択する必要はありません。

☞『セットアップガイド』（冊子）－「9．コンピューターの接続と設定」

ページ設定

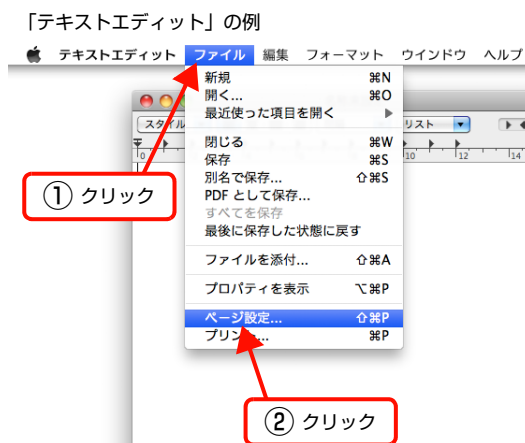
アプリケーションソフトで印刷データを作成するときに、プリンタードライバーの［ページ設定］画面で、用紙サイズなどを設定します。

参考

アプリケーションによっては［ページ設定］画面が表示されません。その場合は、［プリント］画面で設定してください。

1 ［ファイル］メニューから［ページ設定 ...］を選択します。

アプリケーションソフトによってメニュー名が異なります。

「テキストエディット」の例

2 ［対象プリンタ］から本製品を選択して必要な項目を設定し、［OK］をクリックします。

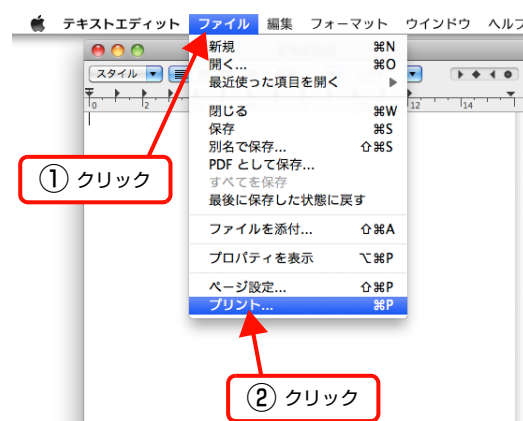
設定項目の詳細はプリンタードライバーヘルプを参照してください。

☞ 118 ページ「ヘルプの見方」

以上で終了です。

プリント設定

作成したデータを印刷するときは、［プリント ...］画面で印刷関連の設定をします。

1 ［ファイル］メニューから［プリント ...］を選択します。

2 **必要な項目を設定し、［プリント ...］をクリックします。**

印刷が実行されます。
アプリケーションによっては、独自の設定画面を表示するものもあります。

設定項目の詳細はプリンタードライバーヘルプを参照してください。
☞ 118 ページ「ヘルプの見方」

以上で終了です。

ヘルプの見方

プリンタードライバーの各設定項目の詳細は、プリンタードライバーヘルプに掲載されています。

調べたい項目がある画面の ? をクリックすると、ヘルプが表示されます。

［プリント］画面の例

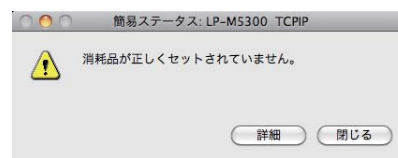
プリンターの監視

プリンターの状態（エラーや消耗品の残量、印刷の進行状況など）がコンピューター上で確認できます。これは、プリンタードライバーとともにインストールされる EPSON ステータスモニタの機能です。

エラーの表示

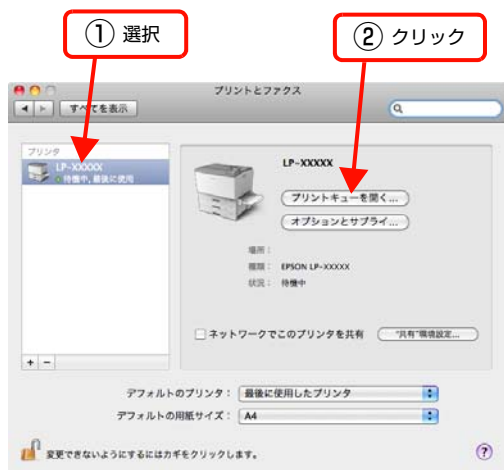
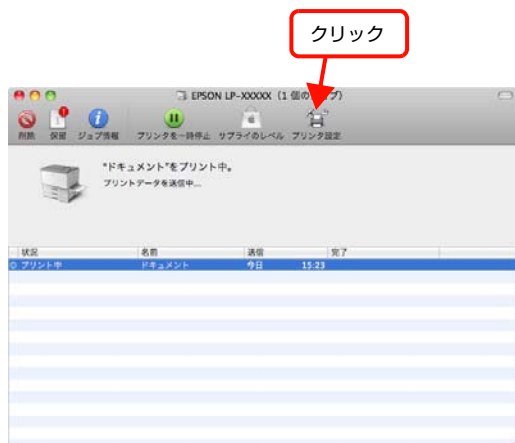
コンピューターからの印刷中にエラーが発生すると、EPSON ステータスモニタの［簡易ステータス］画面が表示され、エラーの内容をお知らせします。［詳細］をクリックすると［詳細ステータス］画面が表示されます。

エラーが解消されると、［簡易ステータス］画面は自動的に閉じます。

［簡易ステータス］画面

［詳細ステータス］画面

プリンターの状態の確認

［簡易ステータス］、［詳細ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］の各画面を開くとプリンターの状態が確認できます。

1 **［システム環境設定］－［プリントとファクス］（または［プリントとスキャン］）から本製品を選択し、［プリントキューを開く ...］をクリックします。**

2 **プリントキュー画面上の［プリンタ設定］または［ユーティリティ］をクリックします。**

3 **［ユーティリティ］－［プリンタユーティリティを開く］をクリックします。**

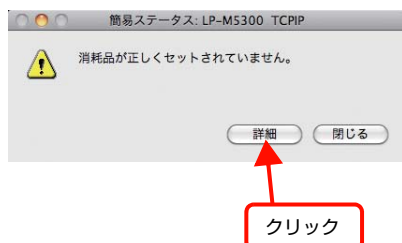
Mac OS X v10.5.x：
4 に進みます。

4 **［ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］のいずれかを選択して切り替えます。**

クリックして画面を切り替えます。

以上で終了です。

各画面の概要

[簡易ステータス]画面

プリンターの状態を示すメッセージが表示されます。[詳細] をクリックすると [詳細ステータス] 画面が表示されます。

[詳細ステータス]画面

プリンターの状態を示すメッセージや、エラーの対処方法などが表示されます。

①アイコン / メッセージ

プリンターの状態を示すメッセージとアイコンが表示されます。

②イラスト / メッセージ

プリンターの状態を示すメッセージと、該当箇所を示すイラストを表示します。エラーが発生したときは、対処方法を表示します。

[交換品情報]画面

交換品の寿命（残量）などが表示されます。画面内の表示切り替えボタン［ ◀ ］/［ ▶ ］をクリックすると、画面が切り替わります。

①用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、用紙残量の目安を表示します。

②トナー

トナーの残量の目安を表示します。トナーに関するエラーやワーニングが発生すると、該当する色のアイコンが点滅します。

③感光体ユニット

感光体ユニットの寿命の目安を表示します。感光体ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

④現像ユニット

現像ユニットの寿命の目安を表示します。現像ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、該当する色のアイコンが点滅します。

⑤二次転写ユニット

転写ユニットの寿命の目安を表示します。転写ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

⑥定着ユニット

定着ユニットの寿命の目安を表示します。定着ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

⑦メンテナンスユニット

メンテナンスユニットの寿命の目安を表示します。メンテナンスユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

⑧給紙ローラー

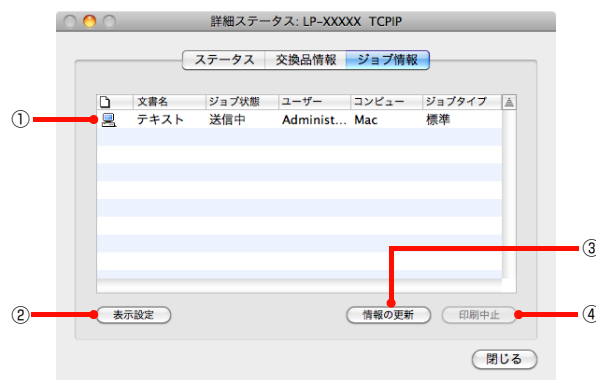
給紙ローラーの寿命の目安を表示します。給紙ローラーに関するエラーやワーニングが発生すると、該当する給紙装置のアイコンが点滅します。

⑨ADF メンテナンスユニット

ADF メンテナンスユニットの寿命の目安を表示します。ADF メンテナンスユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

[ジョブ情報]画面

ネットワーク環境で印刷中またはプリンターで処理中のジョブの状態が表示されます。

プリントサーバーを介さないネットワーク接続（Bonjour、EPSON TCP/IP による接続）の場合に使用できます。

①ジョブリスト

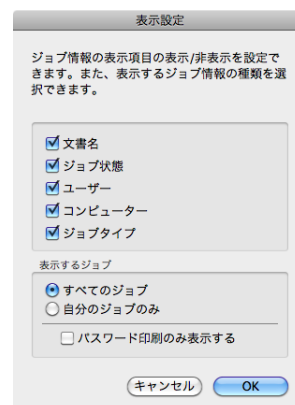
コンピューターでスプール中またはプリンターで処理中のジョブの文書名、状態、ユーザー名、コンピューター名、ジョブタイプを表示します。リスト一番左のアイコンは、印刷の状態に応じて変化します。

ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブの情報は表示されません。

- 送信中ジョブ
- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

②[表示設定]ボタン

ジョブリストの表示内容を設定します。

表示する項目名にチェックを付けると表示され、チェックを外すと表示されません。

③[情報の更新]ボタン

最新のジョブ情報を表示します。

④［印刷中止］ボタン

ジョブリストに表示されている印刷中、送信中、待機中、保持のジョブを選択し、［印刷中止］をクリックすると、そのジョブの印刷を中止することができます。

ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブは中止できません。

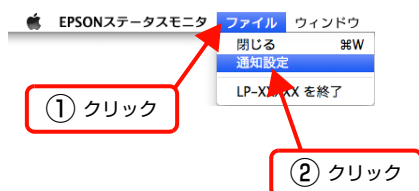
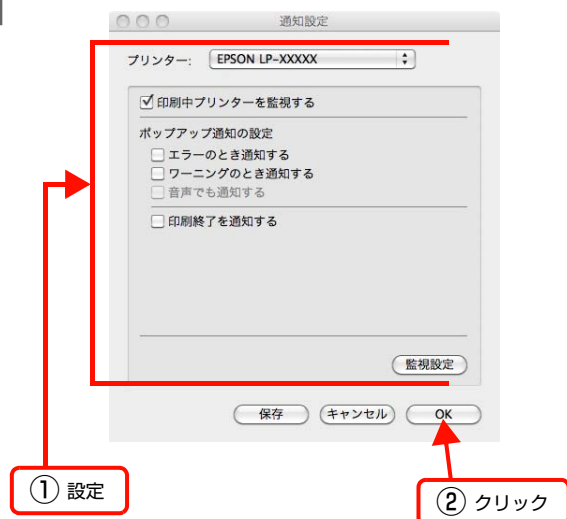
監視・通知の設定

EPSON ステータスモニタで、どのような状態を画面表示するか、音声通知するかなどを設定します。

設定方法は以下の通りです。

1 **EPSON ステータスモニタを起動します。**

☞ 119 ページ「プリンターの状態の確認」

2 **EPSON ステータスモニタの［ファイル］メニューから［通知設定］をクリックします。**

3 **必要な項目を設定します。**

設定項目の詳細は以下を参照してください。

☞ 122 ページ「［通知設定］画面」

以上で終了です。

［通知設定］画面

①プリンター

複数プリンターを監視しているときに、設定を行うプリンターを切り替えます。

②印刷中プリンターを監視する

印刷中にプリンターを監視します。Mac OS X v10.7.x では非対応です。

③ポップアップ通知の設定

エラーやワーニング発生時に［簡易ステータス］画面で知らせるかどうかを設定します。

項目	内容
エラーのとき通知する	エラー発生時に通知します。
ワーニングのとき通知する	ワーニング発生時に通知します。
音声でも通知する	お使いのコンピューターのサウンド機能が有効な（消音でない）ときに、エラーやワーニングを音声でも通知します。
印刷終了を通知する	印刷終了時に通知します。 USB 接続のときは表示されません。

④［監視設定］ボタン

［監視設定］をクリックすると、監視する間隔（ローカル接続時 6 ～ 60 秒 / ネットワーク接続時 15 ～ 60 秒）を設定できます。なお、［初期値に戻す］をクリックすると、監視間隔を初期値に戻します。

EPSON Scan の使い方

スキャナードライバー「EPSON Scan」（エプソン スキャン）は、スキャナーを制御するソフトウェアです。

EPSON Scan では、サイズや品質、画質の調整などの詳細なスキャン設定ができます。

EPSON Scan は、『セットアップガイド』（冊子）の手順に従ってセットアップを行うとインストールされます

EPSON Scan は TWAIN 規格（スキャナーを制御するソフトウェアからアプリケーションソフトに画像を受け渡すためのやり取りを定義した標準規格）に対応しています。

起動方法

［ハードディスク］－［アプリケーション］－ -［Epson Software］－［EPSON Scan］アイコンの順にダブルクリックします。

参考

- 本ソフトウェアをインストールしていないときは、付属のソフトウェアディスクからインストールしてください。
  ☞『セットアップガイド』-「9. コンピューターの接続と設定」
- Microsoft Office Word、Excel、Adobe Photoshop、Acrobat や Paint Shop Pro など、一般の TWAIN 対応アプリケーションソフトからも EPSON Scan を起動できます。［ファイル］メニューの［読み込み］や［インポート］でスキャナー名を選択するか、［TWAIN 対応機器の選択］でスキャナー名を選択後、［TWAIN 対応機器からの入力］を選択してください。
  なお、［WIA（お使いのスキャナー名）］（スキャナー名に WIA が付いているもの）は選択しないでください。
- TWAIN 対応アプリケーションソフトでスキャンするときは、EPSON Scan の［保存ファイルの設定］は使用できません。アプリケーションソフトでファイルを保存してください。
- ご使用のアプリケーションソフトの TWAIN 対応状況や使用方法は、各アプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

ヘルプの案内

使い方について詳しくは、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

EPSON Scan 画面の［ヘルプ］をクリックすると、ヘルプが表示されます。

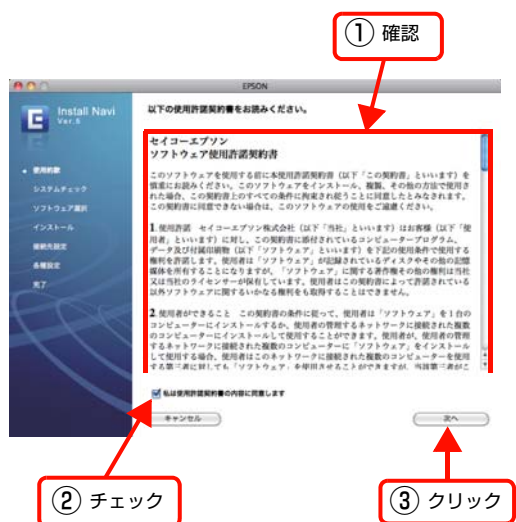
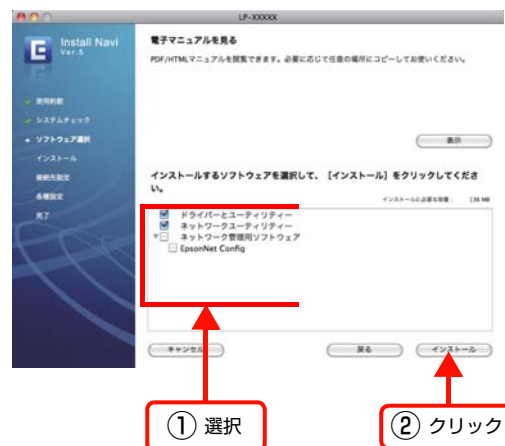
ソフトウェアを選択してインストール

セットアップ時にインストールしなかったソフトウェアを追加でインストールしたいときや、再インストールが必要なときは、必要なソフトウェアだけを選択してインストールすることができます。

ソフトウェアの不具合などにより、すでにインストールされているソフトウェアをインストールし直したいときは、対象のソフトウェアを一旦削除してからインストールをし、［プリンタ設定ユーティリティ］で本製品を選択し直してください。

☞ 125 ページ「ソフトウェアの削除」

1 Mac OS Xを起動してソフトウェアディスクをセットし、開いた画面で、［Install Navi］をダブルクリックします。

2 使用許諾契約書を確認し、［私は使用許諾契約書の内容に同意します］にチェックを付けて［次へ］をクリックします。

3 インストールするソフトウェアを選択して［インストール］をクリックします。

4 画面の指示に従って作業を進めます。

以上で終了です。

ソフトウェアの削除

ソフトウェアの削除は「Uninstaller」を使います。再インストールやバージョンアップをするときは、対象のソフトウェアを削除してから行います。

!重要

- 管理者権限のあるユーザーでログオンし、ソフトウェアを削除してください。
- ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは終了してください。
- プリンタードライバーを削除するときは、プリンターの電源をオフにしてください。

1 プリンタードライバーを削除するときは、プリンタリストからプリンターを削除します。

プリンタリストは［アップル］-［システム環境設定］-［プリントとファクス］（または［プリントとスキャン］）の順にクリックして表示します。

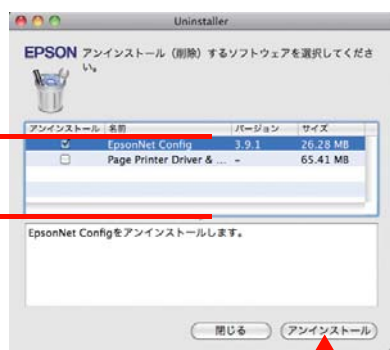
2 ソフトウェアディスクをコンピューターにセットします。

3 表示されたフォルダーの画面を下にスクロールして、[Uninstaller] をダブルクリックします。

ご使用のプリンターにインストールされているソフトウェアが表示されます。

参考

Uninstaller は、エプソンのホームページからダウンロードすることもできます。
アドレス　http://www.epson.jp/support

4 削除するソフトウェアを選択して、[アンインストール] をクリックします。

参考

- Uninstaller は、ご使用のコンピューターにインストールされているエプソン製プリンターのドライバーをすべて削除します。
  複数のエプソン製プリンターをご使用の方で、一部のプリンタードライバーのみを削除するときは、一旦すべてのプリンタードライバーを削除した後、ご使用のプリンタードライバーを再インストールしてください。
- ソフトウェア一覧に表示されないソフトウェアは、Uninstaller では削除できません。［アプリケーション］-［Epson Software］フォルダーから、ソフトウェアのアイコンを［ゴミ箱］フォルダーにドラッグ ＆ ドロップして削除してください。

以上で終了です。

ソフトウェアのバージョンアップ

ソフトウェアディスクに収録されているプリンタードライバーなどのソフトウェアは、バージョンアップを行うことがあります。必要に応じて新しいソフトウェアをお使いください。

入手方法

最新のソフトウェアは、弊社のホームページからダウンロードできます。最新バージョンの情報は、ホームページでご確認ください。バージョンは、数字が大きいほど新しいものです。

アドレス　http://www.epson.jp/

バージョンアップの手順

ソフトウェアのバージョンアップの手順は以下の通りです。

旧バージョンのソフトウェアを削除
125 ページ「ソフトウェアの削除」

↓

新バージョンのソフトウェアを入手

↓

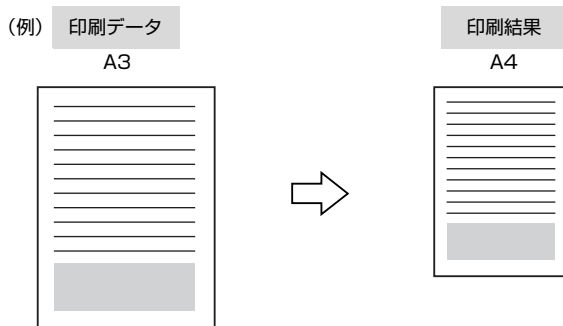
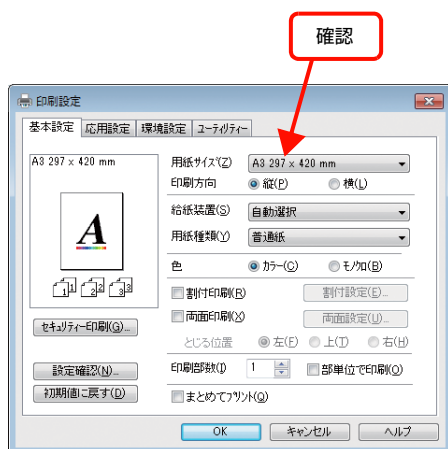
ファイルを解凍してインストール

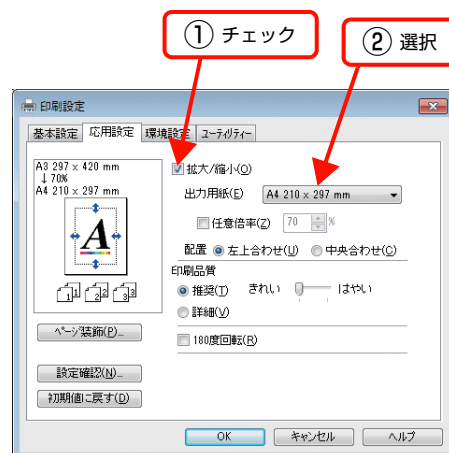
拡大 / 縮小

プリンタードライバーの［拡大 / 縮小］機能を使用すると、アプリケーションソフトで作成したデータのサイズと異なるサイズで印刷できます。印刷したい用紙のサイズを指定するだけで、用紙の大きさに合わせて自動的に拡大 / 縮小します。また、拡大 / 縮小率を任意に設定することもできます。

Windows の設定画面を例に説明します。プリンタードライバーの使い方の詳細は、以下を参照してください。

Windows：92 ページ「プリンタードライバーの使い方」
Mac OS X：117 ページ「プリンタードライバーの使い方」

以下に設定例を紹介します。

1 **プリンタードライバーの［基本設定］画面で、［用紙サイズ］が［A3］になっていることを確認します。**

2 **［応用設定］画面で、［拡大 / 縮小］をチェックして［出力用紙］から［A4］を選択します。**

- ［配置］は、縦横比の違うサイズに拡大 / 縮小する際に設定してください。A3 から A4 など、縦横比が同じ場合は、どちらを選択しても印刷結果は同じです。
- ［任意倍率］をチェックすると、任意の倍率が指定できます。チェックしなければ、用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小されます。

3 **［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

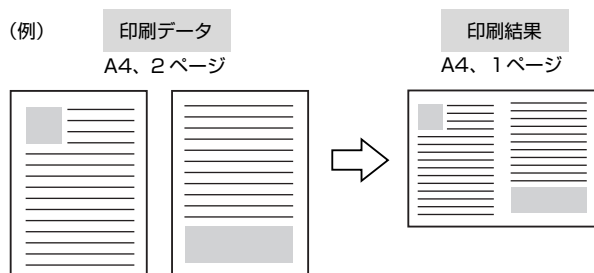
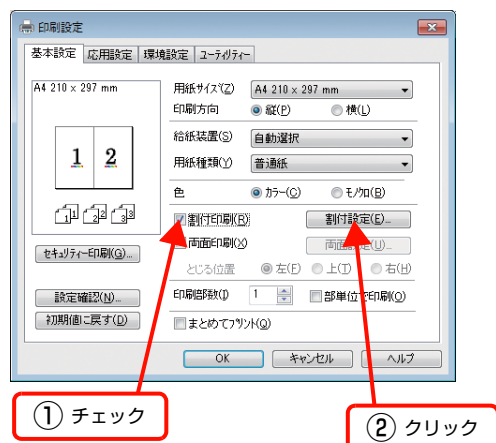
以上で終了です。

複数ページを１ページに割り付け

プリンタードライバーの［割付印刷］機能を使用すると、2ページまたは4ページを１ページに割り付けて印刷できます。
Windows の設定画面を例に説明します。プリンタードライバーの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：92 ページ「プリンタードライバーの使い方」
☞ Mac OS X：117 ページ「プリンタードライバーの使い方」

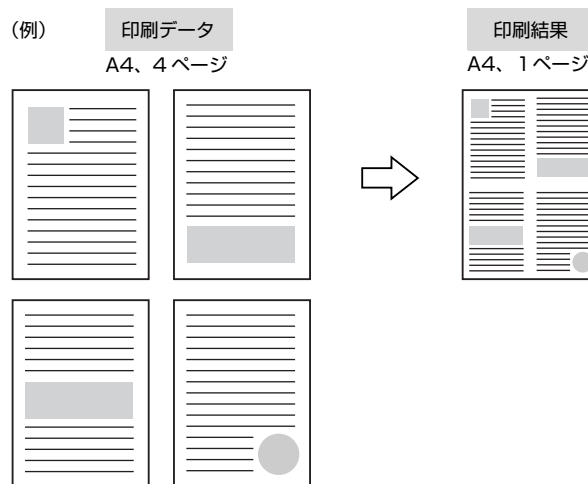
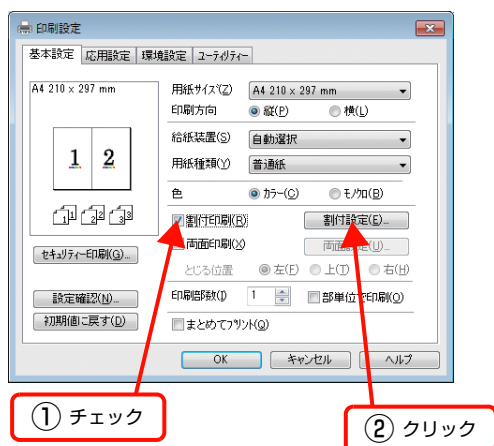
2ページ割り付け

2ページのデータを１ページに割り付けます。印刷データのページサイズと同じサイズの用紙に印刷されます。
以下に設定例を紹介します。

1 **プリンタードライバーの［基本設定］画面で［割付印刷］をチェックし、［割付設定］をクリックします。**

2 **［割付設定］画面の［割付ページ数］で、［2ページ分］を選択します。**
必要に応じて［割付順序］や［枠を印刷］も設定します。

3 **［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で終了です。

4ページ割り付け

4ページのデータを１ページに割り付けます。印刷データのページサイズと同じサイズの用紙に印刷されます。
以下に設定例を紹介します。

1 プリンタードライバーの［基本設定］画面で［割付印刷］をチェックし、［割付設定］をクリックします。

2 ［割付設定］画面の［割付ページ数］で、［4 ページ分］を選択します。

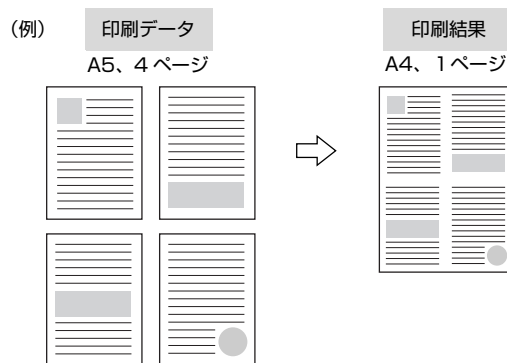
必要に応じて［割付順序］や［枠を印刷］も設定します。

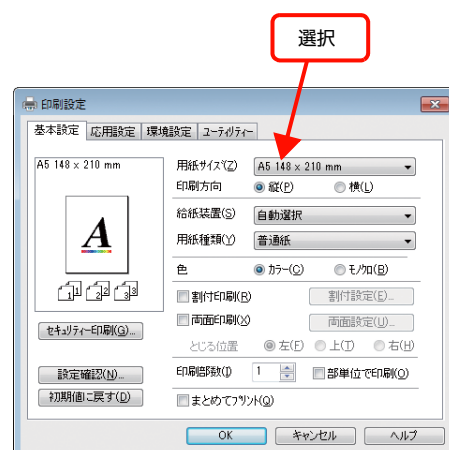
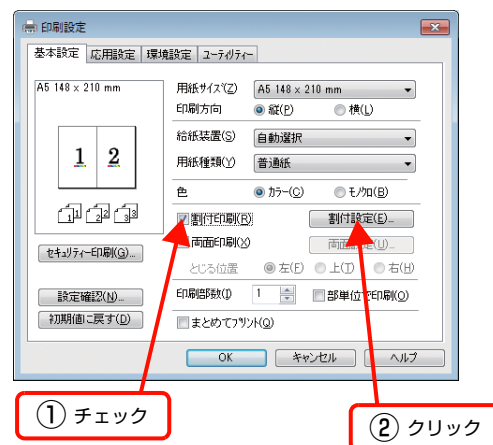
3 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

以上で終了です。

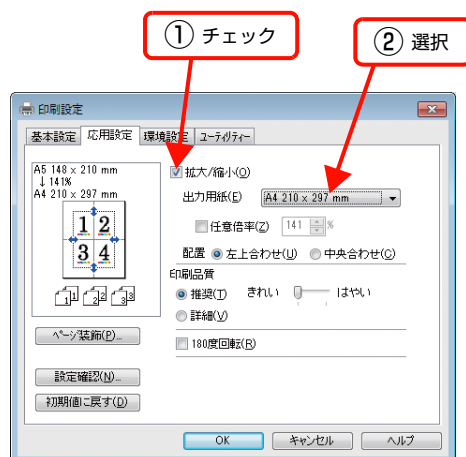
出力用紙サイズを指定

［拡大 / 縮小］機能を併用すると、印刷する用紙サイズを自由に設定できます。

以下に設定例を紹介します。

1 プリンタードライバーの［基本設定］画面で、［用紙サイズ］から［A5］を選択します。

ここでは、印刷データの用紙サイズを設定します。

2 プリンタードライバーの［基本設定］画面で［割付印刷］をチェックし、［割付設定］をクリックします。

3 **［割付設定］画面の［割付ページ数］で、［4ページ分］を選択します。**

必要に応じて［割付順序］や［枠を印刷］も設定します。

4 **［応用設定］画面で［拡大 / 縮小］をチェックし、［出力用紙］から［A4］を選択します。**

5 **［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で終了です。

両面印刷

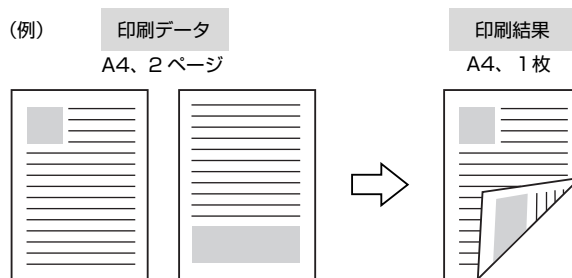
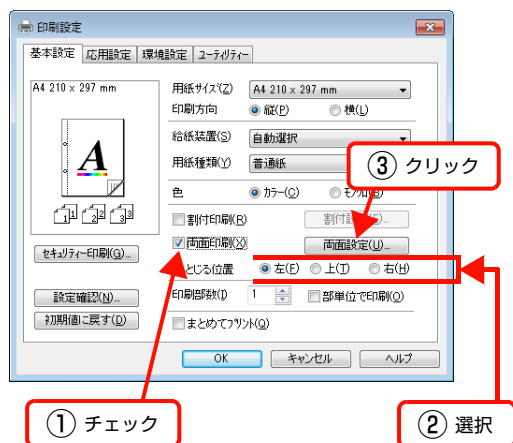
プリンタードライバーの［両面印刷］機能を使用すると、用紙の両面に印刷ができます。

両面印刷ができる用紙の種類は、以下を参照してください。

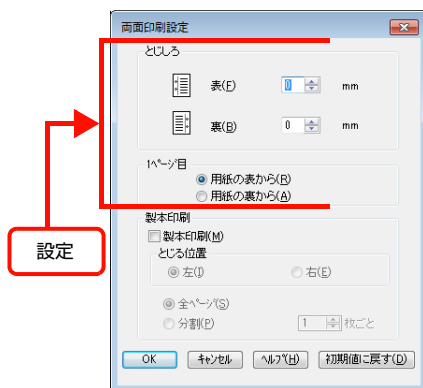
268 ページ「用紙一覧と設定早見表」

Windows の設定画面を例に説明します。プリンタードライバーの使い方の詳細は、以下を参照してください。

Windows：92 ページ「プリンタードライバーの使い方」
Mac OS X：117 ページ「プリンタードライバーの使い方」

以下に設定例を紹介します。

1 **プリンタードライバーの［基本設定］画面で［両面印刷］をチェックし、［とじる位置］を選択して［両面設定］をクリックします。**

2 **［両面印刷設定］画面で必要項目を設定します。**

［製本する］の詳細は、以下を参照してください。

131 ページ「製本印刷」

3 **［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で終了です。

製本印刷

プリンタードライバーの［両面印刷］機能を使用すると、製本用にページを並べ替えた印刷ができます。両面に2ページずつ印刷されますので、二つ折りにしてとじるだけで簡単に冊子を作ることができます。

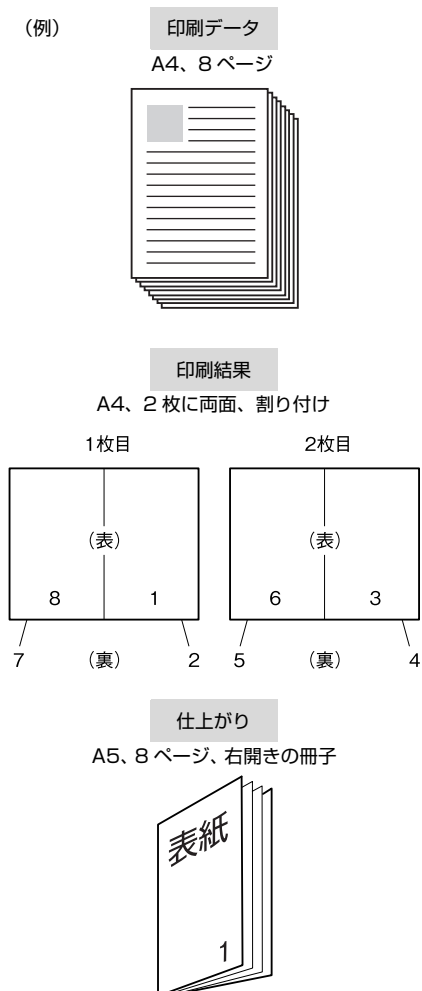
両面印刷ができる用紙の種類は、以下を参照してください。

☞ 268 ページ「用紙一覧と設定早見表」

Windows の設定画面を例に説明します。プリンタードライバーの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：92 ページ「プリンタードライバーの使い方」
☞ Mac OS X：117 ページ「プリンタードライバーの使い方」

全ページまとめて二つ折り

ページ数が少なく、全ページを重ねて二つ折りにできるときは、この方法で印刷します。印刷データの用紙サイズと同じサイズの用紙に、2 ページずつ両面印刷します。

以下に設定例を紹介します。

（例）　印刷データ

A4、8 ページ

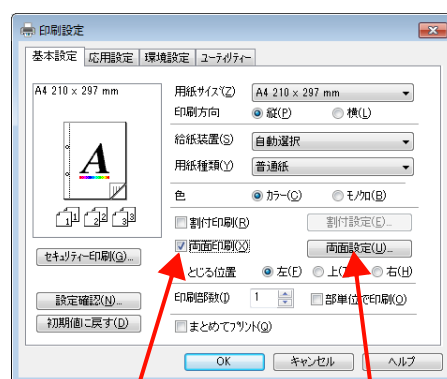
印刷結果

A4、2 枚に両面、割り付け

仕上がり

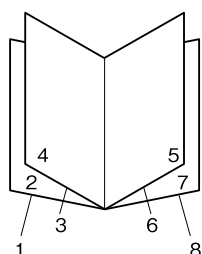
A5、8 ページ、右開きの冊子

1 プリンタードライバーの［基本設定］画面で［両面印刷］をチェックし、［両面設定］をクリックします。

> **参考**
>
> ［割付印刷］や［とじる位置］の設定は、2 で製本印刷の設定をすると無効になります。

2 ［両面印刷設定］画面の［製本印刷］をチェックし、［とじる位置］から［左］を選択します。

3 ［全ページ］を選択します。

4 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

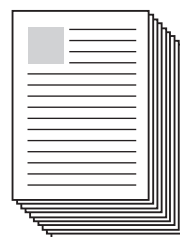
5 印刷された用紙を重ね、１ページ目（表紙）が表になるように二つ折りにしてとじます。

以上で終了です。

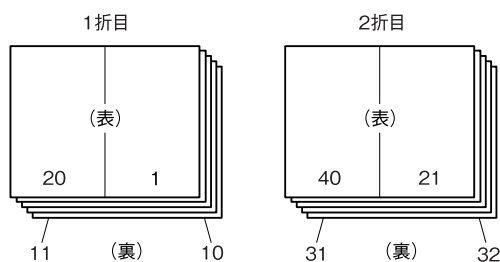
ページを分割して二つ折り

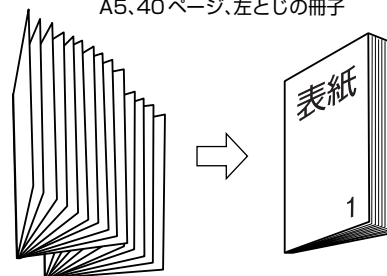
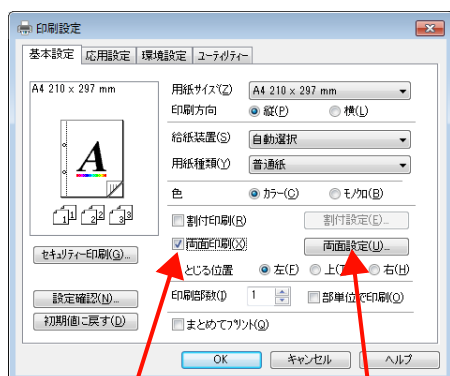
ページ数が多いときなどに、数枚ずつ分割して二つ折りにし、最後に１冊にまとめる方法です。印刷データの用紙サイズと同じサイズの用紙に、２ページずつ両面印刷します。

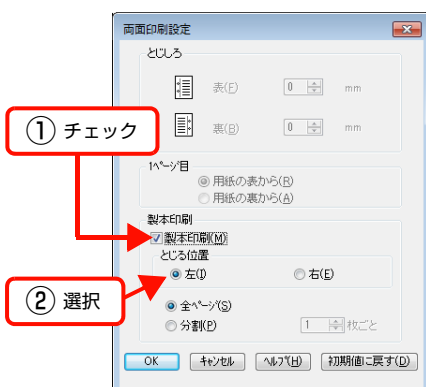
以下に設定例を紹介します。

（例）　印刷データ

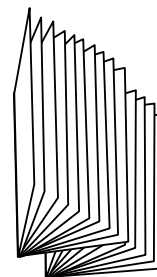
A4、40 ページ

印刷結果

A4、10 枚に両面、割り付け
５ 枚ずつ二つ折りにするようにページを並べ替え

仕上がり

A5、40 ページ、左とじの冊子

1 プリンタードライバーの［基本設定］画面で［両面印刷］をチェックし、［両面設定］をクリックします。

参考
［割付印刷］や［とじる位置］の設定は、**2** で製本印刷の設定をすると無効になります。

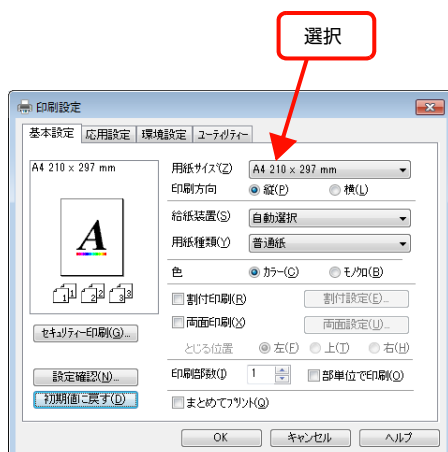
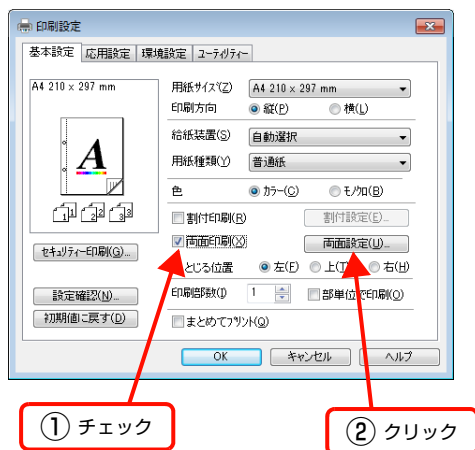
2 ［両面印刷設定］画面の［製本印刷］をチェックし、［とじる位置］から［左］を選択します。

3 ［分割］を選択し、［5 枚ごと］に設定します。

4 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

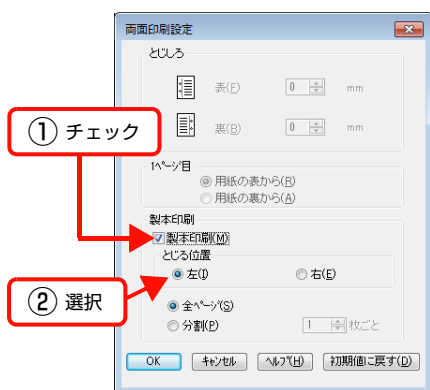
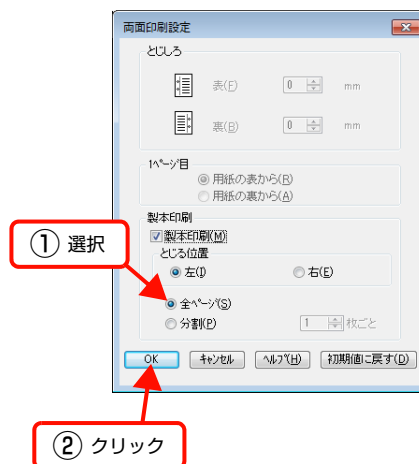
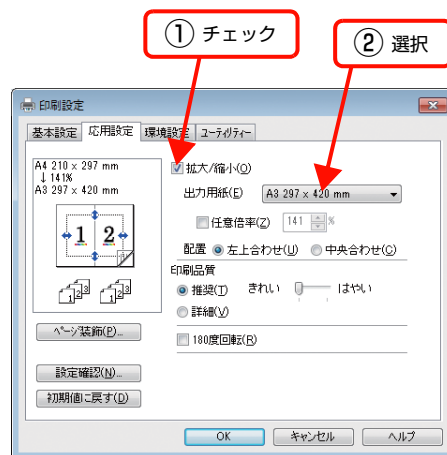
5 印刷された用紙を 5 枚 1 組にして重ね、それぞれを二つ折りにしてから重ねてとじます。

以上で終了です。

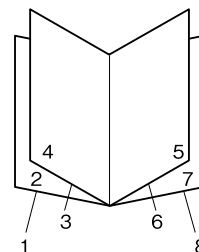
出力用紙サイズを指定

「拡大／縮小」機能を併用して、出力用紙サイズを設定できます。

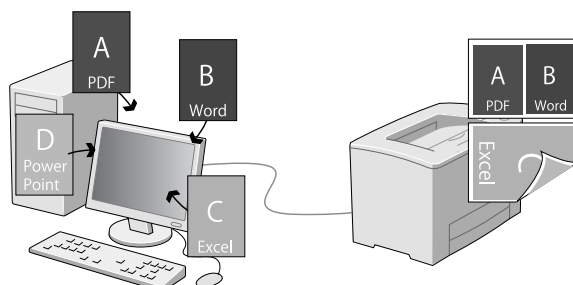
1 プリンタードライバーの［基本設定］画面で、［用紙サイズ］から［A4］を選択します。

2 プリンタードライバーの［基本設定］画面で［両面印刷］をチェックし、［両面設定］をクリックします。

参考

［割付印刷］や［とじる位置］の設定は、3 で製本印刷の設定をすると無効になります。

3 ［両面印刷設定］画面の［製本印刷］をチェックし、［とじる位置］から［左］を選択します。

4 ［全ページ］を選択し、［OK］をクリックして画面を閉じます。

5 ［応用設定］画面で［拡大 / 縮小］をチェックし、［出力用紙］から［A3］を選択します。

6 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

7 印刷された用紙を重ね、１ページ目（表紙）が表になるように二つ折りにしてとじます。

以上で終了です。

異なるデータを１つにまとめて印刷

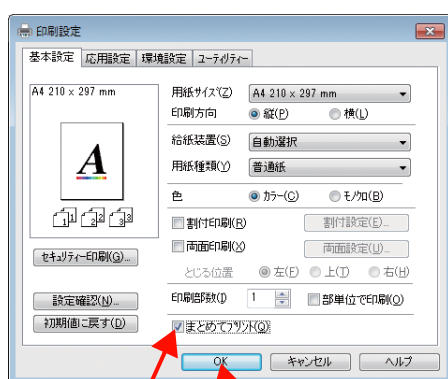
まとめてプリント機能を使うと、異なるアプリケーションで作成した複数のドキュメントを１回にまとめて印刷できます。まとめたデータは、印刷順序や両面、割り付けなどのレイアウトをページ単位で自由に調整できます。イメージを確認しながら調整できるので、簡単に思い通りのレイアウトで印刷できます。

まとめたいデータを一覧にためる

まとめたい印刷ジョブを「まとめてプリント」機能で選択するために、各アプリケーションから印刷を実行します。

参考

まとめてプリントは、かんたん設定 for Office からも設定できます。かんたん設定 for Office は、Version 1.0.1 以降をご使用ください。

1 **印刷したいドキュメントをアプリケーションで開き、印刷を実行するための設定画面からプリンタードライバーの［基本設定］画面を開きます。**

2 **［まとめてプリント］にチェックを付けて、［OK］をクリックします。**

!重要

プリンタードライバーの［環境設定］－［拡張設定］の［印刷領域拡張］にチェックが付いていると、本機能は使えません。

参考

- ［色］／［印刷方向］／［割付印刷］／［両面印刷］の設定は、「まとめてプリント」の設定画面に反映されます。
- 上記を除く設定項目は、「まとめてプリント」時は無視され、初期値の設定で印刷されます。

3 **印刷を実行します。**

「まとめてプリント」機能が起動して、［スプールジョブ一覧］にジョブがたまります。

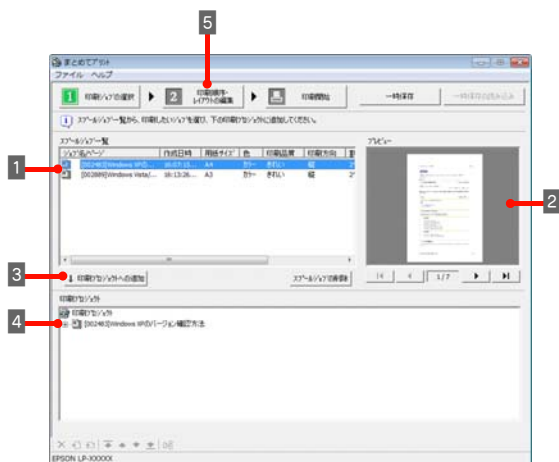
参考

［ユーティリティー］画面の［まとめてプリント］をクリックしても、「まとめてプリント」機能を起動できます。

4 **まとめたい印刷ジョブごとに、1～3を繰り返します。**

まとめたいジョブの印刷が終了したら、次にジョブを選択します。

印刷ジョブの選択

［印刷ジョブの選択］画面では、まとめたい印刷ジョブをプレビューで確認しながら選択できます。

1 ［スプールジョブ一覧］からまとめたいジョブやページを選択します。

- ジョブごとに、用紙サイズや割り付けなどの設定を確認できます。
- ［Shift］キーを押したまま選択すると、クリックした範囲のジョブやページを選択できます。［Ctrl］キーを押したまま選択すると、クリックしたジョブやページだけを選択できます。

> **参考**
> 複数ページの印刷ジョブをダブルクリックするとツリー図が表示されます。まとめたいジョブをページ単位で選択できます。

2 必要に応じて［プレビュー］でドキュメントの内容を確認します。

ドキュメントが複数ページあるときは、［プレビュー］画面下のボタン（ 2 / 7 ）でページを切り替えできます。

3 ［印刷プロジェクトへの追加］をクリックします。

［スプールジョブの削除］をクリックすると、［スプールジョブ一覧］からジョブやページを削除できます。

> **参考**
> - ［スプールジョブ一覧］で選択したまま、ドラッグ＆ドロップしてもジョブやページを追加できます。ジョブは印刷プロジェクトの一番下に追加されます。
> - 処理に時間がかかる際は、進捗を示すプログレスバーが画面下部に表示されます。

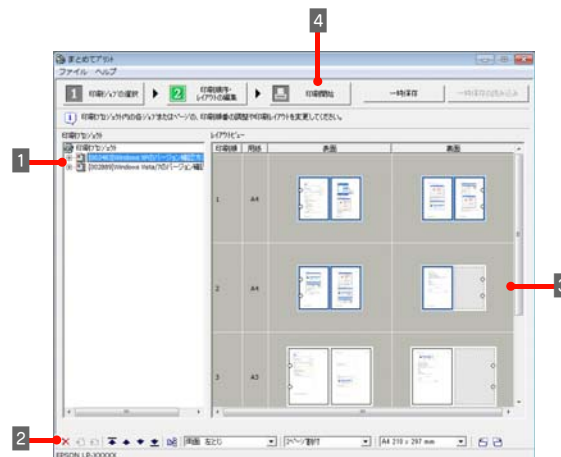
4 ［印刷プロジェクト］で、追加したジョブやページを確認します。

画面下のアイコンを使って、追加したジョブの順番の変更や、削除、白紙ページの追加などができます。さらにジョブやページを追加するときは、1 ～ 3 を繰り返します。

> **参考**
> ジョブやページをドラッグ＆ドロップして順番を移動できます。

5 ［印刷順序・レイアウトの編集］をクリックして次の手順に進みます。

印刷順序･レイアウトの編集

［印刷順序・レイアウトの編集］画面では、まとめる印刷ジョブのレイアウト（割り付け、用紙サイズ、片面 / 両面など）を変更できます。

1 ［印刷プロジェクト］でジョブやページを選択します。

右クリックして表示されるメニューから、追加したジョブの順番の変更や、削除、白紙ページの追加などができます。

2 ［ツールバー］でジョブまたはページごとの割り付け、片面 / 両面、用紙サイズの設定を変更します。

追加したジョブの順番の変更や、削除、白紙ページの追加などができます。

3 **［レイアウトビュー］でページをドラッグ＆ドロップして順序やページ送りなどを調整します。**

- 選択されているページは、青枠で表示されます。
- ドラッグ＆ドロップすると、ドロップした枠のレイアウト設定（割付印刷や両面印刷などの設定）が適用されます。レイアウト設定を変えずに順序を変更するときは、［印刷プロジェクト］で順序を変更してください。
- 白紙ページを作らないようにページを詰めてレイアウトされます（色（カラーまたはモノクロ）の設定が同じ場合）。
- 両面印刷を選択しているときは、パンチ穴を表示して綴じ方向を示します。

4 **［印刷開始］をクリックします。**

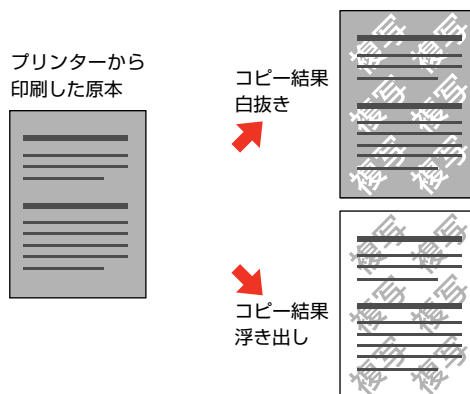
5 **開いた画面で、すべての印刷プロジェクトに共通する印刷条件（給紙装置の設定やセキュリティー印刷など）を設定して、［OK］をクリックします。**

以上で終了です。

！重要

片面と両面が混在するレイアウトにして印刷したときは、片面ページのレイアウトでも両面印刷と同じ動作をするため、消耗品の印刷枚数が少なくなることがあります。

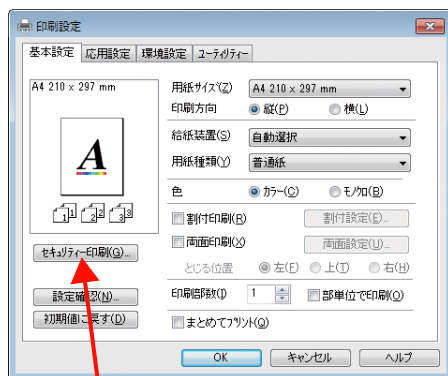
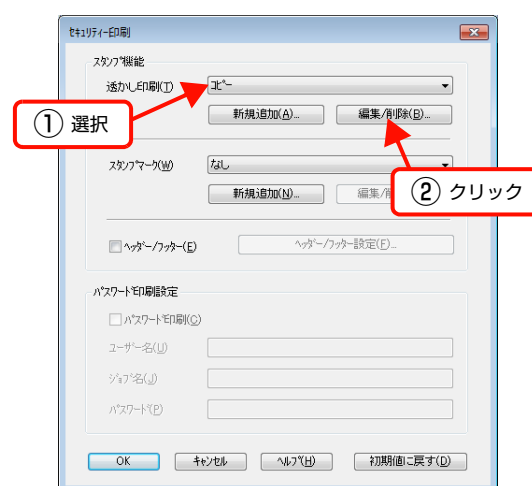
原本とコピーの区別（透かし印刷）

プリンタードライバーの［透かし印刷］機能を使うと、印刷文書の背景に透かし文字が印刷できます。透かし文字が印刷された原本をコピーすると、埋め込まれている文字が浮き上がったように印刷され、原本との区別が付くようになります。不正コピーの抑制などに有効です。

! 重要
透かし印刷は、プリンターから出力した印刷物（原本）の不正コピーを抑制する機能であり、情報漏えいの防止自体を保証することはできません。
以下のような条件によって、透かし文字が濃すぎたり、印刷物の全面に透かし印刷されなかったり、コピーしたときに文字が浮き上がらないことがあります。
- コピー機、ファクス機、コピーに使用する入力機器（デジタルカメラやスキャナーなど）と出力機器（プリンターなど）の機種や設定、組み合わせ
- 本製品のプリンタードライバーの設定、消耗品（トナーなど）の状態や出力する用紙種類

透かし文字の種類は、プリンタードライバーにあらかじめ登録されているもののほか、任意のテキストが登録できます。
☞ 139 ページ「透かし文字の登録」
Windows の設定画面を例に説明します。

透かし印刷の設定

設定方法は以下の通りです。
プリンタードライバーの使い方の詳細は、以下を参照してください。
☞ Windows：92 ページ「プリンタードライバーの使い方」
☞ Mac OS X：117 ページ「プリンタードライバーの使い方」

1 プリンタードライバーの［基本設定］画面の［セキュリティー印刷］をクリックします。

2 ［セキュリティー印刷］画面の［透かし印刷］から印刷したい透かし文字を選択し、［編集 / 削除］をクリックします。

3 ［透かし編集］画面で透かし文字のサイズや角度、配置などを設定します。

4 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

以上で終了です。

透かし文字の登録

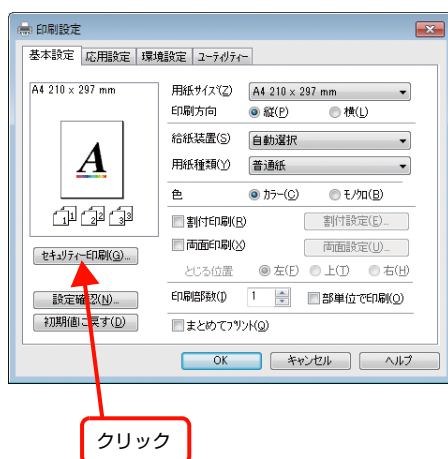
任意のテキストを透かし文字として登録する方法を説明します。

プリンタードライバーの使い方の詳細は、以下を参照してください。

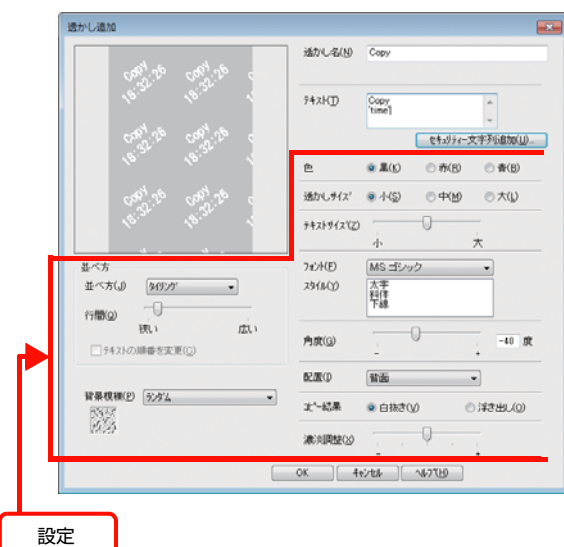
☞ Windows：92 ページ「プリンタードライバーの使い方」
☞ Mac OS X：117 ページ「プリンタードライバーの使い方」

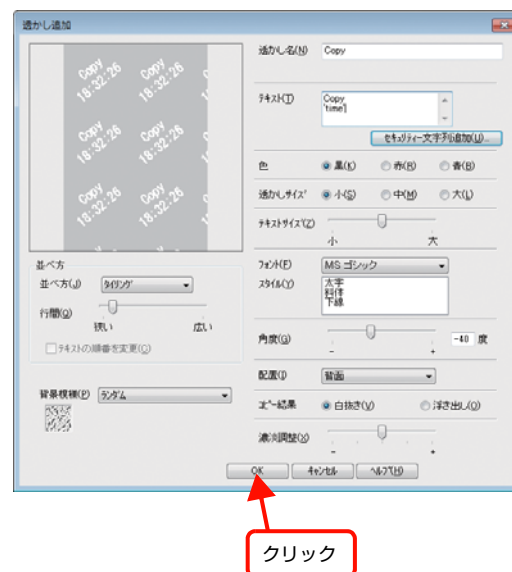
1 プリンタードライバーの［基本設定］画面の［セキュリティー印刷］をクリックします。

2 ［セキュリティー印刷］画面で［新規追加］をクリックします。

3 ［透かし追加］画面で［透かし名］に任意の登録名を入力します。

4 **［テキスト］に登録したい文字を入力します。**

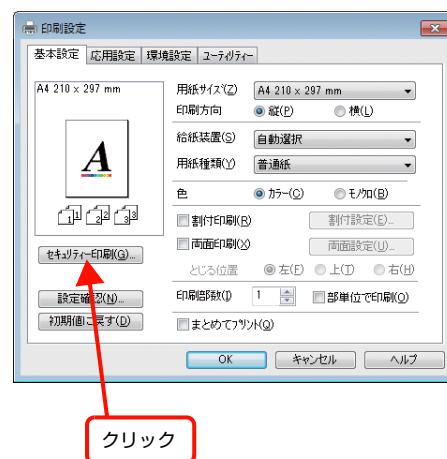
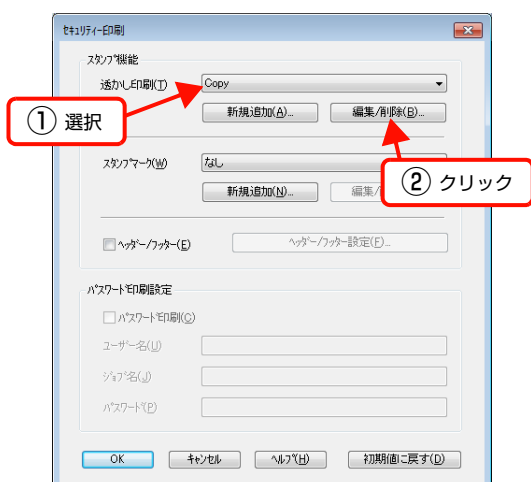
［セキュリティー文字列追加］をクリックすると、ユーザー名やコンピューター名、日付などが選択できます。

5 **透かし文字のサイズや角度、配置などを設定します。**

6 **［OK］をクリックして［透かし追加］画面を閉じます。**

登録した透かし文字がリストに登録されます。

以上で終了です。

透かし文字の削除

登録した透かし文字の削除方法を説明します。

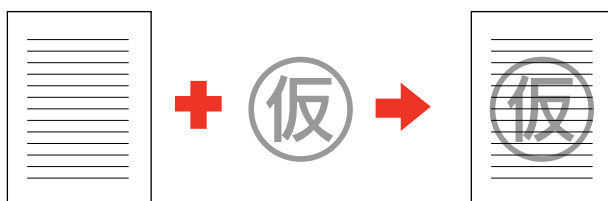
1 **プリンタードライバーの［基本設定］画面の［セキュリティー印刷］をクリックします。**

2 ［セキュリティー印刷］画面で［透かし印刷］から削除したい設定を選択し、［編集 / 削除］をクリックします。

3 ［透かし編集］画面で［透かし名］に削除したい設定が表示されていることを確認し、［削除］をクリックします。

参考
登録した任意の設定のみが削除できます。

4 **確認画面で［はい］をクリックします。**
登録した設定が削除されます。

以上で終了です。

背景に文字や画像を印刷（スタンプマーク）

プリンタードライバーの［スタンプマーク］機能を使うと、印刷文書の背景に「㊙」、「重要」、「㊀」などのスタンプマークを重ねて印刷できます。手作業でスタンプを押すなどの手間が省けて便利です。

スタンプマークの種類は、プリンタードライバーにあらかじめ登録されているもののほか、任意のテキストまたはビットマップ画像（BMP）が登録できます。

☞ 143 ページ「テキストマークの登録」
☞ 144 ページ「ビットマップマークの登録」

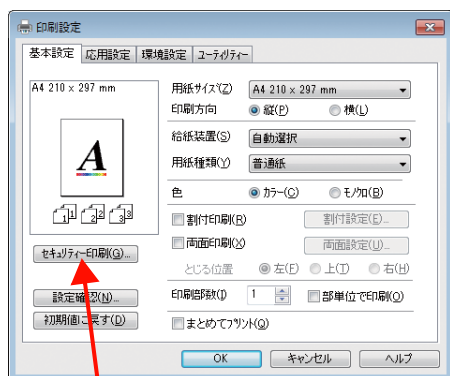
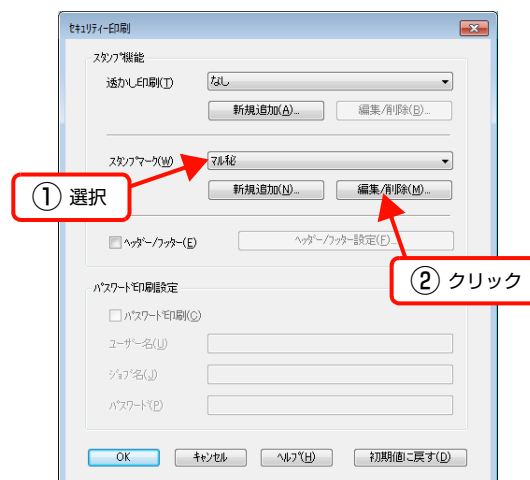
Windows の設定画面を例に説明します。

スタンプマークの設定

設定方法は以下の通りです。

プリンタードライバーの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：92 ページ「プリンタードライバーの使い方」
☞ Mac OS X：117 ページ「プリンタードライバーの使い方」

1 **プリンタードライバーの［基本設定］画面の［セキュリティー印刷］をクリックします。**

2 **［セキュリティー印刷］画面の［スタンプマーク］から印刷したいスタンプマークを選択し、［編集 / 削除］をクリックします。**

3 ［スタンプマーク編集］画面でスタンプマークのサイズや濃度、配置などを設定します。

4 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

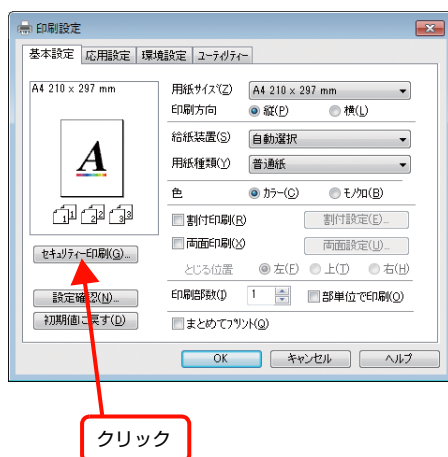
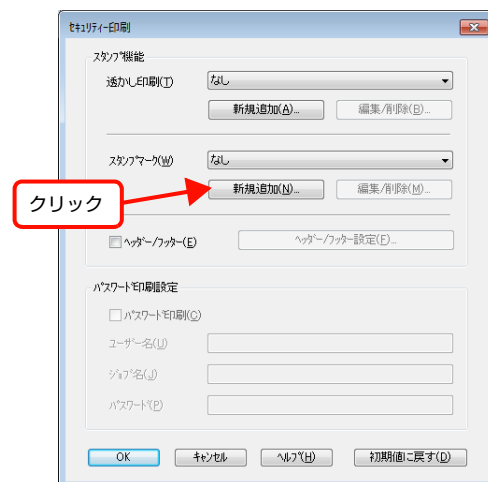
以上で終了です。

テキストマークの登録

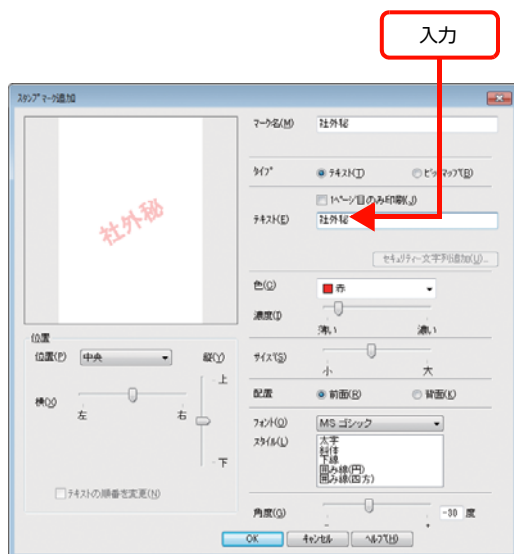
任意のテキストをスタンプマークとして登録する方法を説明します。

プリンタードライバーの使い方の詳細は、以下を参照してください。

Windows：92 ページ「プリンタードライバーの使い方」
Mac OS X：117 ページ「プリンタードライバーの使い方」

1 プリンタードライバーの［基本設定］画面の［セキュリティー印刷］をクリックします。

2 ［セキュリティー印刷］画面で［新規追加］をクリックします。

3 ［スタンプマーク追加］画面で［マーク名］に任意の登録名を入力します。

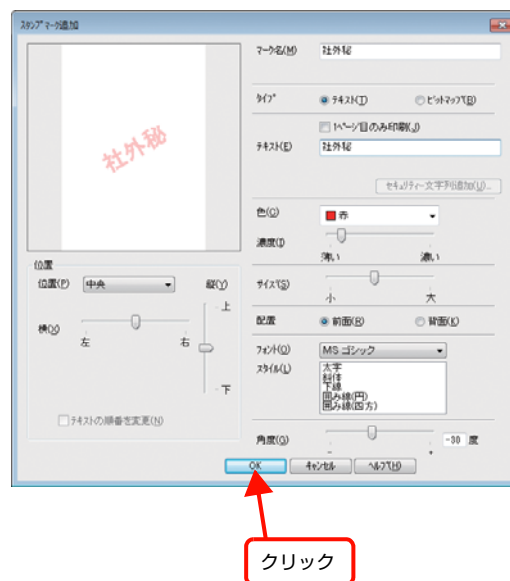
4 ［タイプ］から［テキスト］を選択します。

5 ［テキスト］に登録したい文字を入力します。

参考

［位置］で［全面］を選択すると、［セキュリティー文字列追加］が有効になり、ユーザー名やコンピューター名、日付などが選択できます。

6 テキストマークのサイズや濃度、配置などを設定します。

7 ［OK］をクリックして［スタンプマーク追加］画面を閉じます。

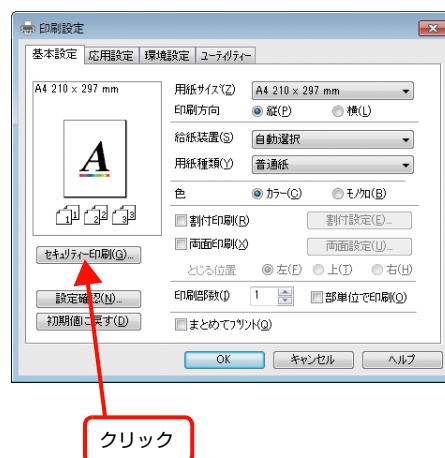
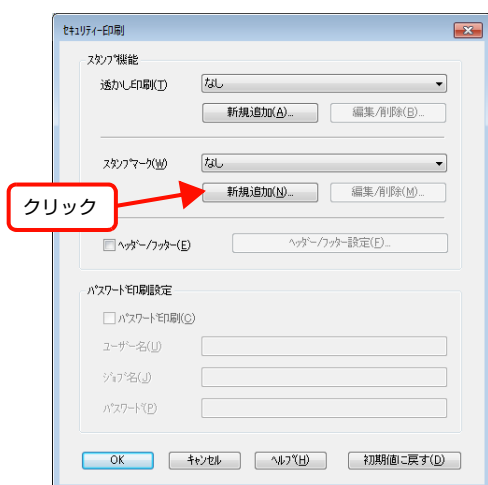
登録したテキストマークがリストに登録されます。

以上で終了です。

ビットマップマークの登録

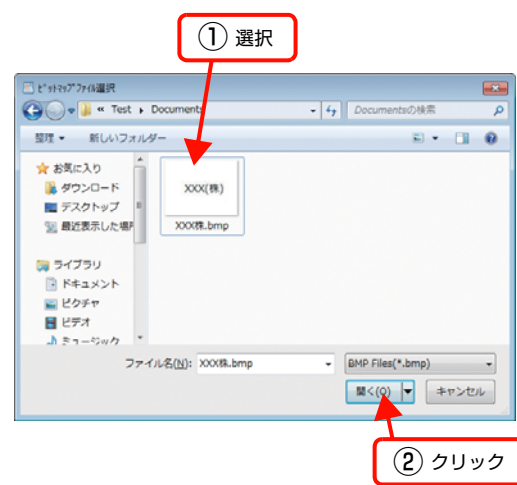
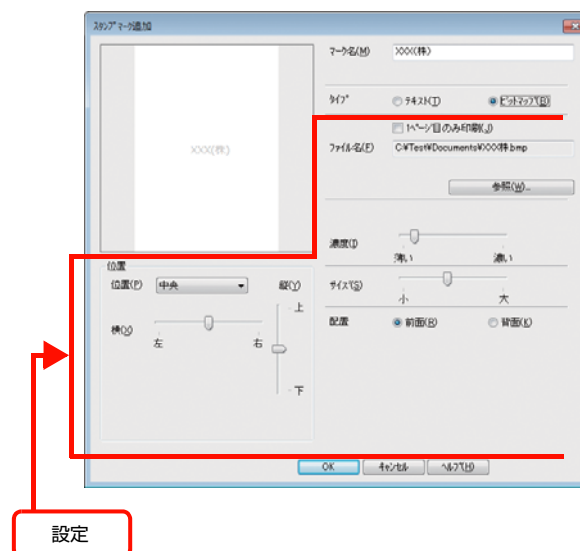
任意のビットマップ画像（BMP）をスタンプマークとして登録する方法を説明します。あらかじめ、スタンプマークとして使用したい BMP 形式の画像を用意してください。

プリンタードライバーの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：92 ページ「プリンタードライバーの使い方」
☞ Mac OS X：117 ページ「プリンタードライバーの使い方」

1 プリンタードライバーの［基本設定］画面の［セキュリティー印刷］をクリックします。

2 ［セキュリティー印刷］画面で［新規追加］をクリックします。

3 ［スタンプマーク追加］画面で［マーク名］に任意の登録名を入力します。

4 ［タイプ］から［ビットマップ］を選択します。

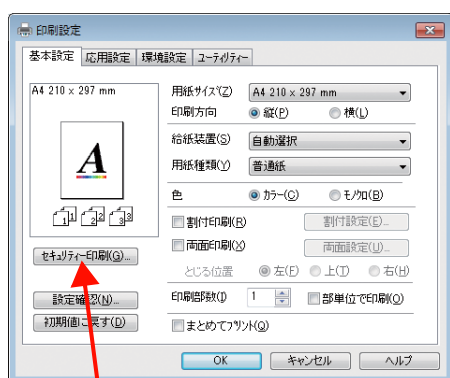
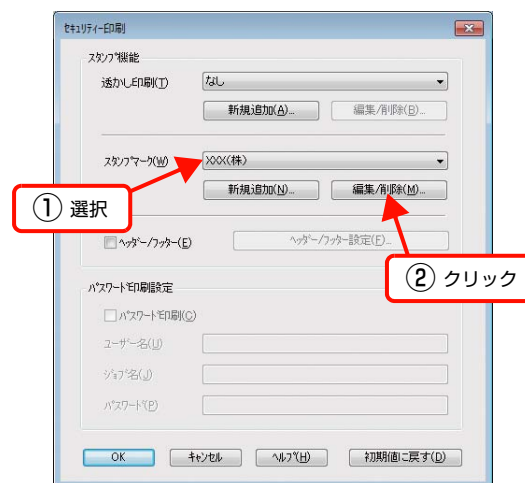
5 登録する BMP ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

6 ビットマップマークのサイズや配置などを設定します。

7 **［OK］をクリックして［スタンプマーク追加］画面を閉じます。**

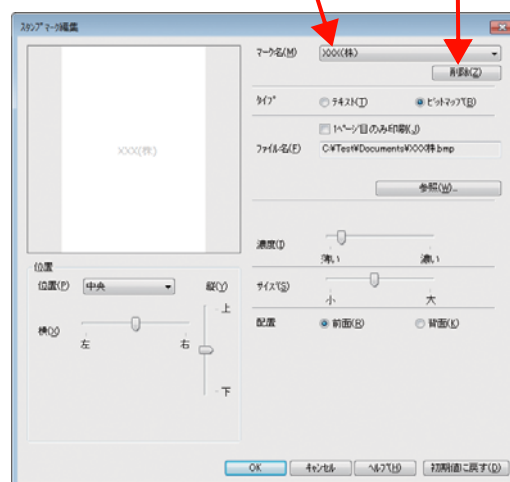
登録したビットアップマークがリストに登録されます。

以上で終了です。

マークの削除

登録したテキストマークとビットマップマークの削除方法を説明します。

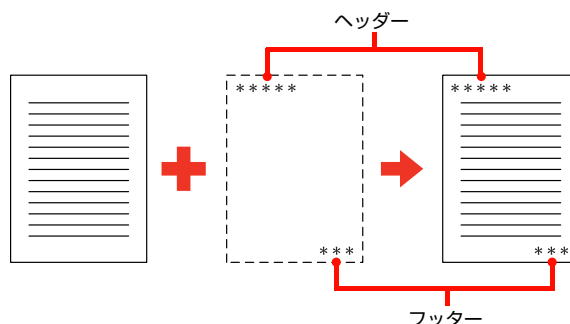
1 **プリンタードライバーの［基本設定］画面の［セキュリティー印刷］をクリックします。**

2 **［セキュリティー印刷］画面で［スタンプマーク］から削除したい設定を選択し、［追加 / 削除］をクリックします。**

3 **［マーク名］に削除したい設定が表示されていることを確認して［削除］をクリックします。**

登録した任意の設定のみが削除できます。

4 **確認画面で［はい］をクリックします。**

登録した設定が削除されます。

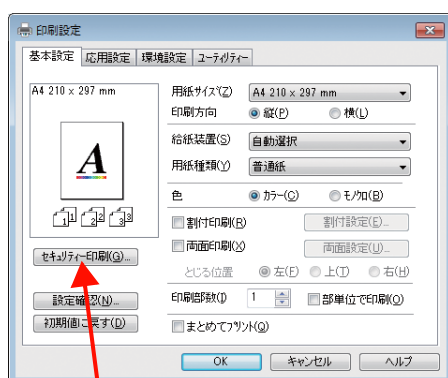
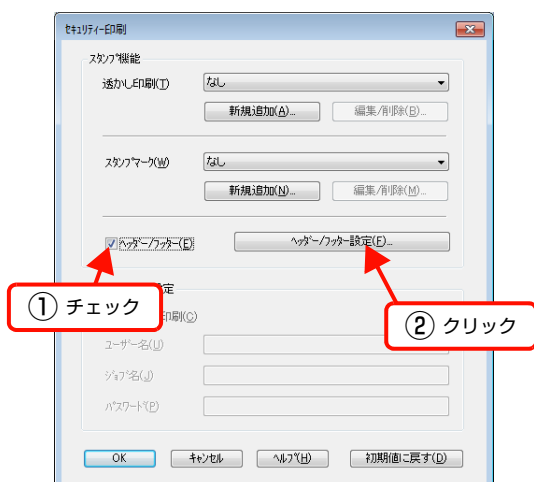
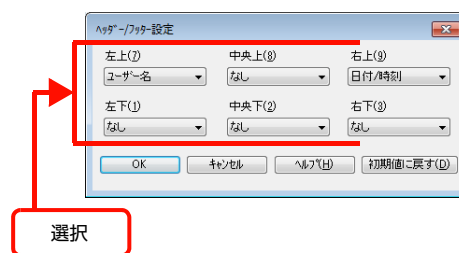
以上で終了です。

ヘッダー/フッター印刷

プリンタードライバーの［ヘッダー / フッター］機能を使うと、印刷文書にヘッダーまたはフッターとして、ユーザー名、コンピューター名、印刷日時、部番号などが印刷できます。Windows の設定画面を例に説明します。

設定方法は以下の通りです。

プリンタードライバーの使い方の詳細は、以下を参照してください。

Windows：92 ページ「プリンタードライバーの使い方」
Mac OS X：117 ページ「プリンタードライバーの使い方」

1 **プリンタードライバーの［基本設定］画面の［セキュリティー印刷］をクリックします。**

2 **［セキュリティー印刷］画面で［ヘッダー / フッター］をチェックし、［ヘッダー / フッター設定］をクリックします。**

3 **［ヘッダー / フッター］画面で印刷する項目を選択します。**

4 **［OK］をクリックして、印刷を実行します。**

［セキュリティー印刷］画面と［基本設定］画面も、［OK］をクリックしてください。

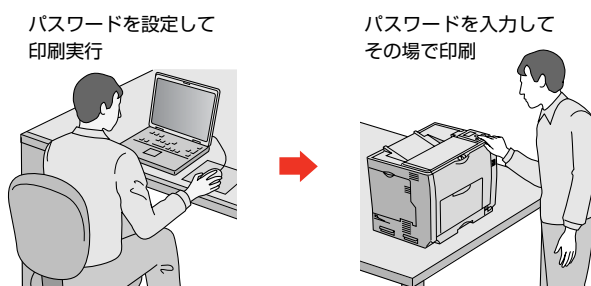
以上で終了です。

印刷ジョブにパスワードを設定

パスワード印刷をするには、メモリーの増設が必要です。

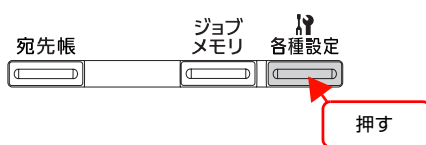
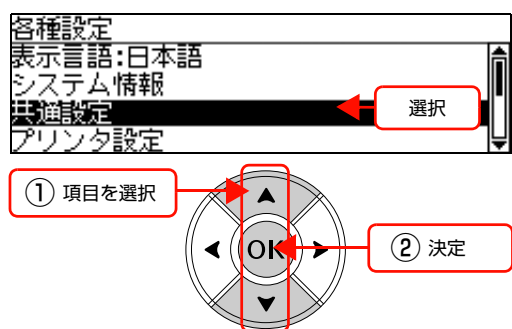
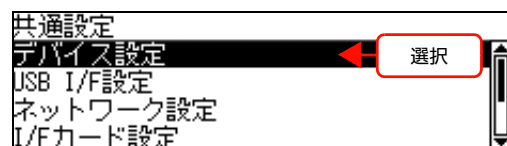
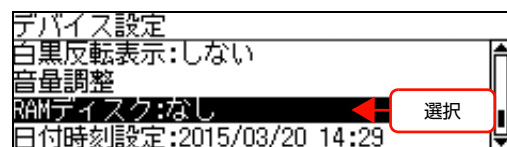
『セットアップガイド』（冊子）－「3. オプションの取り付け」

プリンタードライバーの［パスワード印刷］を使用すると、印刷ジョブにパスワードを設定できます。印刷を実行すると印刷ジョブは一旦本製品のメモリー（RAM ディスク *）に保存され、操作パネルでパスワードを入力すると出力されます。不特定多数で本製品を共同使用している場合でも、他人の目に触れることなく文書を印刷することができます。印刷が終了するとパスワード印刷ジョブはメモリーから削除されます。

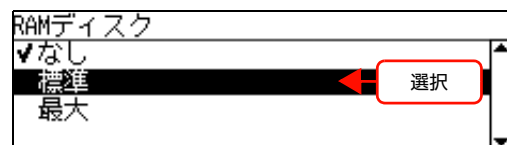
* プリンターに増設しているメモリーの一部を、パスワード印刷ジョブを保存するために利用します。

！重要
以下の状態にあるデータは保護されません。
- 通信経路上にあるデータ
- プリンターの RAM ディスクに一時的に保存されているデータ
- 印刷されないパスワード印刷ジョブは、本製品の電源再投入時やリセットオールでメモリーから削除されます。

RAM ディスクの設定

パスワード印刷をするには、本製品側にパスワード印刷ジョブを保存するための RAM ディスクの設定が必要です。操作パネルで RAM ディスクの設定をしてください。

1 操作パネルの【各種設定】ボタンを押します。

2 【▲】または【▼】ボタンを押して［共通設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 【▲】または【▼】ボタンを押して［デバイス設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。

4 【▲】または【▼】ボタンを押して［RAM ディスク］を選択し、【OK】ボタンを押します。

5 【▲】または【▼】ボタンを押して［標準］または［最大］を選択し、【OK】ボタンを押します。

設定値の説明は以下を参照してください。

158 ページ「共通設定の項目一覧」

!重要

RAM ディスクを［標準］または［最大］にすると A3 の両面印刷で高精細に設定したコピーができなくなることがあります。

6 **本製品の電源を入れ直すか、操作パネルの［共通設定］－［リセット］メニューから［リセットオール］を実行します。**

設定内容が有効になります。
続いてプリンタードライバーの設定をします。

Windows の場合

6 に続いて以下の作業を行ってください。

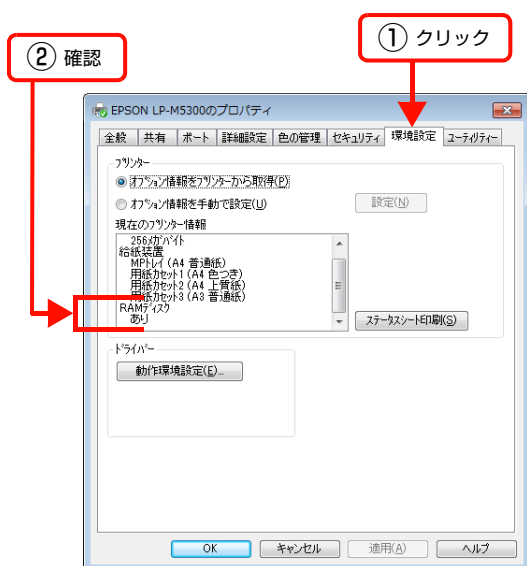
7 **［スタート］－［デバイスとプリンター］の順にクリックします。**

Windows Vista/Windows Server 2008：
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。

8 **本製品のアイコンを右クリックして、［プリンターのプロパティ］（または［プロパティ］）をクリックします。**

Windows Vista：
本製品のアイコンを右クリックして、［管理者として実行］－［プロパティ］を選択します。

9 **［環境設定］画面の［現在のプリンター情報］で［RAM ディスク あり］になっていることを確認します。**

以上で終了です。

Mac OS X の場合

6 に続いて［プリントとファクス］（または［プリントとスキャン］）を開き、本製品を追加し直すか、EPSON ステータスモニタを起動すると、情報が更新されます。

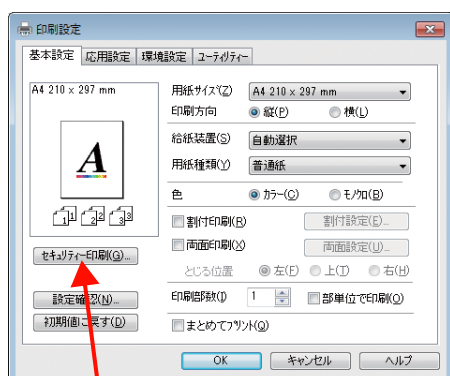
以上で終了です。

パスワードの設定

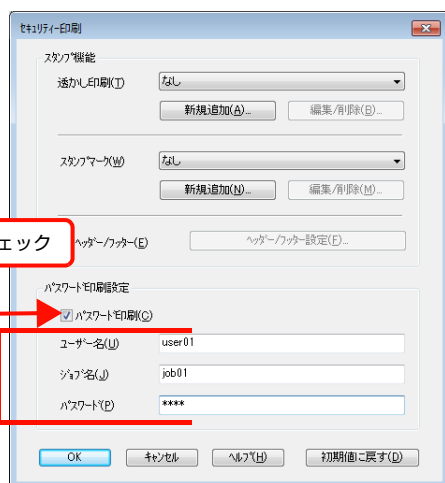
プリンタードライバーで、印刷ジョブにパスワードを設定する方法を説明します。

プリンタードライバーの使い方の詳細は、以下を参照してください。

Windows：92 ページ「プリンタードライバーの使い方」
Mac OS X：117 ページ「プリンタードライバーの使い方」

1 **プリンタードライバーの［基本設定］画面の［セキュリティー印刷］をクリックします。**

2 **［セキュリティー印刷］画面の［パスワード印刷］をチェックし、任意の［ユーザー名］、［ジョブ名］、［パスワード］を入力します。**

［ユーザー名］、［ジョブ名］、［パスワード］は、パスワード印刷のジョブ識別情報になります。必ず入力してください。

- ユーザー名：半角英数 14 文字（全角 7 文字）以内
- ジョブ名：半角英数 14 文字（全角 7 文字）以内
- パスワード：半角数字（0 ～ 9）4桁

参考

未入力で印刷すると、自動的に［ユーザー名］（Windows のログインユーザー名）と［パスワード］（1234）が設定されることがあります。
ただし、

- お使いの環境によっては Windows のログインユーザー名ではないユーザー名になることがあります。
- 半角英数 14 文字（全角 7 文字）を超えるユーザー名は切り捨てて表示されます。
- 情報が取得できなかったときは［ユーザー名］が［EpsonUser］に設定されます。

3 **［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

印刷を実行すると、プリンターの RAM ディスクにデータが保存されます。印刷はされません。

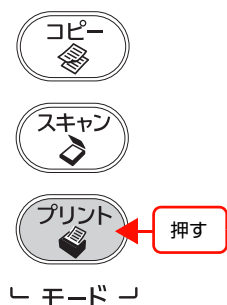
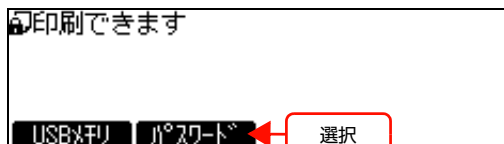
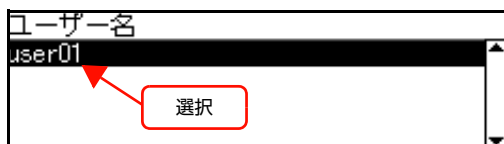
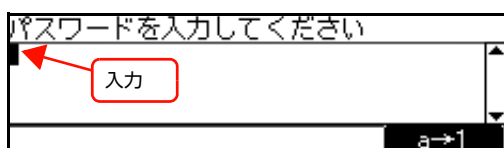
印刷方法は以下を参照してください。

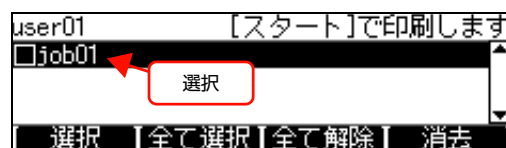
151 ページ「パスワード印刷ジョブの印刷」

以上で終了です。

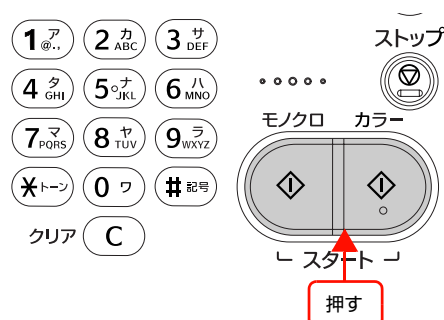
パスワード印刷ジョブの印刷

プリンタードライバーでパスワードを設定した印刷ジョブを、印刷する方法を説明します。

1 **操作パネルの【プリント】ボタンを押します。**

2 **［パスワード］に対応する【F2】ボタンを押します。**

3 **【▲】または【▼】ボタンを押して、ユーザー名を選択し、【OK】ボタンを押します。**

4 **パスワードを入力して、【OK】ボタンを押します。**
パスワードが一致すると次の手順に進みます。

参考
- テンキーの数字とアルファベットは、［a → 1］または［1 → a］に対応した【F4】キーを押して切り替えます。
- アルファベット入力モードのときに、繰り返しテンキーを押すと、割り付けられたアルファベットが順番に表示されます。
- 【◀】ボタンを押すと、確定した桁に戻ることができます。
- 確定した桁は表示が［＊］に変わります。

5 **ジョブ名を選択します。**
プリンタードライバーで設定したジョブ名を選択します。

① 【▲】または【▼】ボタンを押してジョブ名を選択し、【F1】ボタンで決定します。
② 印刷するジョブが複数ある場合は、①の操作を繰り返します。
③ 印刷するジョブを選択し終えたら、【OK】ボタンを押して確定します。

参考
- 選択したジョブを解除するためには、【F1】ボタンを再度押します。
- ［全て選択］に対応する【F2】ボタンを押すと、すべてのジョブを選択します。
- ［全て解除］に対応する【F3】ボタンを押すと、選択したジョブをすべて解除します。
- ［削除］に対応する【F4】ボタンを押すと、選択したジョブを削除します。

6 **【カラー】または【モノクロ】ボタンを押して印刷を実行します。**

以上で終了です。

パスワード印刷ジョブの削除

本製品のメモリー（RAM ディスク）に保存されたパスワード印刷ジョブは、以下のときに削除されます。

- 印刷したとき（ジョブごと）
- 操作パネルで［データ消去］を実行したとき（ジョブごと）
- 印刷しないで本製品の電源を切ったとき（すべてのジョブ）
- 操作パネルで［リセットオール］を実行したとき（すべてのジョブ）

好みの画質に調整

スキャンするときに EPSON Scan の画面を表示して、明るさやコントラストを調整したり、画像のゴミやホコリを取り除いたり、画質を調整できます。

EPSON Scan の表示方法は、以下を参照してください。

Windows：99 ページ「EPSON Scan の使い方」
Mac OS X：123 ページ「EPSON Scan の使い方」

ヒストグラム調整

ヒストグラムを使用して、シャドウ部とハイライト部を設定したり、その中間の明るさを補正したりできます。

濃度補正

シャドウ（最暗部）からミッドトーン（中間調）、ハイライト（最明部）へと変化していく濃度の曲線（トーンカーブ）を調整することで、画像全体の明るさとコントラストをバランス良く仕上げることができます。

イメージ調整

明るさとコントラスト（明暗の差）を調整し、シアン、マゼンタ、イエローのカラーバランスを調整することで、画像を適切な色合いに補正できます。

カラーパレット調整

ハイライト部やシャドウ部をあまり変化させずに肌色などの中間調部分の色合いを微調整できます。その他の補正機能を使用した後、最終的な微調整にご使用ください。

画像をシャープに

アンシャープマスクの度合いを調整して輪郭部分を強調することで、画像をシャープに補正できます。

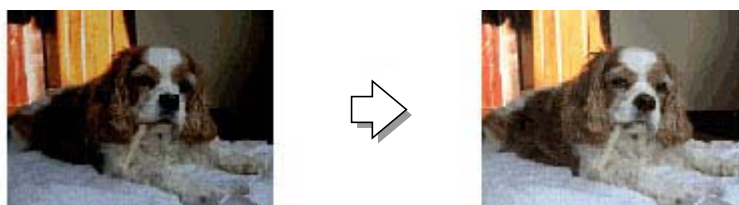
モアレを除去

印刷物（雑誌、カタログなど）のスキャンで発生するモアレパターンの発生を防止します。

ホコリを除去

画像上のホコリを取り除くことができます。

逆光で撮影された写真を補正

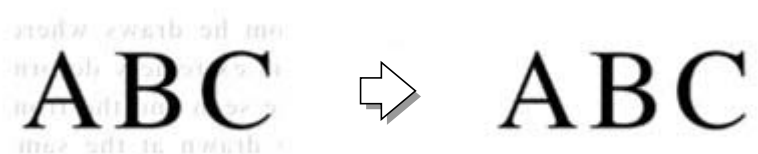
逆光で撮影されたプリント写真を、明度や彩度、カラーバランスを考慮してより自然な色調に補正できます。

色あせた写真の色を復元

色あせてしまった写真を、元の色に近づくように補正できます。

書類のかすれた色を強調

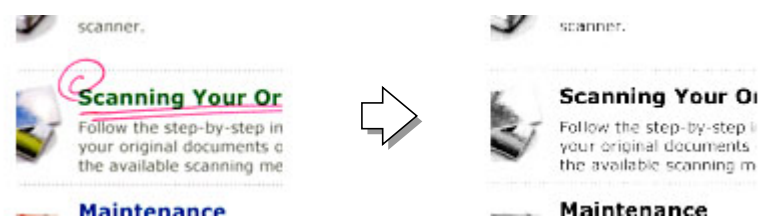
書類をモノクロでスキャンするときに、かすれた色を強調してより明確にできます。

書類の文字をくっきり

ぼやけている書類の文字をくっきりシャープにできます。

書類の画像をはっきり

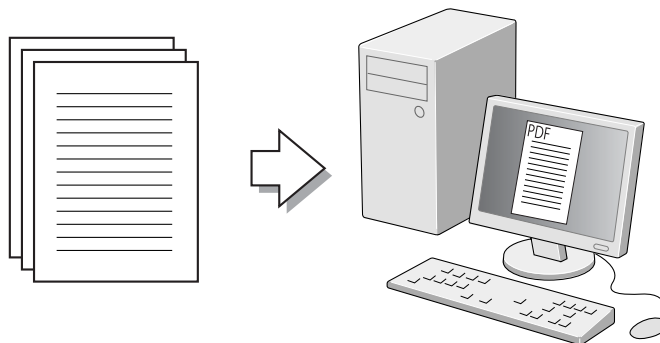
画像付きの書類をモノクロでスキャンするときに、画像部分をなめらかな白黒にできます。

書類の中から指定した色をドロップアウト

赤・青・緑の 3 色の中から、指定した色を削除します。欄外に書き込んだ赤字や帳票・伝票などの色付き罫線を取り除くことができます。

PDF ファイルにまとめてスキャン

文書など複数枚の原稿を PDF 形式（1 ファイル）にまとめてスキャンできます。

EPSON Scan でスキャンするときに、［保存ファイルの設定］画面の［保存形式］で［PDF］を選択し、［詳細設定］をクリックして［全ページを 1 ファイルに保存］を選択します。

［詳細設定］では、ほかにもテキスト検索可能な PDF（Windows のみ）で保存するなど、PDF 保存の詳細を設定できます。

参考

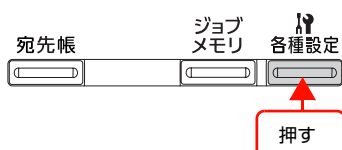
- PDF 形式は Windows と Mac OS X で、画面表示 / 印刷ともに同様の結果が得られる汎用的なドキュメント形式です。PDF 形式のファイルを開くには、Adobe Reader が必要です。Adobe Systems 社のホームページからダウンロードしてください。
- テキスト検索可能 PDF の機能は、日本語のみ対応です。また、グレースケールやカラー画像にも対応していますが、メモリーを多く使用するため、モノクロ（2 値）でのスキャンをお勧めします。解像度（出力解像度）は 200 ～ 400dpi の範囲で設定してください。目安となる解像度以上に上げても、文字の認識率は向上しません。

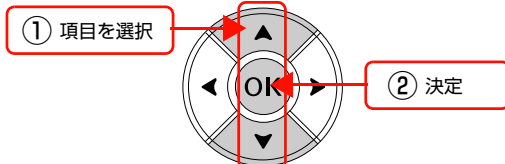
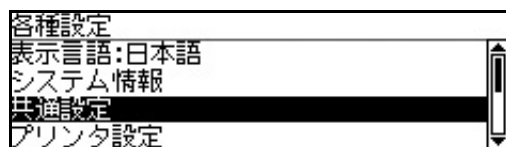
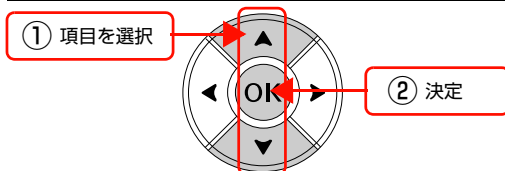
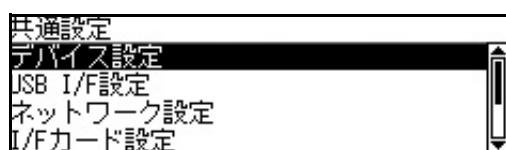
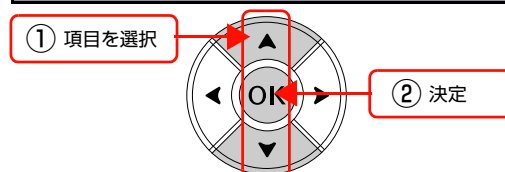
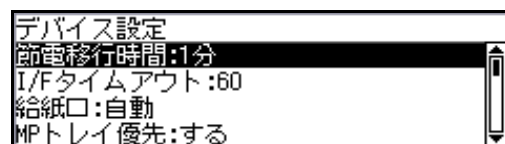
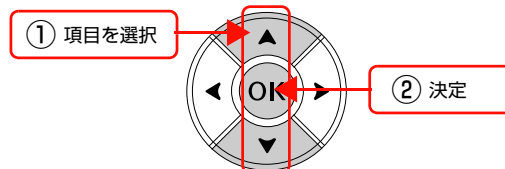
操作パネルによる設定 / 確認

ここでは、操作パネルでの設定変更方法 / 確認方法と、設定項目 / 設定値について説明します。

> **!重要** 操作パネルの設定と EpsonNet Config（ソフトウェア）の設定を同時にしないでください。本製品が正常に動作しなくなるおそれがあります。

設定を変更する

1 【各種設定】ボタンを押して、メニューを表示します。

2 【▲】または【▼】ボタンを押して設定を選択し、【OK】ボタンを押します。

各項目の詳細は次ページ以降をご覧ください。

3 【▲】または【▼】ボタンを押して変更する設定分類を選択し、【OK】ボタンで決定します。

4 【▲】または【▼】ボタンを押して項目を選択し、【OK】ボタンで決定します。

5 【▲】または【▼】ボタンを押して設定値を選択し、【OK】ボタンで決定します。

6 モードの初期画面になるまで【戻る】ボタンを押します。

設定モードが終了します。

［コピー］、［スキャン］などの各モードボタンを押しても設定モードを終了できます。

以上で終了です。

表示言語の項目一覧

（ __ ：初期値）

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
表示言語	ー	日本語、English 操作パネルの表示を、日本語にするか、英語にするかを選択します。

システム情報の項目一覧

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
システム情報	メインバージョン	本製品のファームウェア（機器に内蔵されているソフトウェア）のバージョンを表示します。
	ファクスバージョン	本製品のファームウェア（機器に内蔵されているソフトウェア）のバージョンを表示します（ファクスモデルのみ）。
	MCU バージョン	本製品のファームウェア（機器に内蔵されているソフトウェア）のバージョンを表示します。
	シリアル No	本製品のシリアル No を表示します。
	メモリ	本製品に搭載されているメモリーの容量を表示します。
	MAC アドレス	本製品のネットワークインターフェイスの MAC アドレスを表示します。
レポート印刷	ステータスシート	現在の設定の一覧（ステータスシート）を印刷します。
	ネットワーク情報	標準のネットワークインターフェイスに関する情報を印刷します。
	ジョブメモリリスト	ジョブメモリーに登録されている情報を印刷します。

共通設定の項目一覧

（ __ ：初期値）

[ ]で示した設定項目はプリンタードライバーの設定が優先されます。

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
デバイス設定	節電移行時間	1 分、3 分、5 分、15 分、30 分、60 分、120 分、180 分、240 分 印刷待機時の消費電力を節約できます。最後の動作が終了してから、設定した時間が経過すると節電状態になります。節電状態のときは、ウォーミングアップしてから、動作を開始します。
	I/F タイムアウト	20 ～ 60 ～ 600 秒 データの受信が途切れてから次の受信が始まるまでエラーを発生せずに待つ時間を設定します。
	給紙口	自動、MP トレイ、カセット 1 ～ 3 出力用紙をどの給紙装置から給紙するか選択します。［自動］に設定すると印刷データの原稿サイズと同じサイズの用紙がセットされている給紙装置から給紙します。カセット 2 ～ 3 はオプション装着時に表示されます。
	MP トレイ優先	する、しない ［給紙口］の設定が［自動］、かつ MP トレイと用紙カセットに同サイズの用紙がセットされている場合に、MP トレイからの給紙を優先するかどうかを設定します。
	コピー枚数	1 ～ 999 コピー枚数を設定します。
	両面印刷	しない、する 両面 / 片面印刷を選びます。
	とじ方向	長辺とじ、短辺とじ とじ方向を選択します。
	紙種	普通、上質紙、厚紙、特厚紙、OHP シート、コート紙 用紙種類を選択します。
	紙面	表、裏 手動で両面印刷するときに設定します。 自動両面印刷が可能な用紙は以下を参照してください。 ☞ 268 ページ「用紙一覧と設定早見表」
	白紙節約	する、しない 白紙のページを印刷するかしないかを設定します。
	自動排紙	する、しない ページ途中で印刷が停止したページを排出するかしないかを設定します。
	用紙サイズフリー	しない、する ［指定と違うサイズの用紙に印刷しました］のエラーメッセージと［用紙を交換してください xxxxx yyyy］のエラーを表示するかどうかを設定します。なお、プリンタードライバーの［環境設定］－［拡張設定］－［ドライバーの設定を使用］を設定すると、操作パネルの設定よりプリンタードライバーの設定が優先されます。
	自動エラー解除	しない、する ［オーバーランエラー］、［用紙を交換してください xxxxx yyyy］、［メモリ不足で印刷できません］、［指定された用紙は両面印刷できません］、［メモリ不足で両面印刷できませんでした］などのエラーが発生した場合、自動的にエラーを解除するか、そのまま動作を一時停止するかを設定します。
	ページエラー回避	しない、する 印刷データに問題が発生して印刷できないときに使用してください。印刷品質を落として印刷するためエラーを回避できることがあります。

分類	設定項目		表示 / 設定範囲
デバイス設定（続き）	LCD コントラスト		0 ～ 7 ～ 15（1 刻み） 操作パネルに表示される文字の濃度を設定します。
	白黒反転表示		しない、する 操作パネルの表示を白黒反転するか選択します。
	音量調整	操作確認音	Off、中、大 操作パネルのボタンを押したときに音を出すか選択します。
		正常終了音	Off、中、大 スキャンや印刷などが正常に終了したときに音を出すか選択します。
		注意音	Off、中、大 エラーなどが発生したときに音を出すか選択します。
	RAM ディスク *		なし、標準、最大 RAM ディスクの全容量のうち印刷時のパスワード機能に使用する領域を選択します。 なし：パスワード印刷機能は使用できません。 標準：パスワード印刷時にメモリーを増設している場合は、増設メモリー容量の 25%を RAM ディスクとして使用します。 最大：パスワード印刷時にメモリーを増設している場合は、増設メモリー容量の 50%を RAM ディスクとして使用します。 ［標準］または［最大］にすると A3 の両面印刷で高精細に設定したコピーができなくなることがあります。
	日付時刻設定		YYYY/MM/DD HH:MM （YYYY: 西暦、MM: 月、DD: 日、HH: 時、MM: 分） 現在の時刻を設定します。
	日付表示フォーマット		DD/MM/YY、MM/DD/YY、YY/MM/DD （YY: 西暦、MM: 月、DD: 日） 日時の表示フォーマットを選択します。
USB I/F 設定	USB I/F		使う、使わない USB インターフェイスを使用するかしないかを選択します。
	USB SPEED		HS、FS インターフェイスの動作モードを選択します。お使いの機器に対応したモードを選択してください。詳しくはお使いの機器のマニュアルをご覧ください。
	受信バッファ		標準、最大、最小 USB I/F の受信バッファーサイズを設定します。

*［RAM ディスク］は、メモリー増設時のみ表示されます。

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
ネットワーク設定	ネットワーク I/F	使う、使わない ネットワークインターフェイスを使用するかしないかを選択します。
	IP アドレス設定	パネル、自動、PING TCP/IP の IP アドレスの設定方法を選択します。
	IP	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255（192.168.192.168） TCP/IP の IP アドレスを設定します。
	SM	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255（255.255.255.0） TCP/IP の Subnet Mask を設定します。
	GW	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255（255.255.255.255） TCP/IP の Gateway アドレスを設定します。
	AppleTalk	On、Off ネットワーク接続時に AppleTalk 接続を有効にするかどうかを選択します。
	WSD	On、Off ネットワーク接続時に WSD 接続を有効にするかどうかを選択します（Windows Vista 以降）。
	LLTD	On、Off ネットワーク接続時に LLTD 接続を有効にするかどうかを選択します（Windows Vista 以降）。
	Bonjour	On、Off ネットワーク接続時に Bonjour 接続を有効にするかどうかを選択します。
	Link Speed	自動、100 Full、100 Half、10 Full、10 Half データ転送速度 / 通信方式を設定します。
	受信バッファ	標準、最大、最小 ネットワーク I/F の受信バッファーサイズを設定します。
USB ホスト設定	USB ホスト	使う、使わない USB デバイスのインターフェイスを使用するかしないかを選択します。
メールサーバ設定	認証方式	なし、POP before SMTP、SMTP 認証 メールサーバーの認証方式を設定します。
	認証用アカウント	メールサーバーに接続する認証アカウント（ユーザー名）を設定します。
	認証用パスワード	メールサーバーに接続する認証パスワードを設定します。
	送信元アドレス	送信元として表示されるメールアドレスを入力します。先頭に . を使用するとエラーが発生します。
	SMTP サーバアドレス	SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を設定します。
	SMTP サーバポート番号	SMTP サーバーとの通信するポート番号を設定します。
	POP3 サーバアドレス *	POP3 サーバーの IP アドレスまたはホスト名を設定します。
	POP3 サーバポート番号 *	POP3 サーバーとの通信するポート番号を設定します。
	接続テスト	設定したメールサーバーとの接続テストを実行します。接続テストの結果エラーが表示されたときは、以下のページを参照してください。 245 ページ「エラーメッセージ」

* ［認証方式］を［POP before SMTP］に設定したときに表示されます。

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
リセット	ワーニングクリア	操作パネルに表示されているワーニングメッセージ（「ファクス印刷可能な用紙がありません」と消耗品など交換部品に関するもの以外）を消します。
	全ワーニングクリア	操作パネルに表示されている「ファクス印刷可能な用紙がありません」を除くすべてのワーニングメッセージを消します。
	リセット	本製品をリセットします。現在稼働中のインターフェイスに対して、メモリーに保存された印刷データを破棄します。
	リセットオール	本製品をリセットオールします。主電源を入れた直後の状態まで本製品を初期化するときに行ってください。すべてのインターフェイスに対してメモリーに保存された印刷データを破棄します。
	シアン（C）トナーカートリッジ交換	シアン（C）トナーカートリッジが交換位置に移動します。 「＊＊＊＊トナーカートリッジを交換してください」のメッセージが表示されたとき以外でも、トナーカートリッジの交換が可能になります。
	マゼンタ（M）トナーカートリッジ交換	マゼンタ（M）トナーカートリッジが交換位置に移動します。 「＊＊＊＊トナーカートリッジを交換してください」のメッセージが表示されたとき以外でも、トナーカートリッジの交換が可能になります。
	イエロー（Y）トナーカートリッジ交換	イエロー（Y）トナーカートリッジが交換位置に移動します。 「＊＊＊＊トナーカートリッジを交換してください」のメッセージが表示されたとき以外でも、トナーカートリッジの交換が可能になります。
	ブラック（K）トナーカートリッジ交換	ブラック（K）トナーカートリッジが交換位置に移動します。 「＊＊＊＊トナーカートリッジを交換してください」のメッセージが表示されたとき以外でも、トナーカートリッジの交換が可能になります。

プリンタ設定の項目一覧

（ __ ：初期値）

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
給紙装置設定	MP トレイサイズ	A4、A3、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面連刷はがき、LT、HLT、LGL、GLT、GLG、B、EXE、F4、洋形 0 号、洋形 4 号、洋形 6 号、長形 3 号、角形 2 号 MP トレイにセットした用紙サイズを設定します。
	カセット 1 サイズ	A4、A3、A5、B4、B5、LT、LGL、B 標準の用紙カセット 1 にセットされている用紙サイズを表示します。
	カセット 2 ～ 3 サイズ	A4、A3、A5、B4、B5、LT、LGL、B オプションの増設カセットユニット装着時のみ表示され、セットされている用紙サイズを表示します。
	MP トレイタイプ	普通紙、上質紙、印刷済み、レターヘッド、再生紙、色つき、OHP シート、ラベル MP トレイにセットした用紙タイプを設定します。コンピューターからの印刷時、同じサイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
	カセット 1 タイプ	普通紙、上質紙、印刷済み、レターヘッド、再生紙、色つき 標準の用紙カセットにセットした用紙タイプを設定します。コンピューターからの印刷時、同じサイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
	カセット 2 ～ 3 タイプ	普通紙、上質紙、印刷済み、レターヘッド、再生紙、色つき オプションの増設カセットユニット装着時のみ表示され、オプションの用紙カセットにセットした用紙タイプを設定します。コンピューターからの印刷時、同じサイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
印刷書式設定	ページサイズ	自動、A4、A3、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面連刷はがき、LT、HLT、LGL、GLT、GLG、B、EXE、F4、洋形 0 号、洋形 4 号、洋形 6 号、長形 3 号、角形 2 号 印刷するデータの用紙サイズを選択します。
	用紙方向	縦、横 用紙方向を設定します。
	解像度	はやい、きれい 印刷解像度を設定します。
	RIT	On、Off 文字の輪郭や曲線などがギザギザにならず、なめらかに印刷できます。
	トナーセーブ	しない、する カラー / モノクロ印刷とも印刷濃度を抑えることでトナーを節約します（カラー印刷時は色の表現力を低く抑えます）。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらないときにご利用ください。
	縮小	Off、80% 印刷データを少し縮小して印刷します。
	ドット補正	しない、する 1 ～ 3 ドット幅の線の補正値を設定します。 補正値は [印刷書式設定] － [解像度] の設定によって以下の通り異なります。 [解像度] の設定が [はやい] の場合 • [しない]：1 ドット幅の線を 1 ドットのまま描画します。 • [する]：1 ドット幅の線を 2 ドットに補正して描画します。 [解像度] の設定が [きれい] の場合 • [しない]：1 ドット幅の線を 2 ドットに補正して描画します。 • [する]：2 ドット幅以下の線を 3 ドットに補正して描画します。

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
印刷書式設定 （続き）	イメージ補正	1、2 イメージデータの補正方式を選択します。 1：標準の補正方式です。通常はこの設定で使用してください。 2：ESC/P または ESC/PS モードのときは、罫線が正しく印刷されないときに設定します。ESC/Page モードのときは、ご利用のプリンターまたは複合機に対応していないプリンタードライバーを使用していて、グラフィックに問題があるときに設定します。
	上オフセット	-30.0 ～ 0.0 ～ 30.0mm 印刷の開始位置を設定します。
	左オフセット	
	上オフセット B	
	左オフセット B	
プリンタ言語	USB	自動、ESC/PS、ESC/P、ESC/Page 各インターフェイスの接続で利用するプリンター言語を設定します。
	ネットワーク	
ESC/PS 環境設定	連続紙	OFF、F15 → B4 横、F15 → A4 横、F10 → A4 縦 連続紙用の印刷データを、単票紙（カット紙）用に縮小して印刷するかどうかを選択します。
	文字コード	カタカナ、グラフィック ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。英数カナ文字コードを切り替えます。
	給紙位置	8.5mm、22mm ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。用紙の印刷開始位置を選択します。
	各国文字	日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン ESC/PSモードでPC-PR201H用ソフトウェアを使用しているときに有効です。英数カナ文字コード表の一部の記号をどの国に対応するかを選択します。
	ゼロ	0、0̸（ゼロスラッシュ） ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。英数カナ文字コードの「0」の書体を選択します。
	用紙位置	左、中央、中央 -5、中央 +5 ESC/PSモードでPC-PR201H用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 横方向の印字範囲（136 桁）の幅の中で、用紙をどの位置に合わせるかを選択します。中央を選択した場合は、さらにオフセット量を選択できます。アプリケーションソフトのプリンター設定で PC-PR201H、シートフィーダーを使用にしたときは、［中央］を選択してください。なお、アプリケーションソフトの左右マージン設定によっては、左右の一部が印刷されない場合があります。このときは、アプリケーションソフトで左右マージンを大きく設定してください。
	右マージン	用紙幅、136 桁 ESC/PSモードまたはESC/Pモードで有効です。右マージンを選択します。
	漢字書体	明朝、ゴシック ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。漢字に使用する書体を選択します。

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
ESC/Page 環境設定	復帰改行	する、しない 印刷データが右マージン位置を超えたときに、自動的に改行して次の行の先頭から印刷を続けるかを選択します。
	改ページ	する、しない 印刷データが改行のため下マージン位置を超えたときに、自動的に改ページして次のページに印刷するかを選択します。
	CR	CR のみ、CR+LF CR（復帰）の動作を選択します。
	LF	CR+LF、LF のみ LF（改行）の動作を選択します。
	FF	CR+FF、FF のみ FF（改ページ）の動作を選択します。
	エラーコード	Off、On 文字コード表にない文字を受信したときに、スペースへの置き換えをするかしないかを設定します。
	フォントタイプ	1、2、3 「幅」対「高さ」が 1 対 2 の文字サイズが指定されたとき、2 バイト系文字の全角フォントと半角フォントの優先度を選択します。 1：15 ポイント未満は半角フォントを優先し、15 ポイント以上は全角文字を優先して印刷します。 2：全角フォントを優先して印刷します。 3：半角フォントを優先して印刷します。

コピー設定の項目一覧

（ __ ：初期値）

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
高圧縮設定	ー	する、しない 部単位コピー可能な原稿枚数を増やすために、元データを圧縮処理するかどうかを選択します。
カラーキャリブレーション	開始	カラーコピー画質を調整します。
	工場出荷時に戻す	カラーコピー画質の設定を工場出荷時の設定に戻します。
コピー標準値設定	ー	コピー設定の現在の設定値を標準値として登録します。
コピー工場出荷時設定	ー	コピー設定を工場出荷時の設定に戻します。

スキャン設定の項目一覧

（ __ ：初期値）

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
ネットワークスキャン	ー	許可する、許可しない ネットワーク上のコンピューターからのスキャンを許可するかどうかを選択します。
メール設定	添付ファイル最大サイズ	1MB、2MB、5MB メール添付で送信するスキャンデータの最大サイズを設定します。ファイルが添付されたメールそのもののサイズは、最大サイズより大きなサイズになります（約 1.3 倍）。
スキャン標準値設定	ー	スキャン設定の現在の設定値を標準値として登録します。
スキャン工場出荷時設定	工場出荷時設定	スキャン設定を工場出荷時の設定に戻します。
	キャリッジロック位置設定	輸送時にキャリッジロックを行う位置までキャリッジを移動します。

ファクス設定の項目一覧（ファクスモデルのみ）

（ __ ：初期値）

分類	設定項目		表示 / 設定範囲
基本設定	回線種別		PSTN、PBX 電話回線の種別を選択します。通常は［PSTN］を電話交換機などがある環境の場合に［PBX］を選択します。
	ND 回線接続		する、しない ナンバーディスプレイ回線への接続を行うかどうかを選択します。ただし、通信相手の番号を取得、表示する機能はありません。
	外線切り替え番号		0 ～ 9、*、#、しない ［回線種別］で［PBX］を選択した場合、外線に接続する際に入力するダイヤル番号を選択します。
	ダイヤル種別		トーン、10PPS、20PPS プッシュ回線かダイヤルパルス回線か選択します。
	自局情報	名称	送信元の名称を登録します。
		番号	テンキー（ダイヤルボタン）で自局番号（20 桁）を入力します。［＊］キーを押すと「+」、［#］キーを押すとスペースを入力できます。
	スピーカ音量		OFF、1、2、3 電話回線使用時の音量を調整できます。
	ファクスレポート印刷言語		日本語、英語 ファクスレポートを印刷する際の言語を選択します。
送信設定	オートリダイヤル回数		0 ～ 3 ～ 10 送付先の機器が通話中などで接続できない場合、一定時間待った後、再びダイヤルする回数を設定します。
	発信元記録		する、しない 送付データの上部に、年月日 / 曜日 / 時間 / 発信元名 / 自局番号 / ページ数（分数表示）を入れます。
	優先原稿サイズ		なし、A3、B4、A4、A4、B5、B5 ファクスの送信時、原稿サイズを［自動選択］に設定した状態で、本製品が検知できないサイズの原稿が給紙されたときに、［優先原稿サイズ］のサイズを適用して送信します。「なし」を選択すると、適用するサイズがないためサイズ確認の画面が表示されます。以後は指定したサイズでスキャンします。
	PC-FAX 送信機能		使用する、使用しない PC-FAX 送信機能を使用するかどうかを選択します。

分類	設定項目		表示 / 設定範囲
受信設定	給紙口		自動、MP トレイ、カセット 1 ～ 3 出力用紙をどの給紙装置から給紙するか選択します。［自動］に設定すると受信した原稿サイズと同じサイズの用紙がない場合は別の用紙に印刷されます。カセット 2 ～ 3 は、オプションの増設カセット装着時のみ表示されます。
	両面印刷		する、しない ファクスを受信する際、両面 / 片面印刷を選びます。
	受信モード		［自動切替］：指定した時間、外付け電話機を呼び出してから、本製品が応答してファクスデータを受信します。 ［ファクス専用］：外付け電話の呼び出し音が 1 ～ 2 回鳴ってから、自動的にファクス受信を開始します。 ［電話専用］：外付け電話機を呼び出し続けます。ファクス受信しません。 ［TAM］：留守番電話の応答中にファクス信号を検出した場合、ファクス受信に切り替わる機能です。
	外付電話呼出時間		1 ～ 10 ～ 99 秒 ［受信モード］で［自動切替］を選択した場合に、本製品に接続されている電話機の呼び出し秒数を設定します。呼び出し秒数を過ぎると、本製品が自動的に応答してファクスデータを受信できる状態にします。
	自動縮小		する、しない ［する］を選択すると、受信したファクスデータが印刷範囲を超えていた場合に自動的にデータを縮小して印刷範囲内に収めます。［しない］を選択すると、受信ファクスデータが切れて印刷されることがあります。
	受信ファクス出力先		印刷、PC 保存、メール 受信したファクスの出力方法を設定します。
	PC保存先設定	保存先指定	送信先共有フォルダーのフォルダーパスを設定します。
		保存先ユーザー名	送信先共有フォルダーにアクセスするときのユーザー名を設定します。
		保存先パスワード	送信先共有フォルダーにアクセスするときのユーザーパスワードを設定します。
		接続テスト	ネットワークの接続テストを実行します。
	メール設定	メールアドレス	送信先のメールアドレスを設定します。
		添付ファイル最大サイズ	200KB、500KB、1MB、2MB、4MB メール添付で送信するファクスデータの最大サイズを設定します。
		件名	送信するメールの件名を設定します。
		接続テスト	ネットワークの接続テストを実行します。
	メモリ受信	ー	する、しない 受信したファクスを印刷せずにメモリーで受信するかどうかを設定します。
		ON 時刻	メモリー受信を開始する時間を設定します。
		OFF 時刻	メモリー受信を終了する時間を設定します。

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
通信管理設定	通信レポート	通信管理＋受信出力先、通信管理のみ、しない 通信管理レポートを印刷します。[通信管理＋受信出力先] または [通信管理のみ] にすると、送受信の合計が 50 件になった時点でレポートを印刷します。
	送信レポート	常時、エラー時のみ、なし 送信結果のレポートを印刷します。[常時] にすると送信が完了するごとにレポートを印刷します。[エラー時のみ] にすると、送信できないときにのみレポートを印刷します。ただし、同報送信結果はレポートとして印刷されません。
	同報レポート	常時、エラー時のみ、なし 同報送信の結果のレポートを印刷します。[常時] にすると、すべての宛先への送信が完了するとレポートを印刷します。[エラー時のみ] にすると、1 件でも送信できなかった宛先があったときにレポートを印刷します。
詳細設定	ポーズ時間	長、中、短 ファクス宛先番号にポーズ記号 " － " を入力したときのポーズ時間を設定します。 通常は変更しないでください。
	回線特性	1、2 本製品と接続する電話回線の電圧特性を設定します。ファクスモードに切り替えた際に [外付け電話使用中] の表示が出てしまう場合に、設定を変更すると問題が解決することがあります。 通常は変更しないでください。
	トーン時間	長、中、短 ダイヤル種別＝トーンのときにダイヤルトーンを発する間隔を設定します。ファクス送付先の番号が正しいのに正常につながらない場合に、設定を変更すると問題が解決することがあります。 通常は変更しないでください。
	トーン間隔	長、中、短 ダイヤル種別＝トーンのときにダイヤルトーンを発する間隔を設定します。ファクス送付先の番号が正しいのに正常につながらない場合に、設定を変更すると問題が解決することがあります。 通常は変更しないでください。
	V.34 機能	On、Off スーパー G3（V.34）機能を使用した高速なファクス通信を優先的に使用します。回線の状態によりスーパー G3 機能を利用した高速な通信でエラーが発生する場合に [Off] に設定すると改善されることがあります。 通常は変更しないでください。
	着信レベル 1	高、中、低 ファクス着信時の信号レベルを設定します。本項目はファクス受信モードが自動切替、電話専用、FAX 専用に設定されている場合に限り有効です。 通常は変更しないでください。
	着信レベル 2	高、中、低 ファクス着信時の信号レベルを設定します。本項目はファクス受信モードが TAM に設定されている場合に限り有効です。 通常は変更しないでください。
	送出レベル	高、中、低 本製品からのファクス信号の送出レベルを設定します。 通常は変更しないでください。
	通信詳細レポート	常時、エラー時のみ、なし 通信管理レポートとは別に、1 件ごとに通信内容の詳細なレポートを出力します。本機能は主に通信障害の発生時にエラーの内容を確認するために利用する機能です。 通常は変更しないでください。
ファクス標準値設定	ー	ファクス設定の現在の設定値を標準値として登録します。

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
ファクス工場出荷時設定	工場出荷時設定	ファクス設定を工場出荷時の設定に戻します。
	ファクスバックアップメモリクリア	バックアップデータを削除し、ファクスバックアップメモリー使用率を 0% にします。送受信中、ファクス送信文書、受信文書が蓄積されているときは実行できません。

分類	設定項目		表示 / 設定範囲
メールアドレス	メールアドレス		送信先のメールアドレスを設定します。
	名称		送信先の登録名称を設定します。メールアドレス確定後に表示します。
	ヨミガナ		名前の読みを設定します。名称確定後に表示します。
保存先フォルダ	フォルダパス		送信先共有フォルダーのフォルダーパスを設定します。
	名称		送信先の登録名称を設定します。フォルダーパス確定後に表示します。
	ヨミガナ		名称の読みを設定します。名称確定後に表示します。
	認証ユーザー名		送信先共有フォルダーにアクセスするときのユーザー名を設定します。ヨミガナ確定後に表示します。
	認証パスワード		送信先共有フォルダーにアクセスするときのユーザーパスワードを設定します。認証ユーザー名確定後に表示します。
ファクス番号 *	短縮ダイヤル設定	番号	短縮ダイヤル一覧から登録または編集する番号を選択します。
		名称	送付先の登録名称を設定します。短縮ダイヤル選択後に表示します。
		ヨミガナ	名称の読みを設定します。名称確定後に表示します。
	クイックダイヤル設定		クイックダイヤル一覧から登録または編集する番号を選択します。
	宛先設定全削除		短縮ダイヤル、クイックダイヤルの全登録内容を削除します。

* ファクスモデルのみ表示されます。

管理者設定の項目一覧

（ __ ：初期値）

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
パスワード設定	パスワードの変更	管理者パスワードを設定します。パスワードは 20 桁まで入力できます。
	パスワード制限範囲	制限しない、I/F 項目のみ、全項目 ［I/F 項目のみ］を選択すると、インターフェイスの設定値を変更する場合にパスワードの入力が必要になります。 ［全項目］を選択すると、実行機能も含めすべての機能にパスワードの入力が必要になります。 ［制限しない］を選択すると、本製品のすべての設定項目の変更についてパスワードの入力は必要ありません。
初期モード	ー	コピー、スキャン、プリント、ファクス* デバイスを起動した際にどのモード（コピー / プリントなど）を表示させるか選択します。
設定初期化	ー	パネル設定値を工場出荷時の設定に戻します。

* ファクスモデルのみ表示されます。

宛先 / 保存先の登録方法

宛先や保存先の登録には、操作パネルから登録する方法と、EpsonNet Config（ソフトウェア）から登録する方法があります。

> **重要** ファクス送受信文書が存在している場合（ファクス蓄積文書ランプが点灯している場合）はファクス宛先を変更しないでください。

操作パネルから宛先 / 保存先登録

操作パネルからスキャンデータ送信用の［メールアドレス］、［保存先フォルダ］およびファクス送信用の［短縮ダイヤル］、［クイックダイヤル］を登録する方法を説明します。

参考

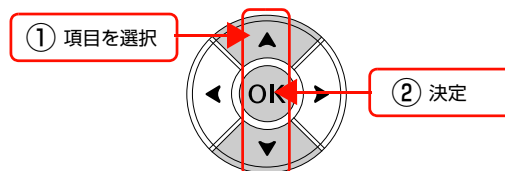
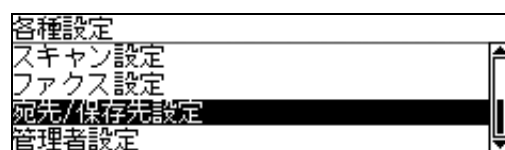
- ファクス送信用の［メールアドレス］、［保存先フォルダ］の登録 / 編集方法は、以下を参照してください。
  ☞ 61 ページ「基本情報の設定」
- ［短縮ダイヤル］、［クイックダイヤル］は、ファクスモデルのみの機能です。
  登録できるダイヤル機能には、複数の宛先に同報送信する［グループダイヤル］もあります。
- ファクス送信用の［グループダイヤル］は、EpsonNet Config（ソフトウェア）から登録します。
- スキャン設定の［機能］タブ－［レポート印刷］からメールアドレスリストと PC フォルダーリストが印刷できます。
  ☞ 271 ページ「スキャンモードの設定項目」

送信先メールアドレスの登録 / 編集

スキャンデータ送信先のメールアドレスは、最大 50 件まで登録できます。

受信ファクス出力先のメールアドレス登録 / 編集方法は、以下を参照してください。
☞ 63 ページ「メール設定」

1 【各種設定】ボタンを押して、メニューを表示します。

2 【▲】または【▼】ボタンを押して［宛先 / 保存先設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 【▲】または【▼】ボタンを押して［メールアドレス］を選択し、【OK】ボタンを押します。

4 【▲】または【▼】ボタンを押して［未登録］の番号を選択し、［編集］に対応する【F3】ボタンを押します。

［未登録］と表示されないときは、すべてのメールアドレスが登録済みです。不要なメールアドレスを削除してください。
☞ 174 ページ「選択して削除」

登録済みのメールアドレスを選択して【F3】ボタンを押すと、内容を変更できます。

5 **メールアドレスを入力します。**

① テンキー（ダイヤルボタン）でメールアドレスを入力します。
入力モード（英字 / 数字）を切り替えるには、【F4】ボタンを押します。
［メールアドレス］は半角で 64 文字まで入力できます。
入力例）user01@po.hoge.net

② 入力が終了したら、【OK】ボタンを押します。

> **参考**
> - メールアドレスを入力しないと、名称とヨミガナの項目が設定できません。
> - 入力した文字を削除するには、【◀】または【▶】ボタンで消したい文字を選択して、［C］キーを押します。
> - 文字を挿入するには、【◀】または【▶】ボタンでカーソルを移動して入力します。

6 **名称を入力します。**

① テンキー（ダイヤルボタン）で名称を入力します。
入力モード（カナ / 英字 / 数字）を切り替えるには、【F4】ボタンを押します。
［名称］は半角で 20 文字まで入力できます。

② 入力が終了したら、【OK】ボタンを押します。

> **参考**
> - 全角で登録するには、コンピューターからソフトウェア EpsonNet Config を使って登録してください。
> ☞ 176 ページ「EpsonNet Config から登録する」
> - 入力した文字を削除するには、【◀】または【▶】ボタンで消したい文字を選択して、［C］キーを押します。
> - 文字を挿入するには、【◀】または【▶】ボタンでカーソルを移動して入力します。
> - 名称を入力すると、ヨミガナも入力されます。

7 **必要に応じてヨミガナを変更し、【OK】ボタンを押します。**

［ヨミガナ］は半角で 20 文字まで入力できます。

8 **モードの初期画面になるまで【戻る】ボタンを押します。**

設定モードが終了します。

以上で終了です。

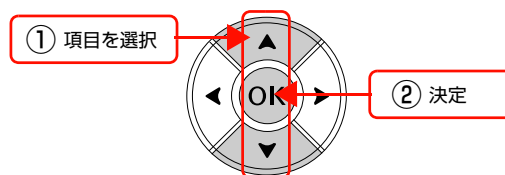
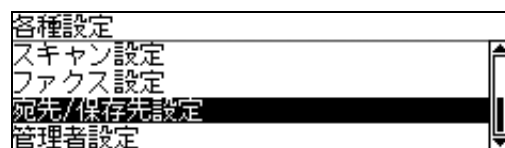
送信先フォルダーの登録 / 編集

スキャンデータの送信先フォルダーは、最大 10 件まで登録できます。

受信ファクス出力先のフォルダー登録 / 編集方法は、以下を参照してください。

☞ 62 ページ「PC 保存先の設定」

1 **【各種設定】ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **【▲】または【▼】ボタンを押して［宛先 / 保存先設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

3 **【▲】または【▼】ボタンを押して［保存先フォルダ］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

4 **【▲】または【▼】ボタンを押して［未登録］の番号を選択し、［編集］に対応する【F3】ボタンを押します。**

［未登録］と表示されないときは、すべてのフォルダーが登録済みです。不要なフォルダーを削除してください。

☞ 174 ページ「選択して削除」

登録済みの保存先フォルダーを選択して【F3】ボタンを押すと、内容を変更できます。

5 **フォルダーパスを入力します。**

① テンキー（ダイヤルボタン）でフォルダーパスを入力します。
入力モード（カナ / 英字 / 数字）を切り替えるには、【F4】ボタンを押します。
［フォルダパス］は 107 文字まで入力できます。

［フォルダパス］は保存先コンピューターの IP アドレス、またはドメイン名、デバイス名との組み合わせで入力します。

入力例）フォルダーパス「share\pc001」IP アドレス「192.168.1.10」の場合
「\\192.168.1.10\share\pc001」

② 入力が終了したら、【OK】ボタンを押します。

参考

- ［フォルダパス］はドメイン名でも指定できます。ドメイン名で指定する場合はお使いの環境にDNS サーバーが設定されている必要があります。
入力例）ドメイン名「epson.net」、デバイス名「xyz9876」の場合
「\\xyz9876.epson.net\share\pc001」
- 「\」（バックスラッシュ）や「.」（ドット）などの記号は、アルファベット入力モードで［#］を何回か押すと入力できます。
- 全角で登録するには、コンピューターからソフトウェア EpsonNet Config を使って登録してください。
☞ 176 ページ「EpsonNet Config から登録する」
- フォルダーパスを入力しないと、名称とヨミガナの項目が表示されず設定できません。
- 入力した文字を削除するには、【◀】または【▶】ボタンで消したい文字を選択して、［C］キーを押します。
- 文字を挿入するには、【◀】または【▶】ボタンでカーソルを移動して入力します。

6 **名称を入力します。**

① テンキー（ダイヤルボタン）で名称を入力します。入力モード（カナ / 英字 / 数字）を切り替えるには、【F4】ボタンを押します。
［名称］は半角で 20 文字まで入力できます。
② 入力が終了したら、【OK】ボタンを押します。

参考

- 全角で登録するには、コンピューターからソフトウェア EpsonNet Config を使って登録してください。
☞ 176 ページ「EpsonNet Config から登録する」
- 消去するには、【クリア】ボタンを押します。
- 名称を入力すると、ヨミガナも入力されます。

7 **必要に応じてヨミガナを変更し、【OK】ボタンを押します。**

［ヨミガナ］は半角で 20 文字まで入力できます。

8 **共有フォルダーの認証ユーザー名を入力し、【OK】ボタンを押します。**

［認証ユーザー名］は半角で30文字まで入力できます。
ユーザー名はドメイン名を付加して指定できます。ドメイン名は 15 文字以下にしてください。
入力例）ドメイン名「epson」、ユーザー名「user01」の場合、ユーザー名は「epson\user01」になります。

9 **共有フォルダーの認証パスワードを入力し、【OK】ボタンを押します。**

［認証パスワード］は半角で 20 文字まで入力できます（＊は使用できません）。

10 **モードの初期画面になるまで【戻る】ボタンを押します。**

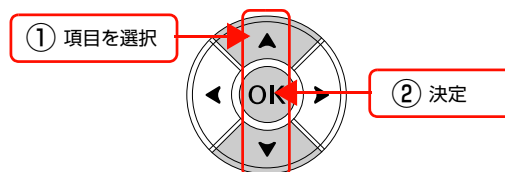
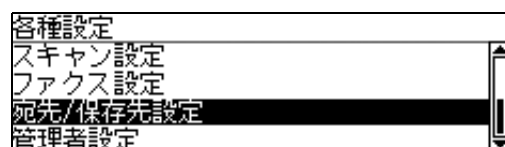
設定モードが終了します。

以上で終了です。

短縮ダイヤルの登録 / 編集

短縮ダイヤルは、最大 200 件まで登録できます。

1 **【各種設定】ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **【▲】または【▼】ボタンを押して［宛先 / 保存先設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

3 **【▲】または【▼】ボタンを押して［ファクス番号］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

4 **【▲】または【▼】ボタンを押して［短縮ダイヤル設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

5 **【▲】または【▼】ボタンを押して［未登録］の番号を選択し、［編集］に対応する【F3】ボタンを押します。**

［未登録］と表示されない場合は、すべての短縮ダイヤルが登録済みです。不要な短縮ダイヤルを削除してください。
☞ 174 ページ「選択して削除」

登録済みの短縮ダイヤル番号を選択して【F3】ボタンを押すと、内容を変更できます。

6 **電話番号を入力します。**

① テンキー（ダイヤルボタン）で番号を入力します。
［電話番号］は 50 文字まで入力できます。
② 入力が終了したら、【OK】ボタンを押します。

参考

- 番号を入力しないと、名称とヨミガナの項目が表示されず設定できません。
- 入力した文字を削除するには、【◀】または【▶】ボタンで消したい文字を選択して、［C］キーを押します。
- ［＊］キーを押すと「＊」、［#］キーを押すと「#」を入力します。

7 **名称を入力します。**

① テンキー（ダイヤルボタン）で名称を入力します。
入力モード（カナ / 英字 / 数字）を切り替えるには、【F4】ボタンを押します。
［名称］は半角で 16 文字まで入力できます。

② 入力が終了したら、【OK】ボタンを押します。

> 参考
> - 全角で登録するには、コンピューターからソフトウェア EpsonNet Config を使って登録してください。
> ☞ 176 ページ「EpsonNet Config から登録する」
> - 入力した文字を削除するには、【◀】または【▶】ボタンで消したい文字を選択して、［C］キーを押します。
> - 文字を挿入するには、【◀】または【▶】ボタンでカーソルを移動して入力します。
> - 名称を入力すると、ヨミガナも入力されます。

8 **必要に応じてヨミガナを変更し、【OK】ボタンを押します。**

［ヨミガナ］は半角で 8 文字まで入力できます。

9 **モードの初期画面になるまで【戻る】ボタンを押します。**

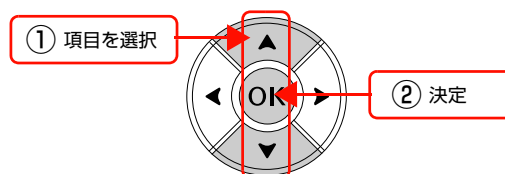
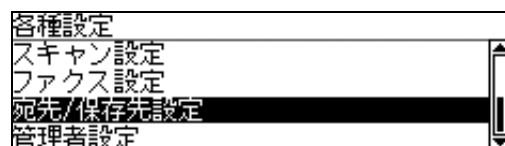
設定モードが終了します。

以上で終了です。

クイックダイヤルの登録 / 編集

すでに登録されている短縮ダイヤルを、操作パネル上の【01】～【12】ボタンにクイックダイヤルとして割り当てることができます。

1 **【各種設定】ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **【▲】または【▼】ボタンを押して［宛先 / 保存先設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

3 **【▲】または【▼】ボタンを押して［ファクス番号］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

4 **【▲】または【▼】ボタンを押して［クイックダイヤル設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

5 **【▲】または【▼】ボタンを押して［未登録］の番号を選択してから、［編集］に対応する【F3】ボタンを押します。**

登録済みのクイックダイヤル番号を選択して【F3】ボタンを押すと、内容を変更できます。

6 **【▲】または【▼】ボタンでクイックダイヤルに登録する短縮ダイヤル番号を選択し、【OK】ボタンを押します。**

［詳細］に対応する【F4】ボタンを押すと、選択している短縮ダイヤルの詳細情報を確認できます。

7 **モードの初期画面になるまで【戻る】ボタンを押します。**

設定モードが終了します。

以上で終了です。

操作パネルから宛先 / 保存先削除

操作パネルから登録した宛先/保存先を削除する方法を説明します。

選択して削除

1 【各種設定】ボタンを押して、メニューを表示します。

2 削除する宛先を設定する画面を表示させます。
- ［宛先 / 保存先設定］ － ［メールアドレス］
- ［宛先 / 保存先設定］ － ［保存先フォルダ］
- ［宛先 / 保存先設定］ － ［ファクス番号］ － ［短縮ダイヤル設定］
- ［宛先 / 保存先設定］ － ［ファクス番号］ － ［クイックダイヤル］

［短縮ダイヤル］、［クイックダイヤル］は、ファクスモデルのみの機能です。

3 【▲】または【▼】ボタンを押して削除する宛先を選択し、［削除］に対応する【F2】ボタンを押します。

4 ［する］に対応する【F3】を押して、削除します。

5 モードの初期画面になるまで【戻る】ボタンを押します。
設定モードが終了します。

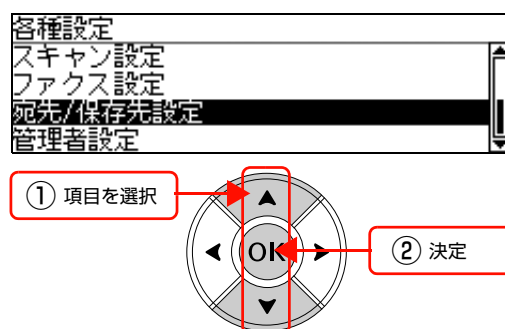
以上で終了です。

すべて削除

［短縮ダイヤル］、［クイックダイヤル］を一括して削除する方法を説明します。

［短縮ダイヤル］、［クイックダイヤル］は、ファクスモデルのみの機能です。

1 【各種設定】ボタンを押して、メニューを表示します。

2 【▲】または【▼】ボタンを押して［宛先 / 保存先設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 【▲】または【▼】ボタンを押して［ファクス番号］を選択し、【OK】ボタンを押します。

4 【▲】または【▼】ボタンを押して［宛先設定全削除］を選択し、【OK】ボタンを押します。

5 ［する］に対応する【F3】を押し、短縮ダイヤルに登録されているすべての番号を削除します。

6 モードの初期画面になるまで【戻る】ボタンを押します。
設定モードが終了します。

以上で終了です。

宛先帳機能を使う

宛先帳機能を使うと、あらかじめ登録してある一覧から宛先を選択できます。

一覧に表示される宛先は、登録番号順で検索できますが、ヨミガナを登録してある場合は、ABC 順、50 音順に切り替えて表示できます。

宛先帳は、ファクスモードとスキャンモードで利用できます。ここでは、スキャンモードのメール送信での使い方を例に説明します。

宛先を検索して［詳細表示］に対応する【F2】ボタンを押すと、宛先の詳細情報を確認できます。

宛先を表示する（登録番号順）

1 【スキャン】ボタンを押し、原稿をセットします。

スキャンランプが点灯して、スキャンモードになります。

2 ［メール］に対応する【F3】ボタンを押します。

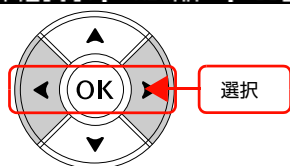
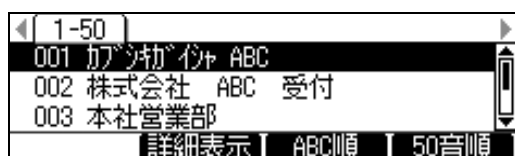
3 宛先帳を選択します。

操作パネル左上の【宛先帳】ボタンを押します。

4 カナ順の表示になっている場合は、［ID 順］に対応する【F4】を押します。

すでに［ID 順］の表示になっている場合は、手順 5 へ進みます。

5 タブが複数ある場合は、【◄】または【►】ボタンを押して、検索したい番号に対応するタブを選択します。

「017」を検索したい場合は、「1-50」と表示されているタブを選択します。

6 【▲】または【▼】ボタンを押して、検索したい宛先を選択し、【OK】ボタンを押します。

以上で終了です。

ヨミガナで検索する

1 【スキャン】ボタンを押し、原稿をセットします。

スキャンランプが点灯して、スキャンモードになります。

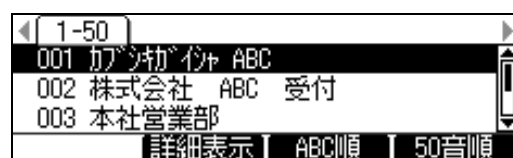
2 ［メール］に対応する【F3】ボタンを押します。

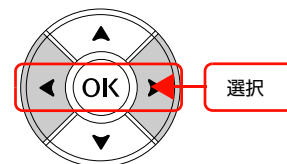
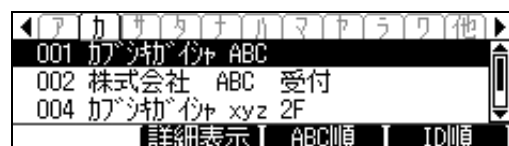
3 宛先帳を選択します。

操作パネル左上の【宛先帳】ボタンを押します。

4 登録番号順の表示になっている場合は、［50 音順］に対応する【F4】を押します。

すでに［50 音順］の表示になっている場合は、手順 5 へ進みます。

50 音順と英数順を切り替える場合は、【F3】ボタンを押します。

5 【◄】または【►】ボタンを押して、検索したいヨミガナの先頭の文字に対応するタブを選択します。

「カブシキガイシャ」を検索したい場合は、「カ」と表示されているタブを選択します。

6 【▲】または【▼】ボタンを押して、検索したい宛先を選択し、【OK】ボタンを押します。

以上で終了です。

EpsonNet Configから登録する

EpsonNet Configは、ネットワークなど本製品の各種機能や宛先/保存先の登録ができるアプリケーションソフトです。Windows版、Mac OS版、Web版があります。

ここでは、インストールやソフト/ヘルプの起動方法を説明します。宛先の登録方法やその他の設定方法は、それぞれのヘルプを参照してください。

EpsonNet Configをインストールする

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）のインストール手順を説明します。Web版はネットワークインターフェイスに内蔵されているため、インストールは不要です（ただしネットワークインターフェイスおよびコンピューターにIPアドレスが設定されていないと使えません）。

インストールするには、管理者の権限を持つユーザーでログインしてください。

参考

- 本文中のソフトウェアディスクの画面は、実際の表示と異なることがあります。
- Mac OS X独自のファイルフォーマット「UNIXファイルシステム」には対応していません。

1 コンピューターに本製品のソフトウェアディスクをセットします。

Windows Vista/Windows Server 2008：

① ［自動再生］画面の［プログラムのインストール/実行］で発行元がSEIKO EPSONであることを確認してからクリック

② ［ユーザーアカウント制御］画面で［続行］をクリック

上記Windows OS以外：

2 に進みます。

Mac OS X：

表示されたアイコンをダブルクリックしてから、フォルダー内の［Mac OS X］をダブルクリック

2 モデル選択画面が表示されたときは、お使いの機種を選択します。

3 ［ネットワークソフトウェアのインストール］をクリックします。

4 ［EpsonNet　Config（設定ツール）のインストール］の をクリックします。

5 この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

Mac OS Xでは、インストール終了後に［再起動］をクリックします。

以上で終了です。

EpsonNet Configの起動

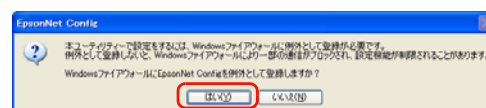
Windowsの場合

1 ［スタート］（または［ ］）－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EpsonNet］－［EpsonNet Config V3］－［EpsonNet Config］の順にクリックして起動します。

Windows Vista：

［ユーザーアカウント制御］画面が表示されるので［続行］をクリック

以下の画面が表示されたら、［はい（Y）］をクリックして本ユーティリティーをWindowsファイアウォールに登録してください。

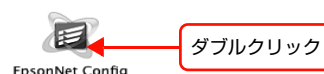
また、市販のファイアウォールソフトウェアをインストールしていると、ファイアウォールソフトウェア関連の画面が表示されることがあります。ソフトウェアのマニュアルを参照して、一時的に通信を許可してください。

Mac OS Xの場合

1 ［Macintosh　HD］をダブルクリックした後、［アプリケーション］フォルダーをダブルクリックします。

［Macintosh HD］の名前を変更しているときは、Mac OSを起動中のハードディスクアイコンをダブルクリックしてください。

2 ［EpsonNet］フォルダーをダブルクリックします。

3 ［EpsonNet Config V3］フォルダーをダブルクリックします。

4 ［EpsonNet　Config］をダブルクリックして、ソフトウェアを起動します。

Web 版の場合

Web ブラウザーを起動しネットワークインターフェイスの IP アドレスをアドレスバーに入力して、[Enter] または [return] キーを押します。

このとき、EpsonNet Config (Windows) / (Mac OS) を起動させないでください。

書式) http:// ネットワークインターフェイスの IP アドレス /

例) http://192.168.100.201/

IP アドレスを自動取得にしているときは、IP アドレスが変わることがあります。以前に入力した IP アドレスやブックマークなどを利用して指定しても EpsonNet Config (Web) が起動できないときは、操作パネルまたはネットワークステータスシートで本製品の IP アドレスを確認してください。

以上で終了です。

オンラインヘルプの起動方法

ソフトウェア EpsonNet Config の詳細は、『EpsonNet Config オンラインガイド』または『EpsonNet Config Help』を参照してください。

『EpsonNet Config オンラインガイド』は、[ヘルプ] − [EpsonNet Config ヘルプ] をクリックすると表示されます。

『EpsonNet Config Help』は Web ブラウザーで表示された画面上部にある [Help] をクリックすると表示されます。

使用上の注意

- 操作パネルの設定とソフトウェア EpsonNet Config の設定を同時にしないでください。本製品が正常に動作しなくなるおそれがあります。
- ファクス操作中 (ファクスモード、各種設定モード) は、ソフトウェア EpsonNet Config を使って宛先を変更しないでください。
- 通信中 (データのアップロード / ダウンロード) は、コンピューターから印刷しないでください。
- EPSON ステータスモニタが起動しているときは、EPSON ステータスモニタを終了してください。

よく使う設定の登録

よく使う設定を標準値として登録

コピー機能の両面コピーや部単位コピー、スキャン機能の両面スキャン、解像度、ファクス機能の画質、ADF 両面など、頻繁に使用する設定を標準値（各モードボタンを押したときに表示される初期画面の設定）として登録できます。

標準値設定を登録しておくと、コピー、スキャン、ファクスをするたびに設定を変更する必要がないため便利です。

1 **モードのボタンを押します。**
【コピー】ボタンまたは【スキャン】ボタン、【ファクス】ボタンを押します。

2 **設定を変更します。**
コピーまたはスキャン、ファクスの設定を変更します。

3 **【各種設定】ボタンを押して、メニューを表示します。**

4 **［コピー設定］または［スキャン設定］、［ファクス設定］を選択します。**
【▲】または【▼】ボタンを押して機能を選択して、【OK】ボタンを押します。

5 **［コピー標準値設定］または［スキャン標準値設定］、［ファクス標準値設定］を選択します。**
【▲】または【▼】ボタンを押して機能を選択して、【OK】ボタンを押します。

6 **［する］に対応する【F3】ボタンを押します。**

7 **モードの初期画面になるまで【戻る】ボタンを押します。**
設定モードが終了します。

以上で終了です。

ジョブメモリーへの登録 / 呼び出し

コピー機能とスキャン機能の設定をジョブメモリーとして各機能 8 件まで登録し、コピー / スキャン時に呼び出して利用できます。

ジョブメモリーは複数の異なる設定状態を使い分ける場合に便利です。

よく使う設定をジョブメモリーに登録

1 **【コピー】ボタンまたは【スキャン】ボタンを押します。**

2 **コピーまたはスキャンの設定を変更します。**
コピーのときは、用紙サイズが自動または A3、B4、A4、B5、A5、はがきのいずれかになっていることを確認してください。

3 **【ジョブメモリ】ボタンを押します。**
ジョブメモリー選択画面が表示されます。

4 **【▲】または【▼】ボタンを押して［空き］のジョブメモリー番号を選択し、［登録］に対応する【F2】ボタンを押します。**

［登録済み］のジョブメモリー番号を選択し、［削除］に対応する【F2】ボタンを押すと、ジョブメモリーを削除できます。

5 **表示されるメッセージで、［はい］に対応する【F2】ボタンを押します。**
現在の設定内容が選択したジョブメモリーに保存されます。

6 **［閉じる］に対応する【F4】ボタンを押します。**

以上で終了です。

ジョブメモリーの呼び出し

1 **【コピー】ボタンまたは【スキャン】ボタンを押します。**

2 **【ジョブメモリ】ボタンを押します。**
ジョブメモリー選択画面が表示されます。

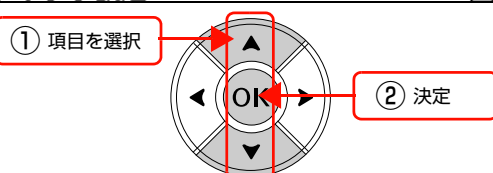
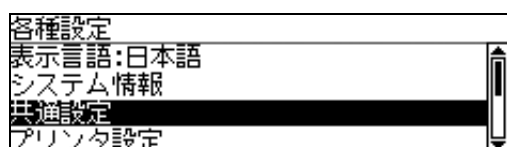
3 **【▲】または【▼】ボタンを押して目的のジョブメモリー番号を選択し、［呼び出し］に対応する【F1】ボタンを押します。**
設定内容が選択したジョブメモリーの設定内容に変更されます。

以上で終了です。

IP アドレスの設定

本製品をネットワークで使用する際の IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイアドレスを、操作パネルから設定する方法を説明します。

1 **【各種設定】ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **【▲】または【▼】ボタンを押して［共通設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

3 **【▲】または【▼】ボタンを押して［ネットワーク設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

4 **［ネットワーク I/F：使う］が表示されていることを確認します。［ネットワーク I/F：使わない］になっている場合は、以下の手順で設定を変更します。**

① 【OK】ボタンを押します。
② 【▲】または【▼】ボタンで［使う］を選択し、【OK】ボタンを押します。

5 **［IP アドレス設定］で［パネル］を選択します。**

① 【▲】または【▼】ボタンを押して［IP アドレス設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。
② 【▲】または【▼】ボタンを押して［パネル］を選択し、【OK】ボタンを押します。

6 **［IP］/［SM］/［GW］を選択します。**

【▲】または【▼】ボタンを押して［IP］/［SM］/［GW］からいずれかを選択し、【OK】ボタンを押します。

設定項目	意味
IP	IP アドレスを設定します。（初期設定：192.168.192.168）
SM	サブネットマスクを設定します。（初期設定：255.255.255.0）
GW	ゲートウェイアドレスを設定します。（初期設定：255.255.255.255）

7 **テンキーでアドレスを入力し、【OK】ボタンで決定します。**

8 **手順 6 ～ 7 を繰り返し、残りの設定をします。**

9 **モードの初期画面になるまで【戻る】ボタンを押します。**

設定モードが終了します。

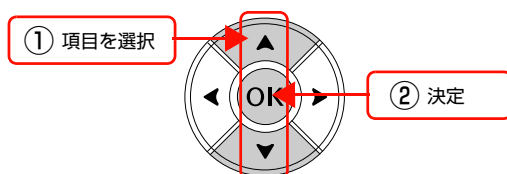
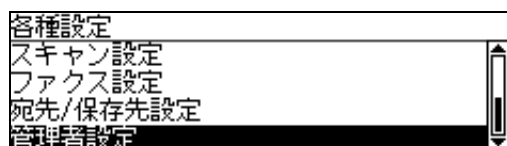
以上で終了です。
設定した IP アドレスは本製品の主電源を再投入することで有効になります。

管理者パスワードの設定

本製品では、［設定モード］の設定値を変更する場合の管理者パスワードを設定できます。管理者パスワードを設定すると、設定値を変更しようとした場合に、パスワードの入力が必要になるように設定できます。
ここでは、管理者パスワードの設定方法について説明します。

パスワードの変更

1 **【各種設定】ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **【▲】または【▼】ボタンを押して［管理者設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

3 **テンキーで管理者パスワードを入力し、【OK】ボタンを押します。**
初期設定ではパスワードなしになっているため、入力せずに【OK】ボタンを押します。

4 **【▲】または【▼】ボタンを押して［パスワード設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

5 **【▲】または【▼】ボタンを押して［パスワードの変更］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

6 **テンキーで現在のパスワードを入力し、【OK】ボタンを押します。**
初期設定ではパスワードなしになっているため、入力せずに【OK】ボタンを押します。

7 **テンキーで新しいパスワードを入力し、【OK】ボタンを押します。**

8 **再度新しいパスワードを入力します。**
手順 7 の作業を繰り返します。

9 **【▲】または【▼】ボタンを押して［パスワード制限範囲］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

設定項目	意味
制限しない	本製品のすべての設定項目の変更に対して、パスワードの入力を要求しません。
I/F 項目のみ	インターフェイスの設定値を変更する場合にパスワードの入力が必要になります。
全項目	実行機能も含めすべての機能にパスワードの入力が必要になります。

パスワードは、ソフトウェア EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）と本製品の操作パネルでの設定で共通に使用するものです。それぞれのユーティリティーを使う場合やパネル設定を行う場合は、パスワードの管理に注意してください。

10 **モードの初期画面になるまで【戻る】ボタンを押します。**
設定モードが終了します。

以上で終了です。

本製品のリセット

本製品のリセット方法を説明します。

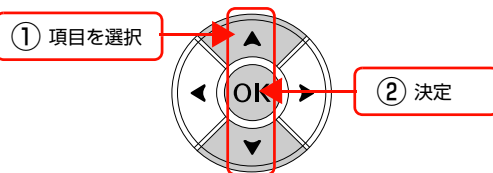
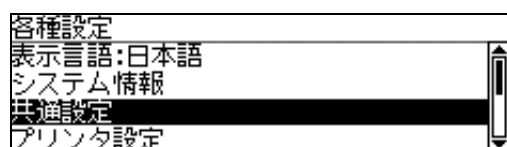
> **！重要** 操作パネルの設定とソフトウェア EpsonNet Config の設定を同時にしないでください。本製品が正常に動作しなくなるおそれがあります。

リセット

メモリーに保存された印刷データを削除します。リセットには、［リセット］と［リセットオール］があります。

操作手順は以下の通りです。

1 **操作パネルの【各種設定】ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **【▲】または【▼】ボタンを押して［共通設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

3 **【▲】または【▼】ボタンを押して［リセット］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

4 **【▲】または【▼】ボタンを押して［リセット］または［リセットオール］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

項目	説明
リセット	現在稼働中のインターフェイスに対して、メモリーに保存された印刷データを破棄します。
リセットオール	主電源を入れた直後の状態まで初期化するときに行ってください。すべてのインターフェイスに対しメモリーに保存された印刷データを破棄します。

5 **リセットオールの場合は、［する］に対応する【F3】ボタンを押します。**

本製品が再起動します。

6 **リセットの場合は、モードの初期画面になるまで【戻る】ボタンを押します。**

以上で終了です。

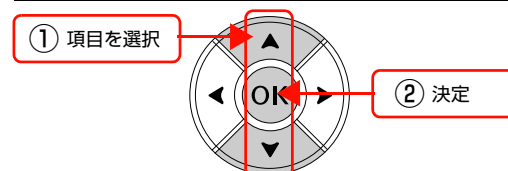
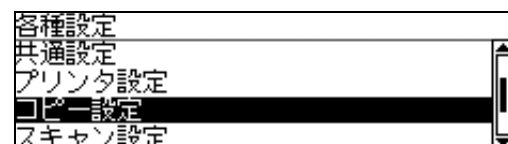
各設定を工場出荷時に戻す

操作パネルで設定したコピー設定、スキャン設定、ファクス設定を工場出荷時の設定に戻します。

> **！重要**
> 送受信中、ファクス送信文書、受信文書が蓄積されているとき、［ファクス設定］は実行できません。

［ファクス設定］は、ファクスモデルのみの機能です。

1 **操作パネルの【各種設定】ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **【▲】または【▼】ボタンを押して項目を選択し、【OK】ボタンを押します。**

3 **【▲】または【▼】ボタンを押して［XXXX 工場出荷時設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

XXXX にはコピー、スキャン、ファクスのいずれかが表示されます。

コピーのときは 5 に進みます。

スキャンまたはファクスのときは 4 に進みます。

4 【▲】または【▼】ボタンを押して［工場出荷時設定］または［ファクスバックアップメモリクリア］を選択し、【OK】ボタンを押します。

項目	説明
工場出荷時設定	ファクス設定を工場出荷時の設定に戻します。
ファクスバックアップメモリクリア	バックアップデータを削除し、ファクスバックアップメモリ使用率を 0%にします。

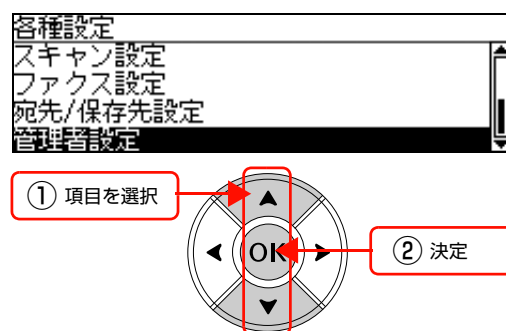
5 ［する］に対応する【F3】ボタンを押します。
本製品が再起動し、工場出荷時設定に戻ります。

以上で終了です。

全設定を工場出荷時に戻す

本製品の設定を工場出荷時に戻すには、操作パネルで［設定初期化］を実行します。
操作手順は以下の通りです。

1 操作パネルの【各種設定】ボタンを押して、メニューを表示します。

2 【▲】または【▼】ボタンを押して［管理者設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 テンキーで管理者パスワードを入力し、【OK】ボタンを押します。

4 【▲】または【▼】ボタンを押して［設定初期化］を選択し、【OK】ボタンを押します。

5 ［する］に対応する【F3】ボタンを押します。
本製品が再起動し、工場出荷時設定に戻ります。

参考
以下の項目は、設定初期化で初期化されません。
- インターフェイスの設定値
- パスワード設定
- 表示言語
- 日付時刻設定（再起動時に確認画面を表示）

以上で終了です。

省電力設定

省電力設定には、本製品が待機時に【節電】ボタンを押すと切り替わるワンタッチ節電と、一定時間が経過すると切り替わる待機時節電モードがあります。節電モードに入ると、待機時の消費電力が節約できます。

ワンタッチ節電

本製品は、待機時に【節電】ボタンを押すことで、直ちに節電モードに移行します。

☞ 14 ページ「操作パネル」

参考

下記の操作で節電モードが解除されます。

- 再度［節電］ボタンを押した。
- 本製品の電源を再投入した。
- 本製品に印刷データが送られた。
- コンピューターからスキャン操作された。
- 操作パネルのいずれかのボタンを押した。
- 本製品のいずれかのカバーが開けられた。
- 原稿カバーまたはオートドキュメントフィーダーが開けられた。
- USB メモリーが挿入された。
- 認証機能でユーザー認証した。

待機時の節電

本製品は、最後の動作が終了してから一定時間が経過すると節電モードに入ります。

本製品は次の３つの部分ごとに節電モードに移行します。

部分	節電モードに移行する時間
プリンター部	印刷しない状態が操作パネルで設定した時間（［節電時間］初期値 1 分）経過
スキャナー部	原稿カバーが閉じていて、スキャンしない状態で 5 分経過
操作パネル部	プリンター部 / スキャナー部が節電状態になっていて、ボタンを押下しない状態で 5 分経過

節電モードは、本製品を操作したり、コンピューターからデータ（印刷やスキャンなど）が送られると解除されますが、節電モードから復帰するときは、まずウォーミングアップを行いますので、動作開始まで数分かかることがあります。

プリンター部の節電モードの設定時間は、使用状況に応じて 1 分～ 240 分に変更できます。

☞ 158 ページ「共通設定の項目一覧」

消耗品の管理

消耗品の交換時期

以下のような現象が発生するときは、感光体ユニットまたはトナーカートリッジが劣化しているか消耗している可能性があります。交換を知らせるメッセージが表示されなくても、交換することをお勧めします。

- 印刷が薄くかすれる、不鮮明
- 周期的に汚れが発生する

印刷が薄くかすれるときは、まずトナーカートリッジの残量が十分か、[トナーセーブ]* の設定がされていないか確認した上で感光体ユニットを交換してください。

* [トナーセーブ]は、本製品の操作パネル([印刷書式設定])またはプリンタードライバーの[詳細設定](Windows)/[プリンタの設定]画面(Mac OS X)で設定できます。

消耗品の残量は、プリンター部の操作パネル(【状態確認】ボタン)または EPSON ステータスモニタ([交換品情報]画面)で確認できます。

☞ 14 ページ「操作パネル」
☞ Windows:95 ページ「プリンターの監視」
☞ Mac OS X:118 ページ「プリンターの監視」

トナーカートリッジ、感光体ユニットは、各商品に規定されている寿命まで使用できます。ただし、使用状況(印刷データ内容、電源入 / 切の回数、紙詰まり処理の回数、連続的に印刷または数ページずつ時間を置いて印刷するなど)によって異なります。交換時期は、プリンター部の操作パネルやコンピューター(EPSON ステータスモニタをインストールしている場合)に表示してお知らせします。

保管上のご注意

- 直射日光を避け、梱包された状態で、温度 0 ~ 35 ℃、湿度 15 ~ 85%の結露しない場所に保管してください。
- 立てたり傾けた状態で保管しないでください。

使用済み消耗品の処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

- 回収
  使用済みの消耗品(トナーカートリッジ)は、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。
  ☞ 188 ページ「回収」
- 廃棄
  一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

消耗品の交換

トナーカートリッジ、感光体ユニットの交換方法を説明します。

使用できる消耗品は以下を参照してください。

☞ 263 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」

⚠警告
- 消耗品（トナーカートリッジ、感光体ユニット）を、火の中に入れないでください。
  トナーが飛び散って発火し、火傷するおそれがあります。
- 製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。
  感電や火傷のおそれがあります。
- こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。
  こぼれたトナーを掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより、内部に吸い込まれたトナーが粉じん発火するおそれがあります。床などにこぼれてしまったトナーは、ほうきで掃除するか中性洗剤を含ませた布などで拭き取ってください。

⚠注意
消耗品（トナーカートリッジ、感光体ユニット）を交換するときは、周囲に紙などを敷いてください。
トナーがこぼれて、プリンターの周囲や衣服などに付いて汚れるおそれがあります。

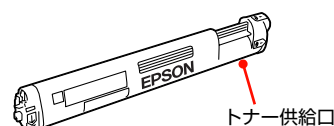
!重要
- 本製品はエプソン製のトナーカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。エプソン製以外のものをご使用になると、本製品の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、本製品の性能が発揮できない場合があります。エプソン製以外のものをご使用したことにより発生した不具合については保証いたしませんのでご了承ください。
- LP-S5000/LP-M5000 シリーズのトナーカートリッジ (LPCA3T19/C,M,Y,K、LPCA3T11/C,M,Y、LPCA3T12/C,M,Y,K,KP) は使用できません。
- 消耗品交換時に、本製品の移動が必要なときは排紙口部分を持って移動しないでください。
- トナーカートリッジ交換後は、操作パネルやステータスシートのトナー残量表示が 100% にならないことがあります。
  これは交換後の通常動作（現像ユニットへの不足トナー充てん）のためであり、プリンターまたはカートリッジの故障ではありません。
  この通常動作はプリンター外へトナーを排出しているわけではないので、カタログなどで案内している印刷可能ページ数は変わりません。

トナーカートリッジの交換

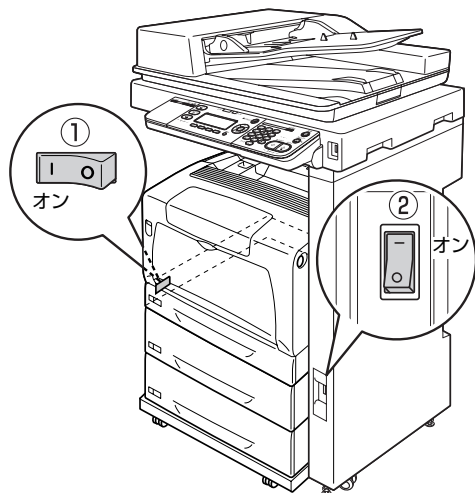
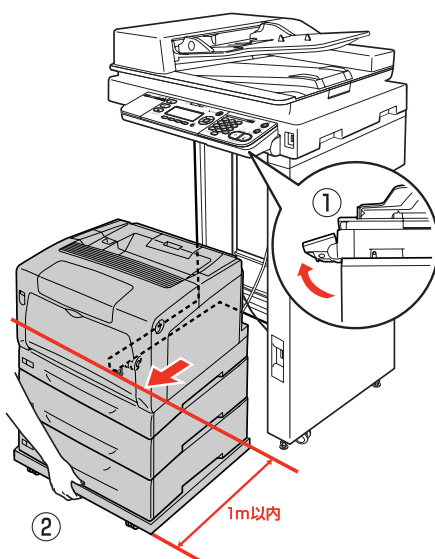
トナーカートリッジの交換と、使用済みトナーカートリッジの回収方法を説明します。

交換時のご注意

トナーカートリッジを交換するときは、以下のことに注意してください。

- カートリッジにトナーを補充しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- 寒い場所から暖かい場所に移したときは、トナーカートリッジを室温に慣らすため未開封のまま 1 時間以上待ってから使用してください。
- トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。
- カートリッジのトナー供給口には絶対に手を触れないでください。

交換手順

1 **主電源とプリンター部の電源が入っていることを確認します。**

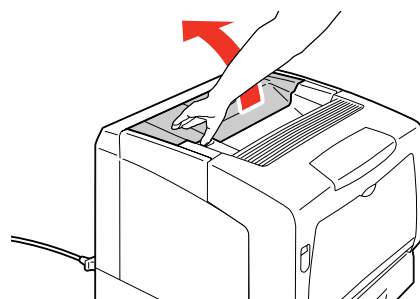
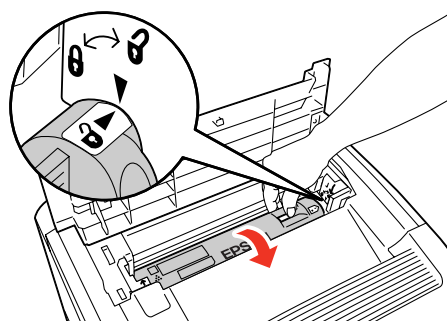
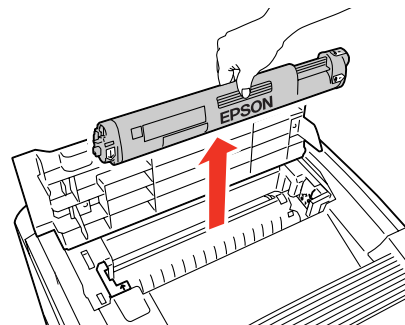
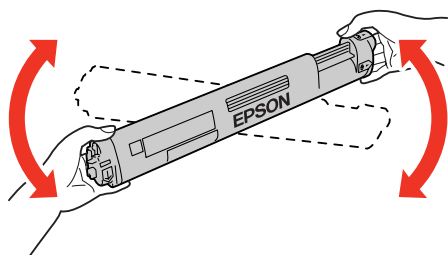
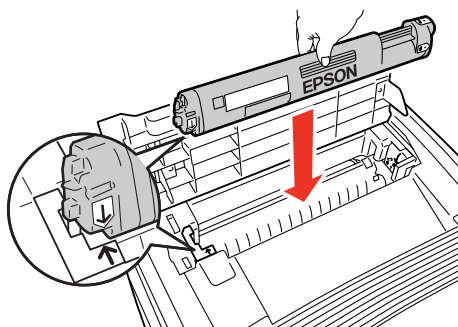
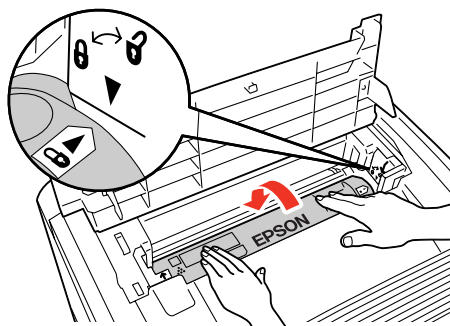
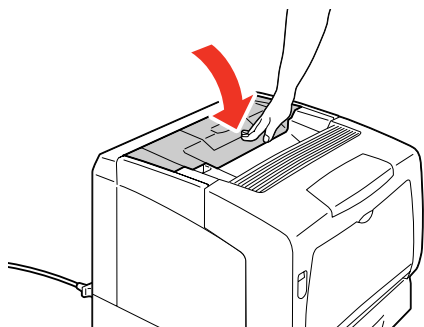
電源を入れるときは、プリンター部の電源を入れてから主電源を入れます。

2 **専用ラックを使用している場合は、操作パネルの角度を水平にしてから、プリンター部を下図の位置まで引き出します。**

!重要

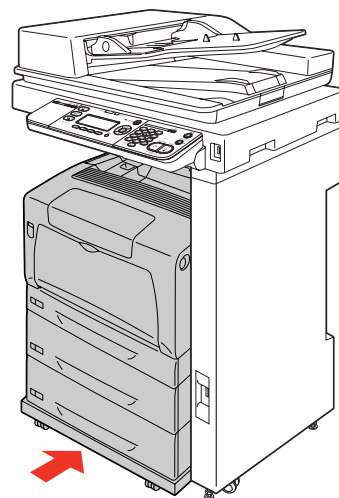
- プリンター部を引き出すときは、下部を持って引き出してください。カバー A の上部を持ってプリンター部を引き出さないでください。
- 専用プリンター電源コードが抜けないように注意してプリンター部を引き出してください。

3 **操作パネルに表示されている「**** トナーカートリッジを交換してください」のメッセージで、交換するトナーカートリッジの色を確認します。**

メッセージが表示される前に交換するときは、操作パネルで以下の操作をしてください。

① 【各種設定】ボタンを押して、メニューを表示します。
② 【▲】または【▼】ボタンを押して［共通設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。
③ 【▲】または【▼】ボタンを押して［リセット］を選択し、【OK】ボタンを押します。
④ 【▲】または【▼】ボタンを押して［シアン（C）トナーカートリッジ交換］、［マゼンタ（M）トナーカートリッジ交換］、［イエロー（Y）トナーカートリッジ交換］、［ブラック（K）トナーカートリッジ交換］のいずれかを選択し、【OK】ボタンを押します。
⑤ 「**** トナーカートリッジを交換してください」と表示されたら次の手順に進みます。

4 **左側のくぼみに指をかけて、カバーD を開けます。**

5 **トナーカートリッジの右端のレバーを手前に回して、マークの矢印とプリンター部側の矢印を合わせます。**

6 **トナーカートリッジを取り外します。**

7 操作パネルに表示されている色の新しいトナーカートリッジを箱から取り出し、5～6回振ります。

8 挿入口の色を確認し、矢印を合わせてトナーカートリッジを挿入します。

9 両手でトナーカートリッジを軽く押さえながら、手前側から奥側に回し、🔒マークの矢印とプリンター部側の矢印を合わせます。

10 カバーDを閉じます。
カバーD が閉じないときは、トナーカートリッジが正しく挿入されているか確認してください。

同時に他の色のトナーカートリッジも交換するときは、3 ～ 10 を繰り返します。

11 専用ラックを使用している場合は、プリンター部を専用ラックの奥まで押し込みます。

12 使用済みトナーカートリッジを再梱包します。
新しいトナーカートリッジが梱包されていた箱と袋で、使用済みトナーカートリッジを再梱包してください。
トナーカートリッジの回収にご協力ください。
☞ 次項「回収」

以上で終了です。

回収

エプソンでは、カートリッジ本体だけでなく、その梱包材などすべてを再利用できるリサイクル体制を整え、資源の有効利用と廃棄物ゼロの実現を目指しています。

環境保全のため、使用済みトナーカートリッジの回収にご協力いただきますようお願いいたします。

エプソンでは、宅配便などを利用した回収を進めています。詳細は、エプソンのホームページで確認してください。

http://www.epson.jp/recycle/

使用済みトナーカートリッジの梱包には、新しいカートリッジの梱包箱を使用してください。

ベルマーク運動

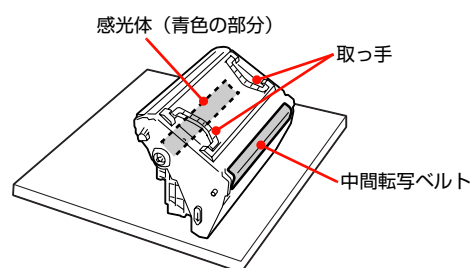
弊社は使用済みトナーカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。学校単位で使用済みトナーカートリッジを回収していただき、弊社は回収数量に応じた点数を学校へ提供するシステムになっています。この活動により資源の有効活用と廃棄物の減少による地球環境保全を図り、さらに教育支援という社会貢献活動を行っております。詳細はエプソンのホームページをご覧ください。

アドレス　http://www.epson.jp/bellmark/

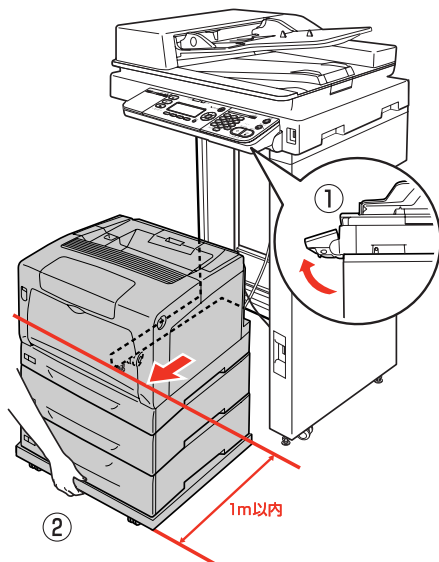
感光体ユニットの交換

感光体ユニットの交換方法を説明します。

交換時のご注意

- 感光体ユニットの感光体（青色の部分）と中間転写ベルトには絶対に手を触れないでください。また、感光体の表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと印刷品質が低下します。
- 感光体（青色の部分）と中間転写ベルトの表面に傷が付かないよう平らな台の上に置いてください。

- 寒い場所から暖かい場所に感光体ユニットを移したときは、室温に慣らすため未開封のまま 1 時間以上待ってから使用してください。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも 3 分以上放置しないでください。感光体ユニットをプリンターに装着せずに放置する場合は、保護シートを取り付け、光が当たらないように専用の遮光袋（購入時に感光体ユニットが入っていた袋）に入れてください。

交換手順

1 専用ラックを使用している場合は、操作パネルの角度を水平にしてから、プリンター部を下図の位置まで引き出します。

!重要

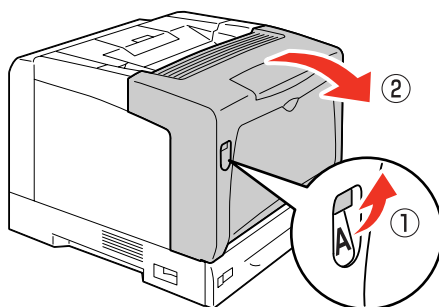
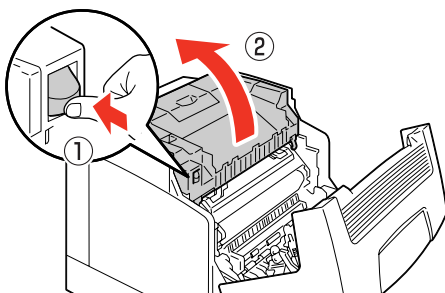
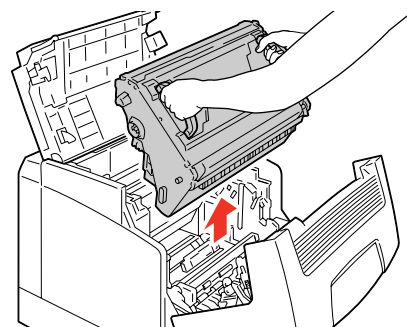
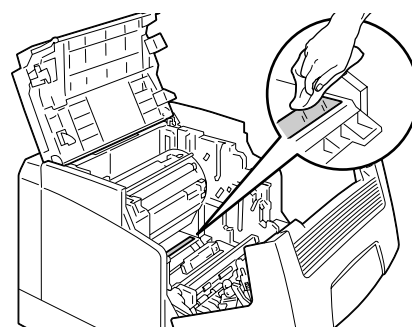
- プリンター部を引き出すときは、下部を持って引き出してください。カバー A の上部を持ってプリンター部を引き出さないでください。
- 専用プリンター電源コードが抜けないように注意してプリンター部を引き出してください。

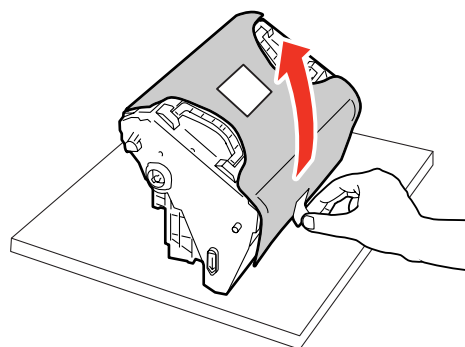
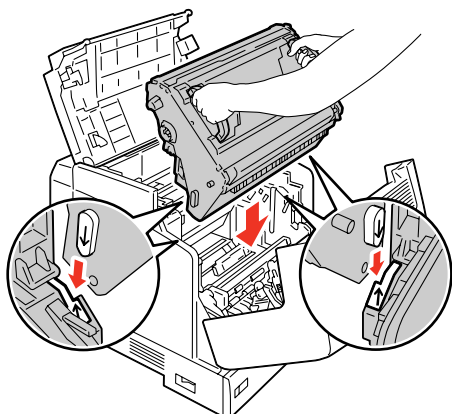
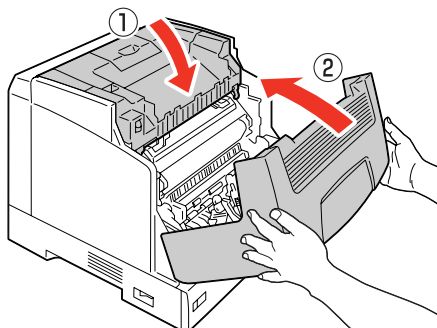
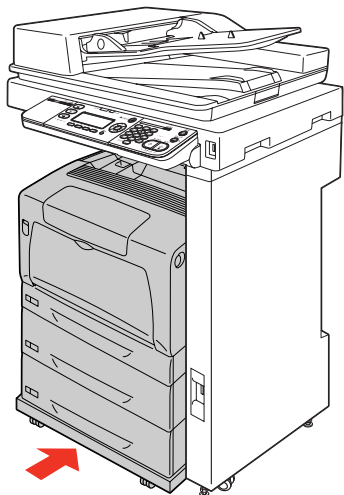
2 A レバーを押し上げて、カバー A を開けます。

3 ボタンを押して、排紙トレイを開けます。

4 取っ手を持って、感光体ユニットを取り出します。

5 感光体ユニット取り付け部の奥にあるガラス面を、柔らかい乾いた布でふきます。

!重要

ガラス面を直接指で触らないでください。汚れたり傷付いたりして印刷品質に影響を及ぼすおそれがあります。

6 新しい感光体ユニットを遮光袋から取り出し、保護シートを取り外します。

7 感光体ユニットの取っ手を持ち、矢印を合わせて挿入します。

8 排紙トレイ、カバー A の順に閉じます。

9 専用ラックを使用している場合は、プリンター部を専用ラックの奥まで押し込みます。

以上で終了です。

オプションの取り付け

オプションは、取り付け前に損傷のないことを確認してください。万一、足りないものがある場合や損傷している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。コインまたはプラスドライバーを使用しますので、あらかじめ用意してください。

⚠警告
- 製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。
  感電や火傷のおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。
  コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。
- 本製品の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。
  感電・火災のおそれがあります。
- 本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。
  コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。

各種オプションの取り付け

本製品に取り付けられるオプションは以下です。

- 増設メモリー
- 増設 1 段カセットユニット（2 段まで増設可能）

802.11g 対応無線プリントアダプターの取り付け方は、無線プリントアダプターのマニュアルを参照してください。

1 **本製品の電源を切り、電源コードや接続ケーブルを取り外します。**

2 **取り付け作業がしやすい場所に、本製品を移動させます。**

☞ 256 ページ「近くへの移動」

3 **取り付けるオプションにテープや保護材があれば、すべて取り外します。**

4 **以下を参照してオプションを取り付けます。**

☞『セットアップガイド』（冊子）－「4. オプションの取り付け」

5 **取り付けが終了したら、1 で取り外したケーブル類を取り付け、本製品を元通りに設置します。**

6 **プリンタードライバーでオプションの設定をします。**

オプションを取り付けただけでは使用できません。次項を参照して、オプションを使用可能な状態にしてください。

オプションの設定

取り付けたオプションを使用するには、プリンタードライバーに情報を取得させる必要があります。

Windows の場合

本製品の電源を入れ、プリンターのプロパティー画面を開いてください。プロパティー画面を開くと自動的に認識されます。

Mac OS X の場合

［プリントとファクス］（または［プリントとスキャン］）で本製品を追加し直してください。

本製品の状態・設定の確認

現在の本製品の状態や設定値を確認したいときは、ステータスシートを印刷します。

製品本体やオプションの状態を表示するステータスシートと、ネットワークインターフェイスの設定内容を表示するネットワーク情報シートがあります。

ステータスシートは、本製品の操作パネルまたはプリンタードライバーから印刷できます。

☞ 193 ページ「出力の仕方」

各ステータスシートの説明

各ステータスシートの記載内容について説明します。

印刷の際は、必ず A4 サイズの用紙を横置きセットしてください。

ステータスシート

消耗品残量や給紙装置の設定、その他の各種設定内容、ハードウェア環境などが確認できます。

以下のようなときにステータスシートを印刷すると有効です。

- セットアップしたとき
- 本製品が正常に動作するか確認したいとき
- 本製品の状態・設定内容を確認したいとき
- オプションを取り付けたとき（正しく取り付けられたときに記載内容に反映されます）

ステータスシートの印刷例

ネットワーク情報

ネットワークインターフェイスの設定状況が確認できます。MAC アドレスや、IP アドレスなどネットワークインターフェイスの設定状況を確認したいときに、ネットワーク情報シートを印刷すると有効です。

ネットワーク情報シートの印刷例

Epson Network Status Sheet (1/3)

<General Information>
Card Type　Epson Built-in 10Base-T/100Base-TX Print Server
MAC Address　00:00:48:47:C1:0C
Hardware　10.00
Software　02.40
Printer Model　LP-M5300
Time　2011-11-17 14:31:36 GMT+09:00

<Ethernet>
Network Status　100BASE-TX, Full Duplex

<TCP/IP>
Get IP Address　Auto
IP Address　172.17.3.22
Subnet Mask　255.255.255.0
Default Gateway　172.17.3.1
APIPA　Disable
Set using PING　Disable
Acquisition way of DNS ADDR　Disable
DNS Server Address　(NONE) (NONE) (NONE)
Acquire Host/Domain name　Disable
Host Name　LP-M5300-47C10C
Domain Name　(NONE)
Register the NW I/F to DNS　Disable
Register directly to DNS　Disable
Universal Plug and Play　Disable
Device Name　(NONE)
Bonjour　Enable
Bonjour Name　LP-M5300-47C10C.local.
Bonjour Printer Name　LP-M5300-47C10C
Bonjour Service　LP-M5300-47C10C._printer._tcp.local. LP-M5300-47C10C._http._tcp.local.

LP-M5300

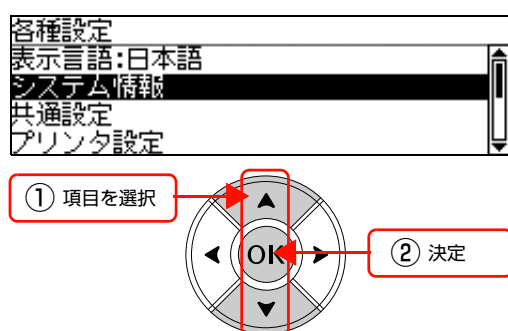
出力の仕方

ステータスシートの出力方法は、「操作パネルから印刷」と「コンピューターから印刷」の2通りがあります。

操作パネルから印刷

各ステータスシートの印刷方法を説明します。

1 操作パネルの【各種設定】ボタンを押して、メニューを表示します。

2 【▲】または【▼】ボタンを押して［システム情報］を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 【▲】または【▼】ボタンを押して［レポート印刷］を選択し、【OK】ボタンを押します。

4 【▲】または【▼】ボタンを押して印刷するステータスシートを選択し、【OK】ボタンを押します。

選択したステータスシートが印刷されます。

ステータスシートが印刷できないときは、以下を参照してください。

☞ 214 ページ「印刷できない」

以上で終了です。

コンピューターから印刷

「ネットワーク情報シート」は、コンピューターから印刷できません。

Windows の場合

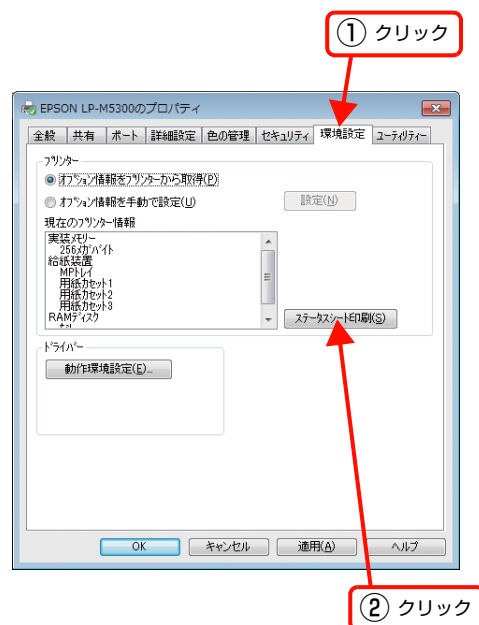
1 ［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］の順にクリックします。

Windows Vista/Windows Server 2008：
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。

2 本製品のアイコンを右クリックして、［プリンターのプロパティ］（または［プロパティ］）をクリックします。

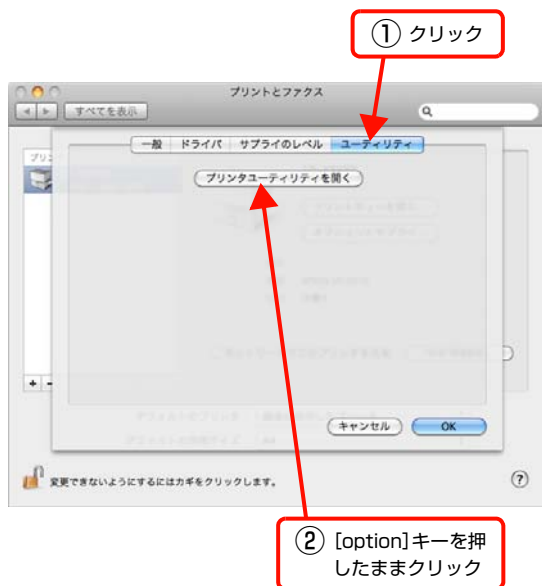
Windows Vista：
本製品のアイコンを右クリックして、［管理者として実行］－［プロパティ］をクリックします。

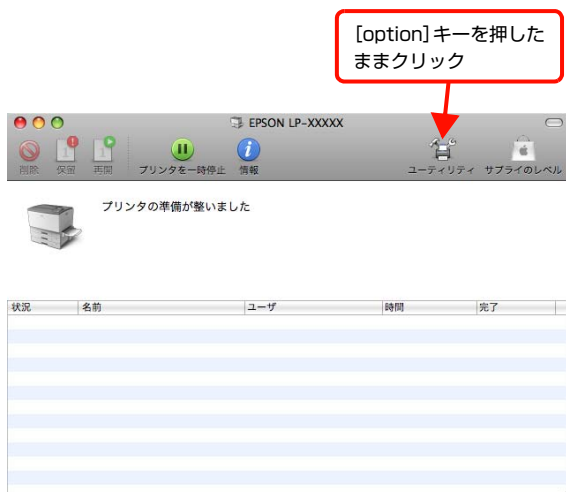
3 ［環境設定］タブをクリックして、［ステータスシート印刷］をクリックします。

以上で終了です。

Mac OS X の場合

1 EPSON リモートパネル！を起動します。

Mac OS X v10.6.x ～ v10.7.x の場合

［プリントとファクス］（または［プリントとスキャン］）で本製品を選択して［オプションとサプライ ...］－［ユーティリティ］の順にクリックし、［option］キーを押したまま［プリンタユーティリティを開く］をクリックします。

Mac OS X v10.5.x の場合

［プリントとファクス］で本製品をダブルクリックして開き、開いた画面で［option］キーを押したまま［ユーティリティ］をクリックします。

2 ［ステータスシート］をクリックします。

以上で終了です。

本製品のクリーニング（清掃）

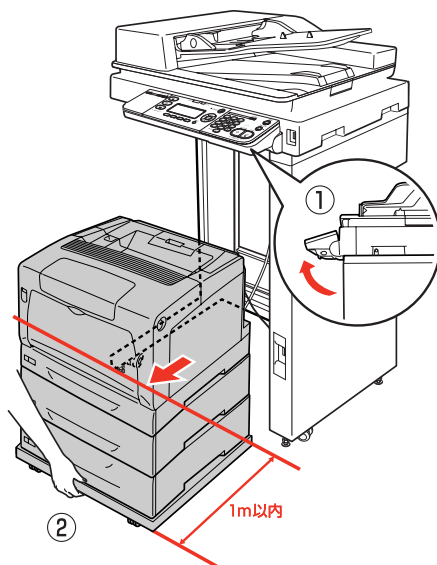
本製品を良好な状態で使用するために、ときどきクリーニング（清掃）をしてください。
本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行ってください。

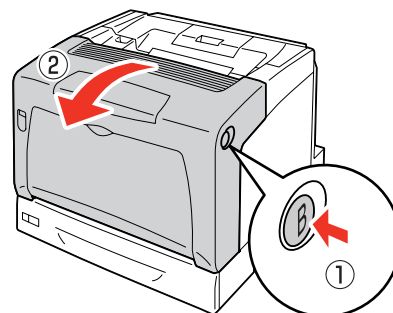
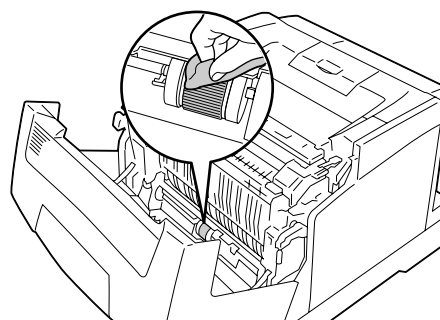
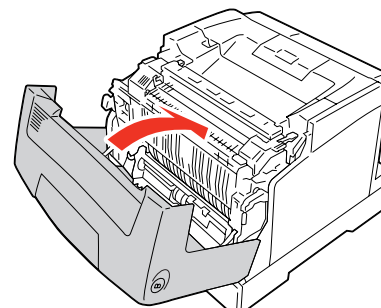
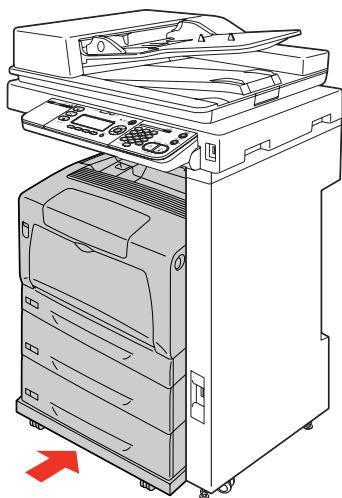
⚠警告
- 製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。
  感電や火傷のおそれがあります。
- 本製品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したエアゾール製品を使用しないでください。
  引火による爆発・火災のおそれがあります。

！重要
- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。変色、変形するおそれがあります。
- プリンターを水に濡らさないでください。
- 固いブラシや布などで拭かないでください。傷が付くおそれがあります。

給紙ローラーのクリーニング

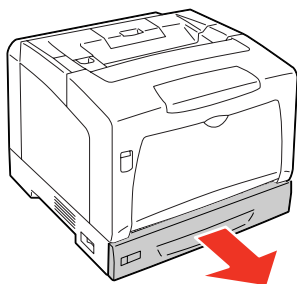
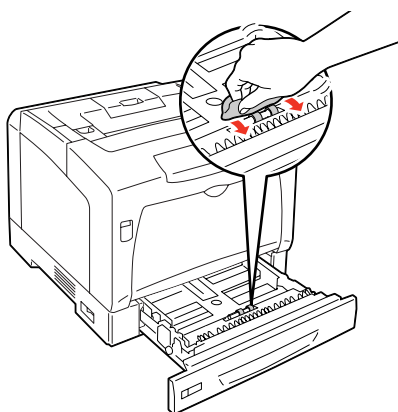
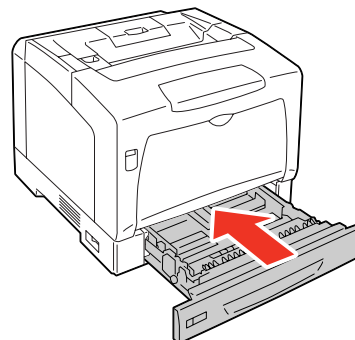
MP トレイ

1 専用ラックを使用している場合は、操作パネルの角度を水平にしてから、プリンター部を下図の位置まで引き出します。

！重要
- プリンター部を引き出すときは、下部を持って引き出してください。カバー A の上部を持ってプリンター部を引き出さないでください。
- 専用プリンター電源コードが抜けないように注意してプリンター部を引き出してください。

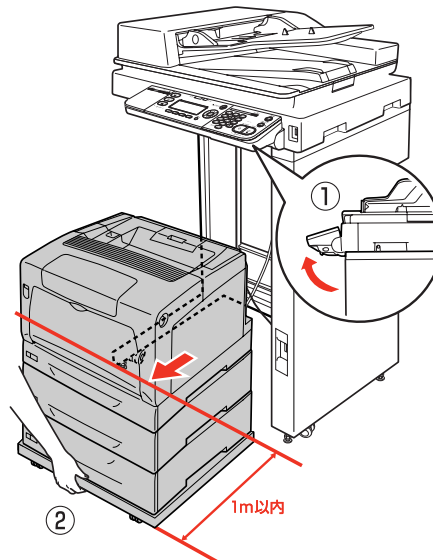
2 B ボタンを押して、カバー A を開けます。

3 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、図の位置にあるローラーをふきます。

4 カバー A を閉じます。

5 専用ラックを使用している場合は、プリンター部を専用ラックの奥まで押し込みます。

以上で終了です。

用紙カセット

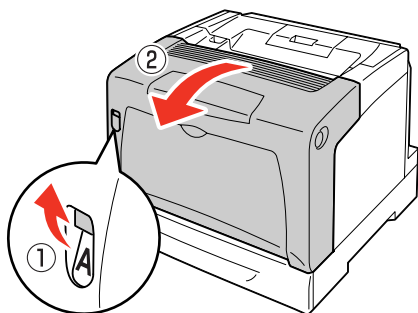
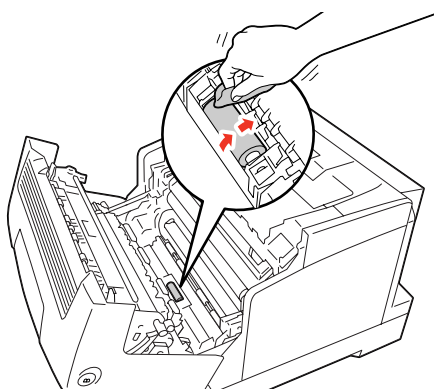
ここでは、用紙カセット 1 を例に説明します。用紙カセット 2 ～ 3 も同様の手順でクリーニングできます。

1 用紙カセットを引き出します。

2 ローラーを回転させながら、水でぬらして固く絞った柔らかい布でゴムの部分をふきます。

3 用紙カセットをプリンター本体に戻します。

以上で終了です。

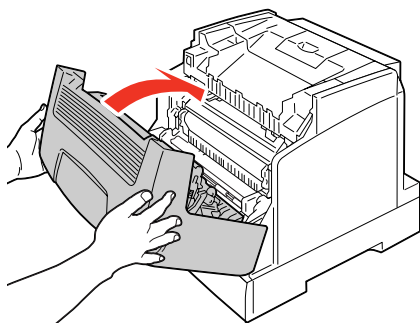
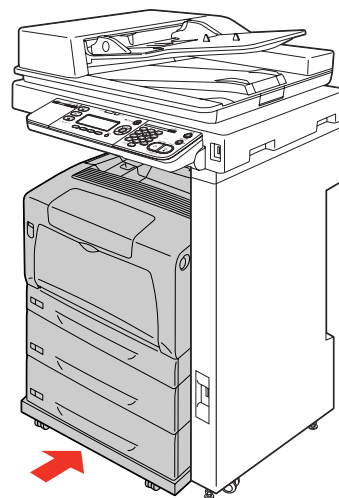
内部

1 専用ラックを使用している場合は、操作パネルの角度を水平にしてから、プリンター部を下図の位置まで引き出します。

！重要

- プリンター部を引き出すときは、下部を持って引き出してください。カバー A の上部を持ってプリンター部を引き出さないでください。
- 専用プリンター電源コードが抜けないように注意してプリンター部を引き出してください。

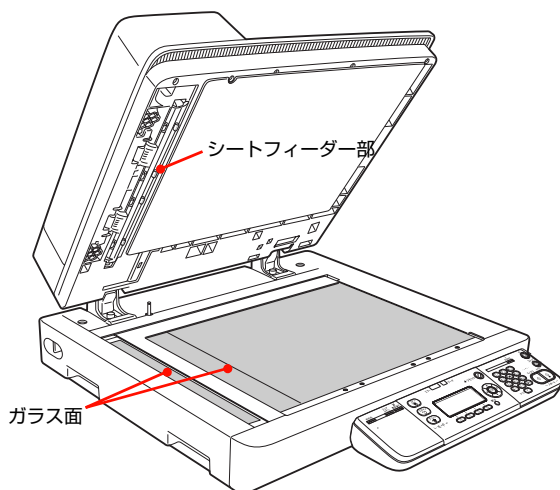
2 Aレバーを押し上げて、カバーAを開けます。

3 ローラーを矢印の方向に回転させながら、水でぬらして固く絞った柔らかい布でゴムの部分をふきます。

!重要

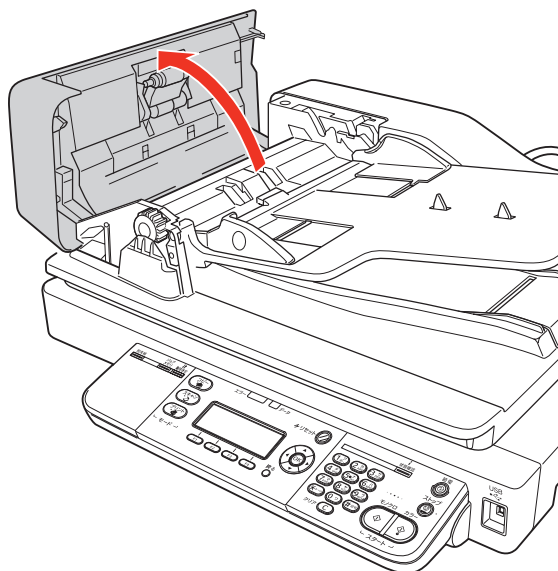
逆方向に回転させると、ローラーの表面が傷付くおそれがあります。

4 カバーAを閉じます。

5 専用ラックを使用している場合は、プリンター部を専用ラックの奥まで押し込みます。

以上で終了です。

ADFのクリーニング

コピーすると出力紙に黒いスジが出ることがあります。これは原稿台のガラス面などに異物が付着するためです。

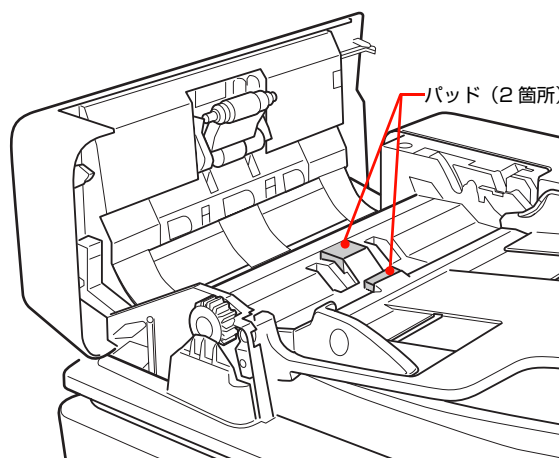
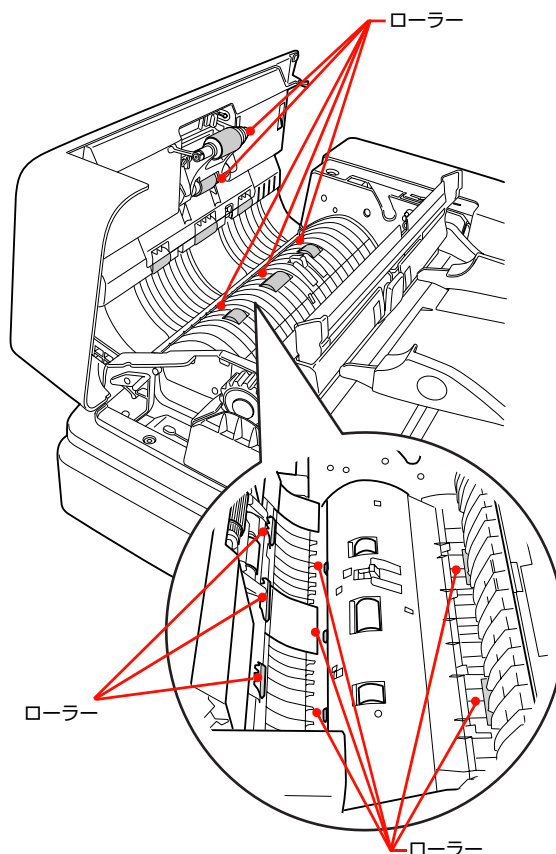
原稿台のガラス面や ADF のシートフィーダー部（白いシート部分）とローラーが汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れをふき取り、その後乾いた布でふいてください。

ADF の内部が汚れたときは、以下の手順でクリーニングをします。

1 ADF カバーを開けます。

!重要

ADF の原稿経路にある透明シートには触れないようにしてください。品質への影響、紙詰まりの原因になります。

2 図に示すローラーとパッド部分（2 箇所）を、柔らかい布でからぶきしてください。

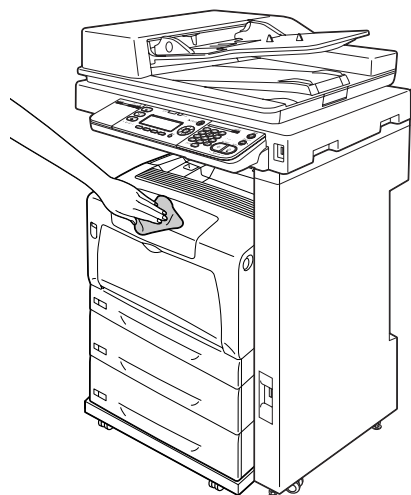
!重要

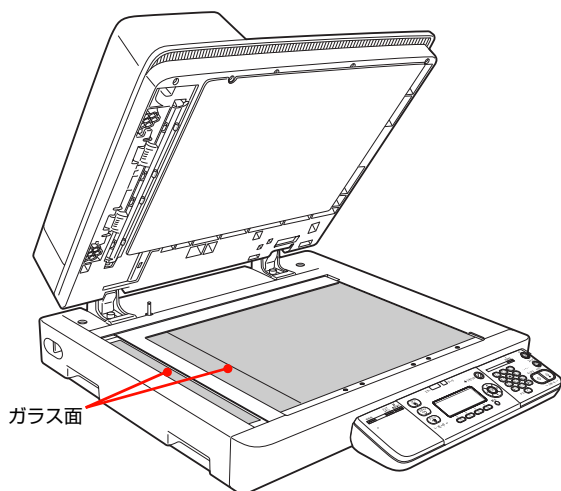
- シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品はケースなどの表面を傷めることがありますので、絶対に使わないでください。
- スキャナーには絶対に水などがかからないように注意してください。

以上で終了です。

本製品の清掃

表面の清掃

- 本体表面

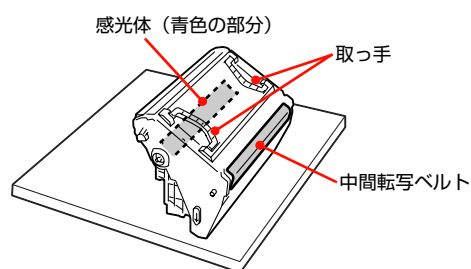
本製品の表面が汚れたときは、水を含ませて固く絞った布で、丁寧にふいてください。

- スキャナーの原稿台

原稿台のガラス面の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞って汚れをふき取ってから、乾いた布でふいてください。

内部の清掃

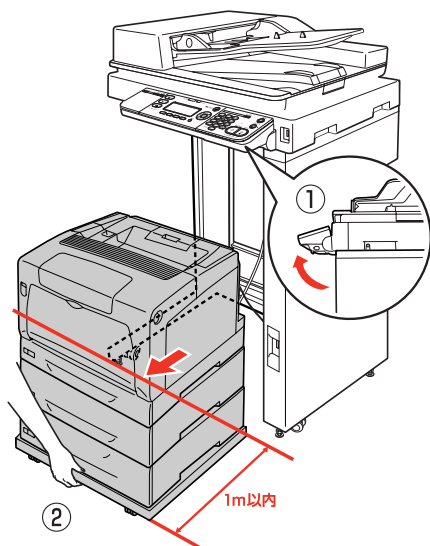
印刷結果が白く色抜けしたり白筋が入ったときは、本製品内部のガラス面のクリーニングをしてください。

クリーニングの際は感光体ユニットを取り外しますので、下記の点に注意してください。

クリーニング時のご注意

- 感光体ユニットの感光体（青色の部分）と中間転写ベルトには絶対に手を触れないでください。また、感光体の表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと印刷品質が低下します。
- 感光体の表面に傷が付かないように、取っ手を上にして平らな台の上に置いてください。

- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも 3 分以上放置しないでください。感光体ユニットをプリンターに装着せずに放置する場合は、保護シートを取り付け、光が当たらないように専用の遮光袋（購入時に感光体ユニットが入っていた袋）に入れてください。

クリーニング手順

1 専用ラックを使用している場合は、操作パネルの角度を水平にしてから、プリンター部を下図の位置まで引き出します。

!重要

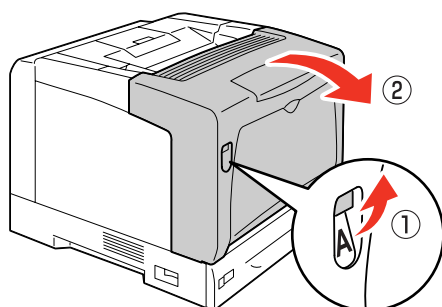
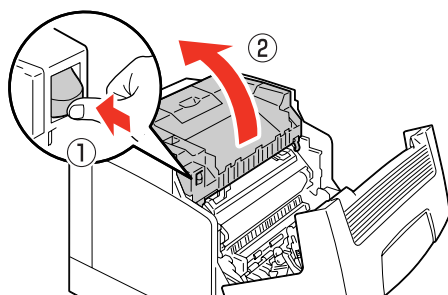
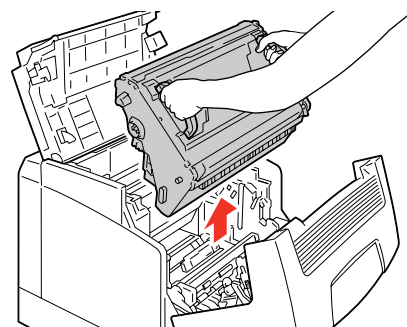
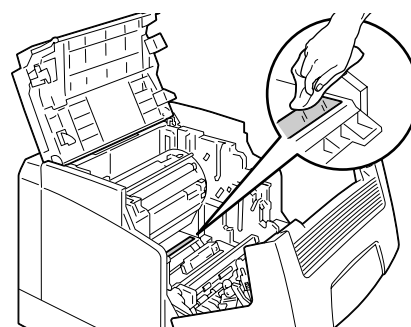
- プリンター部を引き出すときは、下部を持って引き出してください。カバー A の上部を持ってプリンター部を引き出さないでください。
- 専用プリンター電源コードが抜けないように注意してプリンター部を引き出してください。

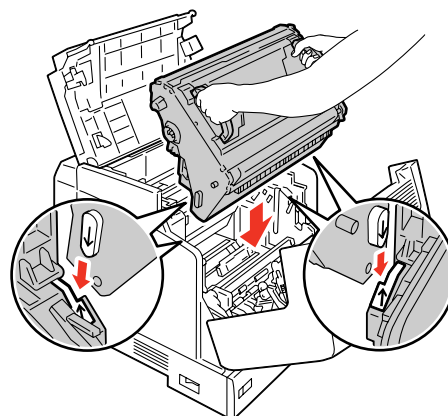
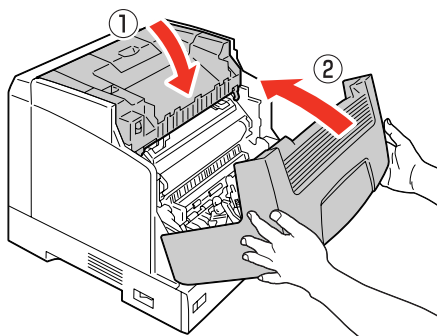
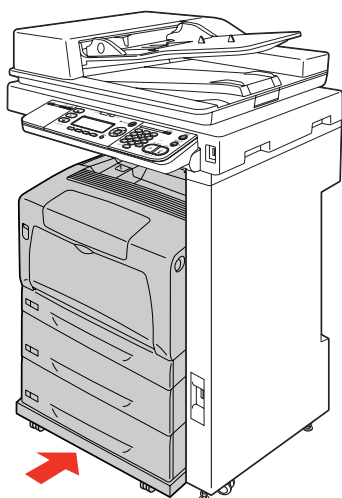
2 A レバーを押し上げて、カバー A を開けます。

3 ボタンを押して、排紙トレイを開けます。

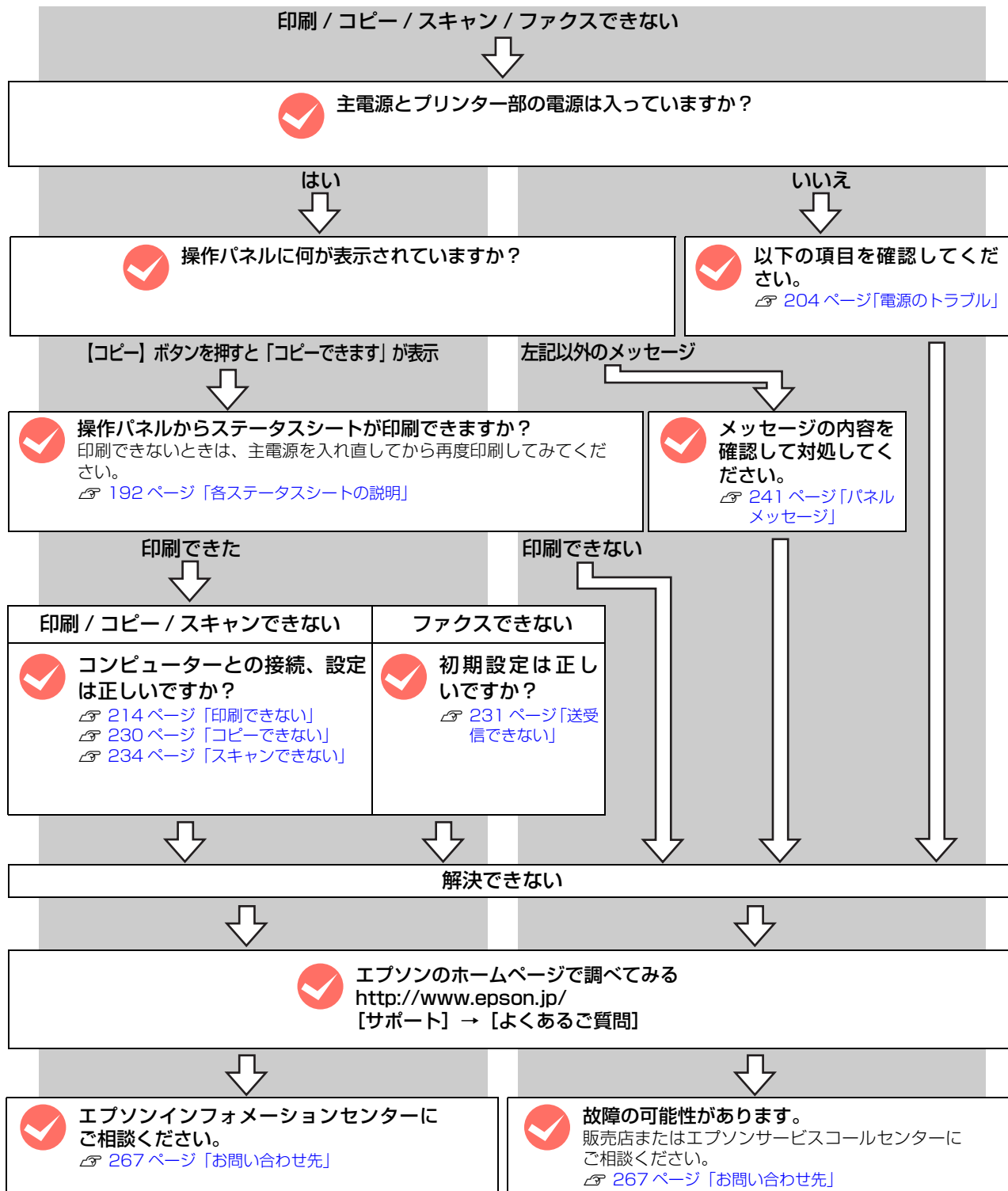
4 取っ手を持って、感光体ユニットを取り出します。

5 感光体ユニット取り付け部の奥にあるガラス面を、柔らかい乾いた布でふきます。

!重要

ガラス面を直接指で触らないでください。汚れたり傷付いたりして印刷品質に影響を及ぼすおそれがあります。

6 感光体ユニットの取っ手を持ち、矢印を合わせて挿入します。

7 排紙トレイ、カバー A の順に閉じます。

8 専用ラックを使用している場合は、プリンター部を専用ラックの奥まで押し込みます。

以上で終了です。

トラブルの自己診断

印刷やスキャンなどが思い通りにできないとき、トラブルが発生したときなどは、まずこの章をお読みください。
以下を参照して、状況に応じて対処してください。

お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピューターの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本製品の名称や製造番号などをご確認の上、ご連絡ください。本製品の製造番号は以下のページを参照してご確認ください。

☞ 260 ページ「製造番号の表示位置」

用紙が詰まった

以下の項目を確認してください。

＜プリンター部＞

☞ 207 ページ「MP A（MP トレイ /A レバー）」
☞ 208 ページ「A（A レバー）」
☞ 209 ページ「B E（B ボタン /E レバー）」
☞ 210 ページ「C1 ～ C3 A（カセット /A レバー）」

＜スキャナーユニット＞

☞ 211 ページ「ADF」

正しく給排紙できない

以下の項目を確認してください。

＜プリンター部＞

☞ 211 ページ「プリンター部の給排紙」

＜スキャナーユニット＞

☞ 213 ページ「スキャナーユニットの給排紙」

印刷 / コピー / ファクスできるが、うまくいかない

意図した通りにできない

＜印刷＞

☞ 220 ページ「画面表示や設定と印刷結果が異なる」

＜コピー＞

☞ 230 ページ「原稿とコピー結果が異なる」

＜ファクス＞

☞ 232 ページ「原稿通りに送受信できない」
☞ 232 ページ「日付時刻 / 発信元情報が設定できない」

＜スキャン＞

☞ 235 ページ「EPSON Scan でプレビューがうまくできない」
☞ 236 ページ「画面表示や設定とスキャン結果が異なる」
☞ 237 ページ「スキャンデータを保存できない」

品質が悪い

＜印刷 / コピー / ファクス＞

☞ 224 ページ「印刷品質が悪い」

＜スキャン＞

☞ 238 ページ「スキャン品質が悪い」

時間がかかる

＜印刷＞

☞ 228 ページ「印刷に時間がかかる」

＜スキャン＞

☞ 240 ページ「スキャンに時間がかかる」

EpsonNet Configから宛先登録ができない

＜ファクス / スキャン＞

☞ 240 ページ「EpsonNet Config から宛先が登録できない」

解決できない

エプソンのホームページで調べてみる
http://www.epson.jp/
［サポート］ → ［よくあるご質問］

故障の可能性があります。
販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。

☞ 267ページ「お問い合わせ先」

エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。

☞ 267 ページ「お問い合わせ先」

電源のトラブル

電源が入らない

!重要

- 急な電源プラグの抜き差しは、本製品が動作不安定になりますので、電源プラグを抜いてから再度電源を入れるときは、10 秒以上経過した後、電源プラグを差し込んでください。
- 電源の入 / 切は、電源プラグの抜き差しで行わず、必ず本体の【主電源】スイッチで行ってください。【主電源】スイッチで入 / 切しないと、正常に動作しなくなるおそれがあります。
- 電源は、必ずプリンター部の電源を入れてから主電源を入れる順番で操作してください。

電源コードが抜けていたり、ゆるんでいませんか？

電源コードをコントローラボックスとコンセントに、確実に差し込んでください。

コンセントに電源は来ていますか？

コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチを入れます。ほかの電化製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

プリンター部とコントローラボックスを専用プリンター電源コードで接続していますか？

プリンター部背面とコントローラボックス背面のコネクターが専用プリンター電源コードで接続されているか確認してください。接続されていないときは、コードの取り付け方向に注意して接続してください。

プリンター部の電源は入っていますか？

プリンター部の電源が入っているか確認してください。入っていないときは、一旦主電源スイッチを切り、プリンター部の電源を入れてから主電源を入れてください。

プリンター部とコントローラボックスを専用プリンターケーブルで接続していますか？

プリンター部右側面とコントローラボックス背面のコネクターが専用プリンターケーブルで接続されているか確認してください。接続されていないときは、ケーブルの取り付け方向に注意して接続してください。

正しい電圧（AC100V、15A）のコンセントに接続していますか？

コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。
コンピューターの背面などに設けられているコンセントには接続しないでください。

コントローラボックス背面の漏電保護回路のブレーカースイッチがOFFになっていませんか？

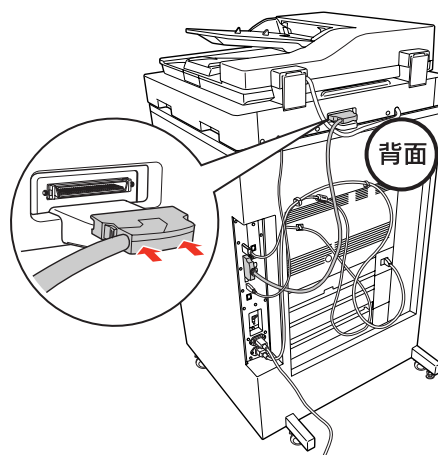
ブレーカースイッチが OFF になっているときは、漏電保護回路が動作しているため電源が入りません。漏電保護回路の取扱方法は、以下を参照してください。
『セットアップガイド』（冊子）－「安全上のご注意」

正常に起動しない

専用スキャナーケーブルが確実に差し込まれていますか？

スキャナーユニット背面とコントローラボックス背面のコネクターに専用スキャナーケーブルが確実に差し込まれているか確認してください。確実に差し込まれていないと電源を入れたときに以下のような現象が発生します。

- スキャナーユニット左側面の輸送用固定ロックが解除されているのにも関わらず、パネルに「スキャナロックエラー」と表示される
- パネルに 1 分以上「EPSON」と表示される
- パネルに何も表示されず、プリンター部のみが起動する

このようなときは、ケーブルコネクターの左右部分が、カチッと音がするまで確実に差し込まれたことを確認してください。

屋内配線のブレーカーが動作してしまう

屋内配線のブレーカーの定格は十分ですか？

ブレーカーの定格が十分であるにもかかわらずブレーカーが動作してしまう場合は、他の機器を別の配線に接続してみてください。または本製品に専用配線を用意してください。

周辺の電化製品に異常が発生する

電源容量は、十分に確保されていますか？

電源容量が十分に確保されていない環境においては、本製品と同一の電源ラインに接続されている蛍光灯にチラつきが発生したり、コンピューターがリセットするなどの現象が発生する可能性があります。蛍光灯、コンピューターなどが接続されている電源ラインと本製品を分離してください（分電盤から独立して引かれた電源ラインへの接続をお勧めします）。

また、無停電電源装置に接続するときは、他の機器に並列して接続しないでください。

給排紙のトラブル

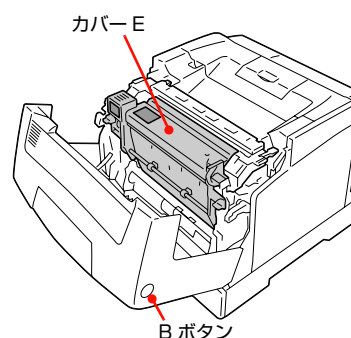
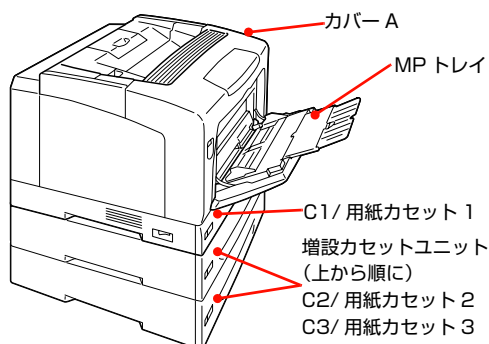
用紙が詰まった

紙詰まりが発生すると、操作パネルまたはコンピューター（EPSON ステータスモニタがインストールされている場合）にエラーメッセージが表示されます。操作パネルや EPSON ステータスモニタのメッセージに従って、用紙を取り除いてください。

操作パネルの表示	EPSON ステータスモニタの表示
エラーランプが点灯 エラー　データ メッセージ 紙を取り除いてください MP A 次を見る　閉じる	簡易ステータス：EPSON LP-M5300 用紙が詰まりました。 クリック 詳細(D)...　閉じる(C) 詳細ステータス：EPSON LP-M5300 ステータス　消耗品情報　ジョブ情報 用紙が詰まりました。 次の箇所の用紙を取り除いてください。 MPトレイ カバーA 操作パネルで、対処方法を確認できます。 閉じる(C)

メッセージ	発生箇所 * （XXXX）	詳細	参照先
紙を取り除いてください XXXX	MP A	用紙が詰まりました。 次の箇所の用紙を取り除いてください。 MP トレイ カバー A	☞ 207 ページ
	A	用紙が詰まりました。 次の箇所の用紙を取り除いてください。 カバー A	☞ 208 ページ
	B B E	用紙が詰まりました。 次の箇所の用紙を取り除いてください。 カバー A	☞ 209 ページ
	Cx A （x は用紙カセットの番号）	用紙が詰まりました。 次の箇所の用紙を取り除いてください。 用紙カセット x（x は用紙カセットの番号） カバー A	☞ 210 ページ
詰まった原稿を取り除いてください	－	－	☞ 211 ページ

*　複数表示されることがあります。

紙詰まりの場所

紙詰まりの原因

紙詰まりが頻繁に発生する場合は､プリンター部の設置や用紙のセット方法に問題がある可能性があります。

以下を参照して、原因を解消してください。

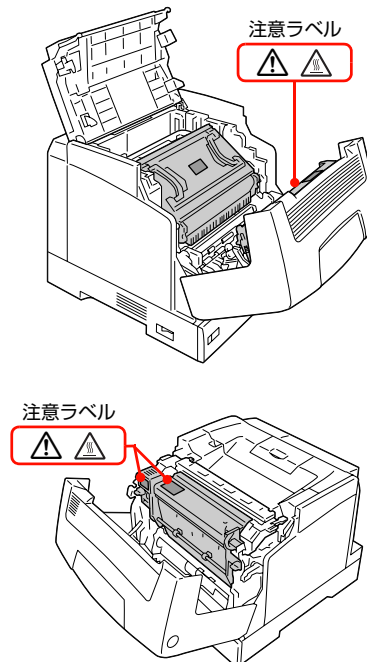
☞ 211 ページ「プリンター部の給排紙」

用紙を取り除く際のご注意

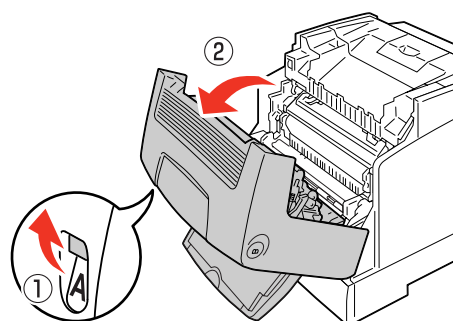
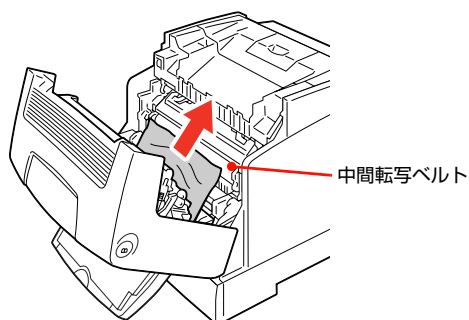
詰まった用紙を取り除く際は､以下の点に注意してください。

- プリンター部で用紙が詰まったときは、操作パネルを水平にし、プリンター部の下部を持って引き出してから処置してください。引き出し時に上カバーを持たないでください。
- カバー A を開けて用紙を取り除く際、A ボタン、B ボタンを同時に操作しないでください。ヒンジを破損するおそれがあります。
- 専用ラック使用時は、ラック左側面板の手前から 1m 以内でプリンター部を引き出してください。
- 詰まった用紙は、破れないように両手でゆっくり引き抜いてください。無理に引き抜くと、用紙がやぶれて取り除くことが困難になり、さらに別の用紙詰まりを引き起こします。
- 用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。
- 破れた用紙が取り除けない場合や、本書で説明している場所以外に用紙が詰まって取り除けない場合は、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。
☞ 267 ページ「お問い合わせ先」

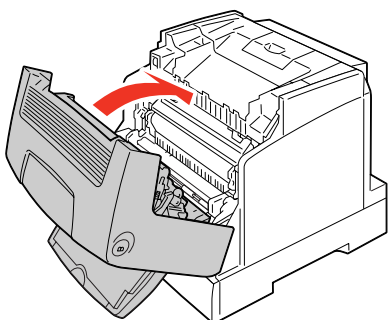
⚠注 意

使用中にプリンター部のカバー A を開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットに触れないでください。
内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。

MP A(MP トレイ /A レバー)

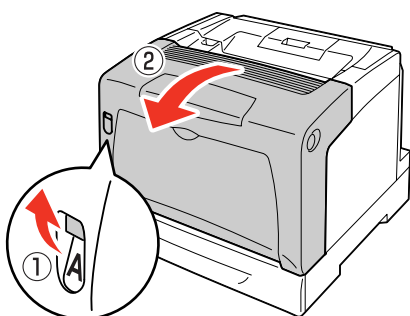
1 MP トレイから、詰まっている用紙以外の用紙を取り除きます。

2 A レバーを押し上げて、カバー A を開けます。

3 詰まっている用紙を取り除きます。

!重要

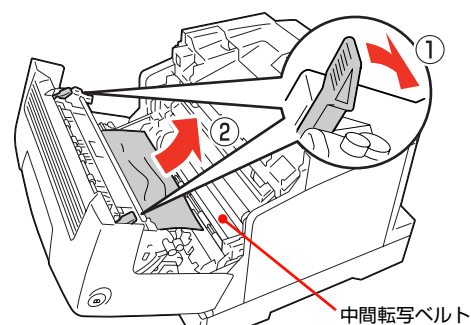
用紙を取り除くときは、感光体ユニットの中間転写ベルトには絶対に手を触れないでください。また、物をぶつけたり、こすったりしないでください。手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと印刷品質が低下します。

4 カバー A を閉じます。

以上で終了です。

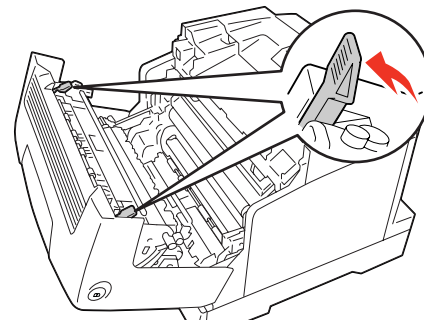
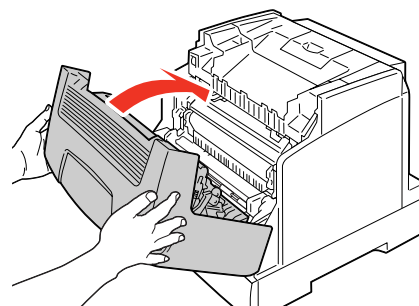
A(A レバー)

1 A レバーを押し上げて、カバー A を開けます。

参考

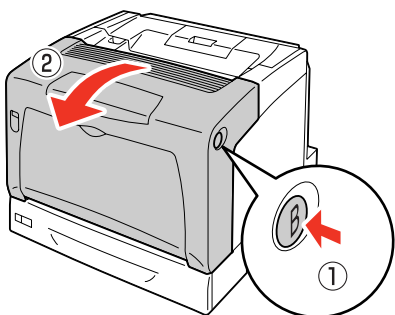
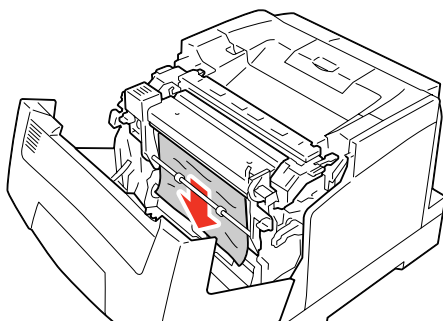
カバー A は、B ボタンで開けないでください。

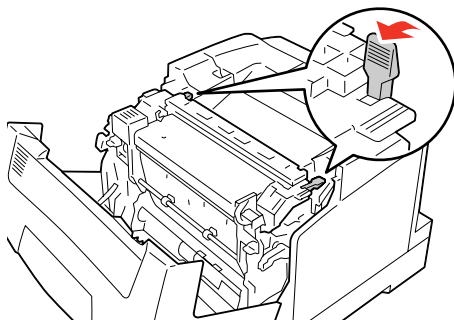
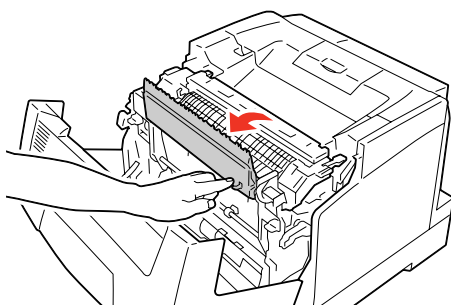
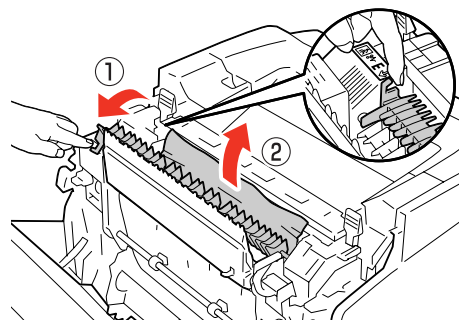
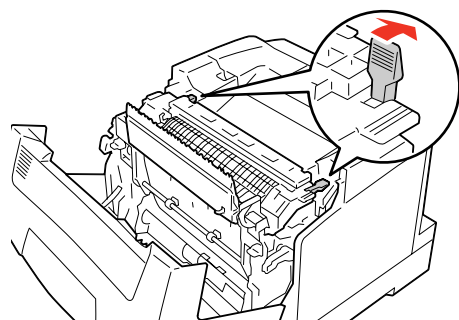
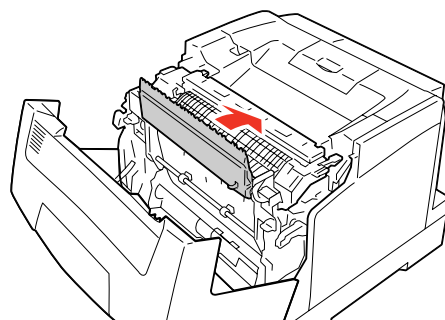
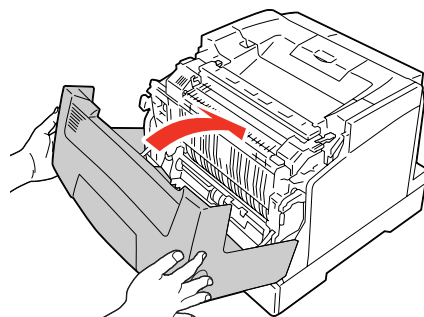
2 左右のリリースレバーを解除して、詰まった用紙を取り除きます。

!重要

用紙を取り除くときは、感光体ユニットの中間転写ベルトには絶対に手を触れないでください。また、物をぶつけたり、こすったりしないでください。手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと印刷品質が低下します。

3 左右のリリースレバーを元に戻します。

4 カバー A を閉じます。

以上で終了です。

B E(B ボタン /E レバー)

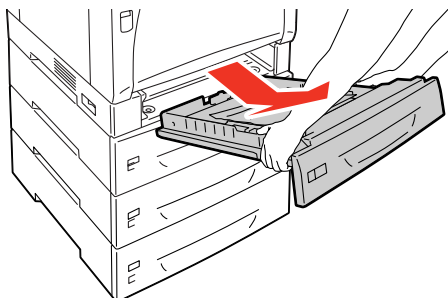
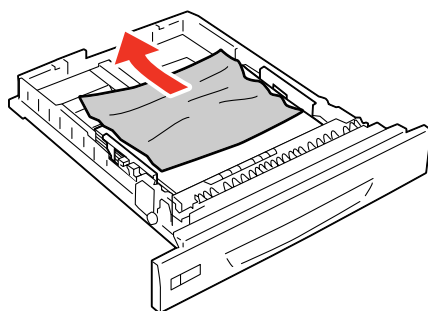
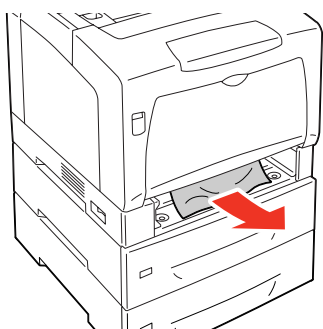
1 B ボタンを押して、カバー A を開けます。

2 詰まっている用紙を取り除きます。

用紙が取り除けたら、8 に進みます。

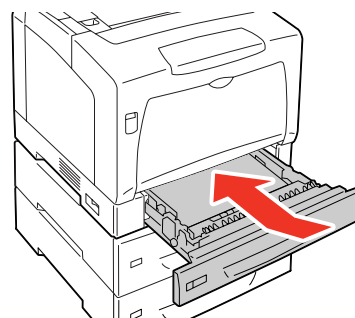
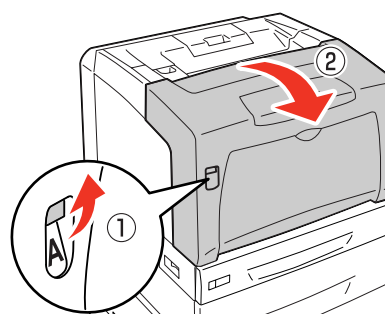
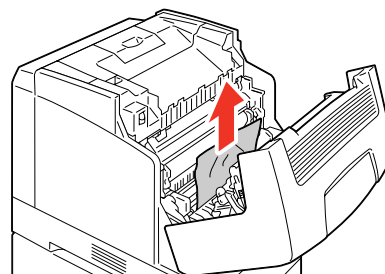
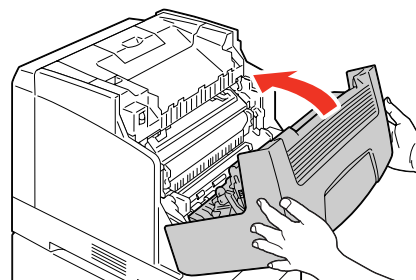
3 左右のリリースレバーを解除します。

4 両面ユニットのEレバーを持って、カバーを開けます。

5 定着ユニットのEレバーを持ってカバーを開け、詰まった用紙を取り除きます。

6 左右のリリースレバーを元に戻します。

7 両面ユニットのカバーを閉じます。

8 カバー A を閉じます。

以上で終了です。

C1 ～ C3 A(カセット /A レバー)

ここでは、カセット１（C1）を例に説明します。カセット２～３（C2 ～ C3）も同様の手順で用紙が取り除けます。

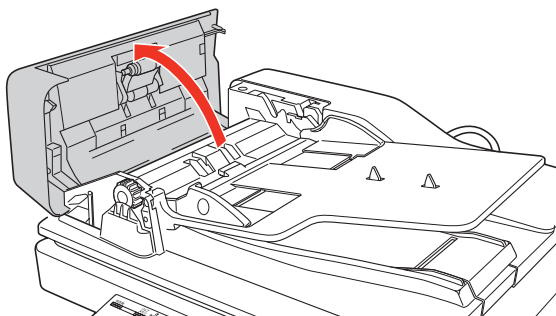
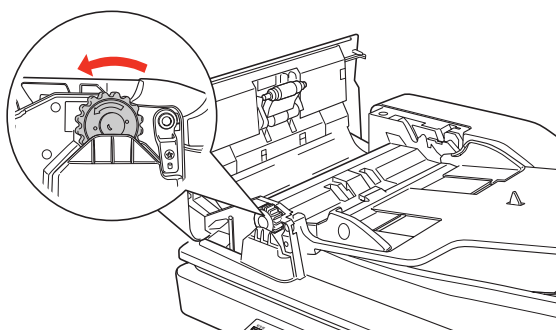
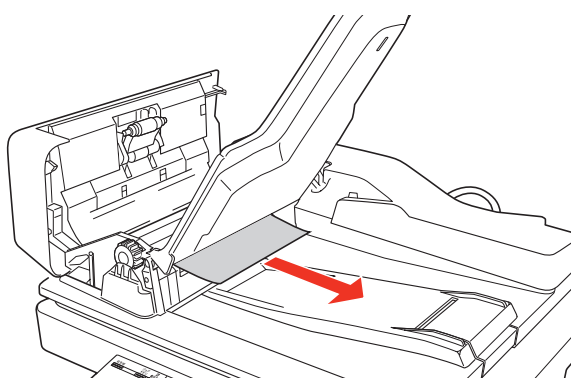
複数の用紙カセットが表示されているときは、下の段から順に確認してください。

1 **用紙カセットを引き抜きます。**

2 **詰まっている用紙や、しわになっている用紙を取り除きます。**

3 **プリンター内部に詰まっている用紙を取り除きます。**

4 **用紙カセットをプリンター本体に戻します。**

ここまでで、すべての用紙が取り除けたときも、5 に進んでください。カバー A の開閉によりエラーが解除されます。

5 **A レバーを押し上げて、カバー A を開けます。**

6 **詰まった用紙を取り除きます。**

7 **カバー A を閉じます。**

以上で終了です。

ADF

ADF で原稿が詰まったときは、以下の手順で詰まった原稿を取り除いてください。

1 ADF カバーを開けます。

2 紙送りダイヤルを左に回転させて原稿を送り出します。

3 原稿が完全に排出されたら取り除きます。

4 ADF カバーを閉じます。

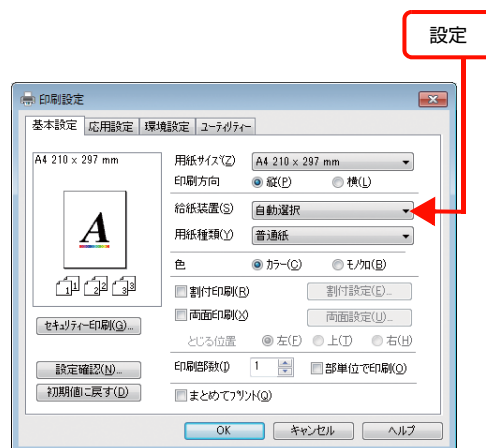
以上で終了です。

プリンター部の給排紙

給紙されない

プリンタードライバーで、使用したい給紙装置を選択していますか？

プリンタードライバーの［給紙装置］の設定を確認してください。

Windows：

Mac OS X：

［給紙装置］に［カセット 2］など（オプションの増設カセットユニット）が表示されないときは、［実装オプション設定］を確認してください。

☞ 220 ページ「給紙装置が選択できない」

用紙が詰まる

プリンター部をプリンターの底面より小さな台の上に設置していませんか？
プリンターの底面より小さな台の上に設置すると正常な給排紙ができません。本製品の設置場所を確認してください。

プリンター部は水平な場所に設置されていますか？
設置場所が水平でなかったり、プリンターの下に異物が挟まれていると正常に給排紙されないことがあります。本製品の設置場所の環境を確認してください。

本製品で印刷可能な用紙を使用していますか？
印刷可能な用紙を使用してください。
☞ 17 ページ「印刷できる用紙の種類」

両面印刷時に、両面印刷可能な用紙を使用していますか？
両面印刷で使用できる用紙の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 268 ページ「用紙一覧と設定早見表」

セットする前に用紙をさばきましたか？
複数枚セットする際に、用紙をさばいてからセットすると給紙時の問題が発生しなくなることがあります。

用紙カセットが本製品に正しくセットされていますか？
標準用紙カセットやオプション増設 1 段カセットユニットの用紙カセットを正しくセットしてください。
☞ 19 ページ「用紙のセットと排紙」

給紙ローラーが汚れていませんか？
給紙ローラーをふいてください。
☞ 195 ページ「給紙ローラーのクリーニング」

ハガキや封筒の先端が下向きに反っていませんか？
反っているときは、反りを直してからセットしてください。

用紙ガイドが正しい位置にセットされていますか？
MP トレイや用紙カセットの用紙ガイドを、用紙サイズに合わせてセットしてください。
☞ 19 ページ「用紙のセットと排紙」

印刷中に用紙を継ぎ足していませんか？
印刷中に MP トレイに用紙を補充すると、複数枚の用紙を同時に給紙してしまい、紙詰まりの原因となることがあります。印刷を始める前、または中断して用紙を補充してください。

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。
新しい用紙と交換することをお勧めします。
用紙の保管は以下を参照してください。
☞ 18 ページ「用紙の保管」

用紙が二重に送られる

用紙がくっついていませんか？
用紙がくっついて給紙される場合は、用紙をよくさばいてください。特殊紙の場合は、1 枚ずつセットしてください。

本製品に合った用紙を使用していますか？
印刷可能な用紙をお使いください。
☞ 17 ページ「印刷できる用紙の種類」

用紙がカールする

正しい印刷面に印刷していますか？
特に印刷面の指定がない場合でも、逆の面へ印刷することによって用紙がカールしなくなることがあります。印刷面を変えて印刷してみてください。

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。
新しい用紙と交換することをお勧めします。

排紙サポートを起こしていますか？
排紙された用紙がカールするときは、排紙サポートを起こすとカールしなくなることがあります。
☞ 22 ページ「排紙」

封筒にしわができる

封筒が湿気を含んでいる可能性があります。
新しい封筒と交換することをお勧めします。

封筒が正しくセットされていますか？
正しくセットされているか確認してください。
☞ 34 ページ「封筒への印刷」

プリンター内部で用紙が詰まりやすい

定着ローラーが汚れている可能性があります。

以下の手順で定着ローラーをクリーニングします。

① 詰まった用紙があれば、詰まった用紙を取り除きます。
②【ストップ】ボタンを押して、印刷データをキャンセルします。
③ A4 サイズ 1 ページ分のデータを作成します。
用紙の下半分に数文字程度のテキストが入っているモノクロのデータを作成してください。
④ 本製品に A4 サイズの用紙を 5 枚以上セットします。
⑤ プリンタードライバーの設定を以下のようにします。
用紙種類：［厚紙］を選択
用紙サイズ：セットした用紙サイズを選択
部単位印刷：［5］を指定
⑥ ③で作成したデータを印刷します。

上記の作業を行ってもまだ汚れが残るときは、同じ作業を繰り返し行ってください。

紙詰まりエラーが解除されない

カバー A を開閉してください。

詰まった用紙をすべて取り除いてもエラーが解除されない、または用紙が詰まっていないときは、カバー A を開閉してみてください。それでもエラーが解除されないときは、主電源を入れ直してください。

再度印刷するときは、MP トレイや用紙カセットの用紙ガイドが、用紙サイズに合っているか確認してください。

☞ 19 ページ「用紙のセットと排紙」

詰まった用紙をすべて取り除きましたか？

本製品のカバー付近を確認してください。それでもエラーが解除されない場合は用紙を取り除く際に用紙が破れて本製品内部に残っているかもしれません。このようなときは無理に取り除こうとせずに、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。

☞ 267 ページ「お問い合わせ先」

スキャナーユニットの給排紙

原稿が給紙されない / 複数枚給紙される

ADF で使用できない用紙または定形外の用紙を使用していませんか？

ADF で使用できない用紙または定形外の用紙は正しく給紙できません。以下のページを参照して用紙が ADF で使用できるか確認してください。

☞ 23 ページ「セットできる原稿」

ADF 内部が汚れていませんか？

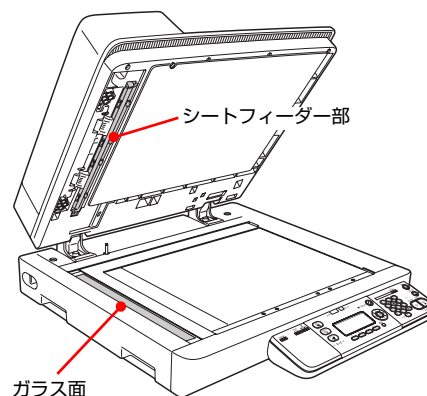
ADF のローラー、分離パッドにホコリやゴミが付着していると原稿が複数枚給紙されたり、原稿が給紙されなかったりすることがあります。

以下のページを参照してお手入れをしてください。

☞ 198 ページ「ADF のクリーニング」

原稿が汚れる

原稿台左横のガラス面、ADF のシートフィーダー部が汚れていませんか？

柔らかい布でからぶきし、ゴミや汚れなどを取り除いてください。

ADF 内部が汚れていませんか？

以下のページを参照してお手入れをしてください。

☞ 198 ページ「ADF のクリーニング」

スキャナーがエラーになり、スキャンできない

ADF 本体や ADF のカバーを開けていませんか？

ADF 動作中は、ADF 本体を開けたり、ADF のカバーを開けたりすると、エラーとなりスキャンできません。

印刷のトラブル

印刷できない

印刷が始まらない

コンピューターから印刷を実行しても、操作パネルのデータランプもエラーランプも反応しないときは、コンピューターと本製品が正しく接続されていません。または、印刷データがコンピューターの処理能力を超えている可能性があります。

EPSON ステータスモニタがインストールされている環境では、「通信エラーが発生しました」というメッセージが表示されます。

☞ 218 ページ「通信エラーが発生する」

以下の内容を確認してください。

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

本製品側のコネクターとコンピューター側のコネクターにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えてご確認ください。

インターフェイスケーブルは、本製品やコンピューターの仕様に合っていますか？

本製品やコンピューターの仕様に合ったインターフェイスケーブルを使用してください。

☞ 263 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」

USB ケーブルの接続口を変えてみてください。

コンピューターに複数の USB 接続口がある場合は、接続口を変えると正しく動作するようになることがあります。

インターフェイスが使用できない設定になっていませんか？

操作パネルで、特定のインターフェイスが使用できないように設定されていると、そのインターフェイスは使用できません。設定を確認してください。

☞ 158 ページ「共通設定の項目一覧」

コンピューターは、本製品の仕様に合っていますか？

システム条件を確認し、適切な環境で本製品を使用してください。

☞ 257 ページ「動作環境」

コピーモードでパネルを操作していませんか？

コピーモードからパネルを操作すると、しばらくの間パネル操作優先状態となります。

コピーモードでパネルを操作したときは、しばらくそのままお待ちください（約 10 秒）。

プリンタードライバーが正しくインストールされていますか？

プリンタードライバーをインストールし、接続方法に合った設定ができているか確認してください。

☞『セットアップガイド』（冊子）－「9. コンピューターの接続と設定」

プリンター名を変更していませんか？

ネットワークの管理者に確認して、変更したプリンター名を選択してください。

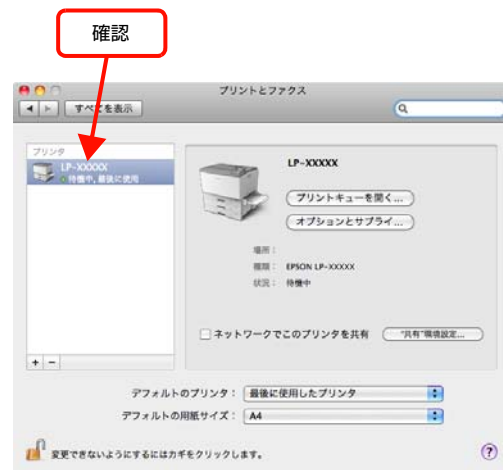
パスワード印刷の設定をしていませんか？

プリンタードライバーの［セキュリティー印刷］画面で、パスワード印刷の設定をして印刷を実行すると、印刷データはプリンターのメモリー（RAM ディスク）に一旦保存されます。本製品から出力するには、操作パネルでパスワードを入力してください。

パスワード印刷を行わない場合は、プリンタードライバーの［セキュリティー印刷］画面で［パスワード印刷］のチェックを外してから印刷してください。

☞ 148 ページ「印刷ジョブにパスワードを設定」

［プリントとファクス］（または［プリントとスキャン］）で本製品が追加されていますか？（Mac OS X）

［プリントとファクス］（または［プリントとスキャン］）で本製品のプリンタードライバーをデフォルトプリンターとして選択するか、［プリント ...］画面で本製品を選択してください。

ネットワークの設定は正しいですか？

同じネットワーク上のほかのコンピューターから印刷できるか確認してください。ほかのコンピューターから印刷できる場合は、接続状態やプリンタードライバーの設定、コンピューターの設定などが正しくない可能性があります。ほかのコンピューターからも印刷できない場合は、ネットワーク環境に問題があると考えられます。ネットワーク設定の詳細は、以下を参照してください。

☞『ネットワークガイド』（電子マニュアル）

通常使うプリンターとして設定されていますか?(Windows)

アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷するプリンターを選択できないことがあります。通常使うプリンターとして設定しておくと、印刷時に自動的に本製品を選択して印刷します。以下の手順に従って確認してください。

1 Windows の[スタート]メニューから[デバイスとプリンター]の順にクリックします。

Windows Vista/Windows Server 2008:
[スタート]—[コントロールパネル]—[プリンタ]の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003:
[スタート]-[プリンタと FAX]の順にクリックします。

2 通常使うプリンターになっているか確認します。

本製品のアイコンにチェックマークが付いていれば、通常使うプリンターの状態になっています。チェックマークが付いていない場合は、使用するプリンター名を右クリックし、表示されたメニューで[通常使うプリンターに設定]を選択します。

プリンターが一時停止またはオフラインになっていませんか?(Windows)

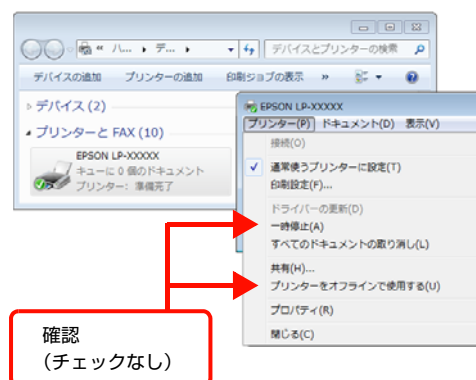
印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリンターまたはプリントマネージャーのステータスが「一時停止」になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。

1 Windows の[スタート]メニューから[デバイスとプリンター]の順にクリックします。

Windows Vista/Windows Server 2008:
[スタート]—[コントロールパネル]—[プリンタ]の順にクリックします。

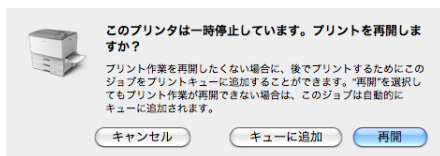
Windows XP/Windows Server 2003:
[スタート]-[プリンタと FAX]の順にクリックします。

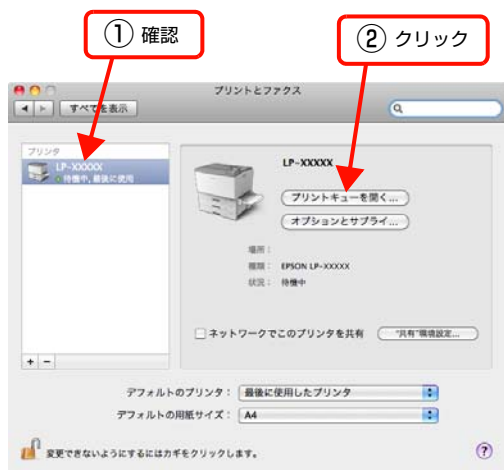
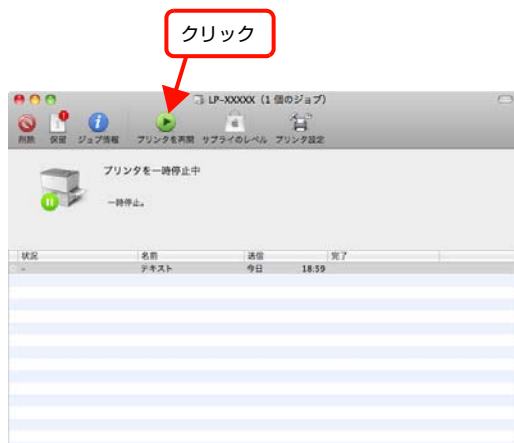
2 本製品のアイコンを選択し、印刷ができる状態に戻します。

[印刷ジョブの表示]-[プリンター]メニューを開き、[一時停止]または[プリンターをオフラインで使用する]にチェックが付いているときは、クリックして外します。

Windows XP/Windows Server 2003/
Windows Vista/Windows Server 2008:
[ファイル]メニューを開き、[印刷の再開]をクリック、または[プリンタをオンラインで使用する]にチェックが付いているときは、クリックして外します。

以上で終了です。

プリンターが一時停止になっていませんか？（Mac OS X）

［プリントとファクス］（または［プリントとスキャン］）でプリンターが一時停止になっていると、印刷を実行してもメッセージが表示されてそのままでは印刷できません。

［再開］をクリックすると、プリンター作業が再開されます。［再開］をクリックしても印刷が再開されない場合や、［キューに追加］をクリックした場合は、以下の手順に従ってください。

1 ［システム環境設定］－［プリントとファクス］（または［プリントとスキャン］）から本製品を選択し、［プリントキューを開く ...］をクリックします。

2 ［プリンタを再開］をクリックします。

以上で終了です。

プリンターポートの設定は正しいですか？（USB 接続 /Windows）

新たに USB 対応プリンターを接続し、ドライバーをインストールすると、印刷先のポートの設定が変わることがあります。印刷先のポートの設定を確認してください。

1 ［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］の順にクリックします。

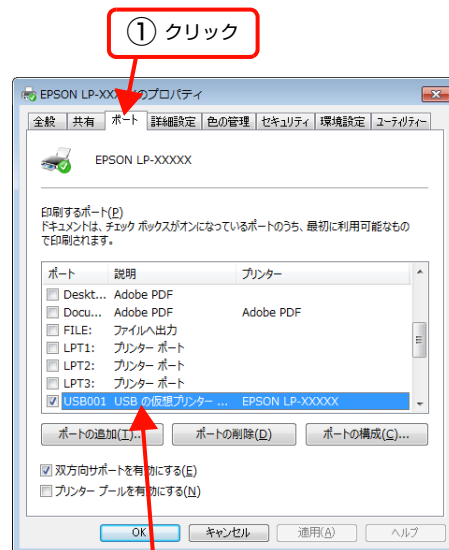
Windows Vista/Windows Server 2008：
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］－［プリンタと FAX］をクリックします。

2 本製品のアイコンを右クリックして、［プリンターのプロパティ］（または［プロパティ］）をクリックします。

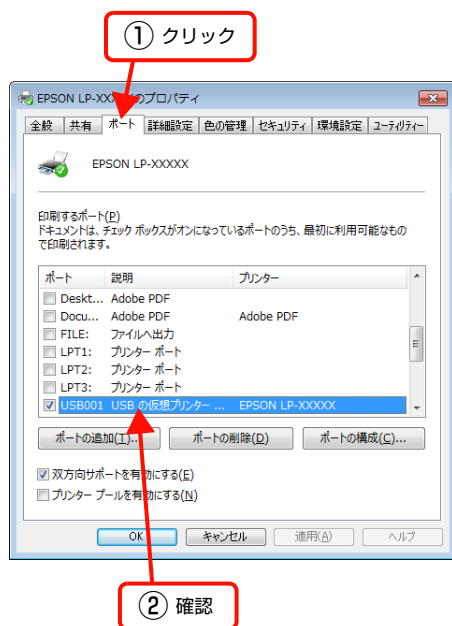
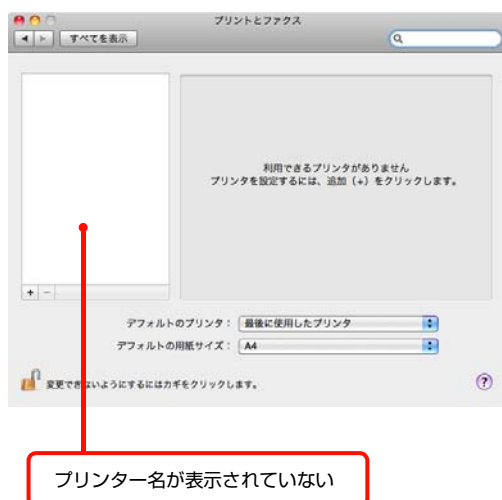
Windows Vista：
本製品のアイコンを右クリックして、［管理者として実行］－［プロパティ］を選択します。

3 ［ポート］/［詳細］タブをクリックして［印刷するポート］/［印刷先のポート］を確認します。

① ［ポート］タブをクリックします。
② ［印刷するポート］で［USBx］が選択されていることを確認します（x はポート番号を表す数字です）。

以上で終了です。

ポートが表示されていますか？（USB 接続）

以下の画面を開いて、ポートが正しく表示されているか確認してください。
表示されていないときは、本製品の主電源とプリンター部の電源が入っていることを確認し、USB ケーブルを一旦抜いてから差し直してみてください。
Mac OS X は、［プリントとファクス］（または［プリントとスキャン］）で本製品を追加し直してみてください。

Windows：

Mac OS X：

本製品を USB ハブの 1 段目に接続していますか？
（USB 接続）

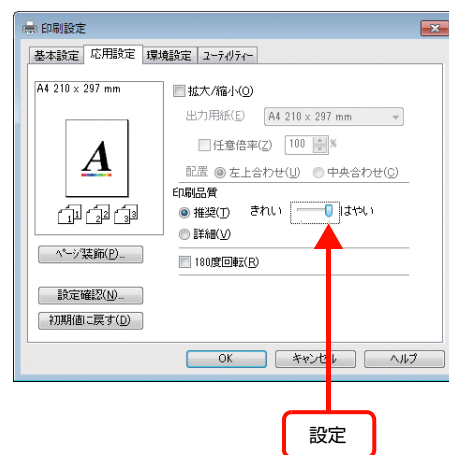
仕様上は、USB ハブを使用して 5 段まで縦列接続できますが、1 段目に接続することをお勧めします。コンピューターに直接接続された USB ハブの 1 段目以外に本製品を接続していて正常に動作しないときは、1 段目に接続してください。また、別のハブをお持ちの場合は、ハブを替えて接続してみてください。

Windows が USB ハブを正しく認識していますか？（USB 接続 /Windows）

Windows の［デバイスマネージャー］の<ユニバーサルシリアルバス>の下に、USB ハブが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されている場合は、コンピューターの USB ポートから、USB ハブをすべて外してから、本製品の USB コネクターをコンピューターの USB コネクターに直接接続してみてください。USB ハブの動作に関しては、ハブのメーカーにお問い合わせください。

容量の大きなデータを印刷していませんか？

容量の大きなデータを印刷しようとすると、コンピューターの CPU やメモリーの容量によって、データを処理できないことがあります。コンピューターのメモリーを増設するか、プリンタードライバーの［印刷品質］の設定が［きれい］（600dpi）になっている場合は、［はやい］（300dpi）にすると印刷できることがあります。

Windows：

Mac OS X：

- 操作パネルで、使用していないインターフェイスを［使わない］に設定すると印刷できることがあります。
  ☞ 271 ページ「操作パネル設定項目一覧」
- 容量の大きなデータを印刷するには、プリンターにメモリーを増設することをお勧めします。
  必要なメモリー容量は、印刷データやアプリケーションソフトによって異なります。
  メモリー増設方法は以下を参照してください。
  ☞ 191 ページ「オプションの取り付け」

通信エラーが発生する

EPSON ステータスモニタがインストールされている環境で、「通信エラーが発生しました」と表示されたときは、以下の内容を確認してください。

コンピューターと本製品が正しく接続されていますか？

以下を参照してください。

☞ 214 ページ「印刷が始まらない」

ネットワーク接続で、印刷プロトコルとしてIPP、Net BEUI を使用していませんか？

EpsonNet Internet Print使用時は、EPSONステータスモニタがネットワークプリンターを監視できないために印刷を実行すると通信エラーとなる場合があります。エラーが表示されても印刷は正常に終了します。［通知設定］画面内の［印刷中プリンターを監視する］のチェックを外すと、エラーが表示されなくなります。

また、NetBEUI では接続できません。

☞ Windows：95 ページ「プリンターの監視」
☞ Mac OS X：118 ページ「プリンターの監視」

リモートデスクトップ機能で、リダイレクトプリントを実行していませんか？（Windows XP/Windows Vista）

リモートデスクトップ機能を利用している状態で、移動先のコンピューターからそのコンピューターに直接接続されたプリンターへ印刷する場合、EPSON ステータスモニタがインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

インターフェイスケーブルは、本製品やコンピューターの仕様に合っていますか？

本製品やコンピューターの仕様に合ったインターフェイスケーブルを使用してください。

☞ 263 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」

市販のセキュリティーソフトウェアで通信をブロックしていませんか？

セキュリティーソフトウェアで通信を許可してください。設定方法はセキュリティーソフトウェアを確認してください。

操作パネルにエラーが表示される

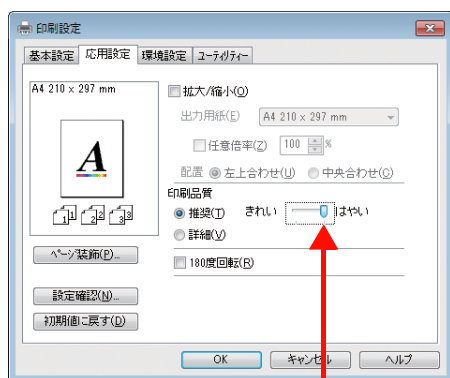
操作パネルにエラーメッセージが表示されていませんか？

操作パネルのエラーランプが点灯し、エラーメッセージが表示されているか確認してください。エラーメッセージの説明と対処方法は以下を参照してください。

☞ 241 ページ「パネルメッセージ」

容量の大きなデータを印刷していませんか？

容量の大きなデータを印刷しようとすると、コンピューターの CPU やメモリーの容量によって、データを処理できないことがあります。コンピューターのメモリーを増設するか、プリンタードライバーの［印刷品質］の設定が［きれい］（600dpi）になっている場合は、［はやい］（300dpi）にすると印刷できることがあります。

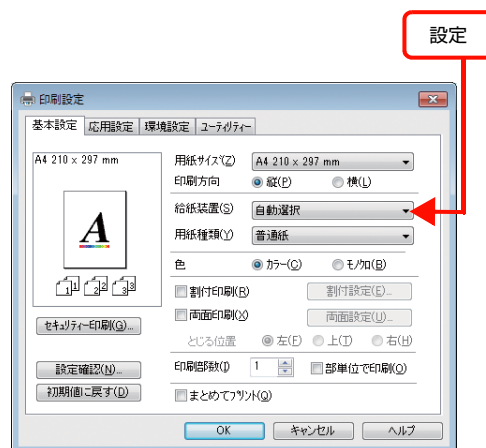
Windows：

Mac OS X：

- 操作パネルで、使用していないインターフェイスを［使わない］に設定すると印刷できることがあります。
  ☞ 271 ページ「操作パネル設定項目一覧」
- 容量の大きなデータを印刷するには、本製品にメモリーを増設することをお勧めします。
  必要なメモリー容量は、印刷データやアプリケーションソフトによって異なります。
  メモリー増設方法は以下を参照してください。
  ☞ 191 ページ「オプションの取り付け」

給紙されない

プリンタードライバーで、使用したい給紙装置を選択していますか？

プリンタードライバーの［給紙装置］の設定を確認してください。

Windows：

Mac OS X：

［給紙装置］に［用紙カセット 2］/［用紙カセット 3］（オプションの増設 1 段カセットユニット）が表示されないときは、実装オプションの設定をしてください。

☞ 220 ページ「給紙装置が選択できない」

給紙装置が選択できない

アプリケーションソフトの給紙装置の設定は合っていますか？

給紙装置の設定は、アプリケーションソフトの設定が優先されることがあります。アプリケーションソフトのマニュアルを参照して給紙装置の設定を確認してください。

セットしている用紙とプリンタードライバーの設定は一致していますか？

ステータスシートまたは操作パネルで、MP トレイと用紙カセットの用紙サイズの設定を確認してください。

ステータスシートは、操作パネルの［システム情報］－［レポート印刷］メニューから印刷します。

プリンタードライバー（Windows のみ）からも印刷できます。

☞ 192 ページ「本製品の状態・設定の確認」

用紙サイズの設定を操作パネルで直接確認するには、［給紙装置設定］メニューを確認します。

☞ 162 ページ「プリンタ設定の項目一覧」

用紙サイズが正しく検知されていることを確認し、プリンタードライバーの設定も一致させてください。

プリンタードライバーで認識させましたか？

Windows：

プリンターのプロパティー画面を開くと自動的に認識されます。

Mac OS X：

［プリントとファクス］（または［プリントとスキャン］）で本製品を追加し直すと、情報が更新されます。または、［オプションとサプライ ...］で［ドライバ］タブをクリックすると、オプションの装着状態の確認や変更ができます。

画面表示や設定と印刷結果が異なる

印刷した結果が画面の表示や設定内容と異なるときは、以下の内容を確認してください。

文字や画像が画面表示と異なる

本製品の使用環境に問題はありませんか？

再度印刷してみても同様の現象が発生する場合は、以下の点を確認してください。

- 推奨ケーブルが正しく接続されているか
  ☞『セットアップガイド』（冊子）－「9. コンピューターの接続と設定」
- お使いのコンピューターは本製品のシステム条件に合っているか
  ☞ 257 ページ「動作環境」
- プリンタードライバーのテスト印刷やステータス印刷が正常にできるか
  ☞ 192 ページ「本製品の状態・設定の確認」

色合いが画面表示と異なる

画面表示とプリンターの発色方法の違いによって生じます。

画面表示とプリンターでは、以下のように色の表現方法が異なります。

画面に表示する色の仕組み

テレビやコンピューターなどの画面では、赤（R）・緑（G）・青（B）の「光の三原則」を組み合わせてさまざまな色を表現します。どの色も光っていない状態が黒（K）で、3 色すべてが光っている状態が白（W）になります。

プリンターで印刷する色の仕組み

カラーのグラビア印刷やカラープリンターの印刷は、シアン（C）・イエロー（Y）・マゼンタ（M）の「色の三原色」を組み合わせてさまざまな色を表現します。まったく色を付けないのが白（W）で、3 色を均等に混ぜた状態が黒（K）になります。

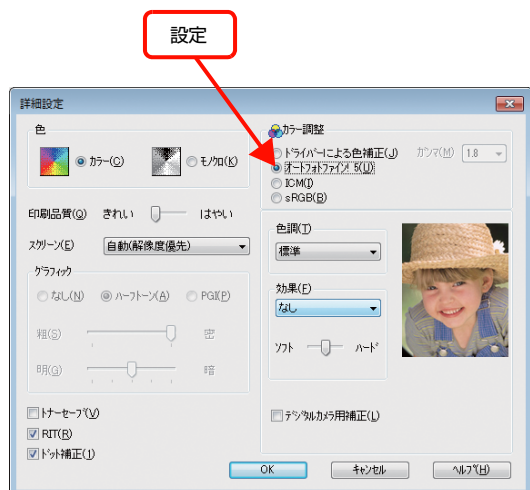
スキャナーで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ディスプレイ（RGB）→印刷（CMY）と発色方法が変更されるため、完全に色を一致させることはできません。

普通紙にカラー印刷していませんか？

カラー印刷は、使用する用紙によって印刷結果が大きく異なります。最良の印刷結果を得るためには、エプソン製の上質普通紙の使用をお勧めします。

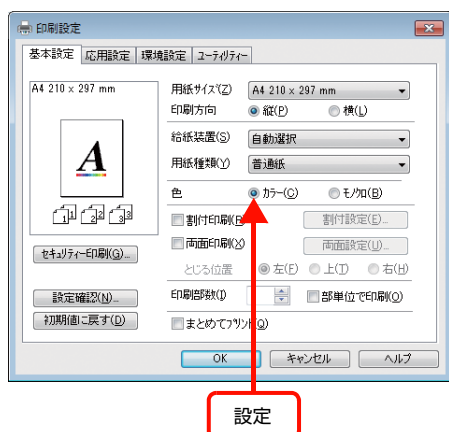
☞ 263 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」

プリンタードライバーで［オートフォトファイン !5］を有効にしていませんか？（Windows）

［オートフォトファイン !5］はコントラストや彩度が適切でないデータに対して最適な補正を加えて鮮明に印刷できるようにする機能です。そのため、［オートフォトファイン !5］が有効になっていると、表示画面と色合いが異なることがあります。

カラー印刷できない

プリンタードライバーの［色］の設定が、［カラー］になっていますか？

［色］の設定が［モノクロ］になっているとカラー印刷ができません。

Windows：

Mac OS X：

アプリケーションソフトの設定がカラーデータになっていますか？

アプリケーションソフトの設定が、カラーデータになっているか確認してください。

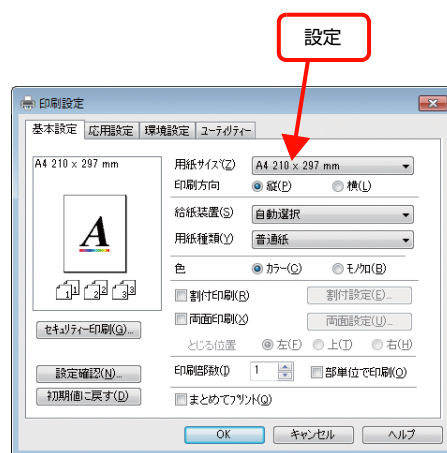
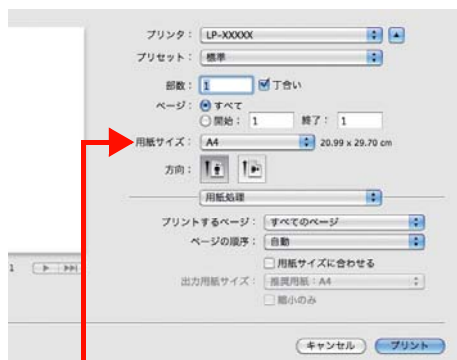
ページの左右または片側が切れる

印刷データの横幅は、プリンタードライバーで設定した用紙サイズに収まりますか？

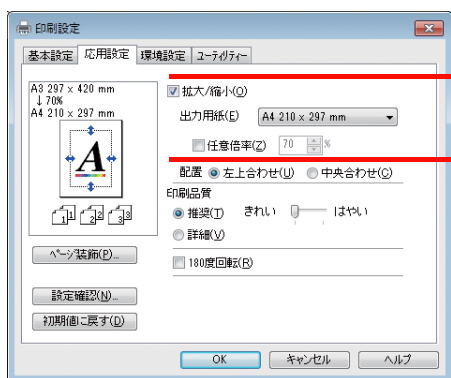
Web ブラウザーでインターネットの Web サイトを印刷すると、ページの左右で印刷が切れてしまうことがあります。より大きなサイズの用紙に印刷してください。

Windows：

Mac OS X：

参考

- アプリケーションによっては［用紙サイズ］が設定できません。
- ［用紙サイズ］が表示されない場合は、［ページ設定］画面で設定してください。

より大きなサイズの用紙が利用できないときは、プリンタードライバーの［拡大 / 縮小］機能を使用すると、用紙サイズに合わせて印刷データを拡大 / 縮小して印刷できます。

Windows：

Mac OS X：

アプリケーションソフトによっては、［プリント］画面で［拡大縮小］が設定できます。

用紙の余白を設定しましたか？

アプリケーションソフトによっては、用紙の余白を設定できるものがあります。例えば、Microsoft Internet Explorer（Web ブラウザー）では、［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択して、［余白］の値を小さくして印刷してみてください。なお、本製品では用紙の左右上下とも最低 5mm の余白が必要です。

オフセット値を変更しましたか？

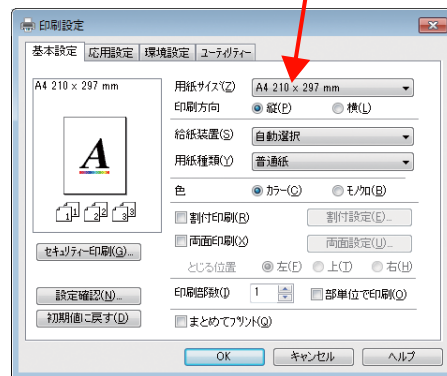
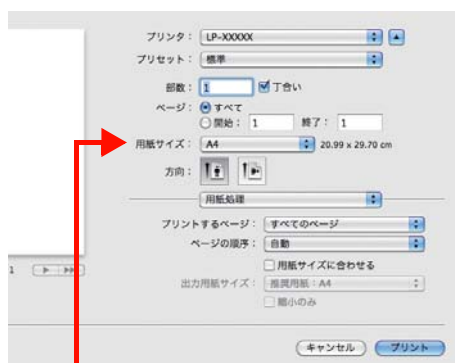
印刷保証領域外への印刷はできません。印刷保証領域いっぱいに作られた印刷データに対してオフセット値を変更すると、用紙端のデータは印刷されません。

☞ 18 ページ「印刷できる領域」

印刷位置が画面表示と異なる

アプリケーションソフトで設定した用紙サイズと、プリンタードライバーで設定した［用紙サイズ］が異なっていませんか？

アプリケーションソフトで設定した用紙サイズを、プリンタードライバーの［用紙サイズ］で設定してください。

Windows：

Mac OS X：

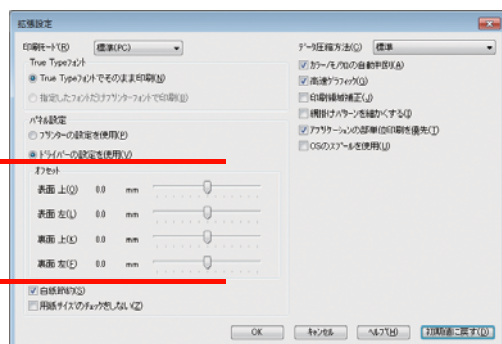
参考

- アプリケーションによっては［用紙サイズ］が設定できません。
- ［用紙サイズ］が表示されない場合は、［ページ設定］画面で設定してください。

印刷開始位置を設定しましたか？

アプリケーションソフトによっては、印刷開始位置の設定が必要です。プリンタードライバーの［拡張設定］画面で［オフセット］を調整してください。
画面の表示方法は、プリンタードライバーヘルプをご覧ください。

Windows：

Mac OS X：

罫線が切れる

アプリケーションソフトで、本製品を使用して印刷する設定になっていますか？

アプリケーションソフトのマニュアルを参照して、本製品を使用して印刷できるように設定してください。

文字の位置がずれる

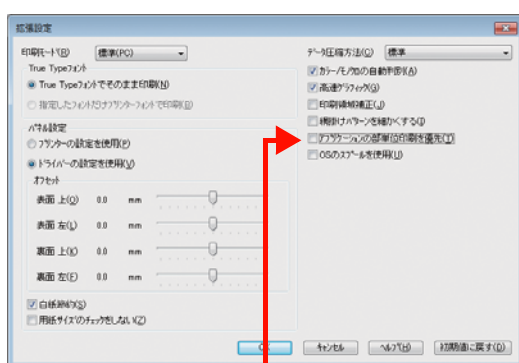
アプリケーションソフトで、本製品を使用して印刷する設定になっていますか？

アプリケーションソフトのマニュアルを参照して、本製品を使用して印刷できるように設定してください。

部単位印刷ができない

アプリケーションソフトとプリンタードライバーの両方で部単位印刷を設定していませんか？（Windows）

アプリケーションソフトとプリンタードライバーの両方で部単位印刷を設定すると、一部の Windows アプリケーションソフトでは、正しく部単位印刷ができないことがあります。プリンタードライバーの［拡張設定］画面で［アプリケーションの部単位印刷を優先］のチェックを外し、アプリケーションソフトではなくプリンタードライバーで部単位印刷を設定してください。

画面の表示方法は、プリンタードライバーヘルプをご覧ください。

設定と印刷結果が異なる

アプリケーションソフトとプリンタードライバーの設定が一致していますか？

アプリケーションソフトとプリンタードライバーの設定が一致しているか確認してください。印刷条件の設定は、アプリケーションソフト、プリンタードライバーそれぞれで行えますが、各設定の優先順位は、お使いの状況によって異なります。

印刷品質が悪い

画質が悪いなど、印刷品質に問題があるときは、以下の内容を確認してください。

きれいに印刷できない

エプソン製のトナーカートリッジおよび感光体ユニットをお使いですか？

本製品はエプソン製のトナーカートリッジおよび感光体ユニット使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されています。エプソン製品以外のものをご使用になると、本製品の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、本製品の性能が発揮できないことがあります。トナーカートリッジおよび感光体ユニットはエプソン製品のご使用をお勧めします。また、必ず本製品に合った型番のものをお使いください。

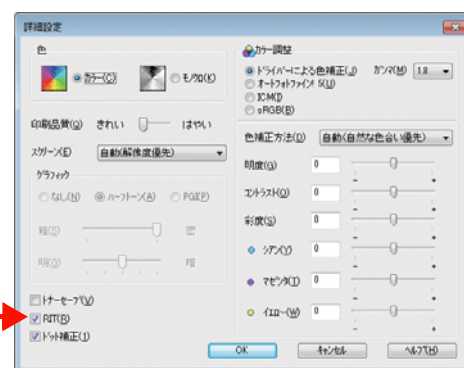
☞ 263 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」

プリンタードライバーの［トナーセーブ］機能を使用していませんか？

［トナーセーブ］は、印刷品質を問わない場合にトナーを節約して印刷する機能のため、試し印刷などに適しています。［トナーセーブ］機能を使用しない通常の印刷よりも、薄くなります。

プリンタードライバーの［RIT］機能を使用して印刷していますか？

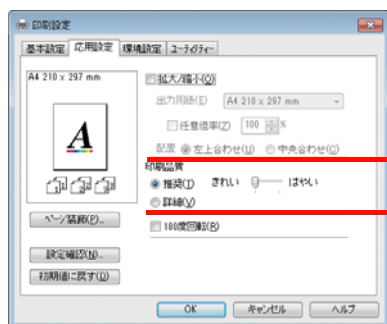
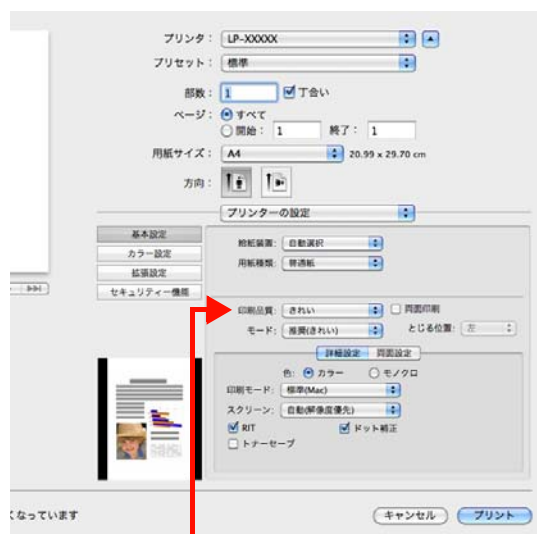
文字をきれいに印刷したいときは［RIT］機能を使用して印刷してください。ただし、写真など複雑なトーンがあるデータでは、［RIT］機能を使用しない方がきれいに印刷できる場合があります。

画面の表示方法は、プリンタードライバーヘルプをご覧ください。

Windows：

Mac OS X：

プリンタードライバーで［印刷品質］を［きれい］（600dpi）に設定していますか？

きれいに印刷したいときは、［印刷品質］を［はやい］（300dpi）ではなく［きれい］（600dpi）に設定します。ただし、複雑な印刷データではメモリー不足で印刷できない場合があります。このようなときは、［印刷品質］を［はやい］（300dpi）に戻すか、メモリーを増設してください。

Windows：

Mac OS X：

操作パネルに「解像度を落として印刷しました」というメッセージが表示されましたか？

印刷するのに十分なメモリーを本製品に増設してください。必要なメモリー容量は、印刷データやアプリケーションソフトによって異なります。

トナーカートリッジが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。

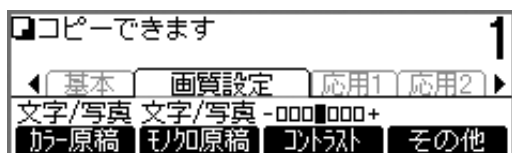
☞ 185 ページ「トナーカートリッジの交換」

感光体ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

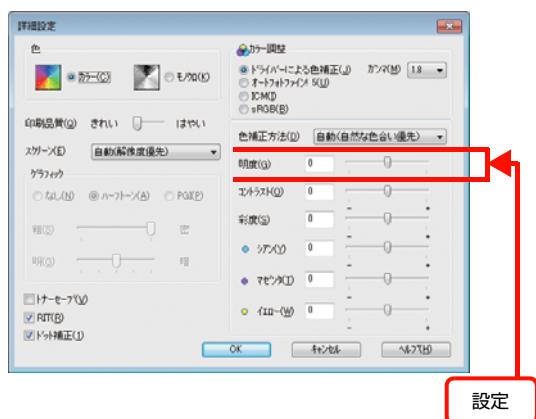
数ページ印刷しても改善されないときは、新しい感光体ユニットに交換してください。

☞ 188 ページ「感光体ユニットの交換」

薄すぎる、濃すぎる

操作パネルの［コントラスト］の設定を確認してください。
操作パネルの［コントラスト］に対応する【F3】ボタンを押して、［コントラスト］を調整してください。

プリンタードライバーの［トナーセーブ］機能を使用していませんか？
［トナーセーブ］は、印刷品質を問わない場合にトナーを節約して印刷する機能のため、試し印刷などに適しています。［トナーセーブ］機能を使用しない通常の印刷よりも、薄くなります。

プリンタードライバーの［明度］の設定を確認してください。
［詳細設定］画面で［明度］を調整してください。
画面の表示方法は、プリンタードライバーヘルプをご覧ください。

Windows：

Mac OS X：

薄い、かすれる

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。

新しい用紙と交換することをお勧めします。

トナーの残量は十分ですか？
ステータスシートまたは操作パネルで、トナー残量を確認してください。
☞ 192 ページ「本製品の状態・設定の確認」
トナーが残っていなければ、新しいトナーカートリッジに交換してください。
☞ 185 ページ「トナーカートリッジの交換」

感光体ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。
数ページ印刷しても改善されないときは、新しい感光体ユニットに交換してください。
☞ 188 ページ「感光体ユニットの交換」

感光体の寿命は残っていますか？
ステータスシートまたは操作パネルで、感光体ライフ（寿命）を確認してください。
☞ 192 ページ「本製品の状態・設定の確認」
感光体ライフ（寿命）が残っていなければ、新しい感光体ユニットに交換してください。
☞ 188 ページ「感光体ユニットの交換」

プリンタードライバーの［トナーセーブ］機能を使用していませんか？
［トナーセーブ］は、印刷品質を問わない場合にトナーを節約して印刷する機能のため、試し印刷などに適しています。［トナーセーブ］機能を使用しない通常の印刷よりも、印刷品質が劣ります。

プリンタードライバーの［用紙種類］が正しく設定されていますか？
セットした用紙が操作パネルの設定とプリンタードライバーの［用紙種類］の設定で合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷するなど）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。
☞ 268 ページ「用紙一覧と設定早見表」

汚れ（点）が印刷される

適切な用紙を使用していますか？
本製品で印刷できる用紙を使用してください。
☞ 27 ページ「印刷方法」

感光体ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。
数ページ印刷しても改善されないときは、新しい感光体ユニットに交換してください。
☞ 188 ページ「感光体ユニットの交換」

周期的に汚れる

本製品内の用紙経路が汚れている可能性があります。

数ページ印刷してください。または給紙ローラーを清掃してください。

☞ 195 ページ「給紙ローラーのクリーニング」

トナーカートリッジが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。

☞ 185 ページ「トナーカートリッジの交換」

感光体ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しい感光体ユニットに交換してください。

☞ 188 ページ「感光体ユニットの交換」

指でこすると汚れる

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。

新しい用紙と交換することをお勧めします。

適切な用紙を使用していますか？

本製品で印刷できる用紙を使用してください。

☞ 27 ページ「印刷方法」

プリンタードライバーの［用紙種類］が正しく設定されていますか？

セットした用紙が操作パネルの設定とプリンタードライバーの［用紙種類］の設定で合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷するなど）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。

☞ 268 ページ「用紙一覧と設定早見表」

白く抜ける（点または周期的に）

適切な用紙を使用していますか？

本製品で印刷できる用紙を使用してください。

☞ 27 ページ「印刷方法」

トナーカートリッジおよび感光体ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しいトナーカートリッジおよび感光体ユニットに交換してください。

☞ 185 ページ「トナーカートリッジの交換」
☞ 188 ページ「感光体ユニットの交換」

用紙が湿気を含んでいるか、乾燥しすぎている可能性があります。

新しい用紙と交換することをお勧めします。

プリンタードライバーの［トナーセーブ］機能を使用していませんか？

［トナーセーブ］は、印刷品質を問わない場合にトナーを節約して印刷する機能のため、試し印刷などに適しています。［トナーセーブ］機能を使用しない通常の印刷よりも、印刷品質が劣ります。

用紙全体が塗りつぶされる

感光体ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しい感光体ユニットに交換してください。

☞ 188 ページ「感光体ユニットの交換」

用紙の送り方向に対して線が入る

感光体ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しい感光体ユニットに交換してください。

☞ 188 ページ「感光体ユニットの交換」

何も印刷されない

一度に複数枚の用紙が搬送されている可能性があります。

用紙をよくさばいて、セットし直してください。

トナーの残量は十分ですか？

ステータスシートまたは操作パネルで、トナー残量を確認してください。

☞ 192 ページ「本製品の状態・設定の確認」

トナーが残っていなければ、新しいトナーカートリッジに交換してください。

☞ 185 ページ「トナーカートリッジの交換」

感光体ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しい感光体ユニットに交換してください。

☞ 188 ページ「感光体ユニットの交換」

裏面が汚れる

プリンター内の用紙経路が汚れている可能性があります。

数ページ印刷してください。

コピー/スキャンした画像にスジが入る

原稿台が汚れていませんか？

原稿台の汚れや、ADF の長時間使用でスキャンした画像にスジが入ることがあります。乾いた布で原稿台をふいてください。

☞ 199 ページ「表面の清掃」

印刷に時間がかかる

印刷に時間がかかったり、一時停止してしまうときは、以下の内容を確認してください。

節電モードになっていませんか？

節電状態から印刷を実行すると、印刷開始の前にウォームアップを行いますので、排紙されるまでに時間がかかることがあります。

操作パネル上に「プリンタ調整中」と表示されていませんか？

良好な印刷品質を保つために、印刷の途中でプリンターが動作を一時的に停止して内部機能の自動調整を行うことがあります。自動調整が完了すると印刷を自動的に再開しますので、そのままお待ちください。

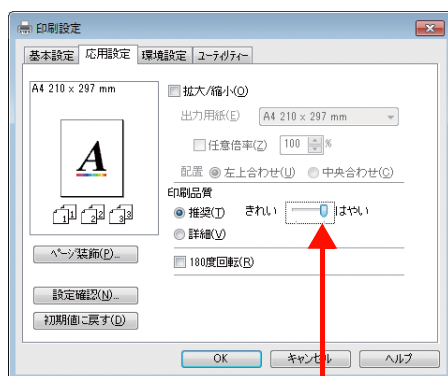
操作パネルに「プリンタ冷却中」のメッセージが出ていませんか？

幅 165.4mm 以下の用紙を、普通紙、再生紙、上質紙、厚紙の設定で、大量にモノクロ印刷した場合に「プリンタ冷却中」のメッセージが表示されることがあります。
定着ユニットの温度を下げるために印刷を中断していますので、自動的に印刷が再開されるまでお待ちください。

ハガキなど幅の狭い用紙に連続して印刷していませんか？

幅の狭い用紙に連続して印刷をすると、定着器の過熱防止のために冷却が必要になります。そのため一時停止することがあります。

容量の大きなデータを印刷していませんか？

容量の大きなデータを印刷しようとすると、コンピューターの CPU やメモリーの容量によって、データを処理できないことがあります。コンピューターのメモリーを増設するか、プリンタードライバーの［印刷品質］の設定が［きれい］（600dpi）になっている場合は、［はやい］（300dpi）にすると印刷できることがあります。

Windows：

Mac OS X：

- 操作パネルで、使用していないインターフェイスを［使わない］に設定すると印刷できることがあります。
☞ 158 ページ「共通設定の項目一覧」
- 容量の大きなデータで印刷するには、本製品にメモリーを増設することをお勧めします。
必要なメモリー容量は、印刷データやアプリケーションソフトによって異なります。
メモリー増設方法は以下を参照してください。
☞ 191 ページ「オプションの取り付け」

OS による制限事項

Windows Vista/Windows 7 をお使いの方は、以下の内容を確認してください。

プリンタードライバーの設定内容が使用できない

設定を保存したプリンター以外の設定内容を使用していませんか？

Windows Vista/Windows 7 環境では、ユーザー定義サイズ、スタンプマーク、プリセットの詳細設定は、インストールしたプリンター名ごとに保存されます。それぞれに設定が保存されるため、設定を保存したプリンター以外、設定内容は使用できません。

文字が使用できない

JIS X 0213：2004 で追加された以下の 10 文字は、下記の機能では使用できません。

倶叱嘘屏痩剝呑姸幷繫

- スタンプマーク機能
- プリンターフレンドリー名
- ヘッダー/フッター設定で印字する際のユーザー名
- パスワード印刷のユーザー名やジョブ名
- EPSON ステータスモニタのジョブ情報表示

ジョブが正常に印刷できない / 中断する

スリープ / 休止の設定をしていませんか？

印刷中に手動でスリープ/休止状態に移行しないでください。

パスワード印刷の入力画面が表示されない

［OS のスプールを使用］にチェックを付けていませんか？

プリンタードライバーの［環境設定］－［拡張設定］で［OS のスプールを使用］にチェックを付けてパスワード印刷を実行するときは、OS の［スタート］－［コントロールパネル］－［管理ツール］－［サービス］の「Interactive Service Detection」を起動状態にしてください。

コピーのトラブル

コピーできない

操作パネルでコピーモードにしていますか？

コピーするときは、操作パネルをコピーモードにしてください。

☞ 43 ページ「基本コピー（カラー / モノクロ）」

ADF から連続カラーコピーまたは部単位コピーしていませんか？

ADF からの連続カラーコピーまたは部単位コピーで、かつ高精細の場合はデータ処理のために動作が遅くなることがあります。

カラーコピーを数回に分けるか［カラー原稿］を変更する、または本製品にメモリーを増設してください。

［RAM ディスク］の設定を［標準］または［最大］にしていませんか？

［RAM ディスク］を［標準］または［最大］にすると、A3 の両面で高精細にしたコピーができなくなることがあります。

［RAM ディスク］の設定を［なし］に変更してください。

☞ 158 ページ「共通設定の項目一覧」

コピーに時間がかかる

節電モードになっていませんか？

節電状態からコピーを実行すると、動作開始の前にウォームアップしますので、時間がかかることがあります。

ADF から連続カラーコピーまたは部単位コピーしていませんか？

ADF からの連続カラーコピーまたは部単位コピーで、かつ高精細の場合はデータ処理のために動作が遅くなることがあります。

カラーコピーを数回に分けるか［カラー原稿］を変更する、または本製品にメモリーを増設してください。

原稿とコピー結果が異なる

原稿とコピー結果が異なる・読み取り範囲が異なる

セットできる原稿サイズを確認しましたか？

本製品でコピーできる原稿のサイズは、以下の通りです。

- A3 ＜ 297 × 420mm ＞
- B4 ＜ 257 × 364mm ＞
- A4 ＜ 210 × 297mm ＞
- B5 ＜ 182 × 257mm ＞
- A5 ＜ 148 × 210mm ＞
- ハガキ ＜ 100 × 148mm ＞

印刷用紙サイズと印刷保証領域を確認しましたか？

用紙全面に印刷されている原稿では、印刷用紙の各端面 4mm はコピーされない場合があります。ただし、［全面コピー］機能を使用することで、全面をコピーできるように縮小して印刷します。

詳細については、以下のページを参照してください。

☞ 18 ページ「印刷できる領域」
☞ 56 ページ「全面コピー」

［原稿タイプ］を選択しましたか？

取り込む原稿のタイプを選択することによって、最適な設定でコピーできます。

☞ 58 ページ「コピー品質の変更」

色合いが異なる

原稿が薄い色で印刷されていませんか？

薄い色の原稿や、文字や写真がかすれていたりする場合、きれいに取り込めない場合があります。

［濃度］の設定を変更することで、きれいに取り込める場合があります。

☞ 58 ページ「コピー品質の変更」

コピーの色合い設定を調整しましたか？

コントラストと RGB カラーバランスを設定することによって、コピーの色合いを調整できます。

☞ 58 ページ「コピー品質の変更」

コピーで使用できる印刷用紙を使用しましたか？

以下のページを参照して、使用できる用紙を確認してください。

☞ 17 ページ「印刷できる用紙」

カラーキャリブレーションしましたか？

カラーキャリブレーションすることで、正確なカラーでコピーされるように調整できます。カラーキャリブレーションの手順は、以下の通りです。

① 操作パネルの［コピー設定］－［カラーキャリブレーション］で［開始］を選択します。
② 画面の指示に従い、用紙をセットしてキャリブレーションパターンを印刷します。
③ 画面の指示に従い、印刷したキャリブレーションパターンをスキャンします。
④ 調整が完了するまで、上の手順②③を繰り返します。

ファクスのトラブル

送受信できない

受信できない

[回線種別] を設定してありますか？

お使いの電話回線に合わせて「PSTN」か「PBX」を選択してあることを確認してください。回線種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。

『セットアップガイド』（冊子）－「7. ファクス機能の初期設定（ファクスモデル）」－「回線の設定」－「対応回線の設定」

[ダイヤル種別] を設定してありますか？

お使いの電話回線に合わせて「トーン」/「10pps」/「20pps」のいずれかを選択してあることを確認してください。ダイヤル種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。

『セットアップガイド』（冊子）－「7. ファクス機能の初期設定（ファクスモデル）」－「回線の設定」－「ダイヤル種別の設定」

[受信モード] を確認しましたか？

外付け電話機を一定時間呼び出してから、本製品が応答してファクスデータを受信する［自動切替］と、外付け電話機の呼び出しを行わず、本製品が自動的に応答してファクスデータを受信する［ファクス専用］と、外付け電話機の呼び出し音を鳴らし続ける［電話専用］の着信モードがあります。

［TAM］は、留守番電話の応答中にファクス信号を検出した場合、ファクス受信に切り替えるモードです。

72 ページ「受信モードについて」

給紙装置に用紙がセットされていますか？

メモリー受信やフォルダー受信の設定にしているときでも、給紙装置に用紙がセットされていないと受信できないことがあります。用紙がセットされているか確認してください。

送信できない

[回線種別] を設定してありますか？

お使いの電話回線に合わせて「PSTN」か「PBX」を選択してあることを確認してください。回線種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。

『セットアップガイド』（冊子）－「7. ファクス機能の初期設定（ファクスモデル）」－「回線の設定」－「対応回線の設定」

[ダイヤル種別] を設定してありますか？

お使いの電話回線に合わせて「トーン」/「10pps」/「20pps」のいずれかを選択してあることを確認してください。ダイヤル種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。

『セットアップガイド』（冊子）－「7. ファクス機能の初期設定（ファクスモデル）」－「回線の設定」－「ダイヤル種別の設定」

操作パネルでファクスモードにしていますか？

ファクスするときは、操作パネルをファクスモードにしてください。

64 ページ「ファクス送信」

各種設定操作をしていませんか？

各種設定操作中はファクスできません。

設定モードを終了してしばらく待ってから（約10秒）ファクスしてください。

ファクスの受信中またはPC-FAX操作中ではありませんか？

ファクスの受信中または PC-FAX 操作中はファクス送信ができません。受信終了後または PC-FAX 終了後に送信を行ってください。

原稿通りに送受信できない

思った通りに送信できない

送信条件を設定していますか？

送付する際の濃度と画質を指定します。文字などが薄い原稿は、設定値を大きくしてください。また、原稿に合わせて画質を設定してください。

☞ 64 ページ「基本的な送信（自動送信）」

原稿を縦置きにセットして送信していませんか？

ファクスのカラー送信は A4 または B5 原稿を縦置きにセットできません。A4 または B5 原稿は横置きでセットしてください。

☞ 23 ページ「セットできる原稿」

ゴミのようなものが入る

原稿台が汚れていませんか？

原稿台を清掃してください。

☞ 199 ページ「表面の清掃」

印刷用紙が 2 枚に分割される、縮小される

印刷用紙サイズより大きいファクスデータを受信していませんか？

印刷用紙サイズより大きいファクスデータを受信した場合、本製品は 2 枚の印刷用紙に分割、または縮小して 1 枚の用紙に収まるように調整します。

☞ 73 ページ「受信できる原稿サイズ」

日付時刻 / 発信元情報が設定できない

日付時刻表示が設定した数値と違う

長時間（10 日程度）電源を切った状態にしておくと、日付時刻の設定がリセットされます。

操作パネル【各種設定】ボタンで表示するメニューから［共通設定］－［デバイス設定］－［日付時刻設定］で正しい日付と時刻を設定し直してください。

☞ 158 ページ「共通設定の項目一覧」

発信元の情報が印字されない

発信元記録機能がオンになっていますか？

操作パネル【各種設定】ボタンで表示するメニューから［ファクス設定］－［送信設定］－［発信元記録］を［する］に設定してください。

☞ 166 ページ「ファクス設定の項目一覧（ファクスモデルのみ）」

発信元名を登録しましたか？

操作パネル【各種設定】ボタンで表示するメニューから［ファクス設定］－［基本設定］－［自局情報］で発信元情報を登録してください。

☞ 166 ページ「ファクス設定の項目一覧（ファクスモデルのみ）」

EpsonNet Config から宛先が登録できない

LAN ケーブル は正しく接続されていますか？

本製品とコンピューターに、それぞれ LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

本製品のネットワークインターフェイスが正しく設定されていますか？

本製品のネットワークインターフェイスが正しく設定されていることを確認してください。

☞『ネットワークガイド』（電子マニュアル）

USB 接続していませんか？

EpsonNet Config V3 は USB 接続での設定変更ができません。ネットワーク接続で使用してください。

印刷中またはファクス送受信中ではありませんか？

本製品が印刷中またはファクス送受信中の場合、宛先の登録はできません。印刷が終了してから宛先を登録してください。

スキャンのトラブル

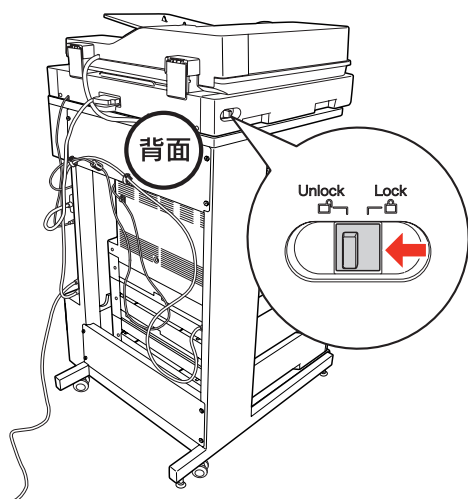
スキャンできない

スキャナー部分が動作しない

操作パネルを操作していませんか？
パネルを操作すると、しばらくの間パネル操作優先状態となります。
パネルを操作したときは、しばらく待ってから（約10秒）スキャンしてください。

各種設定操作をしていませんか？
各種設定操作中はスキャンできません。
設定モードを終了してしばらく待ってから（約10秒）スキャンしてください。

専用スキャナーケーブルが外れていませんか？
専用スキャナーケーブルが接続されていないと動作しません。本製品背面を確認して、スキャナーユニットとコントローラボックスを接続する専用スキャナーケーブルを接続してください。

輸送用固定ロックが解除されていますか？
スキャンするときは、輸送用固定ロックが解除されている（ の位置にある）必要があります。
輸送用固定ロックが の位置にあるときは、本製品の主電源を切ってから、ロックを の位置に動かしてください。

スキャン中に USB メモリーや LAN ケーブル / USB ケーブルを抜きませんでしたか？
スキャン中は USB メモリーや LAN ケーブル /USB ケーブルの抜き差しはしないでください。正しくスキャンできないことがあります。

スキャン中に主電源を切ったり、電源コードを抜きませんでしたか？
スキャン中は主電源を切ったり、電源コードの抜き差しはしないでください。正しくスキャンできないことがあります。

EPSON Scan でスキャンできない

スキャナードライバー（EPSON Scan）が正常にインストールされていない可能性があります。
スキャナードライバー（EPSON Scan）を一旦削除して、インストールし直してください。
Windows：115 ページ「ソフトウェアの削除」
Mac OS X：125 ページ「ソフトウェアの削除」
『セットアップガイド』（冊子）－「9. コンピューターの接続と設定」

コンピューターにスキャナーが認識されていますか？
EPSON Scan の設定で接続の確認をしてください。
［使用不可］と表示された場合は、スキャナードライバー（EPSON Scan）を一旦削除して、インストールし直してください。
Windows：115 ページ「ソフトウェアの削除」
Mac OS X：125 ページ「ソフトウェアの削除」
『セットアップガイド』（冊子）－「9. コンピューターの接続と設定」

コンピューターを再起動してみてください。
コンピューターを再起動すると、スキャンができるようになることがあります。

Intel 社製プロセッサー搭載のコンピューターをご使用のときに、ほかのエプソン製スキャナードライバーがインストールされていませんか？
Intel 社製プロセッサー搭載のコンピューターで、ほかのエプソン製スキャナードライバー（Rosetta/PPC 版）がインストールされていると、ご使用のスキャナードライバーが正常に動作しません。ほかのドライバーを削除してから、ご使用のスキャナードライバーをインストールしてください。
Windows：115 ページ「ソフトウェアの削除」
Mac OS X：125 ページ「ソフトウェアの削除」
『セットアップガイド』（冊子）－「9. コンピューターの接続と設定」

スキャン中に主電源を切ったり、電源コード/LAN ケーブル/USBケーブルの抜き差しをしたときは、EPSON Scan を終了して、もう一度起動してみてください。
スキャン中は主電源を切ったり、電源コード /LAN ケーブル /USB ケーブルの抜き差しはしないでください。正しくスキャンできなかったり、コンピューターが正しく動作しないことがあります。

スキャナードライバー（EPSON Scan）が単独で起動していませんか？

スキャナードライバー（EPSON Scan）が単独で起動しているときは、スキャナードライバー（EPSON Scan）が正常にインストールされていない可能性があります。

一旦、EPSON Scan を削除（アンインストール）して、もう一度インストールしてみてください。

Windows：115 ページ「ソフトウェアの削除」
Mac OS X：125 ページ「ソフトウェアの削除」
『セットアップガイド』（冊子）－「9. コンピューターの接続と設定」

TWAIN 対応アプリケーションソフトが正常にインストールされていない可能性があります。

Adobe Photoshop Elements などの TWAIN 対応アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動してスキャンできないときは、TWAIN 対応アプリケーションソフトを一旦削除して、インストールし直してください。

Windows：115 ページ「ソフトウェアの削除」
Mac OS X：125 ページ「ソフトウェアの削除」

お使いのコンピューターを変えてみてください。

別のコンピューターをお持ちの場合は、コンピューターを変えると正しく動作するようになることがあります。

PDF または Multi-TIFF 形式のスキャンで止まる

大量の原稿をスキャンしていませんか？

PDF 形式でスキャンできる原稿は 999 枚まで、Multi-TIFF 形式では 200 枚までです。

また、大量の原稿をスキャンするときは、モノクロでスキャンすることをお勧めします。

ハードディスクの空き容量は十分ですか？

ハードディスクに十分な空き容量がないと、スキャンが止まることがあります。

空き容量を増やしてください。

解像度が適切に設定されていますか？

解像度を上げるとスキャンデータのサイズは大きくなり、総データのサイズが制限を超えると、スキャンが止まります。

解像度を下げてスキャンしてみてください。

「メモリー不足により実行できません」が表示される

高圧縮 PDF を設定していませんか？

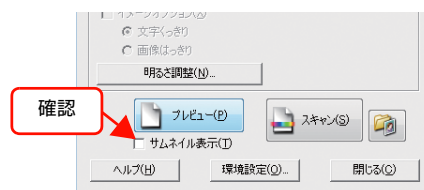
EPSON Scan で高圧縮 PDF 設定にすると、通常より処理が多くなりメモリーが不足することがあります。設定を確認してください。

EPSON Scan でプレビューがうまくできない

プレビューできない

サムネイルプレビューに対応している原稿をセットしていますか？

サムネイルプレビュー機能を使用してスキャンするときは、カラーおよびモノクロの写真原稿をセットしてください。

なお、上記の原稿をセットしても正常にスキャンできないことがあります。そのときは、ホームモードまたはプロフェッショナルモードで［サムネイル表示］をチェックせずにプレビューして、スキャンする範囲を指定してからスキャンしてください。

極端に暗い（または明るい）原稿をセットしていませんか？

以下の原稿は、正常にスキャンできないことがあります。

- 極端に暗い（または明るい）画像
- 露出がアンダー（またはオーバー）気味に撮影された画像

上記の原稿をスキャンするときは、ホームモードまたはプロフェッショナルモードで［サムネイル表示］をチェックせずにプレビューして、スキャンする範囲を指定してからスキャンしてください。

スキャン領域のサイズを調整してみてください。

［環境設定］画面の［プレビュー］タブで、［サムネイル取込領域］のスライダーを調整して、サムネイルプレビューのスキャン領域を調整してください。

原稿が切れる

A4 など大きな原稿をセットしていませんか？

A4 など大きな原稿をサムネイルプレビューすると、意図した範囲でスキャンされないことがあります。ホームモードまたはプロフェッショナルモードで［サムネイル表示］をチェックせずにプレビューして、スキャンする範囲を指定してからスキャンしてください。

プレビューの向きがおかしい

画像を自動回転してスキャンするとき、自動回転できる原稿をセットしていますか？

自動回転機能を使用してスキャンするときは、カラーおよびモノクロの写真原稿 * をセットしてください。

なお、人物や空が写っていない写真など一部の写真では、自動回転が意図した結果にならないことがあります。

そのときは、ホームモードまたはプロフェッショナルモードで、［サムネイル表示］をチェックしてからプレビューして［90 度回転］ボタンで適切な向きに回転するか、［サムネイル表示］をチェックせずにプレビューしてスキャンする範囲を指定してからスキャンしてください。

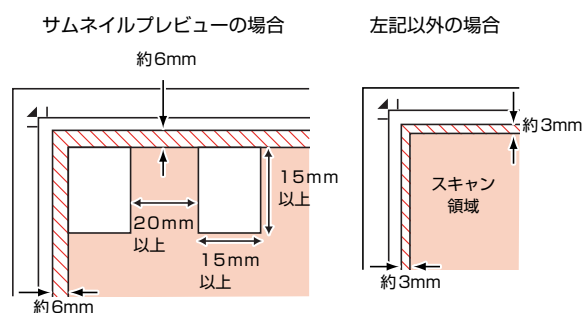
* 1 辺が 5.1cm 以下の小さな写真や A4 などの大きな写真は自動回転されません。

画面表示や設定とスキャン結果が異なる

スキャン範囲がおかしい / 原稿を認識しない

画像が切れたり、隣の画像の一部が一緒にスキャンされたりするなど、正常にスキャンできないときには、以下の項目をご確認ください。

原稿を正しくセットしていますか？

原稿台の端にはスキャンされない範囲があります。下図を確認して、スキャン領域内に原稿をセットしてください。また、複数の写真を並べてスキャンするときは、写真と写真の間隔を 20mm 以上空けてセットしてください。

サムネイルプレビューの場合

左記以外の場合

原稿台や原稿カバーが汚れていませんか？

原稿台や原稿カバーが汚れていると、汚れが画像と一緒にスキャンされます。

原稿台や原稿カバーにゴミや汚れが付いていないかご確認ください。

写真の自動回転が意図した結果にならない

画像を自動回転してスキャンするとき、自動回転できる原稿をセットしていますか？

自動回転機能を使用してスキャンするときは、カラーおよびモノクロの写真原稿 * をセットしてください。
なお、人物や空が写っていない写真など一部の写真では、自動回転が意図した結果にならないことがあります。
そのときは、ホームモードまたはプロフェッショナルモードで、［サムネイル表示］をチェックしてからプレビューして［90 度回転］ボタンで適切な向きに回転するか、［サムネイル表示］をチェックせずにプレビューしてスキャンする範囲を指定してからスキャンしてください。

* 1 辺が 5.1cm 以下の小さな写真や A4 などの大きな写真は自動回転されません。

操作パネルからのスキャンで［保存形式］に［TIFF］や［JPEG］を選んでいませんか？

操作パネルからのスキャンで自動回転するのは、ADF を使用して、［保存形式］に［PDF］を選択したときのみです。［TIFF］や［JPEG］では自動回転しません。

☞ 84 ページ「保存形式」

画像が画面に大きく表示される

解像度が高くありませんか？

アプリケーションソフトによって、高い解像度でスキャンした画像がディスプレイに大きく表示されることがあります。
アプリケーションソフトで縮小してご覧ください。印刷すると原稿と同じ大きさになります。

スキャンデータを保存できない

保存先の共有フォルダーが見つからない

保存先のコンピューターは起動していますか？

保存先のコンピューターが起動していることを確認してください。

保存先のコンピューターがネットワーク環境の場合、ネットワークにログオンしていますか？

保存先のコンピューターがネットワークにログオンしていることを確認してください。

ご利用の環境に複数のネットワークが存在していませんか？

ネットワーク環境が複数存在すると、操作パネルにコンピューターの名称が表示されないことがあります。
不要なネットワークを［無効］に設定してください。

共有フォルダーに保存できない

保存先コンピューターのハードディスクの空き容量は十分ですか？

保存先コンピューターのハードディスクの空き容量を確認してください。

保存先のコンピューターがスリープモード、または電源が切れていませんか？

スキャンデータを保存先のコンピューターに送信するまでに、コンピューターがスリープモード、または電源切れている可能性があります。保存先のコンピューターを確認してください。

保存先のフォルダーが正しく設定されていますか？

保存先のフォルダーパスを確認してください。IP アドレスで指定する場合は「\\IP アドレス \ フォルダーパス」、ドメイン名で指定する場合は「\\ デバイス名＋ドメイン名 \ フォルダーパス」になっていることを確認してください。

☞ 85 ページ「共有フォルダーに保存」

保存先のユーザー名が正しく設定されていますか？

保存先のユーザー名とパスワードを確認してください。特に、ドメイン名を付加する場合は「ドメイン名 \ ユーザー名」になっていることを確認してください。

☞ 85 ページ「共有フォルダーに保存」

DNS サーバーが正しく設定されていますか？

保存先をドメイン名で指定する場合は、ネットワーク上に名前解決できる DNS サーバーが必要です。
ネットワークの状態を確認してください。

保存先のフォルダーへのアクセス権限がありますか？

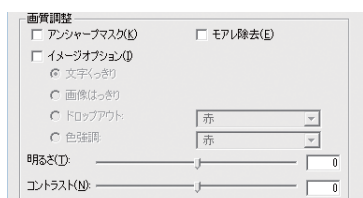
保存先のフォルダーへ書き込み、読み込みできる権限があることを確認してください。

スキャン品質が悪い

画像が暗い

EPSON Scan を使用している場合は、画質調整機能を使ってみてください。

明るさとコントラストを調整してみてください。

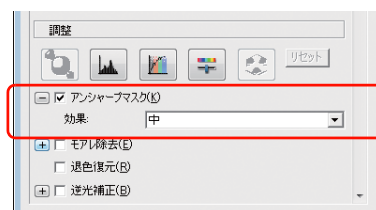
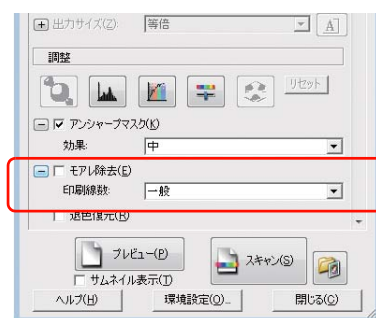
<オフィスモード>

<プロフェッショナルモード>

画像がぼやける

解像度が低くありませんか？

低い解像度でスキャンすると、文字がぼやけます。
解像度を上げてスキャンしてみてください。

EPSON Scan を使用している場合は、画質調整機能を使ってみてください。

- EPSON Scan のプロフェッショナルモードで画像をプレビューした後、スキャン範囲を指定してから［自動露出］をクリックしてみてください。
- ［アンシャープマスク］機能を使用してみてください。

なお、［アンシャープマスク］機能を使用すると、モアレ（網目状の陰影）が生じることがあります。モアレが生じるときは［モアレ除去］機能を使用してみてください。

画像の色合いがおかしい / 原稿の色と違う

ディスプレイの表示は正しく調整されていますか？

ディスプレイはその機器ごとに表示特性が異なり、赤っぽく表示するディスプレイもあれば、青っぽく表示するディスプレイもあります。偏った表示をしている状態では、スキャンした画像を適切な明るさや色合いで表示することはできません。ディスプレイの表示をご確認ください。

出力装置（原稿、ディスプレイ）の発色方法の違いによる差です。

スキャンする原稿の色合いとディスプレイ表示の色合いは、発色方法が違うため、差異が生じます。

スキャンする原稿とスキャン設定は合っていますか？

スキャンする原稿と［イメージタイプ］や［原稿種］などのスキャン設定が合っていないと、スキャン品質は悪くなります。
スキャン設定をご確認ください。

裏写りする

裏が透けて見える薄い原稿をセットしていませんか？

原稿が薄いときは、裏写りしてスキャンされることがあります。

原稿の裏側に黒い用紙や下敷きを重ねてスキャンしてみてください。また、EPSON Scan の補正機能を使用してみてください。

☞ 154 ページ「書類の文字をくっきり」
☞ 155 ページ「PDF ファイルにまとめてスキャン」

スキャンする原稿とスキャン設定は合っていますか？

スキャンする原稿と［イメージタイプ］や［原稿種］などのスキャン設定が合っていないと、スキャン品質は悪くなります。

スキャン設定をご確認ください。

画像にモアレ（網目状の陰影）が出る

モアレ（網目状の陰影）が発生するときは、原稿の向きを変えてスキャンしてみてください。

原稿の向きを変えることで、モアレを除去できることがあります。

画像の向きは、スキャン後にご使用のアプリケーションソフトで回転させてください。

EPSON Scan の補正機能を使用してみてください。

EPSON Scan では、明るさやコントラストなどの補正を加えてスキャンできます。スキャン後に画像編集ソフトで補正する場合に比べて、画質の劣化を抑えられます。

☞ 91 ページ「EPSON Scan の便利なスキャン機能」

モアレ（網目状の陰影）が発生するときは、モアレ除去機能を使用してみてください。また、［プロフェッショナルモード］で［解像度］の設定を変更してスキャンしてみてください。

EPSON Scan のモアレ除去機能を使用すると、モアレの発生を防止できます。

☞ 153 ページ「モアレを除去」

また、プロフェッショナルモードで［解像度］の設定を変更すると、モアレを除去できることがあります。

画像にムラ / シミ / 斑点が出る

原稿台や原稿カバーが汚れていませんか？

原稿台や原稿カバーが汚れていると、汚れが画像と一緒にスキャンされます。

原稿台や原稿カバーにゴミや汚れが付いていないかご確認ください。

☞ 199 ページ「表面の清掃」

原稿カバーや原稿を強く押さえ付けていませんか？

原稿カバーや原稿を強く押さえ付けてスキャンすると、ムラ、シミ、斑点が出ることがあります。

強く押さえ付けないようにしてください。

また、写真の紙質や表面の加工状態によっても、ムラや斑点が出ることがあります。そのときは、原稿のセット位置をずらしてみてください。

テキストデータに変換するときの認識率が悪い

原稿を斜めにセットしていませんか？

原稿を斜めにセットしていると、認識率が低下します。

まっすぐセットしてください。また、原稿カバーは、原稿がずれないようにゆっくり閉じてください。

原稿の文字がくっきりしていますか？

以下の原稿では、認識率が下がることがあります。

文字のくっきりしている原稿を使用してください。

- 何度もコピーした原稿
- ファクス受信した原稿（解像度が低い原稿）
- 文字間や行間が狭すぎる原稿
- 文字に罫線や下線がかかっている原稿
- 草書体、行書体、毛筆体、斜体などのフォントや、8 ポイント未満の小さな文字が使われている原稿
- 折り跡やしわがある原稿
- 本の綴じ込み付近
- 手書き文字

解像度が低くありませんか？

低い解像度でスキャンすると、文字がぼやけます。

解像度を上げてスキャンしてみてください。

EPSON Scan の補正機能を使用してみてください。

EPSON Scan では、ぼやけている文字をくっきりとスキャンできます。

- しきい値の調整機能
  白と黒の境を決める値を調整して文字をくっきりさせます。
  ☞ 91 ページ「EPSON Scan の便利なスキャン機能」
- 文字くっきり機能
  輪郭を強調して文字をくっきりさせます。
  ☞ 154 ページ「書類の文字をくっきり」

画像にスジが入る

原稿台や原稿カバーが汚れていませんか？

原稿台や原稿カバーが汚れていると、汚れが画像と一緒にスキャンされます。
原稿台や原稿カバーにゴミや汚れが付いていないかご確認ください。
☞ 199 ページ「表面の清掃」

オートドキュメントフィーダー内部のローラーが汚れていませんか？（ADF モデル / ファクスモデルのみ）

オートドキュメントフィーダー内部の給紙用ローラーが汚れていると、スキャン結果の汚れや給紙不良の原因になります。
ローラーの清掃方法は以下を参照してください。
☞ 198 ページ「ADF のクリーニング」

スキャンに時間がかかる

節電モードになっていませんか？

節電状態からスキャンを実行すると、動作開始の前にウォームアップしますので、時間がかかることがあります。

解像度が高くありませんか？

高い解像度でスキャンすると、スキャンに時間がかかります。

EpsonNet Config から宛先が登録できない

LAN ケーブルは正しく接続されていますか？

本製品とコンピューターに、それぞれ LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

本製品のネットワークインターフェイスが正しく設定されていますか？

本製品のネットワークインターフェイスが正しく設定されていることを確認してください。
☞『ネットワークガイド』（電子マニュアル）

USB 接続していませんか？

EpsonNet Config V3 は USB 接続での設定変更ができません。ネットワーク接続で使用してください。

印刷中またはファクス送受信中ではありませんか？

本製品が印刷中またはファクス送受信中の場合、宛先の登録はできません。印刷が終了してから宛先を登録してください。

パネルメッセージ

操作パネルには、インフォメーションメッセージ、エラーメッセージ、ワーニングメッセージの 3 種類のメッセージが表示されます。

14 ページ「操作パネル」

ここでは、コンピューターから本製品を使用する際に表示されるメッセージについても併せて記載しています。

インフォメーションメッセージ

本製品が正常に動作している場合は、ステータスメッセージ（現在の状態）を表示します。

メッセージ	説明
A3,B4,A4,B5 サイズの用紙がありません	［割り付け］（コピーモード）の［用紙］で用紙サイズが A3、B4、A4、B5 以外の給紙装置を選択しました。
A4,B5 サイズの用紙がありません	［ページ連写］（コピーモード）の［用紙］で用紙サイズが A4、B5 以外の給紙装置を選択しました。
DNS エラー	メール設定の接続テストでDNSサーバーによる名前解決ができませんでした。DNSサーバーの設定を確認してください。IP アドレスで指定すると解決できることがあります。
PC-FAX 保存実行中のためスキャンできません	ファクスデータを保存先フォルダーに保存しているときにスキャンを実行しようとしました。
RAM CHECK	本製品の RAM を確認中です。
ROM CHECK	本製品の ROM を確認中です。
SELF TEST	自己診断と初期化を行っています。
USB メモリを認識できません	USB メモリーを取り付けずにプリントモードで［USB メモリ］を選択しました。
宛先を選んでください 宛先を指定してください	宛先が設定されていません。
印刷可能なファイルがありません	USB メモリー内に印刷可能なデータがありません。
印刷ジョブを受けつけました	USB メモリーからの印刷またはパスワード印刷を開始しました。
印刷できます	印刷可状態で、本製品に送られているデータがない状態です。
ウォーミングアップ中	ウォーミングアップ中です。
エラーの原因が解消されていません	エラーが発生しているため操作できません。エラーを解消してください。
紙種を確認してください	印刷時に設定した用紙サイズと紙種の両方が一致する給紙装置が見つからないため、用紙サイズが優先され、設定とは異なる紙種の用紙に印刷しました。
カラーキャリブレーション実行中	カラーキャリブレーション中です。中止するには、【ストップ】ボタンを押します。
カラーキャリブレーション パターンを印刷しています	カラーキャリブレーションシートを印刷中です。中止するには、【ストップ】ボタンを押します。
カラースキャン中	カラースキャン中です。
カラーファクス送信中	カラーファクスを送付しています。
原稿番号が異なります 直前に印刷した原稿を正しくセットしてください	カラーキャリブレーション実行中にスキャンしようとした原稿が違います。

メッセージ	説明
コピーできます	コピー可能状態です。
実行できません しばらく待ってから再度実行してください	EpsonNet Config などからの接続テスト中に、操作パネルからフォルダー保存やメールを送信しようとしました。しばらく待ってから操作してください。
しばらくお待ちください	トナー交換後、トナーカートリッジをセット位置に調整中です。
しばらくお待ちください xxxx 中です	モード動作中に他のモードに切り替えようとしました。しばらく待ってから操作してください。
しばらくお待ちください ファクス動作中です。終了後再度設定してください。	ファクス動作中に操作パネルで設定しようとしました。しばらく待ってから設定してください。
しばらく待ってから実行してください	複数の印刷ジョブが蓄積されている状態で USB メモリーからの印刷を指定しました。しばらく待ってから操作してください。
受話器を戻してください	外付け電話を利用した送受信でファクス送受信を開始しました。
ジョブがありません	パスワード印刷のジョブがありません。
ジョブキャンセル中	• 操作パネルの【ストップ】ボタンを押して、データ処理を中止しました。 • コンピューター側のプリンタードライバーで印刷中の処理を中止しました。
ジョブ蓄積中のため設定できません	ファクス送受信データをメモリーに蓄積しているときに操作パネルで出力先設定を変更しようとしました。
ジョブを選択してください	ジョブ選択画面でジョブを選択せずに印刷しようとしました。
スキャナエラー XXXXX できません	スキャナーユニットにエラーが発生しました。 再度実行しても発生するときは、一旦主電源を切って、数分後に主電源を入れます。
スキャナ使用中	本製品にネットワーク接続されたコンピューターからスキャナーを使用しています。
ステータスシート印刷中	ステータスシート、ネットワークステータスシートを印刷中です。
接続エラー	保存先設定やメール設定の接続テストで相手先コンピューターまたはメールサーバーへ接続できませんでした。相手先コンピューターまたはメールサーバーとの接続設定を確認してください。
設定変更中	設定を変更中です。
全ジョブキャンセル中	操作パネルの【ストップ】ボタン操作によってすべてのジョブを中止しました。
外付け電話使用中	外付け電話で回線使用中です。
ダイヤルしてください	オンフックで電話番号入力待ちの状態です。
添付ファイルサイズオーバー	保存形式が PDF/TIFF（シングルページ）または JPEG の場合に、送信するデータの容量が設定しているサイズより大きくなっています。［継続］を選択すると、添付ファイル最大サイズに収まるページまでのスキャンデータを送信します。［中止］を選択すると送信しません。 添付ファイル最大サイズ設定を変更するか、解像度を落とすなどして、ファイルサイズが小さくなるようにしてスキャンし直してください。
認証エラー	メール設定の接続テストでメールアドレスとユーザー名がメールサーバーの設定と一致しませんでした。メールアドレスとユーザー名を確認してください。
倍率を自動倍率にしたため用紙の設定を変更しました	［用紙］が［自動］に設定されている状態で［倍率］を［自動］に設定したため、［用紙］の設定が［カセット 1］に変更されました。
倍率を任意倍率にしたため用紙の設定を変更しました	［用紙］が［自動］に設定されている状態で［倍率］を［任意］に設定したため、［用紙］の設定が［カセット 1］に変更されました。
はがきサイズは紙種を変更できません	ハガキサイズの用紙を選択している状態で紙種を変更しようとしました。

メッセージ	説明
パスワードが違います	パスワード印刷で間違ったパスワードを入力しました。
ファイル確認中 XXX 個	USB メモリーのファイルを確認しています。
ファイルを選択してください	USB メモリーからの印刷またはパスワード印刷でファイルを選択せずに印刷しようとしました。
ファクス印刷可能な用紙がありません	給紙装置にファクス印刷可能なサイズの用紙（A3/B4/A4/B5）がセットされていないため、未印刷の受信データがあります。 給紙装置にファクス印刷可能なサイズの用紙（A3/B4/A4/B5）をセットするとメッセージは自動的に消え、受信データの印刷を開始します。
ファクスツール使用中	ネットワーク上のコンピューターから、ファクス関連情報にアクセスしています。しばらく待ってから操作してください。
フォルダを選んでください	スキャンデータの保存先が設定されていません。
プリンタエラー コピーできません	プリンター部にエラーが発生しました。 再度実行しても発生するときは、一旦主電源を切って、数分後に主電源を入れます。
プリンタ調整中	良好な印刷品質を保つために、本製品が機能の自動調整を行っています。しばらくお待ちください。なお、印刷実行中にこのメッセージが表示されたときは、印刷処理を一時中断します。自動調整が完了すると操作パネル表示が消え、自動的に印刷を再開します。
プリンタ冷却中	連続印刷などで定着ユニットの温度が高くなりました。温度が下がると自動的に印刷を再開します。
プリントしています	本製品の内部に残っている印刷データを印刷中です。
ページ連写が設定されています ページ連写を解除してください	［ページ連写］が［する］に設定されている状態で［原稿サイズ］または［用紙］を変更しようとしました。
ページ連写を設定したため割り付けを解除しました	［割り付け］が［する］に設定されている状態で［ページ連写］を［する］に設定したため、［割り付け］の設定が解除されました。
保存先 PC への書き込みテスト 正常終了しました	保存先設定の接続テストが正常終了しました。
保存先 PC への書き込みをテスト中 しばらくお待ちください	保存先設定の接続テスト中です。しばらく待ってから操作してください。
未入力です 入力してください	メールアドレス登録、フォルダーパス登録でアドレスなどでパスを入力せずに【OK】ボタンを押しました。
メール送信テスト 正常終了しました	メール設定の接続テストが正常終了しました。
メール送信テスト中 しばらくお待ちください	メール設定の接続テスト中です。しばらく待ってから操作してください。
メモリ受信中はレポート印刷できません	［メモリ受信］が［する］に設定されている状態で［レポート印刷］をしようとしました。
モノクロスキャン中	モノクロスキャン中です。
モノクロファクススキャン中	モノクロファクスモードで原稿をスキャンしています。
モノクロファクス送信中	モノクロファクスを送付しています。
用紙サイズを確認してください	ファクス印刷時、給紙装置の用紙サイズ設定とは異なるサイズの用紙が給紙装置にセットされていました。 各給紙装置にセットしている用紙のサイズと、操作パネルの【各種設定】ボタンを押し、［プリンタ設定］－［給紙装置設定］で設定した用紙サイズを確認してください。 ☞ 156 ページ「操作パネルによる設定 / 確認」

メッセージ	説明
用紙選択を自動にしたため倍率を定形倍率100% にしました	［倍率］が［自動］または［任意］に設定されている状態で［用紙］を［自動］に設定したため、［倍率］の設定が［100%］に変更されました。
リセット	現在使用中のインターフェイスに対してメモリーに保存されたデータを破棄し、エラーを解除中です。
リセットオール	印刷を中止後、本製品の主電源を入れた直後の状態まで初期化し、すべてのインターフェイスに対してメモリーに保存されたデータを破棄しています。しばらくお待ちください。
両面印刷できません 用紙の選択を変更してください	［用紙］に［はがき］がセットされた給紙装置、［両面］に［する］の設定を組み合わせました。用紙の選択を変更してください。
割り付けが設定されています 割り付けを解除してください	［割り付け］が［する］に設定されている状態で［原稿サイズ］または［用紙］を変更しようとしました。
割り付けを設定したためページ連写を解除しました	［ページ連写］が［する］に設定されている状態で［割り付け］を［する］に設定したため、［ページ連写］の設定が解除されました。

エラーメッセージ

トラブルが発生した場合に、エラーメッセージを表示して動作を停止します。動作を再開するには、以下の説明を参照して、エラー状態の解除に必要な処置を行ってください。メッセージは五十音順に掲載してあります。

- 用紙が詰まったときの対処方法は、以下のページを参照してください。
  ☞ 206 ページ「用紙が詰まった」
- 消耗品の交換方法は、消耗品に添付のマニュアルまたは以下のページを参照してください。
  ☞ 185 ページ「消耗品の交換」

メッセージ	説明
A3,B4,A4,B5 に変更してください	［割り付け］コピーを実行する際は、［用紙］の設定を A3、B4、A4、B5 サイズの用紙がセットされた給紙装置にしてください。 ☞ 49 ページ「割り付けコピー」
ADF カバーが開いています	ADF のカバーが開いています。ADF のカバーを閉じてください。 ☞ 211 ページ「ADF」
ADF メンテナンスユニットを交換してください	ADF 部品の寿命です。交換は、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。 ☞ 263 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
N/W モジュールエラー	ネットワークプログラムが正しくありません。本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
OHP シートが正しくありません	OHP シートを設定したのに OHP シート以外が給紙されたか、OHP シート以外の設定をしたのに OHP シートが給紙され、紙詰まりが発生しました。 カバー A およびカセット 1 を開けて詰まった用紙を取り除いてください。 ☞ 210 ページ「C1 ～ C3 A（カセット /A レバー）」 詰まった用紙をすべて取り除き、正しい種類の用紙をセットすると印刷を再開します。
Optional RAM Error	メモリーを認識できません。 一旦主電源を切って、正しいメモリーを取り付けてください。
Service Req ＊＊＊＊＊	サービスコールエラーが発生しました。「＊＊＊＊＊」の部分はエラーの分類とコード番号を表します。 一旦主電源を切って、数分後に主電源を入れます。再度発生したときは、操作パネルの表示を書き写してから、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
USB メモリエラー	USB メモリーが故障しています。【OK】ボタンを押すとエラーを解除します。
USB メモリが装着されていません	USB メモリーが接続されていません。【OK】ボタンを押すとエラーを解除します。
USB メモリの容量不足で書き込めません	USB メモリーにデータを保存するための空き容量がありません。【OK】ボタンを押すとエラーを解除します。
USB メモリライトエラー	USB メモリーへのデータの保存に失敗しました。【OK】ボタンを押すとエラーを解除します。
USB メモリライトプロテクト	USB メモリーが書き込み禁止状態になっています。
オーバーランエラー	印刷内容が複雑で、プリンターの処理が追いつきません。 • ［共通設定］－［デバイス設定］メニューの［自動エラー解除］が［しない］（初期設定）に設定されている場合は、以下の 2 つのうち、いずれかの操作を行ってください。 (1) 【OK】ボタンを押します。 (2) 印刷を中止する場合は、【ストップ】ボタンを押します。 • ［共通設定］－［デバイス設定］メニューの［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラー状態が解除され、セットされている用紙に印刷します。

メッセージ	説明
カセット＊に用紙を横長に入れてください	「＊」に表示された番号の用紙カセットにセットされている用紙を、横置きにセットしてください。 ☞ 19 ページ「用紙カセット 1 ～ 3 へのセット方法」
カセット＊をセットしてください	「＊」に表示された番号の用紙カセット、またをそれより上の段の用紙カセットが、本製品に正しくセットされていません。 用紙カセットを正しくセットしてください。
カセットエラー	用紙カセットのエラーが発生しました。 用紙カセットが正しくセットされているか確認し、プリンターの電源を入れ直してください。 ☞ 19 ページ「用紙カセット 1 ～ 3 へのセット方法」
＊＊＊カバーが開いています	「＊＊」に表示されるカバーが開いています。または確実に閉じられていません。 「＊＊」には開いているカバーが表示されます。 A：カバー A（本体前側） D：カバー D（本体上部） 表示されているカバーを閉じると、エラー状態が解除されます。
紙をセットしてください ttt sss	指定したサイズの用紙がどの給紙装置にもセットされていません。またはすべての給紙装置に用紙がセットされていません。ttt で表示される給紙装置に sss で表示されるサイズの用紙をセットしてください。
紙を取り除いてください ＊＊＊＊＊＊＊	「＊＊＊＊＊＊＊」の部分に表示される箇所で用紙詰まりが発生しました。用紙詰まりが複数の箇所で発生している場合、「＊＊＊＊＊＊＊」の部分にはパネルに表示可能な範囲まで表示されます。 以下のページを参照して、「＊＊＊＊＊＊＊」の部分に表示される箇所から詰まった用紙を取り除いてください。 ☞ 206 ページ「用紙が詰まった」 詰まった用紙をすべて取り除き、カバーを閉じるとエラー状態が解除され、詰まった用紙の印刷データから印刷を再開します。
カラーキャリブレーションエラー	キャリブレーションが失敗しました。【OK】ボタンを押してエラーを解除した後、再度キャリブレーションを実行してください。
カラーファクスは送信できません	以下のような場合に表示されます。 ①カラーに対応していないファクス機にカラーファクスを送信しようとした。 カラー機能に対応していない送付先へは【モノクロ】ボタンを押してファクスを送信してください。 ②グループダイヤルを使ったファクス送信で、【カラー】ボタンが押された。 グループダイヤルを使ったファクス送信では、カラーでの送信ができません。【モノクロ】ボタンを押してファクスを送信してください。 ③ファクス受信中にカラーファクスを送信しようとした。 ファクスの受信中はファクス送信ができません。受信終了後に送信してください。
感光体ユニットが故障です	感光体ユニットが故障しています。感光体ユニットを、使用可能なものに交換してください。交換後、排紙トレイとカバー A を閉じるとエラーが解除されます。 ☞ 188 ページ「感光体ユニットの交換」
感光体ユニットが正しくありません	感光体ユニットは、本製品で使用できない感光体ユニットです。感光体ユニットを、本製品で使用可能なものに交換してください。交換後、排紙トレイとカバー A を閉じるとエラーが解除されます。 ☞ 188 ページ「感光体ユニットの交換」
感光体ユニットを交換してください （エラーランプが点滅）	感光体ユニットの寿命が近付きました。 このままの状態でも印刷可能です。新しい感光体ユニットを用意してください。 「感光体ユニットを交換してください」とエラーメッセージが表示され、エラーランプが点灯したら、新しい感光体ユニットと交換してください。交換後、排紙トレイとカバー A を閉じるとエラーが解除されます。 ☞ 188 ページ「感光体ユニットの交換」
感光体ユニットを交換してください （エラーランプが点灯）	感光体ユニットの寿命です。 感光体ユニットを交換してください。交換後、排紙トレイとカバー A を閉じるとエラーが解除されます。 ☞ 188 ページ「感光体ユニットの交換」

メッセージ	説明
感光体ユニットを取り付けてください	感光体ユニットがセットされていません。 感光体ユニットを取り付けてください。取り付け後、排紙トレイとカバー A を閉じるとエラーが解除されます。 ☞『セットアップガイド』（冊子）
感光体ユニットを取り外してください	本製品のセットアップ時、トナーカートリッジをセットする前に感光体ユニットを装着しました。 カバー A と排紙トレイを開け、感光体ユニットを取り外し、正しい手順で本製品をセットアップしてください。 ☞『セットアップガイド』（冊子）
給紙ローラ＊＊＊＊を交換してください	「＊＊＊＊」に表示されている給紙ローラーの寿命です。 交換は、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。 ☞ 263 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
原稿が異常です	セットされている原稿が異常です。原稿を確認してセットし直してください。 ☞ 17 ページ「原稿と用紙のセット方法」
原稿の向きを横置きでセットしてください	ファクスのカラー送信で A4 または B5 原稿を縦置きにセットしています。カラーファクス送信時の A4 または B5 原稿は横置きでセットしてください。原稿の向きを変えてもメッセージが表示されるときは、［原稿サイズ］を確認し、正しい原稿サイズと向き（A4 縦 /B5 縦以外）に設定してください。
＊＊＊＊現像ユニットを交換してください	「＊＊＊＊」に表示されている色の現像ユニットの寿命です。 交換は、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。 ☞ 263 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
サービスへ連絡ください E ＊＊＊＊ Service Req C ＊＊＊＊	サービスコールエラーが発生しました。「＊＊＊＊＊」の部分はエラーの分類とコード番号を表します。 一旦主電源を切って、数分後に主電源を入れます。再度発生したときは、操作パネルの表示を書き写してから、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
指定されたフォルダが開けませんでした	フォルダーパス、ユーザー名、パスワードのいずれかが間違っているためアクセスできませんでした。保存先の設定を確認してください。
指定された用紙は両面印刷できません	両面印刷実行時、用紙のサイズまたは種類が両面印刷不可能なため、両面印刷の実行を中止します。 • ［共通設定］ − ［デバイス設定］メニューの［自動エラー解除］が［しない］（初期設定）に設定されている場合は、以下の 2 つのうち、いずれかの操作を行ってください。 (1) 【OK】ボタンを押すと、セットされている用紙に片面印刷します。 (2) 印刷を中止する場合は、【ストップ】ボタンを押します。 • ［共通設定］ − ［デバイス設定］メニューの［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラー状態が解除され、セットされている用紙に片面印刷します。
スキャナ ADF エラー	ADF とスキャナーユニットの接続に異常が発生しました。本製品背面のスキャナーユニットとコントローラボックスを接続するコネクターが接続されているか確認して、一旦主電源を切って、再度主電源を入れます。再度エラーが発生する場合は、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
スキャナエラー 実行できませんでした	スキャナーユニットにエラーが発生しました。 一旦主電源を切って、数分後に主電源を入れます。【スタート】ボタンを押して再度実行します。エラーが再度発生したときは、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」

メッセージ	説明
スキャナランプエラー	キャリッジに異常が発生しました。一旦主電源を切って、再度主電源を入れます。再度エラーが発生する場合は、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
スキャナロックエラー	輸送用固定ロックがロック位置になっているか、キャリッジの動作に異常が発生している、または専用スキャナーケーブルが接続されていません。 輸送用固定ロック位置になっているときは、固定ロックを解除位置に合わせてから、本製品の主電源を入れ直してください。 専用スキャナーケーブルが接続されていないときは、一旦主電源を切って、専用スキャナーケーブルを接続してから、再度主電源を入れます。 再度エラーが発生するときは、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 ☞ 13 ページ「スキャナーユニット / 内部・左側面」 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
設定された保存先は使用できません	フォルダーパスの指定にサポートされていない文字が含まれています。保存先の設定を確認してください。
設定されたユーザー名は使用できません	ユーザー名の指定にサポートされていない文字が含まれているか、またはユーザー名の文字数制限（30 文字）、ドメインの文字数制限（15 文字）を越えています。保存先の設定を確認してください。
全面コピーは原稿台から行ってください	ADF に異なるサイズの原稿をセットして全面コピー機能は使用できません。原稿台に原稿をセットしてください。
詰まった原稿を取り除いてください	ADF で読み取る原稿が詰まりました。 ☞ 211 ページ「ADF」
データサイズオーバー	保存形式が PDF/TIFF（マルチページ）の場合に、送信するデータの容量が設定しているサイズより大きくなっています。添付ファイル最大サイズ設定を変更するか、解像度を落とすなどして、ファイルサイズが小さくなるようにしてください。
定着ユニットを交換してください	定着ユニットの寿命です。 定着ユニットを交換してください。 交換は、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。 ☞ 263 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
＊＊＊＊トナーカートリッジが故障です	「＊＊＊＊」には C、M、Y、K のいずれかが表示され、故障しているトナーカートリッジの色を示しています。 C：シアン　M：マゼンタ Y：イエロー　K：ブラック 表示された色のトナーカートリッジを正常なものに交換してください。交換後に主電源を入れ直してください。 ☞ 185 ページ「トナーカートリッジの交換」
＊＊＊＊トナーカートリッジを交換してください	• 操作パネルから「トナーカートリッジ交換」を実行しました。 • 「＊＊＊＊」には C、M、Y、K のいずれかが表示され、交換が必要なトナーカートリッジの色を示しています。 C：シアン　M：マゼンタ Y：イエロー　K：ブラック • 表示される色のトナーカートリッジを交換します。取り付けた後、カバー D を閉じるとエラーが解除されます。 ☞ 185 ページ「トナーカートリッジの交換」
＊＊＊＊トナーカートリッジを取り付けてください	「＊＊」に表示される色のトナーカートリッジがセットされていません。 「＊＊」には C、M、Y、K のいずれかが表示され、取り付けが必要なトナーカートリッジの色を示しています。 C：シアン　M：マゼンタ Y：イエロー　K：ブラック 表示される色のトナーカートリッジを取り付けます。取り付けた後、カバー D を閉じるとエラー状態が解除されます。 ☞ 185 ページ「トナーカートリッジの交換」

メッセージ	説明
＊＊＊＊トナーが正しくありません	「＊＊」に表示される色のトナーカートリッジに何らかの異常があるため使用できません。正しいトナーカートリッジがセットされているか確認してください。 操作パネルの表示が消えないときは、新しいトナーカートリッジとの交換をお勧めします。
二次転写ユニットを交換してください	二次転写ユニットの寿命です。 二次転写ユニットを交換してください。 交換は、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。 ☞ 263 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
濃度エラー　印刷不可能	印刷濃度が高すぎるため、紙詰まりが発生しました。 詰まっている用紙を取り除き、主電源を入れ直してください。 ☞ 206 ページ「用紙が詰まった」
非サポート USB デバイス＊＊＊	本製品がサポートしていない USB 機器が本製品前面のコネクターに接続されました。USB Hub が装着されると＊＊＊部に Hub と表示されます。接続している機器を取り外して、【OK】ボタンを押すとエラーが解除されます。本製品に接続可能な USB デバイスの詳細は、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp/）をご覧ください。
ファイル名重複で書き込めません	USB メモリーまたはフォルダー内に保存しようとしたファイル名と同一名のファイルが存在します。USB メモリーまたはフォルダー内のファイルを移動または削除してください。【OK】ボタンを押すとエラーを解除します。
ファクスエラー	ファクスユニットにエラーが発生しました。 一旦主電源を切って、数分後に主電源を入れます。再度発生したときは、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 ファクス以外のモードで使用する場合は、【OK】ボタンを押すと、操作が続行できます。 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
ファクス開始できません	ファクスの受信中または PC-FAX 操作中はファクス送信ができません。受信終了後または PC-FAX 終了後に送信を行ってください。
ファクス画像データエラー xx	受信データまたは処理中に問題が発生し、ファクスの受信処理が正常に行われませんでした。 頻繁に発生するときは、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
ファクス送信できませんでした	送付先との通信ができず、ファクスが送信できませんでした。しばらく待ってから送信してください。また、送付先の番号が正しいか確認してください。
ファクス通信エラー	ファクスの送受信中にエラーが発生しました。 【OK】ボタンを押すことでエラーは解除されます。
ファクスツール使用中にエラーが発生しました	ファクスファームウェアの書き込みに失敗しました。 一旦主電源を切って、数分後に主電源を入れます。再度発生したときは、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
ファクスバックアップメモリを交換してください ファクスバックアップメモリエラー	ファクスバックアップメモリーの不具合でデバイスエラーが発生しました。 すべてのファクス受信文書が印刷されたことを確認し、一旦主電源を切って、数分後に主電源を入れます。 電源再投入後にバックアップメモリー使用率が0%にならない場合は、ファクスバックアップメモリクリアを行ってください。 ☞ 181 ページ「各設定を工場出荷時に戻す」 再度発生したときは、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
ファクスメモリ不足です	ファクスのメモリー不足でファクス送受信ができませんでした。蓄積しているジョブの処理を待って送受信してください。

メッセージ	説明
フォルダの容量不足で書き込めません	フォルダーの容量不足で書き込みに失敗しました。【OK】ボタンを押すとエラーを解除します。
フォルダライトエラー	フォルダーへの書き込みに失敗しました。【OK】ボタンを押すとエラーを解除します。
プリンタの電源が入っていません	プリンター部の電源が入っていません。 一旦主電源を切って、数分後にプリンター部の電源を入れてから主電源を入れます。
ページ連写は原稿台から行ってください	ページ連写機能は ADF を使用できません。原稿台に原稿をセットしてください。
メモリ不足で印刷できません メモリ不足で実行できません	処理中にメモリー不足、メモリーに対する不正な処理が発生し、動作が続行できなくなりました。 • ［共通設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］が［しない］（初期設定）に設定されている場合は、以下の 2 つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1)【OK】ボタンを押します。 (2)【ストップ】ボタンを押します。 • ［共通設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後に、エラー状態が解除されます。 • 改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。 (1) アプリケーションソフトのマニュアルを参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 (2) プリンタードライバーで［印刷品質］を［はやい］に設定する。 (3) プリンタードライバーで［印刷モード］を［標準（PC）］に設定する。 (4) メモリーを増設する。 (5) 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。
メモリ不足で両面印刷できませんでした	両面印刷実行時、印刷データを扱うためのメモリーが足りないため、裏面側が印刷できません。この場合、表面側のみ印刷して排紙します。 • 以下の 2 つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1) 表面側のみ印刷された用紙を裏返してもう一度セットし、【OK】ボタンを押すと片面印刷で印刷を再開します。 (2) 【ストップ】ボタンを押して、印刷を中止します。 • 再度改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。 (1) アプリケーションソフトのマニュアルを参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 (2) プリンタードライバーで［印刷品質］を［はやい］に設定する。 (3) プリンタードライバーで［印刷モード］を［標準（PC）］に設定する。 (4) メモリーを増設する。 (5) 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。
メール送信エラー	メールが送信できませんでした。メール設定を確認して、接続テストしてください。
メンテナンスユニットを交換してください	メンテナンスユニットの寿命です。交換は、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
有効な画像領域が設定されていません	［倍率］、［用紙］、［とじしろ］、［影消し］の設定値が正しくないため、スキャンできません。【OK】ボタンを押すとエラーを解除します。
用紙の選択を A4 か B5 に変更してください	［ページ連写］コピーを実行する際は、［用紙］の設定を A4 または B5 サイズの用紙がセットされた給紙装置にしてください。 ☞ 55 ページ「見開き原稿を左右別々にコピー」
用紙の選択を変更してください	給紙装置の用紙サイズと操作パネルの設定が一致しません。セットされている用紙サイズと操作パネルの設定を確認してください。 【OK】ボタンを押すとエラーを解除します。 ☞ 156 ページ「操作パネルによる設定 / 確認」

メッセージ	説明
用紙を交換してください ttt sss	給紙をしようとした給紙装置（ttt）にセットされている用紙サイズと、印刷する用紙サイズ（sss）が異なっています。 • 用紙ガイドが用紙サイズに合っているか確認してください。 • ［共通設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］が［しない］（初期設定）に設定されている場合は、以下の 3 つのうち、いずれかの操作を行ってください。 (1) 給紙装置（ttt）にサイズ（sss）の用紙をセットし、【OK】ボタンを押して印刷します。 ☞19 ページ「用紙のセットと排紙」 (2) 用紙を交換しないで【OK】ボタンを押します。セットされている用紙に印刷します。 (3) 印刷を中止する場合は、【ストップ】ボタンを押します。 • ［共通設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］を［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラー状態が解除され、セットされている用紙に印刷します。
両面印刷できません	両面印刷実行時、用紙のサイズまたは種類が両面印刷不可能なため、または両面ユニットが使用できないため両面印刷の実行を中止します。 • ［共通設定］－［デバイス設定］メニューの［自動エラー解除］が［しない］（初期設定）に設定されている場合は、以下の 2 つのうち、いずれかの操作を行ってください。 (1) 【OK】ボタンを押すと、セットされている用紙に片面印刷します。 (2) 印刷を中止する場合は、【ストップ】ボタンを押します。 • ［共通設定］－［デバイス設定］メニューの［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラー状態が解除され、セットされている用紙に片面印刷します。 • 両面印刷ユニットが正しく取り付けられているかを確認し、本製品の電源を入れ直してください。
両面印刷ユニットエラー	両面印刷ユニットに関する機械的なエラーが発生しました。 両面印刷ユニットのコネクターが正しく取り付けられているかを確認してください。コネクターの取り付けが不十分なときは、一旦主電源を切って、コネクターを正しく取り付けてください。
レポート印刷開始できません	ファクス受信中、オンフック中、およびデータの印刷中はレポート印刷ができません。動作終了後にレポート印刷を行ってください。
レポート印刷できません	通信管理レポートの印刷を実行しましたが、送受信ファクスの記録がないため通信管理レポートの印刷はできません。
レポートがあるためファクスできません	パワーオフレポートの出力中のため、ファクスの送信ができません。 パワーオフレポートが出力された後にファクス送信してください。

ワーニングメッセージ

本製品に何らかの問題が発生すると、注意を促すワーニングメッセージを表示します。以下の説明を参照して適切な処置をしてください。メッセージは五十音順に掲載してあります。

パネルに表示されるワーニングメッセージは、操作パネルの【各種設定】ボタンで表示するメニューから［共通設定］－［リセット］の［ワーニングクリア］または［全ワーニングクリア］を実行して消すことができます。［ワーニングクリア］は、消耗品関係以外のワーニングメッセージをすべて消します。消耗品などのワーニングメッセージだけを残したいときに実行してください。［全ワーニングクリア］は、すべてのワーニングメッセージを消します。
☞ 255 ページ「ワーニングメッセージを消す」

メッセージ	説明・処置
ADF メンテナンスユニットの交換時期が近付きました	ADF 部品を交換する時期が近付いています。 このままの状態でも使用可能ですが、できるだけ早めに交換してください。 交換は、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
ADF メンテナンスユニットを交換してください	ADF 部品を交換してください。 交換は、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
Form Data Canceled	フォームデータの登録に失敗しました。登録しようとしたフォームデータは破棄されます。
MAINTENANCE MODE	本製品の主電源を入れ直してください。
SUPPORT MODE	本製品の主電源を入れ直してください。
印刷できないデータです	印刷データに問題があるため、印刷できませんでした。 正しいプリンタードライバーから印刷してください。 ［ワーニングクリア］を実行すると表示は消えます。 ☞ 255 ページ「ワーニングメッセージを消す」
解像度を落として印刷しました	指定された解像度での印刷ができず、何らかの省略を行って印刷しました。 • 印刷処理を中止するには、コンピューター側で印刷処理を中止してから、【ストップ】ボタンを押します。印刷後に操作パネル表示を消すには、［ワーニングクリア］を実行します。 ☞ 255 ページ「ワーニングメッセージを消す」 • 改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置をしてください。 (1) アプリケーションソフトのマニュアルを参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 (2) プリンタードライバーで［印刷品質］を［はやい］に設定する。
感光体ユニットの交換時期が近付きました	感光体ユニットを交換する時期が近付いています。 このままの状態でも印刷可能ですが、できるだけ早めに感光体ユニットを交換してください。「感光体ユニットを交換してください」のメッセージが表示されたら、新しい感光体ユニットと交換してください。 ☞ 188 ページ「感光体ユニットの交換」
給紙ローラ＊＊＊＊の交換時期が近付きました	「＊＊＊＊」に表示されている給紙ローラーの寿命が近付きました。 このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。 交換は、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。 ☞ 263 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
給紙ローラ＊＊＊＊を交換してください	「＊＊＊＊」に表示されている給紙ローラーの寿命です。 交換は、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。 ☞ 263 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」

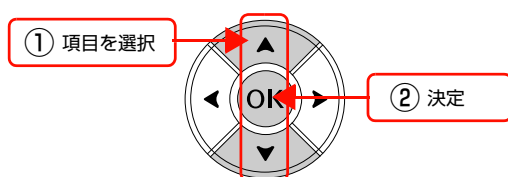
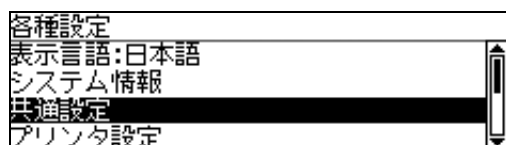
メッセージ	説明・処置
＊＊＊＊ 現像ユニットの交換時期が近付きました	「＊＊＊＊」に表示されている色の現像ユニットの寿命が近付きました。 このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。 交換は、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。 ☞ 263 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
＊＊＊＊ 現像ユニットを交換してください	「＊＊＊＊」に表示されている色の現像ユニットの寿命です。 交換は、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。 ☞ 263 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
指定と違うサイズの用紙に印刷しました	印刷時に設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置が見つからないため、設定とは異なるサイズの用紙に印刷しました。 • ［ワーニングクリア］を実行すると表示は消えます。 ☞ 255 ページ「ワーニングメッセージを消す」 • 各給紙装置にセットしている用紙のサイズと、操作パネルの【各種設定】ボタンを押し、［プリンタ設定］－［給紙装置設定］で設定した用紙サイズを確認してください。 ☞ 156 ページ「操作パネルによる設定 / 確認」
指定と違うタイプの用紙に印刷しました	印刷時に設定したサイズとタイプ（種類）の用紙がセットされている給紙装置が見つからないため、用紙サイズのみ一致する給紙装置から給紙しました。 • ［ワーニングクリア］を実行すると表示は消えます。 ☞ 255 ページ「ワーニングメッセージを消す」 • 各給紙装置にセットしている用紙のタイプと、操作パネルの【各種設定】ボタンを押し、［プリンタ設定］－［給紙装置設定］で設定した用紙タイプを確認してください。 ☞ 156 ページ「操作パネルによる設定 / 確認」
接続可能なコンピュータがありません	WSD スキャンで接続可能なコンピューターが見つかりませんでした。 本製品用の WSD スキャンデバイスドライバーがインストールされたコンピューターが存在しないか、コンピューターの電源が切れている可能性があります。 保存先のコンピューターに本製品用の WSD スキャンデバイスドライバーがインストールされているか、コンピューターの電源が入っているかを確認してください。
通信エラー コンピュータと通信できません スキャンを中止します	WSD スキャンで保存先を選択した後に、保存先のコンピューターの電源が切られた、または LAN ケーブルが抜かれたなどにより接続が遮断されました。 保存先のコンピューターの電源が入っているか、ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。
定着ユニットの交換時期が近付きました	定着ユニットを交換する時期が近付いています。 このままの状態でも印刷可能ですが、できるだけ早めに定着ユニットを交換してください。 交換は、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。 ☞ 263 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
定着ユニットを交換してください	定着ユニットの寿命です。 定着ユニットを交換してください。 交換は、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。 ☞ 263 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
＊＊＊＊トナーの交換時期が近付きました	「＊＊＊＊」に表示される色のトナーカートリッジのトナー残量が少なくなりました。 このままの状態でも印刷可能ですが、できるだけ早めにトナーカートリッジを交換してください。「＊トナーカートリッジを交換してください」のメッセージが表示されたら、新しいトナーカートリッジと交換してください。 ☞ 185 ページ「トナーカートリッジの交換」

メッセージ	説明・処置
二次転写ユニットの交換時期が近付きました	二次転写ユニットの寿命が近付きました。 このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。 交換は、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。 ☞ 263 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
二次転写ユニットを交換してください	二次転写ユニットの寿命です。 二次転写ユニットを交換してください。 交換は、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。 ☞ 263 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
パスワード印刷の登録に失敗しました	パスワード印刷ジョブを登録できませんでした。 • 印刷していないパスワード印刷ジョブがすでに 64 ファイルある状態で、さらにパスワード印刷ジョブを登録しようとしました。印刷していないパスワード印刷ジョブを印刷するか消去してから、再度登録してください。 • RAM ディスク容量が不足しているか、設定されていません。［共通設定］－［デバイス設定］メニューの［RAM ディスク］を［標準］か［最大］に設定してください。すでに設定されているときは、メモリーを増設してください。
非サポート USB デバイス	接続できない USB デバイスが本製品前面の USB コネクターに接続されています。
ファイルサイズオーバー 作成したファイルが一時保存メモリ容量をオーバーしました スキャンを中止します	スキャンした画像のファイルサイズが WSD スキャンの一時保存メモリー容量を超えたため、スキャンを中止しました。 以下いずれかの処置をしてください。 • コンピューターでスキャナーの解像度を低く設定してスキャンしてください。 • WSD スキャン以外の方法でスキャンしてください。
ファクス印刷可能な用紙がありません	給紙装置にファクス印刷可能なサイズの用紙（A3/B4/A4/B5）がセットされていないため、未印刷の受信データがあります。 給紙装置にファクス印刷可能なサイズの用紙（A3/B4/A4/B5）をセットするとメッセージは自動的に消え、受信データの印刷を開始します。 このワーニングメッセージは、［全ワーニングクリア］を実行しても消えません。
メモリ不足で部数印刷できませんでした	部単位印刷を実行する際にメモリーが足りなくなりました。 • 印刷処理を中止するには、コンピューター側で印刷処理を中止してから、【ストップ】ボタンを押します。印刷後に操作パネル表示を消すには、［ワーニングクリア］を実行します。 ☞ 255 ページ「ワーニングメッセージを消す」 • 改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置をしてください。 (1) アプリケーションソフトのマニュアルを参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 (2) プリンタードライバーで［印刷品質］を［はやい］に設定する。 (3) プリンタードライバーで［印刷モード］を［標準（PC)］に設定する。 (4) メモリーを増設する。 (5) 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。
メンテナンスユニットの交換時期が近付きました	メンテナンスユニットの寿命が近付きました。 このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。交換は、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。 ☞ 263 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」
メンテナンスユニットを交換してください	メンテナンスユニットの寿命です。交換は、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。 ☞ 263 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」 ☞ 267 ページ「お問い合わせ先」

ワーニングメッセージを消す

[各種設定]メニューで消す

1 **操作パネルの【各種設定】ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **【▲】または【▼】ボタンを押して［共通設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

3 **【▲】または【▼】ボタンを押して［リセット］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

4 **【▲】または【▼】ボタンを押して［ワーニングクリア］または［全ワーニングクリア］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

設定項目	説明
［ワーニングクリア］	「ファクス印刷可能な用紙がありません」と消耗品関係以外のワーニングメッセージをすべて消します。消耗品などのワーニングメッセージだけを残したいときに実行してください。
［全ワーニングクリア］	「ファクス印刷可能な用紙がありません」を除くすべてのワーニングメッセージを消します。

5 **モードの初期画面になるまで【戻る】ボタンを押します。**
設定モードが終了します。

以上で終了です。

状態確認画面で消す

1 **【状態確認】ボタンを押します。**
ワーニング確認画面が表示されます。
ワーニング確認画面が表示されていない場合は、［ワーニング］に対応する【F1】ボタンを押してください。

2 **［解除］に対応する【F3】ボタンを押します。**
表示されているワーニングが解除されます。消耗品関係のワーニングは解除されません。

3 **【状態確認】ボタンまたは各モードのボタンを押します。**

以上で終了です。

本製品の移動と輸送

本製品を移動したり輸送するときは、以下の通り作業を行ってください。

⚠注意
- 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
  無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
- 本製品は重いので、1 人で運ばないでください。
  開梱や移動の際は2人以上で運んでください。
  本製品の質量は以下を参照してください。
  ☞ 261 ページ「プリンター仕様」
- 本製品を持ち上げる際は、マニュアルで指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。
  他の部分を持って持ち上げると、本製品が落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。
  本製品の持ち上げ方は以下を参照してください。
  ☞『セットアップガイド』(冊子) –「1. 使用上のご注意」–「設置上のご注意」–「本製品の持ち方」
- 本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。
  転倒などによる事故のおそれがあります。
- 本製品を、キャスター(車輪)付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。
  作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。

近くへの移動

本製品の主電源とプリンター部の電源を切り、以下の付属品を取り外してください。振動を与えないように水平に丁寧に移動してください。

!重要
排紙口部分を持って移動させないでください。

- 電源コード
- 専用プリンター電源コード
- 専用プリンターケーブル
- 専用スキャナーケーブル
- インターフェイスケーブル
- 専用ケーブル
- MP トレイ内の用紙
  (必ず MP トレイを閉じてください。)
- 用紙カセット(標準 / オプション)内の用紙

持ち上げて移動する場合

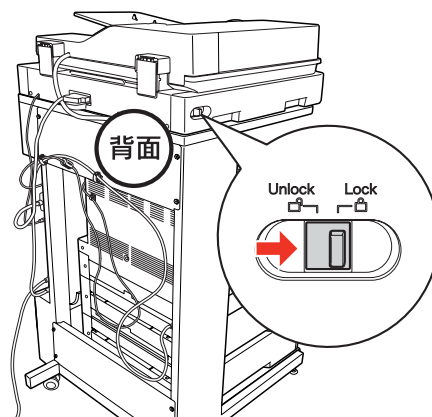
スキャナーユニットとコントローラボックスは、別々に持ち上げてください。プリンター部は、オプションの専用プリンタ台とすべての増設カセットユニットを取り外してから持ち上げてください。

キャスターで移動する場合

オプションの専用ラックを使用している場合、ラックと専用プリンタ台にキャスターが付いているため、持ち上げずに移動できます。またオプションの専用プリンタ台を装着しているときは、プリンター部は持ち上げずに移動できます。ただし、本製品に衝撃を与えないよう、段差のある場所などでは移動しないよう注意してください。また、移動する前にストッパーを緩め、必ずキャスターの固定を解除してください。

輸送

本製品を輸送するときは、以下の準備をしてください。震動や衝撃から本製品を守るために本製品の工場出荷時と同じ状態または同等の状態に梱包する必要があります。

1. **操作パネルの[各種設定]–[スキャン設定]–[スキャン工場出荷時設定]メニューで[キャリッジロック位置設定]を実行します。**
   キャリッジがロック位置に移動します。
2. **消耗品を取り外します。**
3. **本製品の主電源とプリンター部の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**
4. **取り付けてあるすべての付属品およびオプションを取り外します。**
5. **スキャナーユニットの輸送用固定ロックを[Lock]位置にします。**

6. **梱包材で梱包します。**

以上で終了です。

仕様

以下は 2012 年 2 月現在の情報です。

動作環境

ソフトウェアをインストールし、使用するためのシステム条件は以下の通りです。最新のサポート OS 情報、またはプリンタードライバーの制限事項の詳細はエプソンのホームページで確認してください。

アドレス：http://www.epson.jp/support/taiou/os/

サーバー系 OS では、スキャナー用ソフトウェアの動作は保証しておりません。

Windows

OS		Windows XP Windows Server 2003 Windows Vista Windows Server 2008 Windows Server 2008 R2（64 ビット版のみ） Windows 7
接続方法	USB	• USB または Hi-Speed USB に対応していて、コンピューターメーカーにより USB ポートの動作確認が保証されているコンピューター • Epson USB ケーブル（型番：USBCB2）を推奨します。
	ネットワーク	市販の LAN インターフェイスケーブル（ストレートケーブル）を使用します。 LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5 以上）を使用してください。10Base-T、100Base-TX のいずれにも使えます。

Windows 7/Windows XP/Windows Vista の 64 ビット版では、マルチスレッド処理に対応した TWAIN 対応アプリケーションソフトでは使用することはできません。詳細は各アプリケーションソフトメーカーへお問い合わせください。

Windows XP/Windows Vista のリモートデスクトップ機能 * を利用している状態で、移動先のコンピューターに直接接続されたプリンターへ印刷する場合、EPSON ステータスモニタがインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

* 移動先のモバイルコンピューターなどからオフィスネットワーク内のコンピューター上にあるアプリケーションソフトやファイルへアクセスし、操作することができる機能。

Mac OS

OS*		Mac OS X v10.5.8 ～ v10.7.x
接続方法	USB	• USB または Hi-Speed USB に対応していて、コンピューターメーカーにより USB ポートの動作確認が保証されているコンピューター • Epson USB ケーブル（型番：USBCB2）を推奨します。
	ネットワーク	市販の LAN インターフェイスケーブル（ストレートケーブル）を使用します。 LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5 以上）を使用してください。10Base-T、100Base-TX のいずれにも使えます。

* Classic 環境での動作をサポートしておりません。

総合仕様

基本仕様

ウォームアップ時間	電源オン時 スリープからの復帰時	：45 秒（温度 22 ℃、湿度 55%、定格電圧にて） ：29 秒（温度 22 ℃、湿度 55%、定格電圧にて）
稼働音 （本体のみ、標準条件）*	レディー時	：無音（Inaudible）
	稼働時	：約 50.8dB（A）

* 標準条件：MP トレイを閉めて、用紙カセットから普通紙を給紙したとき。

環境条件

		標準モデル	ADF モデル / ファクスモデル
動作時	温度	10 ～ 32 ℃	
	湿度	15 ～ 80%（ただし結露しないこと）	
	気圧	（高度）701HPa 以上（3000m 以下）	
	水平度	プリンター部：1 度以下、スキャナーユニット：5 度以下	
	照度	3000lx 以下（ただし直射日光を照射させないこと）	
	周囲スペース	原稿台より上方 520mm	原稿台より上方 550mm
		専用ラック使用時：左側方 75mm、右側方 16mm、前方 693mm スキャナーユニット / コントローラボックス自由配置時：左側方 94mm、前方 148mm、後方 130mm プリンター部自由配置時：左側方 100mm、右側方 100mm、前方 545mm、後方 100mm	
保存・輸送時	温度	0 ～ 35 ℃	
	湿度	15 ～ 85%（ただし結露しないこと）	

コントローラー仕様

制御コード体系	モード自動判別：ESC/Page、ESC/P スーパー（ESC/P エミュレーション、PC-PR201H エミュレーション）	
RAM	標準	256MB
	オプション増設時	最大 1024MB（2 ソケット）
インターフェイス	標準	Hi-Speed USB、10Base-T/100Base-TX

物理的特性

	標準モデル	ADF モデル / ファクスモデル
プリンター部外形寸法	幅 499.5mm ×奥行き 537.0mm ×高さ 407mm	
オプション外形寸法	増設カセットユニット（LPA3CZ1C11）：幅 499.5mm ×奥行き 517.8mm ×高さ 162.8mm	
	専用プリンタ台（CSCBN12B）：幅 512mm ×奥行き 518mm ×高さ 108.6mm	
	専用ラック（LPMRACK3）：幅 625mm ×奥行き 736mm ×高さ 919mm	
プリンター部質量	約 39kg（消耗品を含まない）	
オプション質量	増設カセットユニット（LPA3CZ1C11）：11.0kg	
	専用プリンタ台（CSCBN12B）：5.1kg	
	専用ラック（LPMRACK3）：20.5kg	
スキャナーユニット外形寸法	幅 625mm ×奥行き 682mm ×高さ 124mm（突起部を含む）	幅 625mm ×奥行き 682mm ×高さ 236mm（突起部を含む）
スキャナーユニット質量	約 18kg	約 24.4kg
コントローラボックス外形寸法	幅 581mm ×奥行き 465mm ×高さ 85.4mm	
コントローラボックス質量	約 8.1kg	

電気仕様

		標準モデル *1	ADF モデル / ファクスモデル *2
定格電圧		AC100V ± 10%	
定格電流		15A	
周波数		50/60Hz ± 3Hz	
消費電力	最大	1065W 以下	1087W 以下
	カラー	平均 246W（原稿台にセットしての連続コピー）	平均 284W（ADF にセットしての連続コピー）
	モノクロ	平均 412W（原稿台にセットしての連続コピー）	平均 414W（ADF にセットしての連続コピー）
	レディー時	平均 86W	平均 90W
	スリープモード時 *3	平均 16W	平均 18W
	電源オフ時	0W	0W

*1 標準モデル：オプションを含みません。

*2 ADF/ ファクスモデル：すべてのオプションを含みます。

*3 動作終了から 15 分以上経過後の値です。なお、動作終了から 15 分経過するまでの消費電力は、標準モデルは 28W 以下、ADF モデル / ファクスモデルは 31W 以下です。

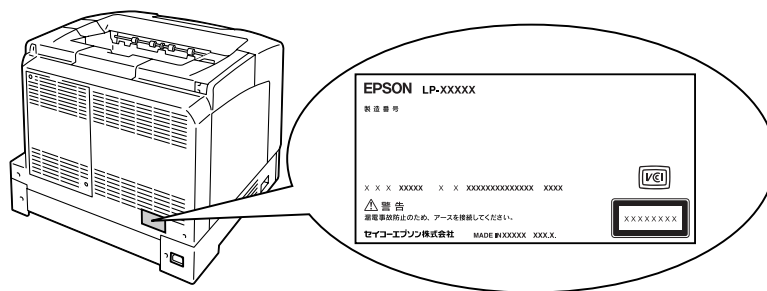
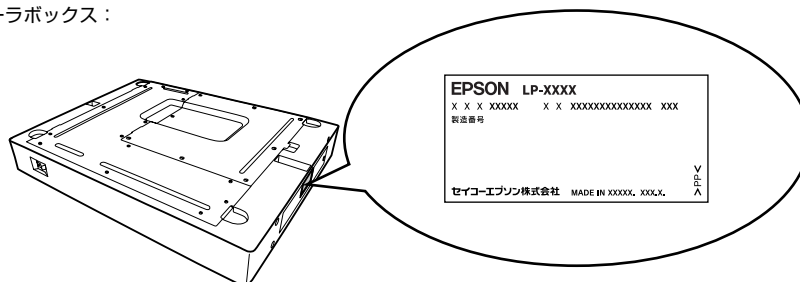
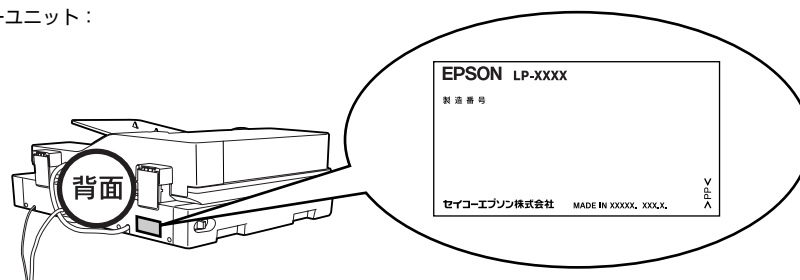
文字仕様

文字コード	JIS90 準拠
書体	Scalable Font：日本語 2 書体、欧文 16 書体
	Bitmap Font：欧文 4 書体、OCR/ バーコード 6 書体

その他

耐久性（製品寿命）	600,000 ページ（A4 連続時、カラー：モノクロ比率は 1：4） または 5 年のいずれか短い方
関連規格	VCCI クラス B 情報技術装置

製造番号の表示位置

プリンター部：

コントローラボックス：

スキャナーユニット：

プリンター仕様

プリント方式	半導体レーザービーム走査＋乾式二成分電子写真方式
解像度	600dpi *1
プリント速度	35.8 ページ / 分（A4、モノクロ片面印刷時）*2 8 ページ / 分（A4、カラー片面印刷時）*2
ファーストプリント	モノクロ片面印刷　：9.2 秒（A4）/10.7 秒（A3） モノクロ両面印刷　：14.5 秒（A4）/17.2 秒（A3） カラー片面印刷　：20.5 秒（A4）/21.9 秒（A3） カラー両面印刷　：35.3 秒（A4）/36.6 秒（A3）
耐久性 （製品寿命）	600,000 ページ（A4 連続時、カラー：モノクロ比率は 1：4）または 5 年のいずれか短い方

*1 25.4mm｛1 インチ｝あたりのドット数（Dots Per Inch）

*2 印刷中に、良好な画質を得るための画像調整を自動的に行うことがあり、上記の印刷速度が出ない場合があります。また、用紙サイズによっては、定着ユニットの安定性保持のために、印刷を一時停止することがあります。

スキャナー仕様

型式	A3 カラーイメージスキャナーモジュール
走査方式	ミラー移動型原稿固定読み取り
センサー	カラー CCD ラインセンサー R/G/B/ モノクロ（4 ライン）
最大有効領域	297 × 432mm（11.7 × 17.0 インチ）
最大有効画素	7020 × 10200 画素（600dpi）
最大原稿サイズ	A3
階調	各色 16bit（入力）、1bit/8bit（出力）
耐久性（製品寿命）	100,000 ページ（A3）または 5 年のいずれか短い方

ADF 仕様

方法	自動両面原稿移動読み取り
最大原稿サイズ	A3
最大セット可能原稿枚数	100 枚（80g/m^2）、総厚 10mm 以下
原稿紙厚（坪量）	52 ～ 105g/m^2
原稿紙種	ページプリンター用紙、インクジェット用紙、普通紙、再生紙など
原稿スタック	フェイスアップ
原稿合わせ	原稿中央合わせ
原稿サイズ検知	A3、B4、A4 横 / 縦、B5 横 / 縦、A5 横
耐久性（製品寿命）	250,000 ページ（A4 横）または 5 年のいずれか短い方

コピー仕様

		カラー（A4/300dpi）	モノクロ（A4/300dpi）
ファーストコピー		26.9 秒	14.4 秒
コピー速度	マルチコピー （1 枚の原稿を複数枚コピー）	8 枚 / 分	35.8 枚 / 分
	連続コピー （ADF 使用時） * 2 枚目以降のコピー速度（ファーストコピーは除く）	8 枚 / 分	28 枚 / 分

ファクス仕様（ファクスモデルのみ）

Model		EU-96
対応回線		PSTN（加入電話回線）、PBX（自営構内回線）
通信速度		33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200/4800/2400bps （自動フォールバック）
プロトコル		G3、G3ECM
送受信モード	カラー	RGB 各 8 ビット送受信
	モノクロ	モノクロ 1 ビット送受信
画像圧縮方法	カラー	JPEG
	モノクロ	MH、MR、MMR
送受信走査線密度	カラー	200 × 200［dpi］
	モノクロ	8x15.4、8x7.7、8x3.85［dot/mm］
原稿サイズ	カラー	A3、B4、A4*1、B5*1、A5*2
	モノクロ	
印刷用紙サイズ	カラー	A3、B4、A4、B5
	モノクロ	
設計認証	T A04-0646001	

*1 原稿台または ADF に縦置きにセットしてカラーで送信するとエラーになります。

*2 ADF の給紙口側に短辺が差し込まれるようにセットできません。

オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧

以下は 2012 年 2 月現在の情報です。

オプション

商品名	型番	備考
USB ケーブル	USBCB2	Hi-Speed USB 対応
専用ラック（専用プリンタ台付き）	LPMRACK3	キャスター付きの専用ラック
増設 1 段カセットユニット	LPA3CZ1C11	対応用紙サイズ：A3、A4、A5、B4、B5、Letter、Legal、Ledger 268 ページ「用紙一覧と設定早見表」 容量：670 枚（用紙厚 64g/m²）
専用プリンタ台（キャスター付き）	CSCBN12B	プリンター本体または増設 1 段カセットユニットに取り付け可能

消耗品

商品名			型番	備考
ET カートリッジ	シアン	（S サイズ）	LPC3T20C	ET カートリッジと環境推進トナーの品質は同じです。S サイズと M サイズの違いは、トナーの容量です。いずれかのトナーをご購入ください。
		（M サイズ）	LPC3T21C	
ET カートリッジ	マゼンタ	（S サイズ）	LPC3T20M	
		（M サイズ）	LPC3T21M	
ET カートリッジ	イエロー	（S サイズ）	LPC3T20Y	
		（M サイズ）	LPC3T21Y	
ET カートリッジ	ブラック	（M サイズ）	LPC3T21K	
		（M サイズ･2 本パック）	LPC3T21KP	
環境推進トナー *1	シアン	（M サイズ）	LPC3T21CV	
環境推進トナー *1	マゼンタ	（M サイズ）	LPC3T21MV	
環境推進トナー *1	イエロー	（M サイズ）	LPC3T21YV	
環境推進トナー *1	ブラック	（M サイズ･2 本パック）	LPC3T21KPV	

商品名	型番	備考
感光体ユニット	LPCA3K9	印刷寿命 [*2]：約 24,000 ページ
上質普通紙	LPCPPA3	普通紙への印刷において最良の印刷品質を得ることができる用紙 用紙サイズ：A3、A4、B4
	LPCPPA4	
	LPCPPB4	
専用コート紙	LPCCTA3	エプソン専用のコート紙 用紙サイズ：A3、A4
	LPCCTA4	

*1 セイコーエプソン株式会社がトナーカートリッジ（容器）の所有権を保有し、「環境推進トナー使用許諾契約」に基づき、本製品に充てんされているトナーを使い切るまでの間の使用権を許諾する消耗品です。使用後は、環境推進トナーに添付の案内書をご覧いただき、セイコーエプソン株式会社に必ずご返却ください（送料無料）。
エプソンのホームページでもご確認いただけます。
アドレス　http://www.epson.jp/products/offirio/printer/kankyotoner/

*2 A4 サイズの用紙に、カラー：モノクロ比率 1：4、面積比約 5%、1 ジョブ 2 ページの間欠印刷を行った場合。ただし、電源を入れたり切ったりする回数、紙詰まり処理の回数、カラーとモノクロの比率などの使用状況により変わります。また、大量のページを連続して印刷、または 1 ページずつ時間をおいて何度も印刷するなどの印刷状況によっても変わります。最良の印刷品質を確保するため、A4 サイズの用紙に面積比で 5％未満の印刷を行った場合でも、標準的な印刷寿命より短くなったり、半分以下になることもあります。

定期交換部品

部品名	型番	備考
二次転写ユニット 定着ユニット 現像ユニット（ブラック） 現像ユニット（シアン / マゼンタ / イエロー） メンテナンスユニット 給紙ローラーユニット MP/C1/C2/C3 ADF メンテナンスユニット	−	印刷寿命 *：100,000 ページ 印刷寿命 *：100,000 ページ 印刷寿命 *：100,000 ページ 印刷寿命 *：50,000 ページ 印刷寿命 *：300,000 ページ 印刷寿命 *：100,000 ページ ピックローラー、フィードローラー類のセット ADF スキャン寿命：約 90,000 ページ（A4 横換算） 本品の交換は、弊社の認定を受けたサービス実施店のサービスエンジニアまたは弊社のサービスエンジニアが実施します。交換時期を知らせるメッセージが表示されたときは、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 267 ページ「お問い合わせ先」 定期交換に伴う出張基本料、技術料、部品料は保証期間内外を問わず有償となります。

* A4 サイズの用紙に、カラー：モノクロ比率 1：4、面積比約 5%、1 ジョブ 2 ページの間欠印刷を行った場合。ただし、電源を入れたり切ったりする回数、紙詰まり処理の回数、カラーとモノクロの比率などの使用状況により変わります。また、大量のページを連続して印刷、または 1 ページずつ時間をおいて何度も印刷するなどの印刷状況によっても変わります。最良の印刷品質を確保するため、A4 サイズの用紙に面積比で 5％未満の印刷を行った場合でも、標準的な印刷寿命より短くなったり、半分以下になることもあります。

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては「お問い合わせ先」でご案内しています。
267 ページ「お問い合わせ先」

■マニュアルのダウンロードサービス

製品マニュアルの最新版 PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。

アドレス　http://www.epson.jp/support/

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず以下のページをお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。
202 ページ「困ったときは」

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター
  267 ページ「お問い合わせ先」

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

- 交換寿命による定期交換部品の交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。年間保守契約の場合は、定期交換部品代のみ、有償となります。（お客様交換可能な定期交換部品の場合は、出張基本料・技術料についても有償となります。）
- 本機は、輸送の際に専門業者が必要となりますので、持込保守および持込修理はご遠慮願います。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">概要</th><th colspan="2">修理代金と支払方法</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td>年間保守契約</td><td>出張修理</td><td>• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。
• 修理のつど発生する修理代・部品代 * は無償になるため予算化ができて便利です。
• 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。</td><td>無償</td><td>年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポット出張修理</td><td>• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。
• 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。</td><td>無償</td><td>出張料＋技術料＋部品代
修理完了後そのつどお支払いください</td></tr>
</table>

*　消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。

!重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。またお使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディーな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

お問い合わせ先

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先　＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠 点 名	所　在　地	電 話 番 号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

＊ 予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

＊ 修理について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660　・東京修理センター:042-584-8070

・鳥取修理センター:0857-77-2202　・福岡修理センター:092-622-8922

●引取修理サービス（ドアtoドアサービス）に関するお問い合わせ先

＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）受付電話**050-3155-7150**　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊平日の17:30～20:00（弊社指定休日含む）および、土日、祝日の9:00～18:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通航空で代行いたします。

＊引取修理サービス（ドアtoドアサービス）について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/でご確認ください。

＊年末年始（12/30～1/3）の受付は土日、祝日と同様になります。

●エプソンインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8055　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8580へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション　製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。　http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日　9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!	**http://myepson.jp/**

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101）でお買い求めください。（2011年5月現在）

エプソン販売 株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン 株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス（LP）　2011. 05

用紙一覧と設定早見表

本機で印刷できる用紙と、印刷の際に必要な設定などを一覧表示しています。基本的な印刷の手順は以下を参照してください。

☞ 17 ページ「印刷できる用紙の種類」
☞ 27 ページ「印刷方法」

×：不可
－：設定不要

①用紙タイプ		②用紙サイズ		③給紙装置と用紙容量			④セット方向（↑は給紙方向）	⑤自動両面印刷	⑥操作パネル *4		⑦プリンタードライバー		
				MP トレイ	カセット 1	カセット 2 ～ 3*3			MP トレイサイズ	MP トレイタイプ	用紙サイズ	給紙装置	用紙種類
				印刷する面を下	印刷する面を上	印刷する面を上			カセット x サイズ *5	カセット x タイプ *5			
エプソン製	上質普通紙	A3（型番：LPCPPA3）	297 × 420mm	170 枚	270 枚	590 枚	縦置き	○	A3	上質紙	A3	③参照	上質紙、 上質紙（裏面）、 トレイ・カセット用紙タイプ 上質紙
		A4（型番：LPCPPA4）	210 × 297mm				横置き		A4		A4		
		B4（型番：LPCPPB4）	257 × 364mm				縦置き		B4		B4		
	コート紙	A3（型番：LPCCTA3）	297 × 420mm	1 枚	×	×	縦置き	×	A3	－	A3		コート紙、 コート紙（裏面）
		A4（型番：LPCCTA4）	210 × 297mm				横置き		A4		A4		
一般	上質紙	A3	297 × 420mm	170 枚 *2 （17.5 ㎜）	270 枚 *2 （27.6 ㎜）	590 枚 *2 （59.4 ㎜）	縦置き	○	A3	上質紙	A3		上質紙、 上質紙（裏面）、 トレイ・カセット用紙タイプ 上質紙
		A4	210 × 297mm				横置き		A4		A4		
		A5	148 × 210mm				横置き		A5		A5		
		B4	257 × 364mm				縦置き		B4		B4		
		B5	182 × 257mm				横置き		B5		B5		
		Ledger（B）	11 × 17 インチ				縦置き		B		B		
		Legal（LGL）	8.5 × 14 インチ				縦置き		LGL		LGL		
		Letter（LT）	8.5 × 11 インチ				横置き		LT		LT		
		Government Legal（GLG）	8.5 × 13 インチ		×	×	縦置き		GLG		GLG		
		Executive（EXE）	7.3 × 10.5 インチ				横置き		EXE		EXE		
		Government Letter（GLT）	8 × 10.5 インチ				横置き	×	GLT		GLT		
		Half-Letter（HLT）	5.5 × 8.5 インチ				横置き		HLT		HLT		
		F4	210 × 330mm				縦置き		F4		F4		
		定形紙以外	75 ～ 297mm × 98 ～ 431.8mm				登録した向き		－		ユーザー定義サイズ		
	普通紙 再生紙	A3	297 × 420mm	190 枚 *1 （17.5 ㎜）	305 枚 *1 （27.6 ㎜）	670 枚 *1 （59.4 ㎜）	縦置き	○	A3	普通紙、 印刷済み、 レターヘッド、 再生紙、 色つき	A3		普通紙、 普通紙（裏面）、 トレイ・カセット用紙タイプ 指定しない、 普通紙、 印刷済み、 レターヘッド、 再生紙、 色つき
		A4	210 × 297mm				横置き		A4		A4		
		A5	148 × 210mm				横置き		A5		A5		
		B4	257 × 364mm				縦置き		B4		B4		
		B5	182 × 257mm				横置き		B5		B5		
		Ledger（B）	11 × 17 インチ				縦置き		B		B		
		Legal（LGL）	8.5 × 14 インチ				縦置き		LGL		LGL		
		Letter（LT）	8.5 × 11 インチ				横置き		LT		LT		
		Government Legal（GLG）	8.5 × 13 インチ		×	×	縦置き		GLG		GLG		
		Executive（EXE）	7.3 × 10.5 インチ				横置き		EXE		EXE		
		Government Letter（GLT）	8 × 10.5 インチ				横置き	×	GLT		GLT		
		Half-Letter（HLT）	5.5 × 8.5 インチ				横置き		HLT		HLT		
		F4	210 × 330mm				縦置き		F4		F4		
		定形紙以外	75 ～ 297mm × 98 ～ 431.8mm				登録した向き		－		ユーザー定義サイズ		

①用紙タイプ		②用紙サイズ		③給紙装置と用紙容量			④セット方向（↑は給紙方向）	⑤自動両面印刷	⑥操作パネル *4		⑦プリンタードライバー		
				MP トレイ	カセット 1	カセット 2 ～ 3*3			MP トレイサイズ カセット x サイズ *5	MP トレイタイプ カセット x タイプ *5	用紙サイズ	給紙装置	用紙種類
				印刷する面を下	印刷する面を上	印刷する面を上							
一般	コート紙	A3	297 × 420mm	1 枚	×	×	縦置き	×	A3	－	A3	③参照	コート紙、コート紙（裏面）
		A4	210 × 297mm				横置き		A4		A4		
		A5	148 × 210mm				横置き		A5		A5		
		B4	257 × 364mm				縦置き		B4		B4		
		B5	182 × 257mm				横置き		B5		B5		
		Ledger（B）	11 × 17 インチ				縦置き		B		B		
		Legal（LGL）	8.5 × 14 インチ				縦置き		LGL		LGL		
		Letter（LT）	8.5 × 11 インチ				横置き		LT		LT		
		Government Legal（GLG）	8.5 × 13 インチ				縦置き		GLG		GLG		
		Executive（EXE）	7.3 × 10.5 インチ				横置き		EXE		EXE		
		Government Letter（GLT）	8 × 10.5 インチ				横置き		GLT		GLT		
		Half-Letter（HLT）	5.5 × 8.5 インチ				横置き		HLT		HLT		
		F4	210 × 330mm				縦置き		F4		F4		
		定形紙以外	75 ～ 297mm × 98 ～ 431.8mm				登録した向き		－		ユーザー定義サイズ		
	ラベル紙	A4	210 × 297mm	17.5mm	×	×	横置き	×	A4	ラベル	A4		ラベル
	厚紙 特厚紙	A3	297 × 420mm	17.5mm	×	×	縦置き	×	A3	－	A3		厚紙、厚紙（裏面）、特厚紙、特厚紙（裏面）
		A4	210 × 297mm				横置き		A4		A4		
		A5	148 × 210mm				横置き		A5		A5		
		B4	257 × 364mm				縦置き		B4		B4		
		B5	182 × 257mm				横置き		B5		B5		
		Ledger（B）	11 × 17 インチ				縦置き		B		B		
		Legal（LGL）	8.5 × 14 インチ				縦置き		LGL		LGL		
		Letter（LT）	8.5 × 11 インチ				横置き		LT		LT		
		Government Legal（GLG）	8.5 × 13 インチ				縦置き		GLG		GLG		
		Government Letter（GLT）	8 × 10.5 インチ				横置き		GLT		GLT		
		Executive（EXE）	7.3 × 10.5 インチ				横置き		EXE		EXE		
		Half-Letter（HLT）	5.5 × 8.5 インチ				横置き		HLT		HLT		
		F4	210 × 330mm				縦置き		F4		F4		
		定形紙以外	75 ～ 297mm × 98 ～ 431.8mm				登録した向き		－		ユーザー定義サイズ		
	郵便ハガキ	ハガキ	100 × 148mm	75 枚	×	×	横置き	×	はがき	－	ハガキ		指定しない、ハガキ（1 面目）ハガキ（2 面目）
		往復ハガキ	148 × 200mm				横置き		往復はがき		往復ハガキ		
		4 面連刷ハガキ	200 × 296mm				横置き		4 面連刷はがき		4 連ハガキ		

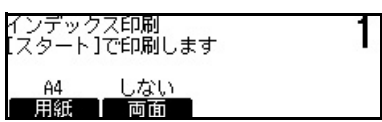
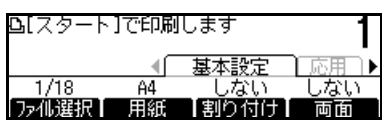
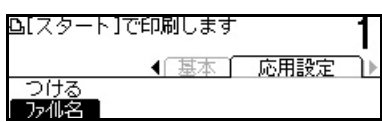
①用紙タイプ		②用紙サイズ		③給紙装置と用紙容量			④セット方向（↑は給紙方向）	⑤自動両面印刷	⑥操作パネル *4		⑦プリンタードライバー		
				MP トレイ	カセット 1	カセット 2 〜 3*3			MP トレイサイズ	MP トレイタイプ	用紙サイズ	給紙装置	用紙種類
				印刷する面を下	印刷する面を上	印刷する面を上			カセット x サイズ *5	カセット x タイプ *5			
一般	封筒	洋形 0 号	120 × 235mm	20 枚	×	×	横置き フラップ開く（推奨） フラップ閉じる	×	洋形 0 号	ー	洋形 0 号	③参照	ー
		洋形 4 号	105 × 235mm						洋形 4 号		洋形 4 号		
		洋形 6 号	98 × 190mm						洋形 6 号		洋形 6 号		
		長形 3 号	120 × 235mm				縦置き フラップ開く（推奨） フラップ閉じる		長形 3 号		長形 3 号		
		角形 2 号	240 × 332mm						角形 2 号		角形 2 号		

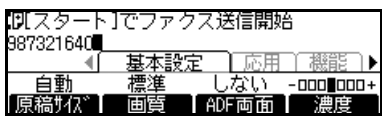
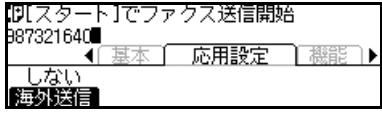
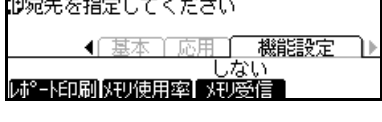
*1 64g/m^2 の用紙をセットした場合の枚数です。
*2 82g/m^2 の用紙をセットした場合の枚数です。
*3 オプション装着時に設定します。
*4 操作パネルの「給紙装置設定」メニューで設定してください。
*5 操作パネルでは「x」に 1 〜 4 の数字が入って表示されます。

操作パネル設定項目一覧

各モードの設定項目

コピーモードの設定項目

	【F1】	【F2】	【F3】	【F4】
コピーできます 基本設定 画質 応用1 応用2 自動 100% しない -000■000+ 用紙 倍率 両面 濃度	用紙	倍率	両面	濃度
コピーできます 基本 画質設定 応用1 応用2 文字/写真 文字/写真 -000■000+ カラー原稿 モノクロ原稿 コントラスト その他	カラー原稿	モノクロ原稿	コントラスト	その他（背景除去、モアレ除去、カラーバランス）
コピーできます 基本 画質 応用設定1 応用2 しない しない しない しない 割り付け 影消し とじしろ ページ連写	割り付け	影消し	とじしろ	ページ連写
コピーできます 基本 画質 応用1 応用設定2 自動 しない しない する 原稿サイズ 全面コピー 原稿混載 ソート	原稿サイズ	全面コピー	原稿混載	ソート

スキャンモードの設定項目

	【F1】	【F2】	【F3】	【F4】
[USB メモリ] 選択時 USBメモリ ファイル名 Epson_0006.pdf 基本設定 ファイル 読取 機能 PDF 300dpi しない 保存形式 解像度 ADF両面	USB メモリ：－ PC フォルダ：保存先 メール：メール設定 *1	保存形式	解像度	ADF 両面 *2
USBメモリ ファイル名 Epson_0006.pdf 基本 ファイル設定 読取 機能 Epson 標準 ファイルヘッダ 圧縮率	ファイルヘッダ	圧縮率	－	－
USBメモリ ファイル名 Epson_0006.pdf 基本 ファイル 読取設定 機能 文字/写真 -000■000+ 自動 原稿画質 濃度 原稿サイズ	原稿画質	濃度	原稿サイズ	－
USBメモリ ファイル名 Epson_0006.pdf 基本 ファイル 読取 機能 レポート印刷	レポート印刷	－	－	－

*1 基本設定の【F1】は、選択した機能により異なります。
*2 標準モデルでは非表示になります。

プリントモードの設定項目

［USB メモリ］－［インデックス］選択時：	【F1】	【F2】	【F3】	【F4】
インデックス印刷 ［スタート］で印刷します　1 A4　しない 用紙　両面	用紙	両面		

［USB メモリ］－［画像ファイル］選択時：	【F1】	【F2】	【F3】	【F4】
［スタート］で印刷します　1 基本設定　応用 1/18　A4　しない　しない ファイル選択　用紙　割り付け　両面	ファイル選択	用紙	割り付け	両面
［スタート］で印刷します　1 基本　応用設定 つける ファイル名	ファイル名	―	―	―

ファクスモードの設定項目（ファクスモデルのみ）

	【F1】	【F2】	【F3】	【F4】
［スタート］でファクス送信開始 987321640 基本設定　応用　機能 自動　標準　しない　-□□□■□□□+ 原稿サイズ　画質　ADF両面　濃度	原稿サイズ	画質	ADF 両面	濃度
［スタート］でファクス送信開始 987321640 基本　応用設定　機能 しない 海外送信	海外送信	―	―	―
宛先を指定してください 基本　応用　機能設定 しない レポート印刷　メモリ使用率　メモリ受信	レポート印刷	メモリ使用率	メモリ受信 *	―

*［各種設定］－［ファクス設定］－［受信設定］－［メモリ受信］が「する」の場合に表示されます。

各種設定モードの設定項目一覧

次ページへ続く

共通設定

デバイス設定	節電移行時間
	I/F タイムアウト
	給紙口
	MP トレイ優先
	コピー枚数
	両面印刷
	とじ方向
	紙種
	紙面
	白紙節約
	自動排紙
	用紙サイズフリー
	自動エラー解除
	ページエラー回避
	LCD コントラスト
	白黒反転表示
	音量調整
	RAM ディスク *1
	日付時刻設定
	日付表示フォーマット
USB I/F 設定	USB I/F
	USB SPEED
	受信バッファ
ネットワーク設定	ネットワーク I/F
	IP アドレス設定
	IP
	SM
	GW
	AppleTalk
	WSD
	LLTD
	Bonjour
	Link Speed
	受信バッファ

次ページへ続く

右の列へ続く

USBホスト設定	USB ホスト
メールサーバ設定	認証方式
	認証用アカウント
	認証用パスワード
	送信元アドレス
	SMTP サーバアドレス
	SMTP サーバポート番号
	POP3 サーバアドレス *2
	POP3 サーバポート番号 *2
	接続テスト
リセット	ワーニングクリア
	全ワーニングクリア
	リセット
	リセットオール
	シアン（C）トナーカートリッジ交換
	マゼンタ（M）トナーカートリッジ交換
	イエロー（Y）トナーカートリッジ交換
	ブラック（K）トナーカートリッジ交換

*1 オプション装着時のみ
*2 ［認証方法］に［POP before SMTP］が選択されているときのみ

プリンタ設定
給紙装置設定
MP トレイサイズ
カセット 1 サイズ
カセット 2 ～ 3 サイズ *
MP トレイタイプ
カセット 1 タイプ
カセット 2 ～ 3 タイプ *
印刷書式設定
ページサイズ
用紙方向
解像度
RIT
トナーセーブ
縮小
ドット補正
イメージ補正
上オフセット
左オフセット
上オフセット B
左オフセット B
プリンタ言語
USB
ネットワーク
* オプション装着時のみ
右の列へ続く
ESC/PS
環境設定
連続紙
文字コード
給紙位置
各国文字
ゼロ
用紙位置
右マージン
漢字書体
ESC/Page
環境設定
復帰改行
改ページ
CR
LF
FF
エラーコード
フォントタイプ
コピー設定
高圧縮設定
カラーキャリブレーション
コピー標準値設定
コピー工場出荷時設定
スキャン設定
ネットワークスキャン
メール設定
添付ファイル最大サイズ
スキャン標準値
設定
スキャン工場出
荷時設定
工場出荷時設定
キャリッジロック位置設
定
次ページへ続く

ファクス設定 *
基本設定
回線種別
ND 回線接続
外線切り替え番号
ダイヤル種別
自局情報
スピーカ音量
ファクスレポート印刷言語
送信設定
オートリダイヤル回数
発信元記録
優先原稿サイズ
PC-FAX 送信機能
受信設定
給紙口
両面印刷
受信モード
外付電話呼出時間
自動縮小
受信ファクス出力先
PC 保存先設定
メール設定
メモリ受信
* ファクスモデルのみ
右の列へ続く
通信管理設定
通信レポート
送信レポート
同報レポート
詳細設定
ポーズ時間
回線特性
トーン時間
トーン間隔
V.34 機能
着信レベル 1
着信レベル 2
送出レベル
通信詳細レポート
ファクス標準値設定
ファクス工場出荷時設定
工場出荷時設定
ファクスバックアップメモリクリア
宛先 / 保存先設定
メールアドレス
メールアドレス
名称
ヨミガナ
保存先フォルダ
フォルダパス
名称
ヨミガナ
認証ユーザー名
認証パスワード
ファクス番号 *
短縮ダイヤル設定
クイックダイヤル設定
宛先設定全削除
* ファクスモデルのみ
管理者設定
パスワード設定
パスワードの変更
パスワード制限範囲
初期モード
設定初期化

製品に関する諸注意と適合規格

本製品のご使用にあたっての諸注意や法律上のご注意、適合規格などについて説明します。

ハガキの表記

郵便事業株式会社製のハガキを郵便ハガキ、往復ハガキ、4 面連刷ハガキと記載しています。

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

純正品推奨

本機は純正トナーカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、本機の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、本機の性能が発揮できない場合があります。純正品以外のものをご使用したことにより発生した不具合については保証いたしませんのでご了承ください。

プリンター本体の廃棄

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

本製品の譲渡 / 廃棄

本製品を譲渡もしくは廃棄する際は、本製品のメモリーに保存されているお客様固有の情報の流出による、不測の事態を回避するために、保存した情報（電話番号、宛先名称など）を消去してください。

消去方法については以下をご覧ください。

☞ 181 ページ「本製品のリセット」

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）

刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など

- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

電波障害自主規制

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

オゾン

ページプリンターの印刷原理上、印刷処理中には微量のオゾンが発生します（排気風にオゾン臭を感じることがあります）。印刷中に本機が発生するオゾンは微量であり、通常の作業環境における安全許容値（3.0mg/h）を上回ることはありません。ただし、オゾン濃度はプリンターの設置環境によって変わるため、下記のような条件での使用は避けてください。

- 製品の環境条件外での使用
- 狭い部屋での複数ページプリンターの使用
- 換気が悪い場所での使用
- 上記条件下での長時間連続稼働
- 長時間印刷時や大量印刷時には、換気をするようにしてください。

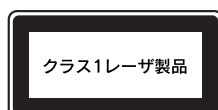
エコマーク物質エミッションに関する試験方法

試験方法

RAL-UZ122：2006

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No.122「プリンターVersion2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております消耗品を使用し、印刷を行った場合について、試験方法：RAL-UZ122：2006の付録２に基づき試験を実施しました。）

レーザー製品の表示

本プリンターは、レーザーの国際規格　IEC60825- １で定められた、クラス１レーザー製品です。識別のため、「クラス１レーザー製品」と書かれたラベルを製品に貼付しています。通常使用時には、レーザーは内部にありお客様が被ばくすることはありません。

内部のレーザー放射ユニット

本プリンターの内部には、レーザー国際規格 IEC60825-1 で定められた、クラス 3B のレーザーダイオードを内蔵していますが、プリントヘッドのレーザー開口部においてはクラス１レベルに制御されています。

レーザー放射ユニットは、内部の見えない場所にあります。指示以外の分解行為は行わないでください。

指示以外の手順による制御や調整は危険なレーザー放射の被ばくをもたらすおそれがあります。

libtiff

Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler
Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Info-ZIP

This is version 2009-Jan-02 of the Info-ZIP license.
The definitive version of this document should be available at ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html indefinitely and a copy at http://www.info-zip.org/pub/infozip/license.html.

Copyright (c) 1990-2009 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta,

Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

- Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.

- Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. Additional documentation is not needed for executables where a command line license option provides these and a note regarding this option is in the executable's startup banner. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.

- Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.

- Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

Bonjour

This printer product includes the open source software programs which apply the Apple Public Source License Version1.2 or its latest version ("Bonjour Programs").

We provide the source code of the Bonjour Programs pursuant to the Apple Public Source License Version1.2 or its latest version until five (5) years after the discontinuation of same model of this printer product. If you desire to receive the source code of the Bonjour Programs, please see the "Contacting Customer Support" in Appendix or Printing Guide of this User's Guide, and contact the customer support of your region.

You can redistribute Bonjour Programs and/or modify it under the terms of the Apple Public Source License Version1.2 or its latest version

These Bonjour Programs are WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

The Apple Public Source License Version1.2 is as follows. You also can see the Apple Public Source License Version1.2 at http://www.opensource.apple.com/apsl/.

APPLE PUBLIC SOURCE LICENSE
Version 2.0 - August 6, 2003

1. General; Definitions. This License applies to any program or other work which Apple Computer, Inc. ("Apple") makes publicly available and which contains a notice placed by Apple identifying such program or work as "Original Code" and stating that it is subject to the terms of this Apple Public Source License version 2.0 ("License"). As used in this License:

1.1 "Applicable Patent Rights" mean: (a) in the case where Apple is the grantor of rights, (i) claims of patents that are now or hereafter acquired, owned by or assigned to Apple and (ii) that cover subject matter contained in the Original Code, but only to the extent necessary to use, reproduce and/or distribute the Original Code without infringement; and (b) in the case where You are the grantor of rights, (i) claims of patents that are now or hereafter acquired, owned by or assigned to You and (ii) that cover subject matter in Your Modifications, taken alone or in combination with Original Code.

1.2 "Contributor" means any person or entity that creates or contributes to the creation of Modifications.

1.3 "Covered Code" means the Original Code, Modifications, the combination of Original Code and any Modifications, and/or any respective portions thereof.

1.4 "Externally Deploy" means: (a) to sublicense, distribute or otherwise make Covered Code available, directly or indirectly, to anyone other than You; and/or (b) to use Covered Code, alone or as part of a Larger Work, in any way to provide a service, including but not limited to delivery of content, through electronic communication with a client other than You.

1.5 "Larger Work" means a work which combines Covered Code or portions thereof with code not governed by the terms of this License.

1.6 "Modifications" mean any addition to, deletion from, and/or change to, the substance and/or structure of the Original Code, any previous Modifications, the combination of Original Code and any previous Modifications, and/or any respective portions thereof. When code is released as a series of files, a Modification is: (a) any addition to or deletion from the contents of a file containing Covered Code; and/or (b) any new file or other representation of computer

program statements that contains any part of Covered Code.

1.7 "Original Code" means (a) the Source Code of a program or other work as originally made available by Apple under this License, including the Source Code of any updates or upgrades to such programs or works made available by Apple under this License, and that has been expressly identified by Apple as such in the header file(s) of such work; and (b) the object code compiled from such Source Code and originally made available by Apple under this License

1.8 "Source Code" means the human readable form of a program or other work that is suitable for making modifications to it, including all modules it contains, plus any associated interface definition files, scripts used to control compilation and installation of an executable (object code).

1.9 "You" or "Your" means an individual or a legal entity exercising rights under this License. For legal entities, "You" or "Your" includes any entity which controls, is controlled by, or is under common control with, You, where "control" means (a) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (b) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares or beneficial ownership of such entity.

2. Permitted Uses; Conditions & Restrictions. Subject to the terms and conditions of this License, Apple hereby grants You, effective on the date You accept this License and download the Original Code, a world-wide, royalty-free, non-exclusive license, to the extent of Apple's Applicable Patent Rights and copyrights covering the Original Code, to do the following:

2.1 Unmodified Code. You may use, reproduce, display, perform, internally distribute within Your organization, and Externally Deploy verbatim, unmodified copies of the Original Code, for commercial or non-commercial purposes, provided that in each instance:

(a) You must retain and reproduce in all copies of Original Code the copyright and other proprietary notices and disclaimers of Apple as they appear in the Original Code, and keep intact all notices in the Original Code that refer to this License; and

(b) You must include a copy of this License with every copy of Source Code of Covered Code and documentation You distribute or Externally Deploy, and You may not offer or impose any terms on such Source Code that alter or restrict this License or the recipients' rights hereunder, except as permitted under Section 6.

2.2 Modified Code. You may modify Covered Code and use, reproduce, display, perform, internally distribute within Your organization, and Externally Deploy Your Modifications and Covered Code, for commercial or non-commercial purposes, provided that in each instance You also meet all of these conditions:

(a) You must satisfy all the conditions of Section 2.1 with respect to the Source Code of the Covered Code;

(b) You must duplicate, to the extent it does not already exist, the notice in Exhibit A in each file of the Source Code of all Your Modifications, and cause the modified files to carry prominent notices stating that You changed the files and the date of any change; and

(c) If You Externally Deploy Your Modifications, You must make Source Code of all Your Externally Deployed Modifications either available to those to whom You have Externally Deployed Your Modifications, or publicly available. Source Code of Your Externally Deployed Modifications must be released under the terms set forth in this License, including the license grants set forth in Section 3 below, for as long as you Externally Deploy the Covered Code or twelve (12) months from the date of initial External Deployment, whichever is longer. You should preferably distribute the Source Code of Your Externally Deployed Modifications electronically (e.g. download from a web site).

2.3 Distribution of Executable Versions. In addition, if You Externally Deploy Covered Code (Original Code and/or Modifications) in object code, executable form only, You must include a prominent notice, in the code itself as well as in related documentation, stating that Source Code of the Covered Code is available under the terms of this License with information on how and where to obtain such Source Code.

2.4 Third Party Rights. You expressly acknowledge and agree that although Apple and each Contributor grants the licenses to their respective portions of the Covered Code set forth herein, no assurances are provided by Apple or any Contributor that the Covered Code does not infringe the patent or other intellectual property rights of any other entity. Apple and each Contributor disclaim any liability to You for claims brought by any other entity based on infringement of intellectual property rights or otherwise. As a condition to exercising the rights and licenses granted hereunder, You hereby assume sole responsibility to secure any other intellectual property rights needed, if any. For example, if a third party patent license is required to allow You to distribute the Covered Code, it is Your responsibility to acquire that license before distributing the Covered Code.

3. Your Grants. In consideration of, and as a condition to, the licenses granted to You under this License, You hereby grant to any person or entity receiving or distributing Covered Code under this License a non-exclusive, royalty-free, perpetual, irrevocable license, under Your Applicable Patent Rights and other intellectual property rights (other than patent) owned or controlled by You, to use, reproduce, display, perform, modify, sublicense, distribute and Externally Deploy Your Modifications of the same scope and extent as Apple's licenses under Sections 2.1 and 2.2 above.

4. Larger Works. You may create a Larger Work by combining Covered Code with other code not governed by the terms of this License and distribute the Larger Work as a single product. In each such instance, You must make sure the requirements of this License are fulfilled for the Covered Code or any portion thereof.

5. Limitations on Patent License. Except as expressly stated in Section 2, no other patent rights, express or

implied, are granted by Apple herein. Modifications and/or Larger Works may require additional patent licenses from Apple which Apple may grant in its sole discretion.

6. Additional Terms. You may choose to offer, and to charge a fee for, warranty, support, indemnity or liability obligations and/or other rights consistent with the scope of the license granted herein ("Additional Terms") to one or more recipients of Covered Code. However, You may do so only on Your own behalf and as Your sole responsibility, and not on behalf of Apple or any Contributor. You must obtain the recipient's agreement that any such Additional Terms are offered by You alone, and You hereby agree to indemnify, defend and hold Apple and every Contributor harmless for any liability incurred by or claims asserted against Apple or such Contributor by reason of any such Additional Terms.

7. Versions of the License. Apple may publish revised and/or new versions of this License from time to time. Each version will be given a distinguishing version number. Once Original Code has been published under a particular version of this License, You may continue to use it under the terms of that version. You may also choose to use such Original Code under the terms of any subsequent version of this License published by Apple. No one other than Apple has the right to modify the terms applicable to Covered Code created under this License.

8. NO WARRANTY OR SUPPORT. The Covered Code may contain in whole or in part pre-release, untested, or not fully tested works. The Covered Code may contain errors that could cause failures or loss of data, and may be incomplete or contain inaccuracies. You expressly acknowledge and agree that use of the Covered Code, or any portion thereof, is at Your sole and entire risk. THE COVERED CODE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT WARRANTY, UPGRADES OR SUPPORT OF ANY KIND AND APPLE AND APPLE'S LICENSOR(S) (COLLECTIVELY REFERRED TO AS "APPLE" FOR THE PURPOSES OF SECTIONS 8 AND 9) AND ALL CONTRIBUTORS EXPRESSLY DISCLAIM ALL WARRANTIES AND/OR CONDITIONS, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES AND/OR CONDITIONS OF MERCHANTABILITY, OF SATISFACTORY QUALITY, OF FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OF ACCURACY, OF QUIET ENJOYMENT, AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. APPLE AND EACH CONTRIBUTOR DOES NOT WARRANT AGAINST INTERFERENCE WITH YOUR ENJOYMENT OF THE COVERED CODE, THAT THE FUNCTIONS CONTAINED IN THE COVERED CODE WILL MEET YOUR REQUIREMENTS, THAT THE OPERATION OF THE COVERED CODE WILL BE UNINTERRUPTED OR ERROR-FREE, OR THAT DEFECTS IN THE COVERED CODE WILL BE CORRECTED. NO ORAL OR WRITTEN INFORMATION OR ADVICE GIVEN BY APPLE, AN APPLE AUTHORIZED REPRESENTATIVE OR ANY CONTRIBUTOR SHALL CREATE A WARRANTY. You acknowledge that the Covered Code is not intended for use in the operation of nuclear facilities, aircraft navigation, communication systems, or air traffic control machines in which case the failure of the Covered Code could lead to death, personal injury, or severe physical or environmental damage.

9. LIMITATION OF LIABILITY. TO THE EXTENT NOT PROHIBITED BY LAW, IN NO EVENT SHALL APPLE OR ANY CONTRIBUTOR BE LIABLE FOR ANY INCIDENTAL, SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF OR RELATING TO THIS LICENSE OR YOUR USE OR INABILITY TO USE THE COVERED CODE, OR ANY PORTION THEREOF, WHETHER UNDER A THEORY OF CONTRACT, WARRANTY, TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), PRODUCTS LIABILITY OR OTHERWISE, EVEN IF APPLE OR SUCH CONTRIBUTOR HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES AND NOTWITHSTANDING THE FAILURE OF ESSENTIAL PURPOSE OF ANY REMEDY. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE LIMITATION OF LIABILITY OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THIS LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU. In no event shall Apple's total liability to You for all damages (other than as may be required by applicable law) under this License exceed the amount of fifty dollars ($50.00).

10. Trademarks. This License does not grant any rights to use the trademarks or trade names "Apple", "Apple Computer", "Mac", "Mac OS", "QuickTime", "QuickTime Streaming Server" or any other trademarks, service marks, logos or trade names belonging to Apple (collectively "Apple Marks") or to any trademark, service mark, logo or trade name belonging to any Contributor. You agree not to use any Apple Marks in or as part of the name of products derived from the Original Code or to endorse or promote products derived from the Original Code other than as expressly permitted by and in strict compliance at all times with Apple's third party trademark usage guidelines which are posted at http://www.apple.com/legal/guidelinesfor3rdparties.html.

11. Ownership. Subject to the licenses granted under this License, each Contributor retains all rights, title and interest in and to any Modifications made by such Contributor. Apple retains all rights, title and interest in and to the Original Code and any Modifications made by or on behalf of Apple ("Apple Modifications"), and such Apple Modifications will not be automatically subject to this License. Apple may, at its sole discretion, choose to license such Apple Modifications under this License, or on different terms from those contained in this License or may choose not to license them at all.

12. Termination.

12.1 Termination. This License and the rights granted hereunder will terminate:

(a) automatically without notice from Apple if You fail to comply with any term(s) of this License and fail to cure such breach within 30 days of becoming aware of such breach;

(b) immediately in the event of the circumstances described in Section 13.5(b); or

(c) automatically without notice from Apple if You, at any time during the term of this License, commence an action for patent infringement against Apple; provided that Apple did not first commence an action for patent infringement against You in that instance.

12.2 Effect of Termination. Upon termination, You agree to immediately stop any further use,

reproduction, modification, sublicensing and distribution of the Covered Code. All sublicenses to the Covered Code which have been properly granted prior to termination shall survive any termination of this License. Provisions which, by their nature, should remain in effect beyond the termination of this License shall survive, including but not limited to Sections 3, 5, 8, 9, 10, 11, 12.2 and 13. No party will be liable to any other for compensation, indemnity or damages of any sort solely as a result of terminating this License in accordance with its terms, and termination of this License will be without prejudice to any other right or remedy of any party.

13. Miscellaneous.

13.1 Government End Users. The Covered Code is a "commercial item" as defined in FAR 2.101. Government software and technical data rights in the Covered Code include only those rights customarily provided to the public as defined in this License. This customary commercial license in technical data and software is provided in accordance with FAR 12.211 (Technical Data) and 12.212 (Computer Software) and, for Department of Defense purchases, DFAR 252.227-7015 (Technical Data -- Commercial Items) and 227.7202-3 (Rights in Commercial Computer Software or Computer Software Documentation). Accordingly, all U.S. Government End Users acquire Covered Code with only those rights set forth herein.

13.2 Relationship of Parties. This License will not be construed as creating an agency, partnership, joint venture or any other form of legal association between or among You, Apple or any Contributor, and You will not represent to the contrary, whether expressly, by implication, appearance or otherwise.

13.3 Independent Development. Nothing in this License will impair Apple's right to acquire, license, develop, have others develop for it, market and/or distribute technology or products that perform the same or similar functions as, or otherwise compete with, Modifications, Larger Works, technology or products that You may develop, produce, market or distribute.

13.4 Waiver; Construction. Failure by Apple or any Contributor to enforce any provision of this License will not be deemed a waiver of future enforcement of that or any other provision. Any law or regulation which provides that the language of a contract shall be construed against the drafter will not apply to this License.

13.5 Severability. (a) If for any reason a court of competent jurisdiction finds any provision of this License, or portion thereof, to be unenforceable, that provision of the License will be enforced to the maximum extent permissible so as to effect the economic benefits and intent of the parties, and the remainder of this License will continue in full force and effect. (b) Notwithstanding the foregoing, if applicable law prohibits or restricts You from fully and/or specifically complying with Sections 2 and/or 3 or prevents the enforceability of either of those Sections, this License will immediately terminate and You must immediately discontinue any use of the Covered Code and destroy all copies of it that are in your possession or control.

13.6 Dispute Resolution. Any litigation or other dispute resolution between You and Apple relating to this License shall take place in the Northern District of California, and You and Apple hereby consent to the personal jurisdiction of, and venue in, the state and federal courts within that District with respect to this License. The application of the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods is expressly excluded.

13.7 Entire Agreement; Governing Law. This License constitutes the entire agreement between the parties with respect to the subject matter hereof. This License shall be governed by the laws of the United States and the State of California, except that body of California law concerning conflicts of law.

Where You are located in the province of Quebec, Canada, the following clause applies: The parties hereby confirm that they have requested that this License and all related documents be drafted in English. Les parties ont exigé que le présent contrat et tous les documents connexes soient rédigés en anglais.

EXHIBIT A.

"Portions Copyright (c) 1999-2003 Apple Computer, Inc. All Rights Reserved.

This file contains Original Code and/or Modifications of Original Code as defined in and that are subject to the Apple Public Source License Version 2.0 (the 'License'). You may not use this file except in compliance with the License. Please obtain a copy of the License at http://www.opensource.apple.com/apsl/ and read it before using this file.

The Original Code and all software distributed under the License are distributed on an 'AS IS' basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, AND APPLE HEREBY DISCLAIMS ALL SUCH WARRANTIES, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, QUIET ENJOYMENT OR NON-INFRINGEMENT. Please see the License for the specific language governing rights and limitations under the License."

Arcfour

This code illustrates a sample implementation of the Arcfour algorithm.
Copyright (c) April 29, 1997 Kalle Kaukonen. All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that this copyright notice and disclaimer are retained.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY KALLE KAUKONEN AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL KALLE KAUKONEN OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS

OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.